



Session Recording サービス

Contents

Session Recording サービス	3
新機能	5
サードパーティ製品についての通知	17
既知の問題	17
開始	18
展開計画	19
既存の Session Recording サーバーのクラウドへの接続	22
クラウド内からの Session Recording サーバーのインストール	30
Session Recording リソースをクラウドサブスクリプションに展開する	44
クラウドクライアントをアップグレードするスケジュール設定	105
構成	110
サイトとサーバーの設定	110
ポリシーの構成	116
Session Recording ポリシーの構成	117
イベント検出ポリシーの構成	125
イベント応答ポリシーの構成	128
再生権限	144
管理者権限	151
基本設定を構成する	154
録画の表示	155
録画の検索	155
録画へのアクセス制限の設定	157
録画を開いて再生	160

録画をリンクとして共有する	163
サイトのプレーヤーを指定	169
アイドル期間のハイライト	172
イベントとコメントの使用	173
グラフィカルなイベント統計の表示	176
パフォーマンスデータポイントの表示	180
録画の管理	181
選択した録画の管理	182
スケジュールに基づく録画の管理	184
管理者ログ	186
管理ダッシュボード	190
アクティビティフィード	199
通知	202
顧客データ管理	207
トラブルシューティング	208
クラウドからのサーバーのトラブルシューティング	209
サーバーがクラウドに表示されない	212

Session Recording サービス

April 3, 2024

注:

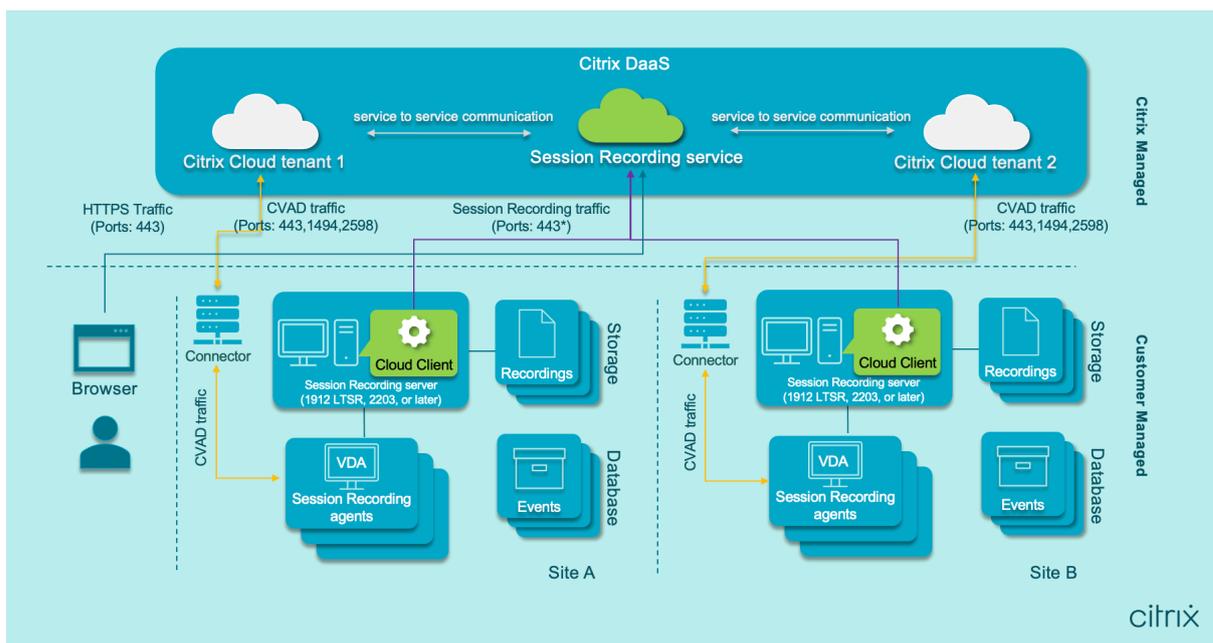
- Session Recording サービスは、Citrix Cloud の南アジア太平洋 (APS)、EU、米国リージョンでのプロビジョニングに使用できます。詳しくは、「[Citrix Cloud の地理的な考慮事項](#)」を参照してください。
- Session Recording サービスの顧客データの保存、保持、および制御については、「[顧客データの管理](#)」を参照してください。
- Session Recording サービスは、Citrix Analytics for Security (CAS) にデータを送信しません。オンプレミスの Session Recording サーバーは、CAS にデータを送信できます。詳しくは、Citrix Analytics for Security のドキュメントの「[Session Recording 環境への接続](#)」を参照してください。

概要

Session Recording は、Citrix DaaS (旧称 Citrix Virtual Apps and Desktops サービス) のセキュリティの重要な差別化要因です。Session Recording のメリットを享受できない場合の一般的な課題は、ソリューションの展開と管理の複雑さです。Session Recording サービスの導入により、高度な管理エクスペリエンスが提供され、展開環境が簡素化されます。

Session Recording サービスは、包括的な自動化、迅速なトラブルシューティング、有益な分析情報を提供する管理プラットフォームです。組織全体の Session Recording サーバーを管理および監視するための統合されたエントリポイントを提供するため、管理タスクが容易になります。

次の図は、Session Recording サービスがどのように機能するかを示しています。



注:

クラウドクライアントのバージョン 7.40.13020.11 以降では、通信用に開く必要があるポートは 1 つのみ (TCP ポート 443) です。バージョン 7.40.13020.11 より前のクラウドクライアントを使用している場合は、セッショントラフィックで送信ポート 80、443、8088、および 9090~9094 を許可します。詳しくは、「ポート」を参照してください。

Session Recording サービスに関するビデオ:



サービスの特徴と機能

Session Recording サービスを使用して、次の操作を実行できます：

- オンプレミスとクラウドの両方に展開された Session Recording サーバーから Session Recording サービスに接続する
- クラウド内からの Session Recording サーバーのインストール
- 接続された Session Recording サーバーからの録画に関してクエリを実行し、再生する
- 接続されている Session Recording サーバーの設定を構成する
- 特定のサイトのセッション録画、イベント検出、およびイベント応答ポリシーを構成する
- 再生権限を構成する
- 録画に対してアクセス制限の設定および削除を実行する
- 定期的に録画を自動でアーカイブおよび削除する
- イベントの視覚化レポートを表示し、録画に関するコメントを残す
- 録画された各セッションに関連するデータポイントを表示する
- Session Recording 管理ダッシュボードでシステムに関する分析情報を得る

前提条件

Session Recording サービスを使用するための前提条件：

- Citrix DaaS にサブスクリプション済みである。
- Session Recording 1912 LTSR、2203 以降を展開している。

Session Recording コンポーネントのインストール方法については、[インストールの記事](#)を参照してください。

新機能

May 22, 2024

Citrix は、Session Recording サービスをご使用のお客様に、新機能と製品の更新をいち早くお届けするよう取り組んでいます。新しいリリースでは、より便利な機能をご利用いただけます。今すぐ更新してください。更新は、約 6 週間ごとにサービスリリースにロールアウトされます。

このプロセスは、わかりやすいものになっています。最初の更新は、Citrix 内部サイトのみにも適用され、その後徐々にお客様の環境に適用されます。段階的に更新することによって、製品の品質を確保しながら、最大限の可用性を実現しています。

2024 年 4 月

Azure での展開をシンプルにする Azure Resource Manager テンプレート (ARM テンプレート) のサポート

Azure Resource Manager テンプレート (ARM テンプレート) を作成して、Azure に Session Recording リソースを展開できるようになりました。ARM テンプレートは、展開の方法とリソースが含まれる JavaScript Object Notation (JSON) ファイルです。詳しくは、「[ARM テンプレートを使用してサイトを作成および展開する](#)」を参照してください。

純粋な Azure Active Directory (Azure AD) 展開を、シンプルな展開で達成できるようになりました

シンプルな展開とは、ホスト接続または ARM テンプレートを通じてサイトを作成して展開することを指します。シンプルな展開を実行するために、展開しようとしている Session Recording サーバーを、VDA が存在する Azure AD ドメインに参加させるオプションが追加されました。詳しくは、「[Session Recording リソースをクラウドサブスクリプションに展開する](#)」を参照してください。

コミュニティ主導のイベントトリガーテンプレート

ビジネスニーズに合ったテンプレートをすばやく見つけられるように、Cloud Software Group は、Session Recording サービスのすべての管理者が参加できるコミュニティを作成しました。組織のテンプレートを公開して他の顧客が無料でアクセスできるようにすることで、コミュニティに貢献できます。Cloud Software Group はまた、自分の組織および Cloud Software Group 自体を含めた他のコミュニティメンバーの両方による、すべてのイベントトリガーテンプレートにアクセスできるリソースライブラリも構築しました。

注:

テンプレートを送信する前に、『[End User Agreement](#)』を参照してください。

詳しくは、「[カスタムイベント応答ポリシーの作成](#)」を参照してください。

クラウド上で視覚化された録画の成功率

Session Recording [管理ダッシュボード](#) の右上隅に、現在のサイトの録画の成功率を示す新しいウィジェットが表示されるようになりました。最新の録画の成功率と過去 12 時間の録画の成功率の両方を確認できます。

問題の特定を容易にするために、100% 未満の録画の成功率はオレンジ色のドットで表示され、100% の成功率は緑色のドットで表示されます。オレンジ色のドットの上にマウスを移動してヒントのリンクをクリックすると、[\[アクティビティフィード\]](#) ページに記録された対応するイベントにジャンプし、次の操作を行うことができます:

- 録画に失敗したセッションを含むイベントの詳細を表示する。
- 録画の成功率が 100% を下回った場合に通知を受け取るには、[メール通知](#) をサブスクライブしてください。

注:

この機能は、クラウドクライアントバージョン 7.42.15010.4 以降で利用できます。この機能を使用するには、利用可能なサーバーが 1 つのサイトのみであり、そのサイトのダッシュボード設定ページでこの機能が有効になっていることを確認してください。

詳しくは、「[管理ダッシュボード](#)」を参照してください。

解決された問題

- 適用範囲として指定されたユーザーまたはユーザーグループの長さが 16 文字を超える場合、ポリシーを追加または変更しようとする失敗することがあります。[SRT-12247]
- クラウド内から [Session Recording サーバーをインストール](#)しようとする失敗する可能性があります。この問題は、Session Recording サーバーをクラウドデータベースに接続したものの、指定したデータベースのパスワードに二重引用符 (") が含まれている場合に発生します。[SRT-12119]

2024 年 3 月

Azure Active Directory (AD) のサポート (Technical Preview)

Azure AD 参加マシンに Session Recording サーバーとエージェントをインストールし、それらに対して Azure AD のサポートを有効にできるようになりました。後でクラウドからさまざまなポリシーと再生権限を構成するときに、Azure AD 参加マシンからセッションを開始する Azure AD ユーザーとグループを指定できます。

Session Recording のインストールについて詳しくは、「[インストール、アップグレード、およびアンインストール](#)」を参照してください。

クラウドからのポリシーと再生権限の構成について詳しくは、「[セッション録画ポリシーの構成](#)」および「[再生権限](#)」を参照してください。

注:

Azure AD のサポートは、Session Recording バージョン 2402 以降で利用できます。

2024 年 1 月

ストレージ消費量の予測

約 1 か月分の十分な消費量履歴データに基づいて、今後 7 日間のストレージ消費量予測を生成できます。この機能を使用すると、リソースの使用量を予測し、事前に予防策を講じることができます。詳しくは、「[管理ダッシュボード](#)」の記事を参照してください。

クラウドプレーヤーから録画を制限付きリンクまたは制限なしリンクとして共有することをサポート

クラウドプレーヤーから録画を制限付きリンクまたは制限なしリンクとして共有できるようになりました。他のユーザーはリンクを使用して共有した録画に直接アクセスできるため、多数の録画の中から検索する必要がなくなります。録画を制限付きリンクとして共有すると、既に[再生権限](#)を持っているユーザーのみがそのリンクを使用して録画を表示できます。録画を無制限のリンクとして共有すると、AD ドメイン内の誰もがそのリンクを使用して録画を表示できます。

無制限の録画共有では、さらに次のことが可能です：

- 無制限の録画リンクが生成されたときに、特定の受信者にメール通知を発行するかどうかを指定します。詳しくは、「[通知](#)」を参照してください。
- [\[アクティビティフィード\]](#) の [\[イベント\]](#) タブで、無制限の録画共有に関連するイベントを表示します。

録画をリンクとして共有し、無制限のリンクを管理するには、Session Recording サービスへのフルアクセスが必要です。これには、次のいずれかの権限を割り当てられた Citrix Cloud 管理者である必要があります：

- フルアクセス
- [\[Cloud Administrator, All\]](#) の役割
- [\[Session Recording-FullAdmin, All\]](#) の役割

詳しくは、「[録画をリンクとして共有する](#)」および「[Session Recording 管理者の種類](#)」を参照してください。

2023 年 10 月

Microsoft Azure へのシンプルな **Session Recording** 展開が一般提供になりました

サイトを作成して、Session Recording サービス内から Session Recording リソースを Azure サブスクリプションに展開できます。この機能は現在一般提供されており、次のことができるように強化されています：

- Azure に展開された既存のサイトにサーバーやストレージなどのリソースを追加する。
- ロードバランサーへのアクセスが許可される IP アドレスを変更する。

詳しくは、「[Session Recording リソースをクラウドサブスクリプションに展開する](#)」を参照してください。

イベントトリガーテンプレートの概要

イベント応答ポリシーのイベントトリガーにより、セッションの開始や録画されたセッションでのイベントの検出など、さまざまなイベントにตอบสนองするアクションを指定できます。このリリース以降、直接使用したりカスタマイズしたりできるイベントトリガーテンプレートが提供されます。詳しくは、「[イベント応答ポリシーの構成](#)」を参照してください。

単一ポート通信のサポート

クラウドクライアントのバージョン 7.40.13020.11 以降では、通信用に開く必要があるポートは 1 つのみ (TCP ポート 443) です。

解決された問題

- 少なくとも 1 つの Session Recording サーバーを Session Recording サービスに追加するまで、ホスト接続は正常に作成できません。[SRT-11065]
- Session Recording 管理ダッシュボードを表示すると、データベースマシンの CPU 使用率が高くなります。[SRT-11190]
- カスタムポリシーは、Session Recording サーバー 1912 を含むサイトでは使用できません。[SRT-11334]

2023 年 9 月

Session Recording サービスへの管理アクセスは、**Azure Active Directory (AD)** ユーザーおよびグループに対して有効です

詳しくは、「[Azure AD から管理者を追加する](#)」を参照してください。

最適化されていない HDX オーディオのオーディオ録音 (プレビュー)

Session Recording ポリシーを構成するときに、最適化されていない HDX オーディオのオーディオ録音を有効にできるようになりました。VDA 上で処理され、Citrix Workspace アプリがインストールされているクライアントとの間で配信される音声は、最適化されていない HDX オーディオと呼ばれます。最適化されていない HDX オーディオとは異なり、ブラウザコンテンツリダイレクト (BCR) および Microsoft Teams の最適化のシナリオに見られるように、最適化された HDX オーディオでは処理がクライアントにオフロードされます。

オーディオ録音の有効化について詳しくは、「[Session Recording ポリシーの構成](#)」を参照してください。

注:

この機能は、Session Recording バージョン 2308 以降で利用できます。

非可逆画面録画

非可逆画面録画を使用すると、圧縮オプションの調整によって録画ファイルのサイズが削減され、再生中の録画セッション内をよりすばやく移動できるようになります。

次のいずれかの方法で非可逆画面録画を有効にできます。

- 非可逆画面録画が有効になっているシステム定義の Session Recording ポリシーをアクティブにします。

- カスタム Session Recording ポリシーを作成してアクティブ化し、カスタムポリシーを作成するときに必ず [非可逆画面録画を有効にする] を選択してください。
- イベント応答ポリシーを構成するときに、[非可逆画面録画を有効にする] を選択します。監視対象のイベントが後で検出されると、非可逆画面録画がトリガーされます。

非可逆画面録画を有効にすると、Session Recording Agent のプロパティの [非可逆画面] タブで圧縮オプションを調整できます。

詳しくは、次のトピックを参照してください：

- [Session Recording ポリシーの構成](#)
- [イベント応答ポリシーの構成](#)
- [非可逆画面録画を有効または無効にする](#)

注：

この機能は、Session Recording バージョン 2308 以降で利用できます。

ICA 画面録画による高速シーク

I フレームの生成頻度を構成することで、ICA 画面録画による高速シークを有効にすることができるようになりました。この機能により、再生シークエクスペリエンスが大幅に向上します。

詳しくは、「[基本設定を構成する](#)」および「[高速シークを有効にする](#)」を参照してください。

注：

この機能は、Session Recording バージョン 2308 以降で利用できます。

解決された問題

- クラウドから構成されたセッション録画およびイベント応答ポリシーが有効になりません。この問題は、Session Recording サーバー 2305 以降を使用するときに発生します。[SRT-10813]

2023 年 7 月

Microsoft Azure へのシンプルな Session Recording 展開 (プレビュー)

Session Recording サービス内から、Session Recording サーバー、データベース、ストレージ、ロードバランサーなどの Session Recording リソースを Azure サブスクリプションに展開できるようになりました。また、Session Recording サービス内から、推奨される VM とストレージ構成を取得し、コストを予測し、Azure を使用するための実際のコストを表示することもできます。

詳しくは、「[Session Recording リソースをクラウドサブスクリプションに展開する \(プレビュー\)](#)」を参照してください。

Session Recording サーバーをクラウドから削除する

[オフライン]、[アンインストール済み]、および [インストールに失敗しました] 状態のサーバーをクラウドから削除して、必要な Session Recording サーバーのみを表示できるようになりました。

詳しくは、「[サーバーの削除](#)」を参照してください。

クラウドからの Session Recording サーバーのトラブルシューティング

Session Recording サービスに接続されている Session Recording サーバーに対して、クラウドからいくつかのトラブルシューティング操作を実行できます。

詳しくは、「[クラウドからのサーバーのトラブルシューティング](#)」を参照してください。

サイトのプレーヤーを指定

サイトの録画を再生するために、クラウドプレーヤー、オンプレミスプレーヤー、またはその両方を指定できるようになりました。デフォルトでは、クラウドプレーヤーとオンプレミスプレーヤーの両方が選択されています。

この機能は、Session Recording サーバー 2308 以降で利用できます。

詳しくは、「[サイトのプレーヤーを指定](#)」を参照してください。

解決された問題

- フランスのオペレーティングシステムを搭載した Session Recording サーバーでは、ストレージ消費量とセッションの統計情報を Session Recording 管理ダッシュボードに送信しようとする、常に失敗します。
[SRT-10219]

2023 年 4 月

クラウドクライアントで導入されたデーモン

このリリースでは、Session Recording クラウドクライアントの実行を維持し、正常に実行されていない場合に自動的に修復するデーモンが導入されました。このデーモンは、クラウドクライアントバージョン 7.38.10030.16 以降で使用できます。

アクティビティフィード

[Session Recording 管理ダッシュボード](#)の追加機能として、Session Recording サービスにはアクティビティフィードが導入され、データの表示とデータの視覚化が向上しています。

アクティビティフィードは、過去に発生したイベントやタスクに関する情報を提供します。

詳しくは、「[アクティビティフィード](#)」を参照してください。

メール通知

特定のイベントやタスクに関する通知をメールで受け取るために、メール通知にサブスクライブできるようになりました。

サブスクライブすると、次の場合に通知を受け取ることができます：

- リソース使用状況アラート：リソース使用状況のしきい値を超えた場合
- サーバーの状態の変更：Session Recording サーバーの状態が変化した場合
- ストレージメンテナンスの結果：録画を自動でアーカイブおよび削除するタスクの結果に関するダイジェスト

詳しくは、「[メール通知](#)」を参照してください。

解決された問題

- ターゲットセッションがまだ稼働中である場合、録画を自動でアーカイブおよび削除するタスクは終了します。[SRT-9832]
- Session Recording サービスでポリシーの複数のルールを編集すると、編集が反映されず、「**Policy adding failed** (ポリシーの追加に失敗しました)」というエラーが Web ブラウザーコンソールに記録されます。[SRT-9754]
- 日本語の名前のポリシー規則を編集しようとすると失敗します。[SRT-9675]

2023 年 2 月

クラウドクライアントをアップグレードするスケジュール設定をサポート

以前は、Session Recording クラウドクライアントは、新しいリリースが発行されるたびに自動的にアップグレードされていました。このリリース以降、Session Recording クラウドクライアントをすぐにアップグレードしたり、自動アップグレードをスケジュールしたりすることができます。詳しくは、「[クラウドクライアントをアップグレードするスケジュール設定](#)」を参照してください。

クラウドクライアントの機能強化

バージョン 7.37.9010.3 では、Session Recording クラウドクライアントが強化されました。このバージョンのクラウドクライアントは、REST API 要求とファイルストリーミング要求を直接処理します。これにより、次の利点と変更が発生します：

- 以前は、Session Recording サーバーがクラウドで適切に動作するようにするには、SSL 証明書をインストールし、IIS で証明書バインディングを追加する必要がありました。クラウドクライアントのバージョン 7.37.9010.3 以降は、Session Recording サーバーのローカル証明書に依存せず、**CUSTOMDOMAIN** パラメーターをサポートしません。

詳しくは、「[既存の Session Recording サーバーのクラウドへの接続](#)」または「[クラウド内からの Session Recording サーバーのインストール](#)」を参照してください。

- クラウドクライアントのバージョン 7.37.9010.3 以降では、クラウドプレーヤーのみを使用する場合、IIS での Web ストリーミングサービスを構成する必要がなくなります。
- ****/WebSocketServer**** から Web 構成ファイル(****Web.config****)を削除し、転送パケットサイズを設定する代わりにレジストリを使用します。レジストリキーは ****HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\SessionRecord** にあります。詳しくは、「[\[転送パケットサイズを増やす\]\(/ja-jp/session-recording/service/get-started/plan-your-deployment.html#increase-the-transport-packet-size\)](#)」を参照してください。
- クラウドクライアントの機能強化により、再生速度が向上し、より優れた再生エクスペリエンスが実現します。

2022 年 12 月

クラウド内からのサーバーのインストール

以前は、既存の Session Recording サーバー以外は Session Recording サービスに接続できませんでした。詳しくは、「[既存の Session Recording サーバーのクラウドへの接続](#)」を参照してください。

今回のリリースより、任意のマシンを Session Recording サービスに接続し、クラウド内からそのマシンに Session Recording サーバーコンポーネントをインストールできるようになりました。インストールが正常に完了すると、マシンは Session Recording サービスに接続された Session Recording サーバーになります。必要な操作:

1. マシンを準備し、そのマシンに Session Recording クラウドクライアントをインストールします。
マシンは自動的に Session Recording サービスに接続され、[サーバー管理] ページの [未割り当てサーバー] リストに表示されます。
2. マシンが [インストールの準備完了] ステータスになっていることを確認し、インストールアイコンをクリックします。インストールウィザードが開きます。
3. ウィザードに従って、Session Recording サーバーコンポーネントをマシンにインストールします。

この新機能により、Citrix Virtual Apps and Desktops のインストーラーや SessionRecordingAdministrationx64.msi ファイルをダウンロードする必要がなくなります。また、ドメイン参加や証明書のバインドのチェックも行われるため、接続後に Session Recording サーバーが機能しなくなる可能性がある問題を防ぎます。

詳しくは、「[クラウド内からの Session Recording サーバーのインストール](#)」を参照してください。

サーバーオンボードのエクスペリエンスの向上

Session Recording サーバーをクラウドに接続するには、クラウドクライアントをサーバーにインストールする必要があります。以前は、この操作を行うにはコマンドを手動で入力する必要がありました。

今回のリリースより、[コマンドの生成] ウィザードが導入され、必要な情報を指定するとコマンドを生成できるようになりました。このウィザードでは、証明書のバインドなどの重要なリマインダーも提供されます。ウィザードを開くには、[サーバー接続ガイド] ページで [コマンドの生成] をクリックするか、Session Recording サービスの [ようこそ] ページで [構成の続行] をクリックしてから [コマンドの生成] をクリックします。

詳しくは、「[既存の Session Recording サーバーのクラウドへの接続](#)」および「[クラウド内からの Session Recording サーバーのインストール](#)」を参照してください。

再生の理由ログ

今回のリリースより、再生の理由ログが導入され、すべての再生ログを集約する [再生ログ] ページが作成されるようになりました。再生の理由ログを有効にすると、ユーザーが録画を再生するたびにダイアログボックスが表示され、ユーザーは再生理由を入力するよう求められます。詳しくは、「[再生ログ](#)」を参照してください。

2022 年 11 月

Session Recording 管理ダッシュボード

Session Recording サービスで、システムに関する情報を得るために役立つ包括的な管理ダッシュボードが導入されました。ダッシュボードでは、以下を含むシステムのさまざまな側面を監視できます：

- サーバーの状態
- ストレージ消費量
- セッションの統計情報
- クライアントデバイス情報

詳しくは、「[Session Recording 管理ダッシュボード](#)」を参照してください。

クラウドクライアントからのトレース収集

Citrix は、オンプレミスの Session Recording サーバーにインストールされているクラウドクライアントからトレースを収集し、そのトレースを使用してトラブルシューティングを行います。

2022 年 9 月

録画の定期的な自動アーカイブおよび削除のサポート

録画を手動でアーカイブおよび削除できるだけでなく、サイトレベルのタスクをスケジュールして、録画を定期的に自動でアーカイブおよび削除できます。詳しくは、「[録画の管理](#)」を参照してください。

録画のアクセス制御

Session Recording サービス内から選択した録画へのアクセスを制限できるようになりました。[再生権限](#)に加えて、この機能でより詳細なアクセス制御ができます。

次のアクセス権限のいずれかが割り当てられた Citrix Cloud 管理者は、録画にアクセス制限を設定できます：

- フルアクセス
- **[Cloud Administrator, All]** の役割
- **[Session Recording-FullAdmin, All]** の役割
- **[Session Recording-PrivilegedPlayerAdmin, All]** の役割
- **[Session Recording-ReadOnlyAdmin, All]** の役割

制限付き録画には、**Session Recording** の読み取り専用管理者 (**[Session Recording-ReadOnlyAdmin, All]** の役割のみが割り当てられた Citrix Cloud 管理者) はアクセスできません。Session Recording の読み取り専用管理者には、[\[制限\]](#) ページにアクセスしたり、ページのアクセス制限を解除したりする権限がありません。詳しくは、「[録画へのアクセス制限の設定](#)」を参照してください。

2022 年 7 月

1912 LTSR のサポート

以前は、Session Recording サービスを使用するには、Session Recording 2203 以降の展開が必要でした。このリリース以降、1912 LTSR の展開で Session Recording サーバーを Session Recording サービスに接続できます。

録画のアーカイブと削除のサポート

Session Recording サービスを使用して、録画をアーカイブおよび削除できるようになりました。録画をアーカイブする場合、元の保存場所とは別の場所に録画ファイルを移動することを選択できます。録画を削除する場合、録画ファイルをデータベースレコードとともに削除することを選択できます。

アーカイブおよび削除操作について詳しくは、「[録画の管理](#)」を参照してください。

2022 年 6 月

Session Recording サービスが Citrix Cloud の南アジア太平洋 (APS) リージョンで利用可能

米国および EU リージョンに加え、Session Recording サービスは、Citrix Cloud の南アジア太平洋 (APS) リージョンでのプロビジョニングにも使用できるようになりました。

サイト間での Session Recording サーバーの負荷分散

複数のサイト間でサーバーの負荷を分散することにより、Session Recording サーバーを管理できるようになりました。サイト内のすべての Session Recording サーバーのポリシーを、一度に作成またはアクティブ化することもできます。詳しくは、「[既存の Session Recording サーバーのクラウドへの接続](#)」、「[Session Recording サーバーの構成](#)」、「[Session Recording ポリシーの構成](#)」を参照してください。

HTTPS 要求のカスタムドメイン名のサポート

Session Recording サーバーは、デフォルトの完全修飾ドメイン名に加えて、SSL 証明書のバインドを追加したカスタムドメイン名を HTTPS 要求に使用できるようになりました。詳しくは、「[既存の Session Recording サーバーのクラウドへの接続](#)」を参照してください。

クラウドからの追加のイベント応答操作の構成に関するサポート

クラウドから、録画されたセッションでログ記録されたイベントに応じた次の操作を指定できるようになりました:

- セッションのロック
- セッションのログオフ
- セッションの切断

この機能は、Session Recording 2206 以降で使用できます。詳しくは、「[イベント応答ポリシーの構成](#)」を参照してください。

2022 年 4 月

Session Recording サービスが Citrix Cloud の EU リージョンで利用可能

米国リージョンに加えて、Session Recording サービスは現在、Citrix Cloud の EU リージョンでもプロビジョニングに使用できます。

管理者ログデータが **Session Recording** サービスで利用可能

Session Recording サービスは、Session Recording サーバー 2204 以降の管理者ログデータを表示します。データには、管理者アクティビティのログと、録画をトリガーする適用可能なポリシーのログが含まれています。詳しくは、「[管理者ログデータの照会](#)」を参照してください。

再生権限の構成のサポート

デフォルトでは、Session Recording の役割を持つすべての Citrix Cloud 管理者は、すべての録画を再生する権限を持っています。Session Recording の読み取り専用管理者が対象の Session Recording サーバーで特定の録画のみを再生できるように、再生権限を制限できるようになりました。詳しくは、「[再生権限の構成](#)」を参照してください。

サードパーティ製品についての通知

April 28, 2022

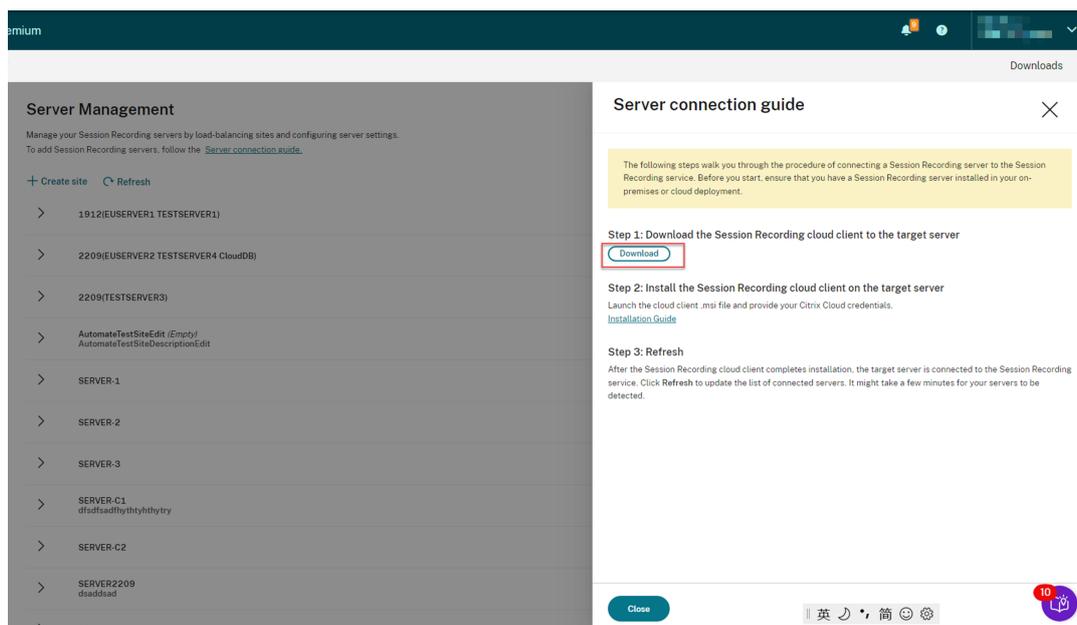
Session Recording サービスには、次のドキュメントで定義された条件の下でライセンスが有効になったサードパーティのソフトウェアが含まれている可能性があります：

[Session Recording サービスのサードパーティ製品についての通知](#)

既知の問題

May 22, 2024

- Session Recording サーバーがメンテナンス状態のままになることがあります。この問題は、Session Recording サーバーにインストールした Session Recording クラウドクライアントが、新しいリリースで更新されなかった場合に発生します。回避策として、次の手順を実行します：
 1. クラウドクライアントパッケージ (`SRCloudClientService.msi`) を Session Recording サーバーから削除します。
 2. 新しいクラウドクライアントパッケージを Session Recording サーバーにダウンロードします。パッケージをダウンロードするには、[構成] > [サーバー管理] > [サーバー接続ガイド] に移動してから [ダウンロード] をクリックします。



3. 次のようなコマンドを使用して、Session Recording クラウドクライアントをインストールします：

```
1 msiexec /i SRCloudClientService.msi CUSTOMERID="<Citrix Cloud customer ID>" CLIENTID="<secure client ID>" CLIENTSECRET="<secure client secret>" CUSTOMDOMAIN="<a custom domain name of the Session Recording server>" PROXYMODE="<set the value to 1 or 2>" PROXYSERVER="<http://proxy.example.com: proxy_port_number>" PROXYSCRIPT="<script address>" PROXYBYPASS="<entries separated by semicolons (;)>" /l*v "<log path>" /qn+
2 <!--NeedCopy-->
```

注：

クラウドクライアントのバージョン 7.37.9010.3 以降は、Session Recording サーバーのローカル証明書に依存せず、**CUSTOMDOMAIN** パラメーターをサポートしません。

コマンドの変数について詳しくは、「[既存の Session Recording サーバーのクラウドへの接続](#)」を参照してください。

開始

August 4, 2023

このセクションでは、以下を実行する手順を説明します：

- [展開計画](#)

- 接続の要件
 - 転送パケットサイズを増やす
 - IIS に証明書をインストール
 - Web ストリーミングサービスバージョン 2.0 への切り替え
- 既存の Session Recording サーバーのクラウドへの接続
 - クラウド内からの Session Recording サーバーのインストール
 - クラウドクライアントをアップグレードするスケジュール設定

展開計画

May 22, 2024

接続の要件

Session Recording クラウドクライアント

Session Recording クラウドクライアントには、次のアドレスへのアクセスが必要です：

- https://*.citrixworkspacesapi.net (サービスが使用する Citrix Cloud API へのアクセスを提供します)
- https://*.cloud.com (Citrix Cloud サインインインターフェイスへのアクセスを提供します)
- https://*.blob.core.windows.net (Session Recording クラウドクライアントの更新を格納する Azure Blob Storage へのアクセスを提供します)

ポート

クラウドクライアントのバージョン 7.40.13020.11 以降では、通信用に開く必要があるポートは 1 つのみ (TCP ポート 443) です：

接続元	接続先	種類	ポート	詳細
各 Session Recording サーバー上の Session Recording クラウドクライアント	Citrix Cloud と Microsoft Azure	TCP (HTTPS、Websocket)	443	Citrix Cloud と Microsoft Azure の通信。

バージョン 7.40.13020.11 より前のクラウドクライアントでは、さらに多くのポートを開く必要があります：

接続元	接続先	種類	ポート	詳細
各 Session Recording サーバ ー上の Session Recording クラウドクライアント	Citrix Cloud と Microsoft Azure	TCP (HTTPS)	80、443	Citrix Cloud と Microsoft Azure の通信。
各 Session Recording サーバ ー上の Session Recording クラウドクライアント	Session Recording サービス	TCP (Websocket)	8088、9090~9094	Session Recording クラウドクライアントと Session Recording サービス間の WebSocket 接続

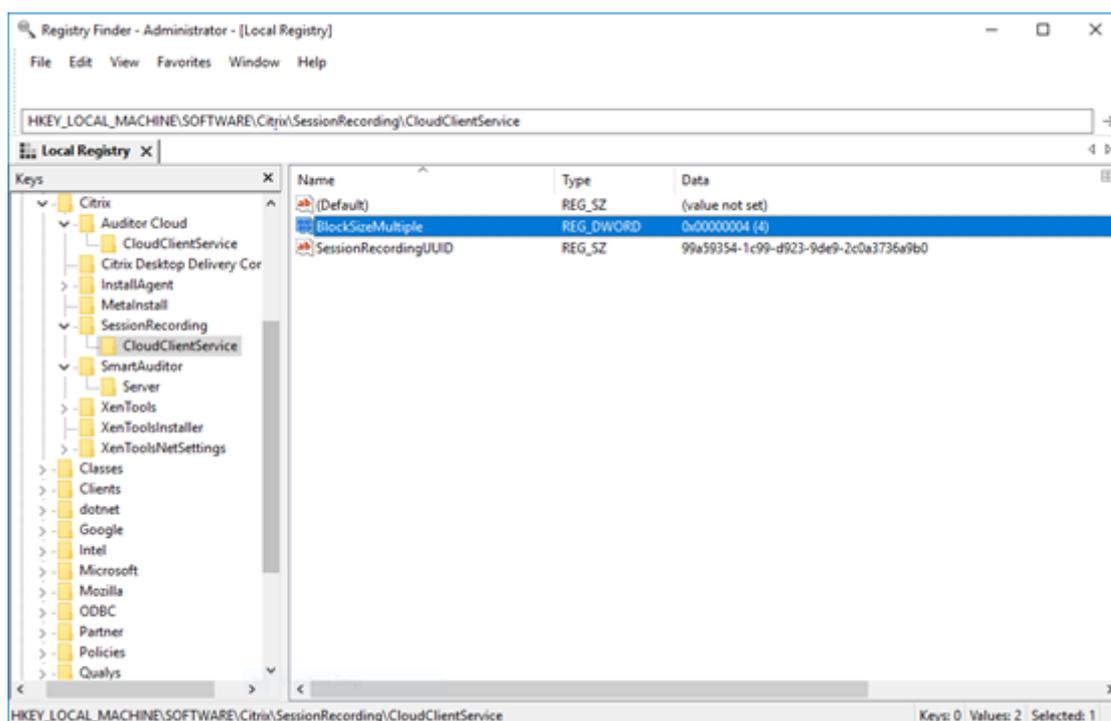
プロキシ

Session Recording クラウドクライアントをインストールするときにプロキシを設定できます。詳しくは、「[既存の Session Recording サーバのクラウドへの接続](#)」を参照してください。

転送パケットサイズを増やす

1. クラウドクライアントをインストールした Session Recording サーバで、**HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix** に移動します。
2. **BlockSizeMultiple** 値を編集します。

デフォルト値は 4 (16KB) です。値を 8 (32KB) に設定することをお勧めします。



IIS に証明書をインストール

注:

バージョン 7.37.9010.3 以降のクラウドクライアントを使用していて、クラウドプレーヤーのみを使用する場合は、この手順を省略できます。

IIS に SSL バインドを追加することで、以下が可能になります:

- Session Recording サーバーは、Citrix Cloud に正しく接続できます。
- HTTPS を使用して Player にアクセスできます。

詳しくは、「[HTTPS 構成](#)」の手順 1 を参照してください。

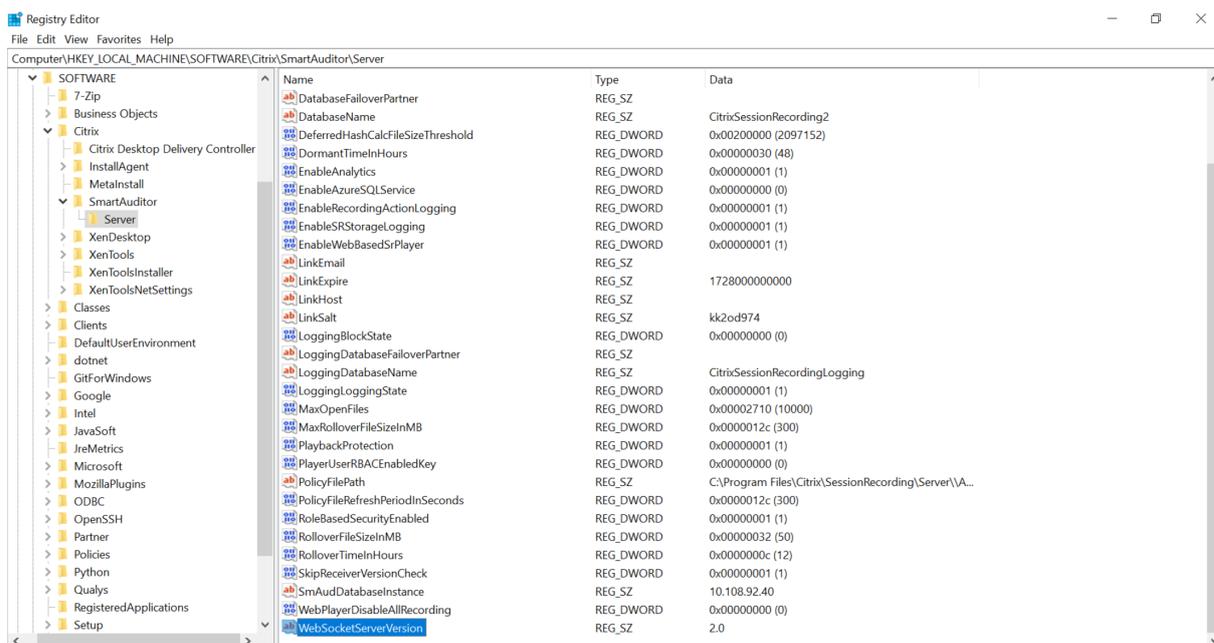
Web ストリーミングサービスバージョン 2.0 への切り替え

注:

バージョン 7.37.9010.3 以降のクラウドクライアントを使用していて、クラウドプレーヤーのみを使用する場合は、この手順を省略できます。

Session Recording 2103 以降を新規インストールすると、Player にアクセスしたとき、IIS でホストされている Web ストリーミングサービスに Web ブラウザーが接続されます。HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\SmartAuditor\ServerのWebSocketServerVersionで示されているように、IIS でホストされている Web ストリーミングサービスのバージョンは 2.0 です。

Session Recording サービス



以前のバージョンから Session Recording 2103 以降にアップグレードインストールすると、Web ブラウザーが Python ベースの Web ストリーミングサービス (バージョン 1.0) に接続されます。IIS でホストされている Web ストリーミングサービスに接続するには、<Session Recording Server installation path>\Bin\SsRecUtils.exe -enablestreamingservice コマンドを実行します。

既存の Session Recording サーバーのクラウドへの接続

May 22, 2024

1912 LTSR、2203、またはそれ以降の展開で Session Recording サーバーを Session Recording サービスに接続できます。

接続する各サーバーで以下の手順に進む前に、Session Recording サーバーの接続に関するビデオをご覧ください：



注:

2023年7月より、MicrosoftはAzure Active Directory (Azure AD) の名前をMicrosoft Entra IDに変更しました。このドキュメントでは、Azure Active Directory、Azure AD、またはAADへの言及はすべて、Microsoft Entra IDを意味することになります。

手順

既存のSession RecordingサーバーをSession Recordingサービスに接続するには、サーバーで次の手順を実行します:

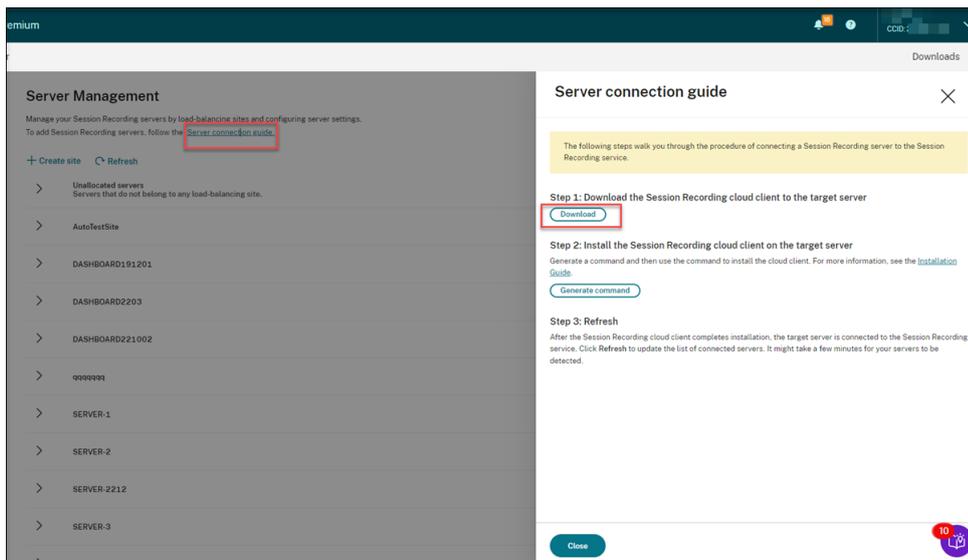
1. クラウドクライアントのバージョンに基づいて送信ポートを許可します。
 - クラウドクライアントのバージョン7.40.13020.11以降を使用している場合は、送信ポート443のみを許可します。
 - バージョン7.40.13020.11より前のクラウドクライアントを使用している場合は、送信ポート80、443、8088、および9090~9094を許可します。
2. Session Recordingクラウドクライアントをダウンロードしてインストールします。Session Recordingクラウドクライアントのインストールが完了すると、ターゲットサーバーはSession Recordingサービスに接続されます。

注:

クラウドクライアントの実行状態を維持するデーモンは、クラウドクライアントのバージョン7.38.10030.16以降で使用できます。デーモンは、クラウドクライアントが異常な動作をした場合に自

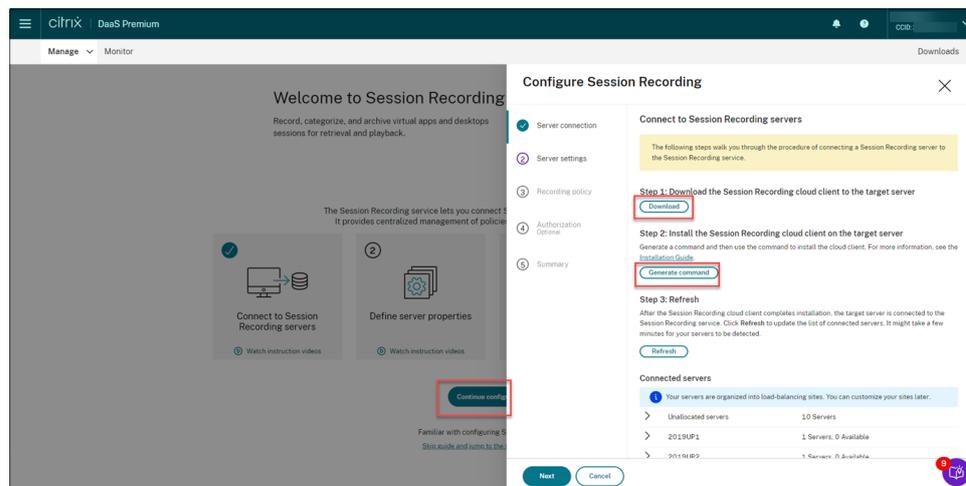
動的に修正します。

- Citrix Cloud にサインインします。
- 左上のメニューで、[マイサービス] > [DaaS] を選択します。
- [管理] から [Session Recording] を選択します。
- Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択します。
- [サーバー接続ガイド] ページで [ダウンロード] をクリックします。



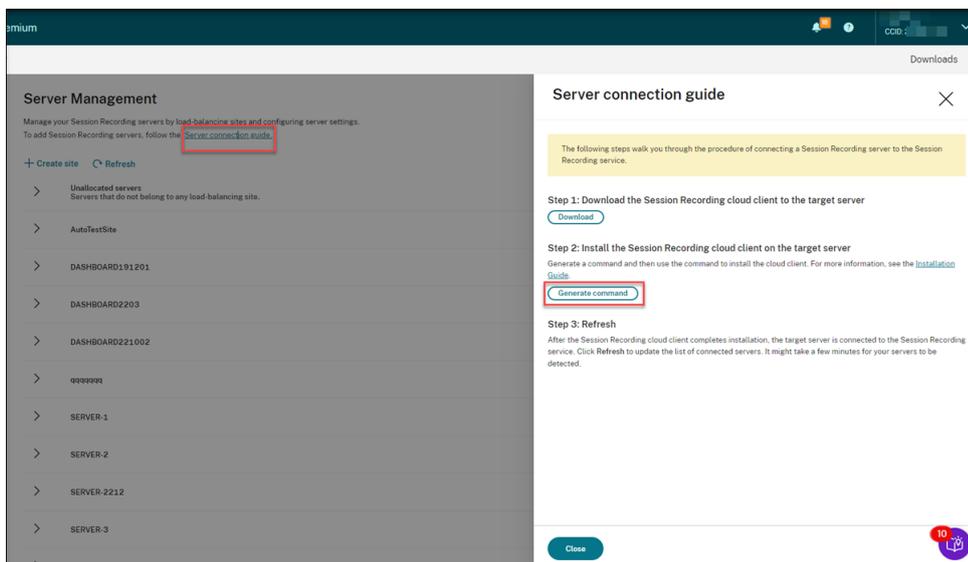
ヒント:

- Azure AD グループを通じて追加された管理者は、クラウドクライアントインストールの [コマンドの生成] ボタンを使用できません。
- [ダウンロード] ボタンと [コマンドの生成] ボタンには、Session Recording サービスの [ようこそ] ページで [構成の続行] をクリックしてもアクセスできます:

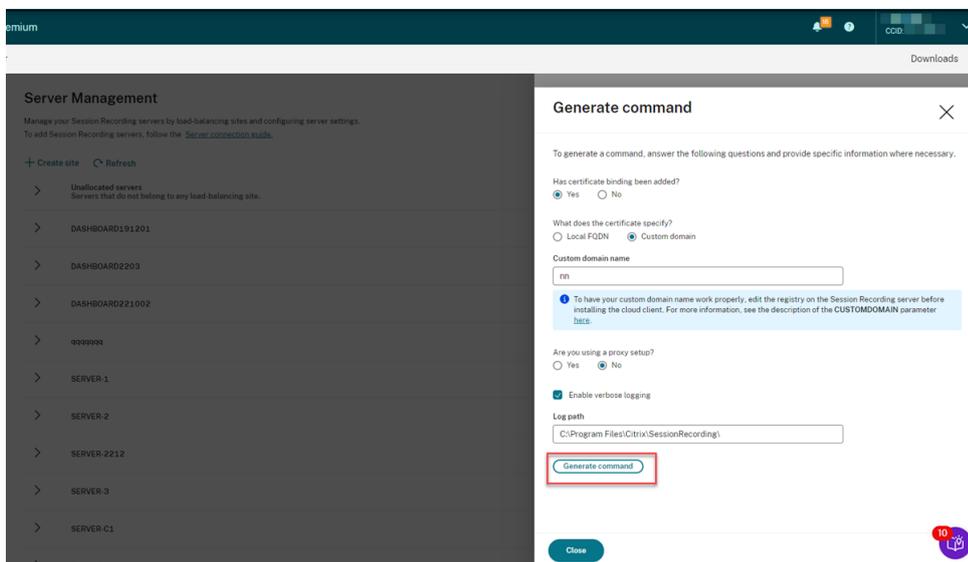


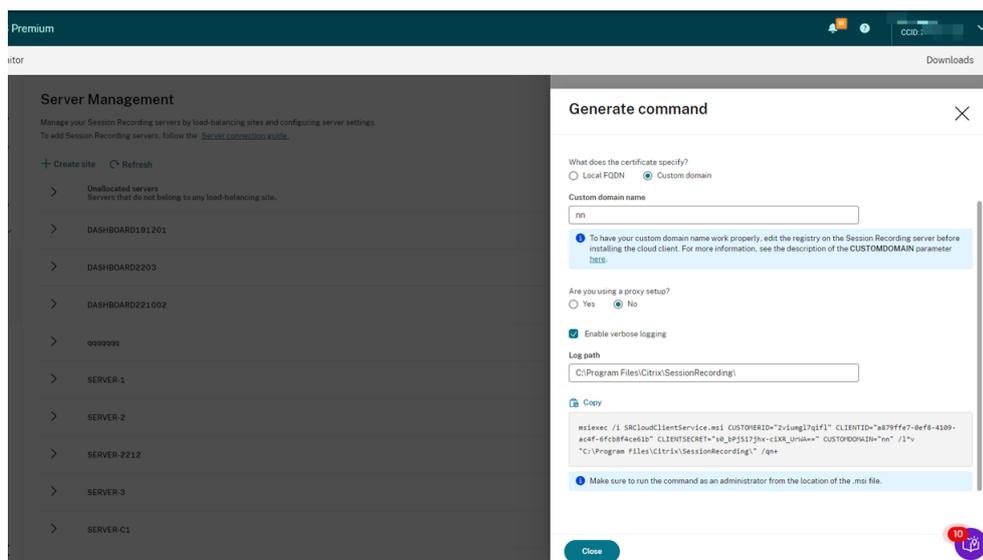
- f) クラウドクライアントを Session Recording サーバーにインストールします。これを行うには、以前にダウンロードしたクラウドクライアントの.msi ファイルの場所から管理者としてコマンドを実行します。

コマンドを手動で入力するか、[サーバー接続ガイド] ページの [コマンドの生成] をクリックしてコマンドを生成します。



[コマンドの生成] ページで、質問に回答し、必要に応じて情報を入力します。その後、[コマンドの生成] ボタンをクリックします。





[コマンドの生成] ボタンをクリックした後で回答を変更したり、別の情報を入力したりすると、生成されたコマンドはそれに応じて自動的に更新されます。[コマンドの生成] ボタンは、一度サインアウトして Citrix Cloud に再度サインインすると、再び使用可能になります。

コマンドは次のようになります：

```
1 msiexec /i SRCloudClientService.msi CUSTOMERID="<Citrix Cloud customer ID>" CLIENTID="<secure client ID>" CLIENTSECRET="<secure client secret>" CUSTOMDOMAIN="<a custom domain name of the Session Recording server>" PROXYMODE="<set the value to 1 or 2>" PROXYSERVER="<http://proxy.example.com: proxy_port_number>" PROXYSCRIPT="<script address>" PROXYBYPASS="<entries separated by semicolons (;)>" /l*v "<log path>" /qn+
2 <!--NeedCopy-->
```

各項目の意味は次のとおりです：

- **SRCloudClientService.msi** は、Citrix Cloud との通信を可能にする Session Recording クラウドクライアントをインストールします。接続する各 Session Recording サーバーに.msi ファイルをダウンロードまたはコピーします。

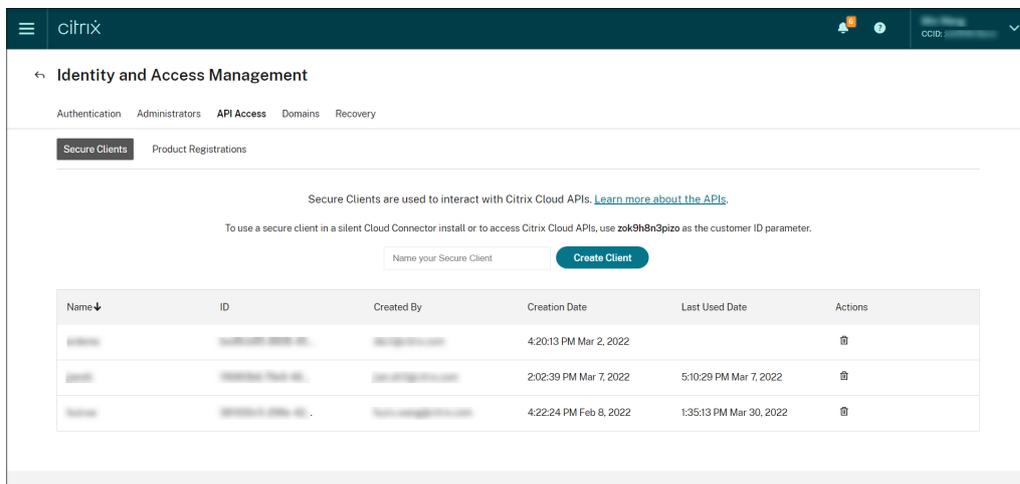
注：

クラウドクライアントサービス(CitrixSsRecCloudClientService)を停止した後、Session Recording サーバーの状態が [オフライン] に変わらないことがあります。詳しくは、「[Session Recording サーバーの構成](#)」を参照してください。

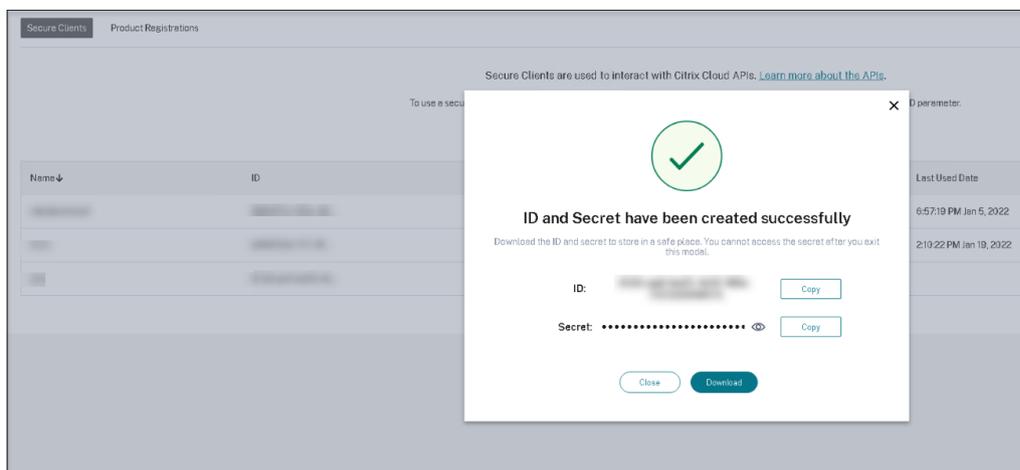
Citrix は、オンプレミスの Session Recording サーバーにインストールされているクラウドクライアントからトレースを収集し、そのトレースを使用してトラブルシューティングを行います。

- **CUSTOMERID** は必須パラメーターです。Citrix Cloud の顧客 ID は、Citrix Cloud コンソール

の右上隅に表示されます。[セキュアクライアント] タブ ([ID およびアクセス管理] > [API アクセス] > [セキュアクライアント]) にも表示されます。例として、以下のスクリーンショットを参照してください：



- **CLIENTID** は必須パラメーターです。セキュアクライアント ID は、セキュアクライアントの作成時に自動的に生成される汎用一意識別子 (UUID: Universally Unique Identifier) です。セキュアクライアントは Citrix Cloud API との通信に使用します。
- **CLIENTSECRET** は必須パラメーターです。セキュアクライアントシークレットは、クライアントの作成時に 1 回だけ表示されます。セキュアクライアントが作成されたら、[ダウンロード] をクリックして、セキュアクライアント ID とセキュアクライアントシークレットの両方をファイルに保存します。



- **CUSTOMDOMAIN** はオプションのパラメーターです。これは、Session Recording サーバーが HTTPS 要求に使用する、SSL 証明書のバインドを追加したカスタムドメイン名を指定します。指定しない場合、デフォルトで完全修飾ドメイン名が使用されます。

注:

クラウドクライアントのバージョン 7.37.9010.3 以降は、Session Recording サーバーのローカル証明書に依存せず、**CUSTOMDOMAIN** パラメーターをサポートしません。

- カスタムドメイン名を適切に機能させるには、Session Recording クラウドクライアントをインストールする前に次のいずれかの方法を使用します:

方法 1 (推奨):

- i. Session Recording サーバーをインストールしたマシンで、レジストリエディターを開きます。
- ii. 次のレジストリキーを検索します:
`HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Lsa\MSV1_0`
- iii. **MSV1_0** を右クリックして、複数行文字列値を作成します。
- iv. 値の名前を **BackConnectionHostNames** に設定し、値のデータにカスタムドメイン名を含めます。

注:

カスタムドメイン名は別の行に入力してください。

BackConnectionHostNames レジストリ値が種類 **REG_DWORD** として存在する場合、削除して複数行文字列値を再作成します。

- v. レジストリエディターを終了します。
- vi. マシンを再起動してください。

方法 2:

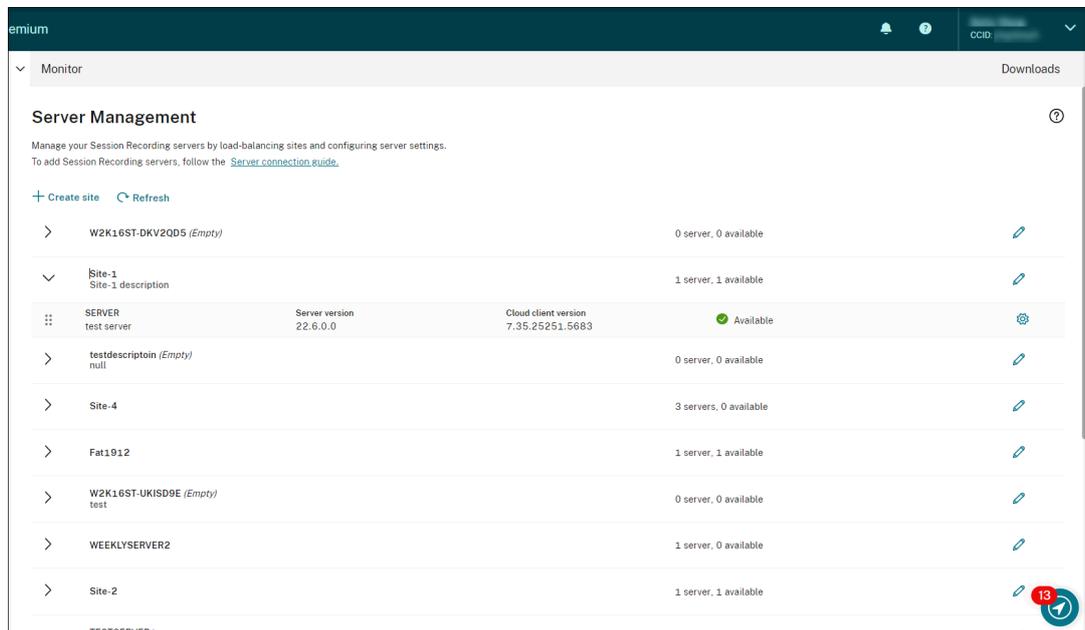
注:

この方法では、認証ループバックチェックが無効になるため、セキュリティの安全性が低くなります。

- i. Session Recording サーバーをインストールしたマシンで、レジストリエディターを開きます。
- ii. 次のレジストリキーを検索します:
`HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Lsa`
- iii. **Lsa** を右クリックし、DWORD 値を作成します。
- iv. 値の名前を **DisableLoopbackCheck** に設定し、値のデータを 1 に設定します。
- v. レジストリエディターを終了します。
- vi. マシンを再起動してください。

- **PROXYMODE** はオプションのパラメーターです。値を 1 または 2 に設定して、Session Recording サービスの手動または自動のプロキシ設定をそれぞれ有効にします。パラメーターを指定しないと、デフォルト値は 0 になります。これは、プロキシが無効になっていることを意味します。
- **PROXYSERVER** はオプションのパラメーターです。ただし、**PROXYMODE** を 1 に設定した場合は、このパラメーターが必須になります。プロキシサーバー名または IP アドレスおよびプロキシポート番号を指定します。例: http://proxy.example.com:proxy_port_number。
- **PROXYSCRIPT** はオプションのパラメーターです。プロキシスクリプトアドレスを指定します。例: <https://node-cluster143516-swg.ibosscloud.com/95rc2MBacUpwBGI/v2/proxy.pac>。パラメーターを指定しないと、プロキシの自動検出が有効になります。
- **PROXYBYPASS** はオプションのパラメーターです。指定したエントリで始まる、セミコロン (;) で区切られたアドレスを除いて、プロキシサーバーを使用します。
- **/l*v** はオプションのパラメーターです。これにより詳細モードでログが記録されます。
- **/qn+** は必須パラメーターです。これは、最後にユーザープロンプトを表示するサイレントインストールを指定します。

Session Recording クラウドクライアントのインストールが完了すると、ターゲットサーバーは Session Recording サービスに接続されます。[サーバー管理] ページの [更新] をクリックして、接続されているサーバーの一覧を更新します。サーバーが検出されるまでに数分かかる場合があります。



サーバー管理

複数のサイト間でサーバーの負荷を分散することにより、Session Recording サーバーを管理できます。サイトには、同じ Session Recording データベースに接続する複数の Session Recording サーバーを含めることができま

す。

Session Recording サーバーを Session Recording サービスに接続すると、サーバーは同じ Session Recording データベースに接続されているサイトに自動的にグループ化されます。そのようなサイトがない場合、サーバーがサイト自体になり、サイト名はサーバーの名前になります。

サーバー管理では、次の操作を実行できます：

- カスタムの名前と説明を使用してサイトを作成および編集します。
- サイトを展開して、サイト内の Session Recording サーバーにアクセスします。
- Session Recording サーバーを別のサイトにドラッグアンドドロップします。サーバーの設定アイコンをクリックして、サーバーのサイトを変更することもできます。設定アイコンは、使用可能なサーバーにのみ表示されます。
- サーバー設定を構成します。詳しくは、「[Session Recording サーバーの構成](#)」を参照してください。

クラウド内からの **Session Recording** サーバーのインストール

May 22, 2024

[既存の Session Recording サーバーをクラウドに接続](#)できます。クラウド内から Session Recording サーバーを直接インストールすることもできます。

この機能により、Citrix Virtual Apps and Desktops のインストーラーや SessionRecordingAdministrationx64.msi ファイルをダウンロードする必要がなくなります。また、ドメイン参加のチェックも行われるため、接続後に Session Recording サーバーが機能しなくなる可能性がある問題を防ぎます。

この記事では、クラウド内から Session Recording サーバーをインストールするプロセスを順を追って説明し、さらにインストール後の操作のガイダンスも提供します。

注：

2023 年 7 月より、Microsoft は Azure Active Directory (Azure AD) の名前を Microsoft Entra ID に変更しました。このドキュメントでは、Azure Active Directory、Azure AD、または AAD への言及はすべて、Microsoft Entra ID を意味することになります。

インストール手順

クラウド内から Session Recording サーバーをインストールするには、マシンを Session Recording サービスに接続してから、クラウド内から Session Recording サーバーをインストールします。必要な操作：

1. マシンを準備します。
2. クラウドクライアントのバージョンに基づいて送信ポートを許可します。

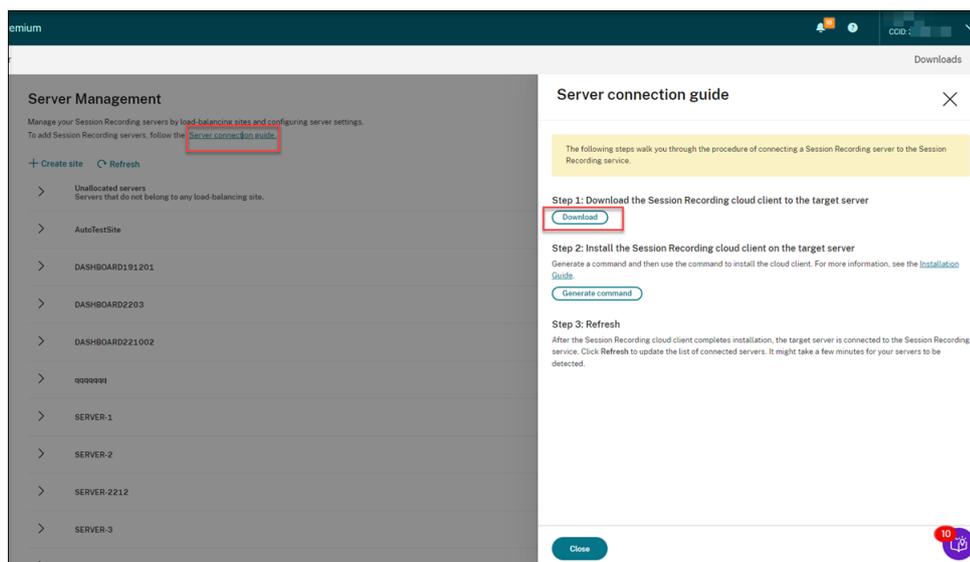
- クラウドクライアントのバージョン 7.40.13020.11 以降を使用している場合は、送信ポート 443 のみを許可します。
- バージョン 7.40.13020.11 より前のクラウドクライアントを使用している場合は、送信ポート 80、443、8088、および 9090~9094 を許可します。

3. マシンに Session Recording クラウドクライアントをダウンロードしてインストールします。

注:

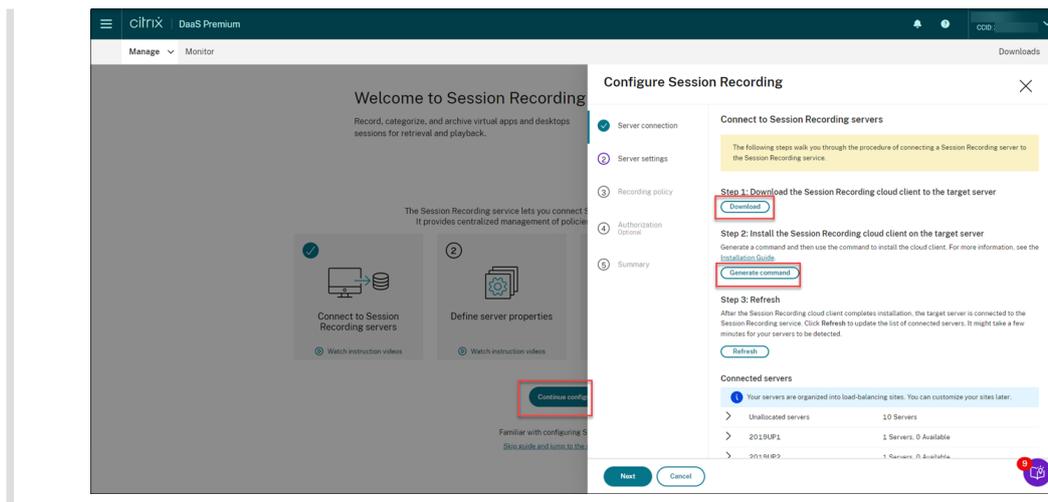
クラウドクライアントの実行状態を維持するデーモンは、クラウドクライアントのバージョン 7.38.10030.16 以降で使用できます。デーモンは、クラウドクライアントが異常な動作をした場合に自動的に修正します。

- a) Citrix Cloud にサインインします。
- b) 左上のメニューで、[マイサービス] > [DaaS] を選択します。
- c) [管理] から [Session Recording] を選択します。
- d) Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択します。
- e) [サーバー接続ガイド] ページで [ダウンロード] をクリックします。



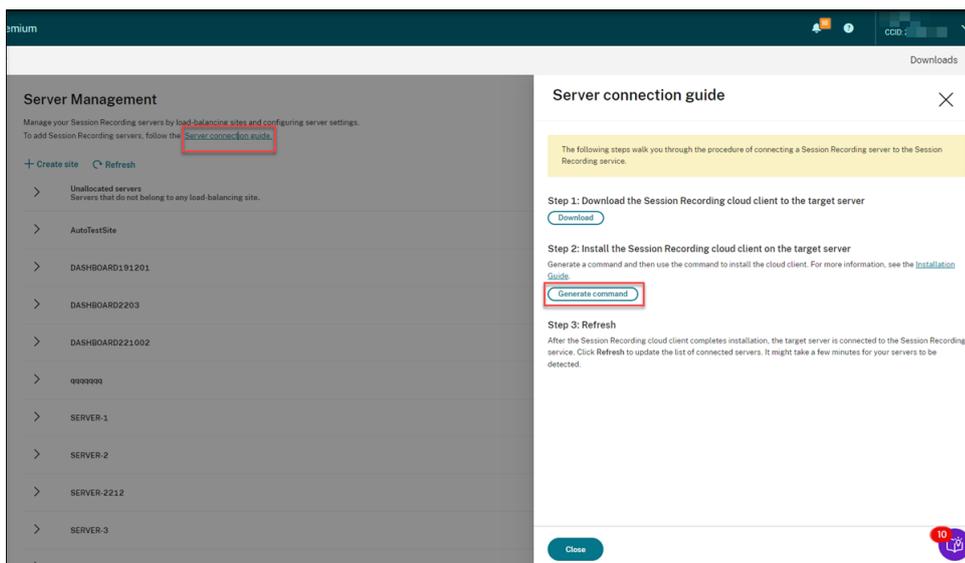
ヒント:

- Azure AD グループを通じて追加された管理者は、クラウドクライアントインストールの [コマンドの生成] ボタンを使用できません。
- [ダウンロード] ボタンと [コマンドの生成] ボタンには、Session Recording サービスの [よろこ] ページで [構成の続行] をクリックしてもアクセスできます:

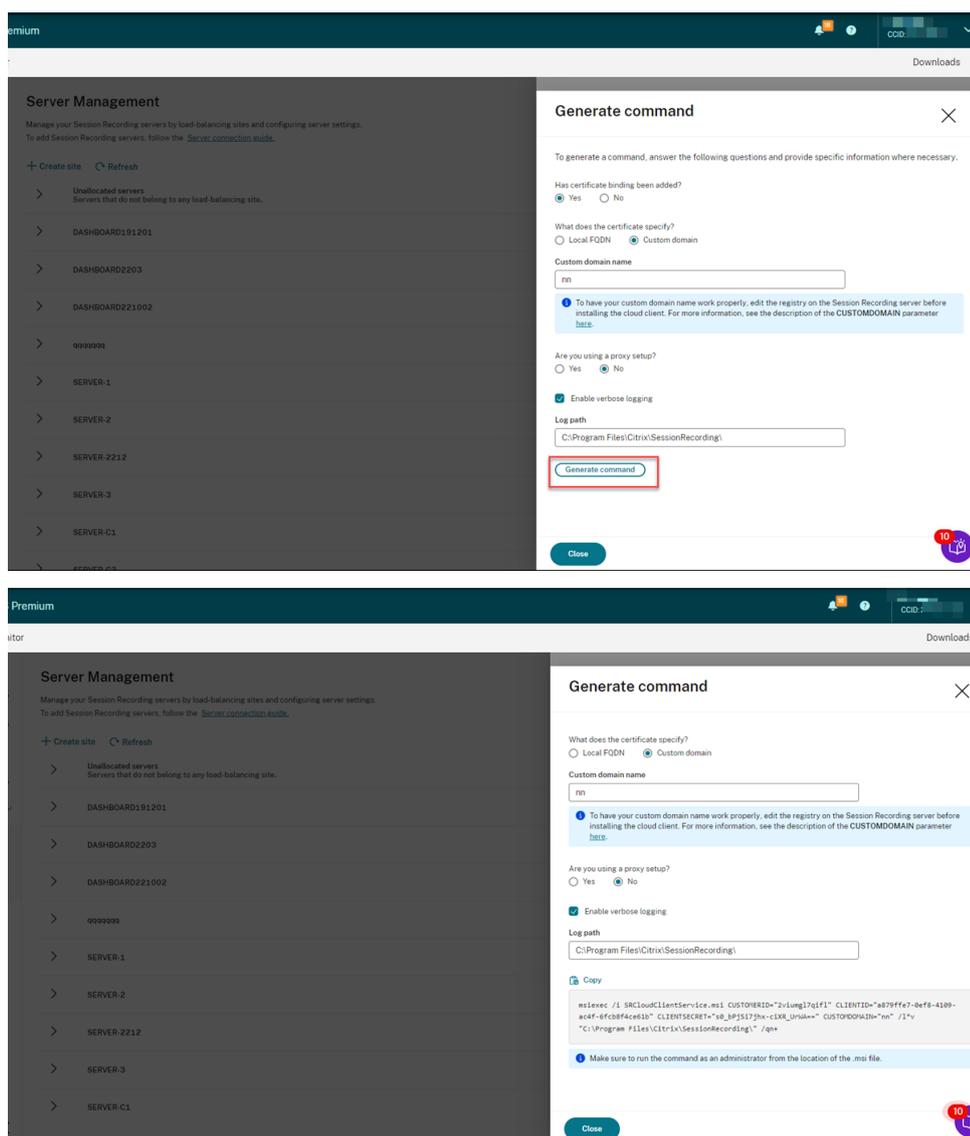


f) マシンにクラウドクライアントをインストールします。これを行うには、以前にダウンロードしたクラウドクライアントの.msi ファイルの場所から管理者としてコマンドを実行します。

コマンドを手動で入力するか、[サーバー接続ガイド] ページの [コマンドの生成] をクリックしてコマンドを生成します。



[コマンドの生成] ページで、質問に回答し、必要に応じて情報を入力します。その後、[コマンドの生成] ボタンをクリックします。



[コマンドの生成] ボタンをクリックした後で回答を変更したり、別の情報を入力したりすると、生成されたコマンドはそれに応じて自動的に更新されます。[コマンドの生成] ボタンは、一度サインアウトして Citrix Cloud に再度サインインすると、再び使用可能になります。

注:

クラウドクライアントのバージョン 7.37.9010.3 以降は、Session Recording サーバーのローカル証明書に依存せず、**CUSTOMDOMAIN** パラメーターをサポートしません。

カスタムドメイン名を適切に機能させるには、**Session Recording** クラウドクライアントをインストールする前に次のいずれかの方法を使用します:

方法 1 (推奨):

- i. マシンで、レジストリエディターを開きます。

- ii. 次のレジストリキーを検索します:

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Lsa\
MSV1_0

- iii. **MSV1_0** を右クリックして、複数行文字列値を作成します。

- iv. 値の名前を **BackConnectionHostNames** に設定し、値のデータにカスタムドメイン名を含めます。

注:

カスタムドメイン名は別の行に入力してください。

BackConnectionHostNames レジストリ値が種類 **REG_DWORD** として存在する場合は、削除して複数行文字列値を再作成します。

- v. レジストリエディターを終了します。

- vi. マシンを再起動してください。

方法 2:

注:

この方法では、認証ループバックチェックが無効になるため、セキュリティのしきい値が低くなります。

- i. マシンで、レジストリエディターを開きます。

- ii. 次のレジストリキーを検索します:

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Lsa

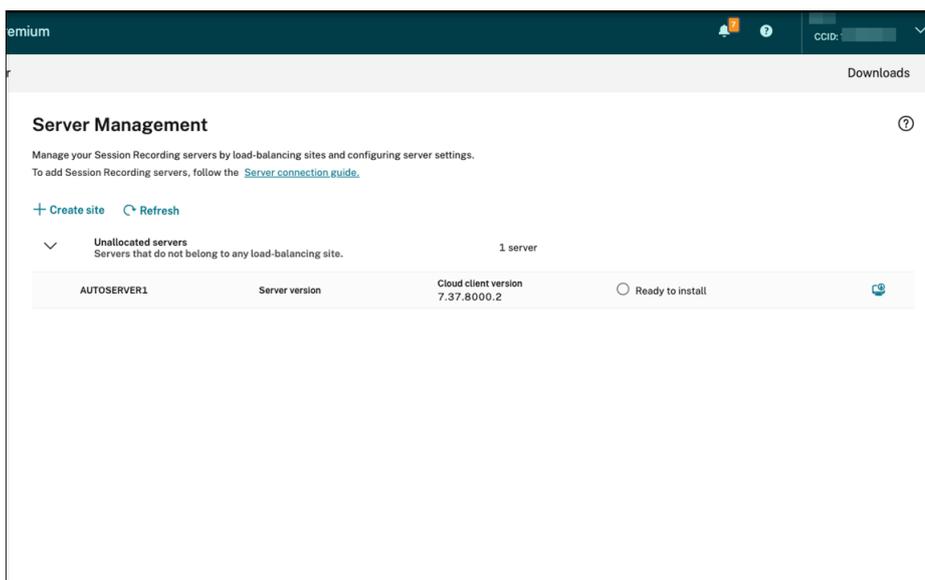
- iii. **Lsa** を右クリックし、DWORD 値を作成します。

- iv. 値の名前を **DisableLoopbackCheck** に設定し、値のデータを 1 に設定します。

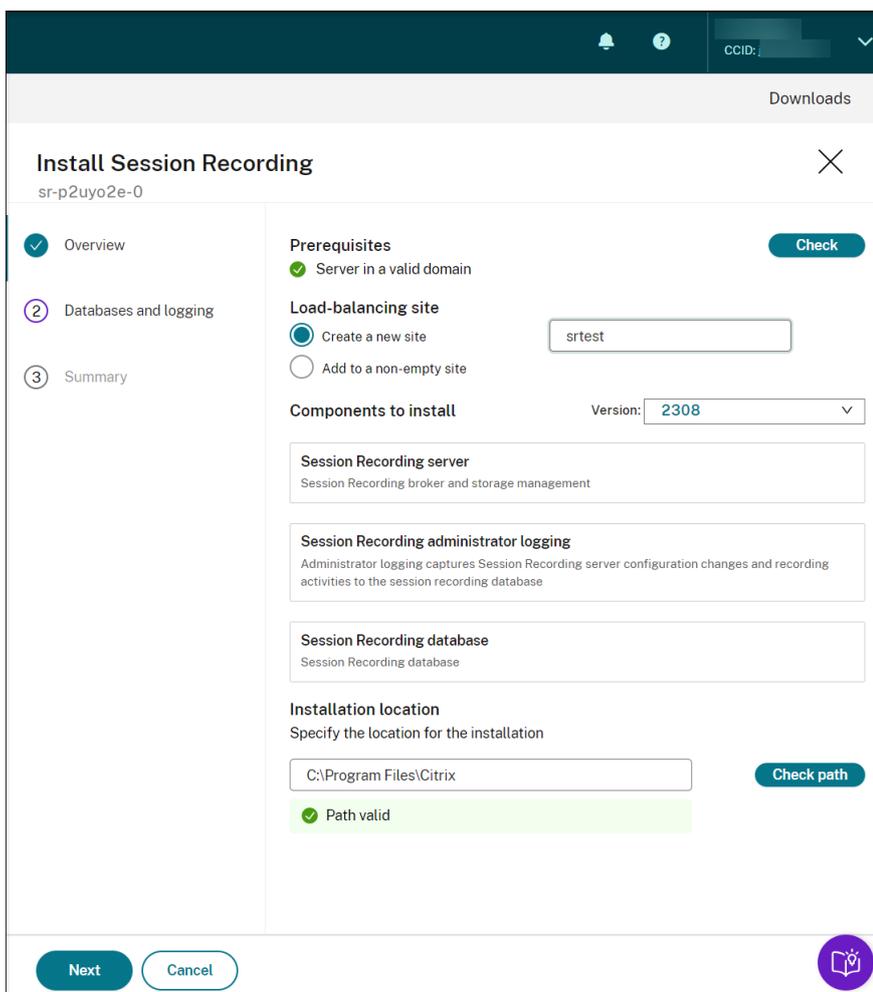
- v. レジストリエディターを終了します。

- vi. マシンを再起動してください。

4. マシンの状態が **[Ready to install]** になっていることを確認し、インストールアイコンをクリックします。



5. ウィザードに従って、Session Recording サーバーコンポーネントをマシンにインストールします。



a) [概要] ページで、次の手順を実行します：

- i. チェックを実行して、マシンが有効なドメインに存在することを確認します。
前提条件チェックは、接続後に Session Recording サーバーが機能しなくなる可能性がある問題を防ぐためのものです。
 - ii. マシン用にサイトを作成するか、既存の空でないサイトにマシンを追加します。
 - iii. インストールするサーバーのバージョンを選択します。
 - iv. インストールパスを指定し、そのパスが有効であることを確認します。
 - v. [次へ] をクリックして、[データベース] ページに進みます。
- b) [データベース] ページで、クラウドデータベースを使用するかどうかを選択し、それに応じてフィールドに入力し、[接続のテスト] をクリックして、Session Recording データベースと管理者ログ データベースへの接続をテストします。

The screenshot shows the 'Install Session Recording' wizard in the 'Databases and logging' step. The interface includes a progress indicator on the left with three steps: Overview (checked), Databases and logging (active), and Summary. The main content area is titled 'Databases' and contains the following elements:

- A checkbox for 'Use cloud database' which is currently unchecked.
- Three text input fields for 'Instance name', 'Session Recording database name', and 'Administrator logging database name', each with a placeholder 'Enter instance name' or 'Enter database name'.
- A 'Test connection' button.
- An 'Administrator logging options' section with two checked checkboxes: 'Enable administrator logging' (with subtext 'Enable or disable the administrator logging service.') and 'Enable mandatory blocking' (with subtext 'Lets you allow or block changes to policies and server properties if logging fails.').

At the bottom, there are 'Next' and 'Back' buttons, and a purple help icon with a red '3' notification bubble.

ヒント:

- 以前に空でない既存のサイトにマシンを割り当てている場合、[データベース] ページのフィールドは自動的に入力されます。

- 次のクラウド SQL データベースサービスで Session Recording データベースを展開できます:
 - Azure SQL Database
 - Azure SQL Managed Instance
 - Azure 仮想マシン (VM) 上の SQL Server
 - AWS RDS
 - Google Cloud SQL Server

Install Session Recording
server1

1 Overview
2 **Databases and logging**
3 Summary

Databases
We will create 2 SQL databases for recording and logging data, respectively. Specify the instance name and customize the database names as needed.

Use cloud database

Database service type
Azure SQL Managed Instance

Instance name
Enter instance name

User name
Enter user name

Password
Enter password

Session Recording database name
Enter database name

Administrator logging database name
Enter database name

Test connection

Administrator logging options
 Enable administrator logging
Enable or disable the administrator logging service.

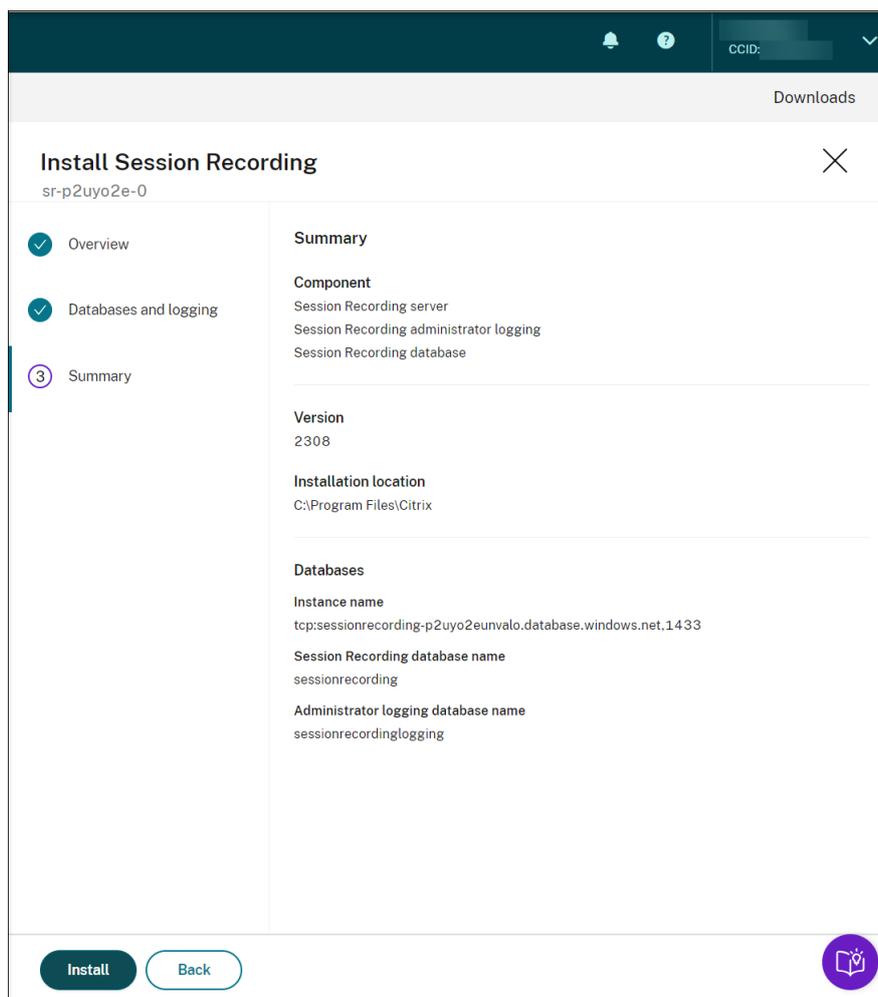
Next Cancel

- インスタンス名: データベースインスタンスが名前付きインスタンスでない場合、SQL Server のコンピューター名のみを使用できます。インスタンスのセットアップ中、名前付きインスタンスがある場合は、データベースインスタンス名として「ドメイン\コンピューター名」を使用します。使用中のサーバーインスタンス名を確認するには、SQL Server で **select @@servername** を実行します。戻り値は、正確なデータベースインスタンス名です。SQL Server がデフォルトポート

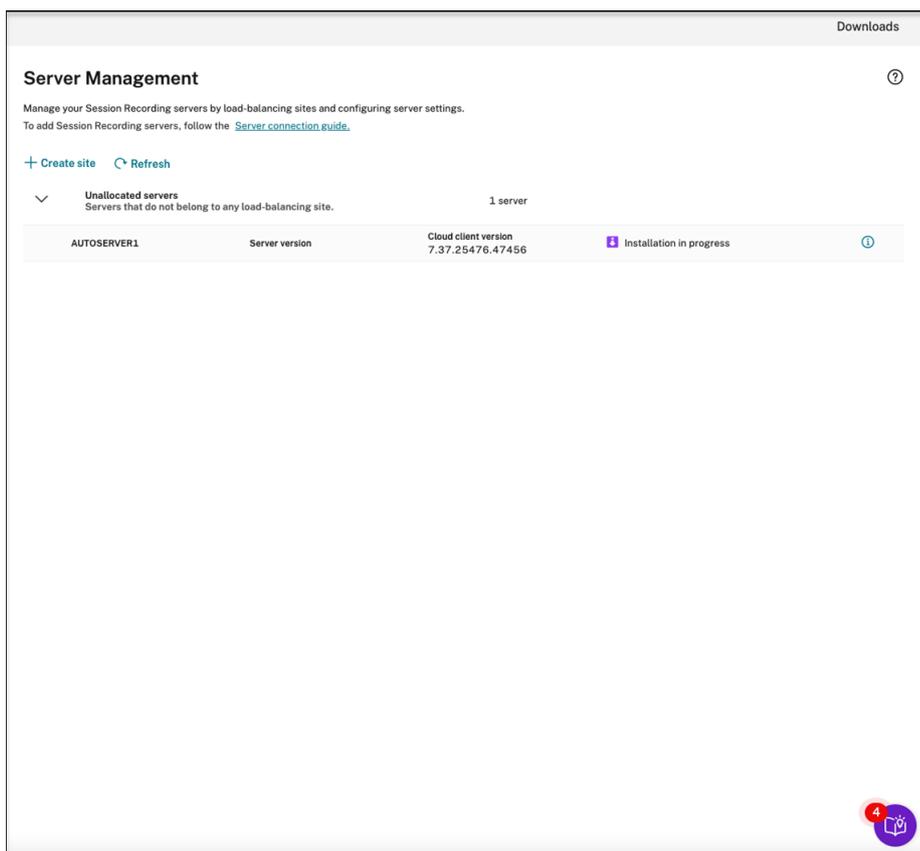
1433 以外のカスタムポートでリスンするように構成されている場合は、インスタンス名にコンマを追加してカスタムリスナーポートを設定します。たとえば、[インスタンス名] テキストボックスで「**DXSBC-SRD-1,2433**」と入力します。コンマの後の「2433」は、カスタムリスナーポートを示します。

- **Session Recording** データベース名: カスタムデータベース名を入力します。マシンには、データベースの **sysadmin** ロール権限が必要です。それ以外の場合は、データベース管理者に権限の割り当てを依頼してください。[接続のテスト] をクリックして、SQL Server インスタンスへの接続とデータベース名の有効性をテストします。
- 管理者ログデータベース名: 管理者ログ データベース名は、Session Recording データベース名とは異なるものにする必要があります。管理者ログデータベース名を入力したら、[接続のテスト] をクリックして管理者ログデータベースへの接続をテストします。
- 管理者ログを有効にする: デフォルトでは、管理者ログ機能は有効になっています。チェックボックスをオフにしてこの機能を無効にできます。
- 強制ブロッキングを有効にする: デフォルトでは強制ブロッキングが有効になっているため、ログが失敗すると通常の機能がブロックされることがあります。チェックボックスをオフにして強制ブロッキング (必須のブロック) を無効にできます。

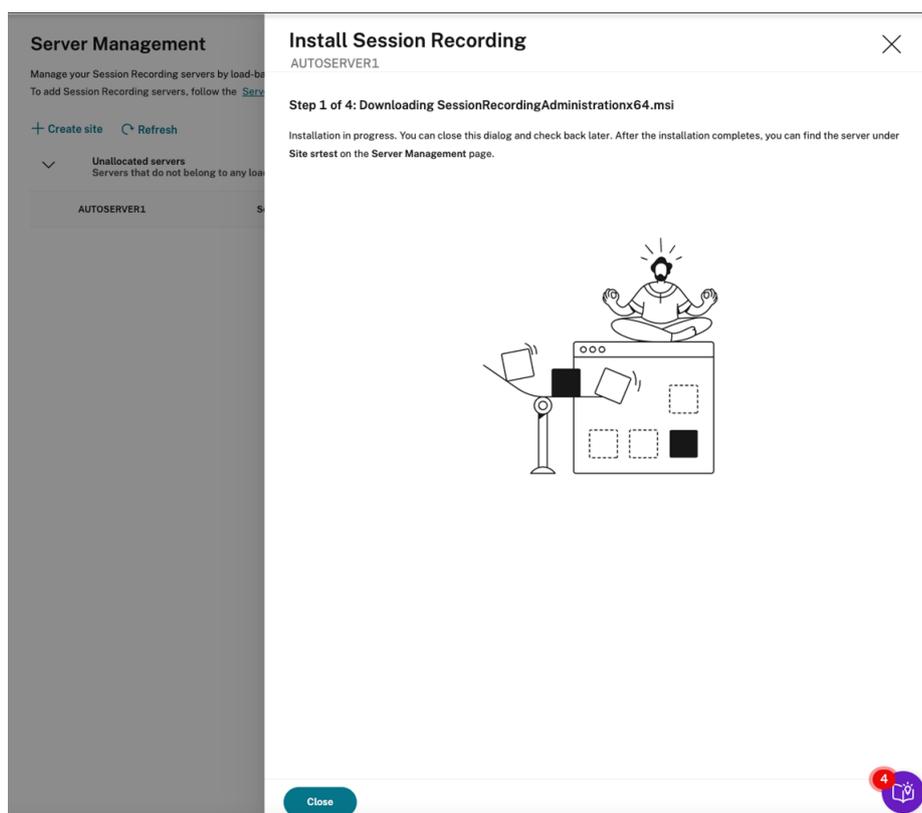
c) [概要] ページで設定を確認して、[インストール] をクリックします。



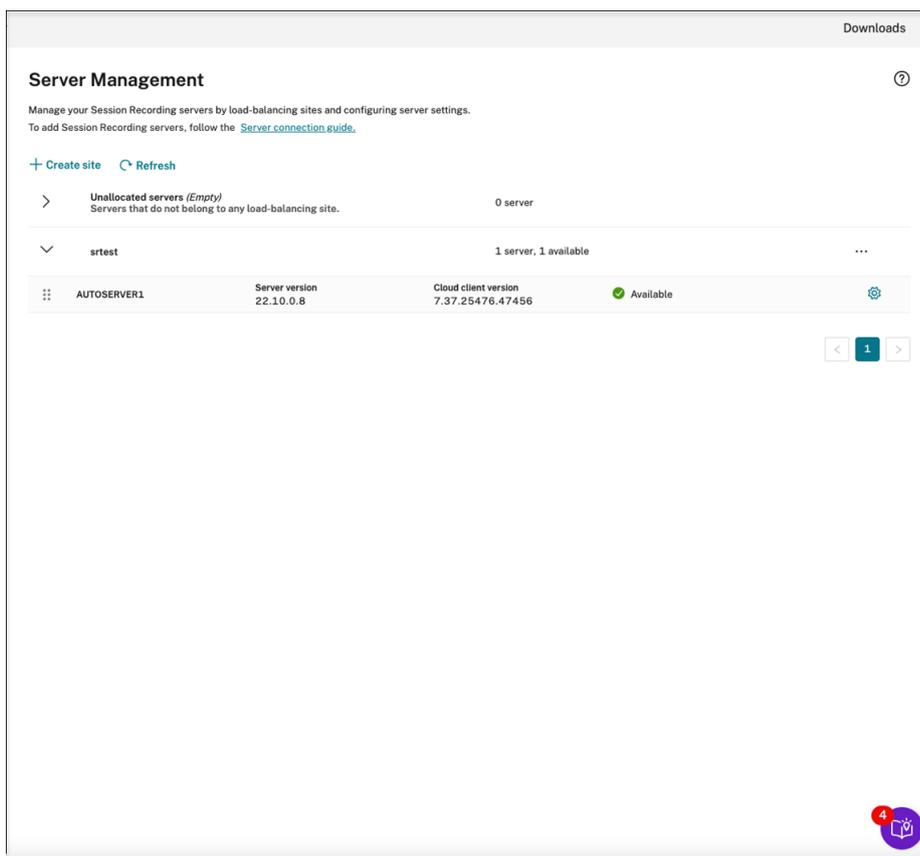
- d) [インストールが進行中です] の横にあるアイコンをクリックして、インストールの進行状況を確認します。



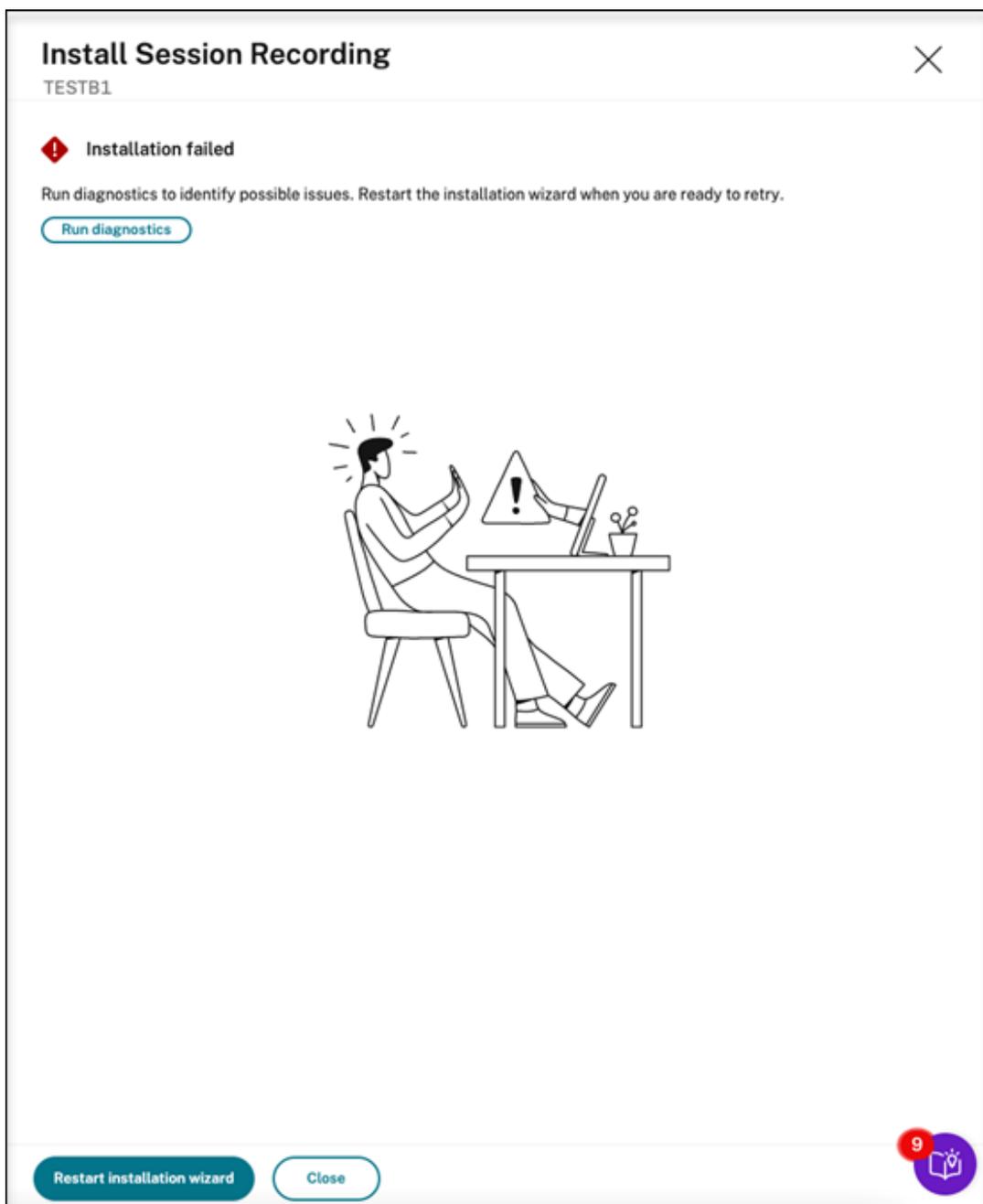
インストールの最初の手順が進行中の場合、このように表示されます。



インストールが正常に完了すると、マシンは Session Recording サービスに接続された Session Recording サーバーになります。サーバーは、作成または指定したサイトで確認できます。[サーバー管理] ページを更新すると、接続されているすべてのサーバーが表示されます。



インストールに失敗した場合は、[インストールに失敗しました] の横にあるアイコンをクリックし、診断を実行して考えられる問題を特定します。問題がある場合は修正し、マシンを再起動してから、インストールウィザードを再度開始します。



インストール後の操作

クラウド内から Session Recording サーバーをインストールしたら、次の操作を実行します：

- 新しくインストールした Session Recording サーバーをターゲットの Session Recording エージェントに接続します。ターゲットの VDA または VDI マシンに移動し、**[Session Recording Agent のプロパティ]** を開きます。Session Recording サーバーをインストールしたマシンのコンピューター名を入力します。Session Recording サーバーとの接続のprotocolsとポート情報を入力します。

- 必要に応じて、[サーバー設定](#)、[ポリシー](#)、[再生権限](#)を構成します。
- セッションを起動して、セッションが録画されていることを確認します。
- [管理者ログ](#)データを表示します。
- Session Recording 管理ダッシュボードに移動して、環境の分析情報を確認します。新規インストールの場合、データはすぐにはダッシュボードに表示されません。

Session Recording リソースをクラウドサブスクリプションに展開する

May 22, 2024

この記事では、Azure サブスクリプションに Session Recording リソースを展開する方法について説明します。

Session Recording サービス内から、次の Session Recording リソースを Azure サブスクリプションに展開できます：

- Session Recording サーバー
- データベース
- ストレージ
- ロードバランサー

Session Recording リソースを Azure サブスクリプションに展開する方法は 2 つあります：

- Azure サブスクリプションに接続するホスト接続を使用します。ホスト接続を作成するには、サブスクリプション情報を提供する必要があります。詳しくは、この記事の後半の「[ホスト接続経由でサイトを作成および展開する](#)」を参照してください。
- サブスクリプション情報を提供したくない場合は、展開する方法とリソースが含まれる **Azure Resource Manager** テンプレート (**ARM** テンプレート) を作成します。詳しくは、この記事の後半の「[ARM テンプレートを使用してサイトを作成および展開する](#)」を参照してください。

ホスト接続経由でサイトを作成および展開する

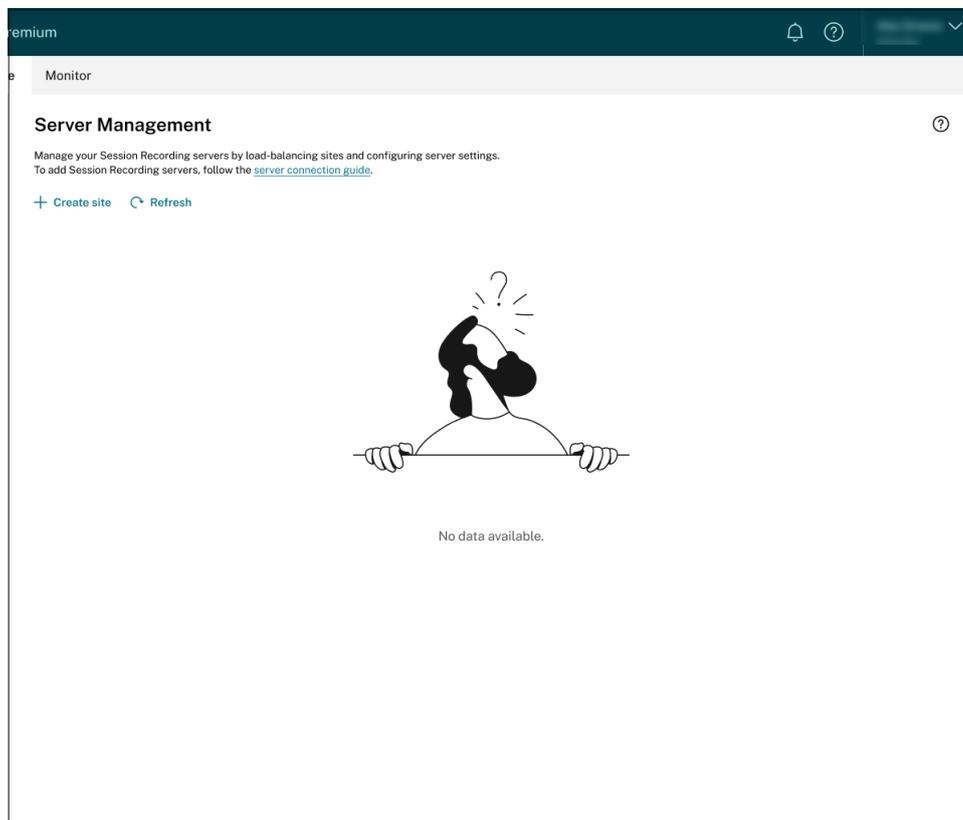
このセクションでは、ホスト接続経由でサイトを作成および展開する手順と、この方法で展開されたサイトで実行できる次の操作について説明します：

- Azure に展開された既存のサイトにリソースを追加する
- ロードバランサーへのアクセスが許可される IP アドレスを変更する
- Azure の使用に必要な実際のコストを表示する

このセクションでは、ホスト接続を追加する手順についても説明します。

ホスト接続経由でサイトを作成および展開する

1. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択します。



2. [サーバー管理] ページで、[サイトの作成] をクリックします。[サイトの作成] ページが開きます。

Create site [Close]

1 Site information

What would you like to do?

- Create an empty site**
Create a site and add servers later.
- Create and deploy a site through a host connection
Deploy Session Recording resources using a host connection that connects to your specific cloud subscription. [Learn more](#)
- Create and deploy a site through an ARM template
Create an Azure Resource Manager template (ARM template) to deploy Session Recording resources in Azure. [Learn more](#)

Site name
Name this site

Description (optional)
Enter description

Save Cancel [Help]

3. [ホスト接続経由でサイトを作成および展開する] を選択します。主な手順は左側のナビゲーションに一覧表示されています。

4. サイト名と説明を入力し、Azure サブスクリプションに接続するホスト接続を選択し、リージョンを指定します。

- ホスト接続がない場合は、この記事の後半の「ホスト接続を追加する」を参照してホスト接続を追加します。
- Azure Government リージョンはサポートされていません。

5. サイト情報を入力したら、[次へ] をクリックして続行します。

6. (オプション) VM およびストレージ構成の推奨事項を取得するには、録画のニーズに関する情報を提供してください。

この手順をスキップするには [この手順をスキップします。] をクリックするか、何も選択せずに [次へ] をクリックします。

Create site

- Site information
- About your deployment** Optional
- Network
- Virtual machines
- Domain and certificate
- Storage
- Databases
- Load balancer
- Tags Optional
- Secure client
- Summary

Tell us about your recording needs, so we can provide some recommendations for your VM and storage configurations.

[I'm good, skip this step.](#)

The following information helps determine the recommended number of Session Recording servers.

How many concurrent sessions do you have at most?

4,000-6,000

Recommended number of servers: 3 [reset](#)

The following information helps determine the recommended storage capacity.

How much visual movement do your sessions typically have?

Some, the display changes but not drastically

How many sessions do you need to record per day?

5,000-10,000

For how long do you need to retain each recording file?

15-30 days

Recommended storage capacity: 30 TiB [reset](#)

[Next](#) [Cancel](#)

ドロップダウンリストからオプションを選択すると、選択に応じた推奨事項が表示されます。[リセット] ボタンは推奨事項の横にあります。このボタンで、そのセクションの選択と対応する推奨事項をクリアできます。

7. Session Recording サーバーが参加する仮想ネットワークとサブネットを指定します。VDA が Session Recording サーバーとは別の仮想ネットワークまたはオンプレミスネットワークに存在する場合は、接続を確立して Session Recording サーバーが VDA と通信できるようにします。

Create site [Close]

✓ Site information

✓ About your deployment
Optional

3 Network

4 Virtual machines

5 Domain and certificate

6 Storage

7 Databases

8 Load balancer

9 Tags
Optional

10 Secure client

11 Summary

Specify the virtual network and subnet for your Session Recording servers to join.

Virtual network

[Dropdown menu]

Select a virtual network that your VDAs can connect to.

Subnet

[Dropdown menu]

Select a subnet that your VDAs can connect to.

Next Cancel [Notification icon: 8]

8. Session Recording サーバーとして仮想マシン（VM）を作成します。

Create site
✕

- ✔ Site information
- ✔ About your deployment
Optional
- ✔ Network
- ④ Virtual machines
- ⑤ Domain and certificate
- ⑥ Storage
- ⑦ Databases
- ⑧ Load balancer
- ⑨ Tags
Optional
- ⑩ Secure client
- ⑪ Summary

Create virtual machines as your Session Recording servers.

Session Recording server version to install:

Image

Size

Number of VMs
 Recommended for you: 3

Estimated cost (per month)
\$812.16

Create an administrator account for the virtual machines.

Administrator account username

Password

Confirm password

Next
Cancel
8

注:

- [仮想マシンの数] フィールドには、推奨される数（設定されている場合）が事前に入力されています。必要に応じて数を変更します。
- コスト見積もりは標準価格に基づいており、割引は考慮されていません。実際のコストは見積もりよりも低いことが予想されます。

9. Session Recording サーバーを VDA と同じドメインに参加させ、Session Recording サーバーの証明書を指定します。

- VDA が Active Directory ドメインに接続する場合は、[**Join servers to an Active Directory domain**] チェックボックスをオンにして、関連情報を入力します。
- VDA が Azure Active Directory (AAD) ドメインに接続する場合は、[**Join servers to an Active Directory domain**] チェックボックスをオフにします。現在のサイトの作成が完了したら、Session Recording サーバーを同じ AAD ドメインに手動で参加させてください。純粋な AAD 展開は、Session Recording 2402 以降でのみ使用できることにご注意ください。

Create site ✕

- Site information
- About your deployment
Optional
- Network
- Virtual machines
- 5 Domain and certificate**
- 6 Storage
- 7 Databases
- 8 Load balancer
- 9 Tags
Optional
- 10 Secure client
- 11 Summary

Join servers to an Active Directory domain

i This should be the domain where your VDAs reside.

Domain name

Domain controller IP address

Username

Specify a domain user with sufficient rights to join machines to the domain.

Password

Specify a certificate for the virtual machines to use. Only .pfx files are supported.

Certificate

Certificate password



Create site

- Site information
- About your deployment
Optional
- Network
- Virtual machines
- 5 Domain and certificate**
- 6 Storage
- 7 Databases
- 8 Load balancer
- 9 Tags
Optional
- 10 Secure client
- 11 Summary

Join servers to an Active Directory domain

Supported only on Session Recording server version 2402 or later. Please select a compatible version in the previous step. [Go back](#)

Specify a certificate for the virtual machines to use. Only .pfx files are supported.

Certificate

[Browse](#)

Certificate password

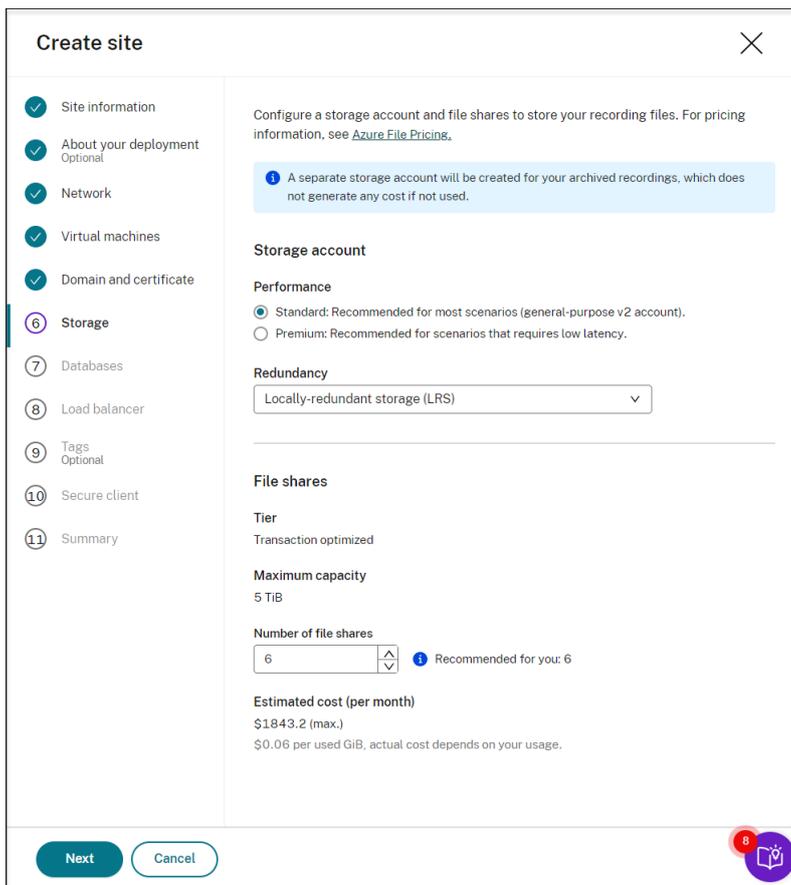
Enter password

[Next](#) [Cancel](#)

注:

2023年7月より、Microsoft は Azure Active Directory (Azure AD) の名前を Microsoft Entra ID に変更しました。このドキュメントでは、Azure Active Directory、Azure AD、または AAD への言及はすべて、Microsoft Entra ID を意味することになります。

- 録画ファイルを保存するために、Azure ストレージアカウントとファイル共有を構成します。価格情報については、「[Azure Files の価格](#)」を参照してください。



11. Azure に 2 つの SQL データベースを作成します。1 つは Session Recording データベース (**session-recording** という名称) として使用され、もう 1 つは管理者ログ データベース (**sessionrecordinglogging** という名称) として使用されます。

Create site [Close]

Site information
About your deployment (Optional)
Network
Virtual machines
Domain and certificate
Storage
7 Databases
8 Load balancer
9 Tags (Optional)
10 Secure client
11 Summary

Create 2 SQL databases for recording and logging data, respectively.

Compute + storage

Service tier
General Purpose

Compute tier
Provisioned

Hardware configuration
Standard-series (Gen5)
Up to 128 vCores, up to 625 GiB memory

vCores
2

Data max size (GiB)
32

Estimated cost (per month)
\$441.3

Database administrator

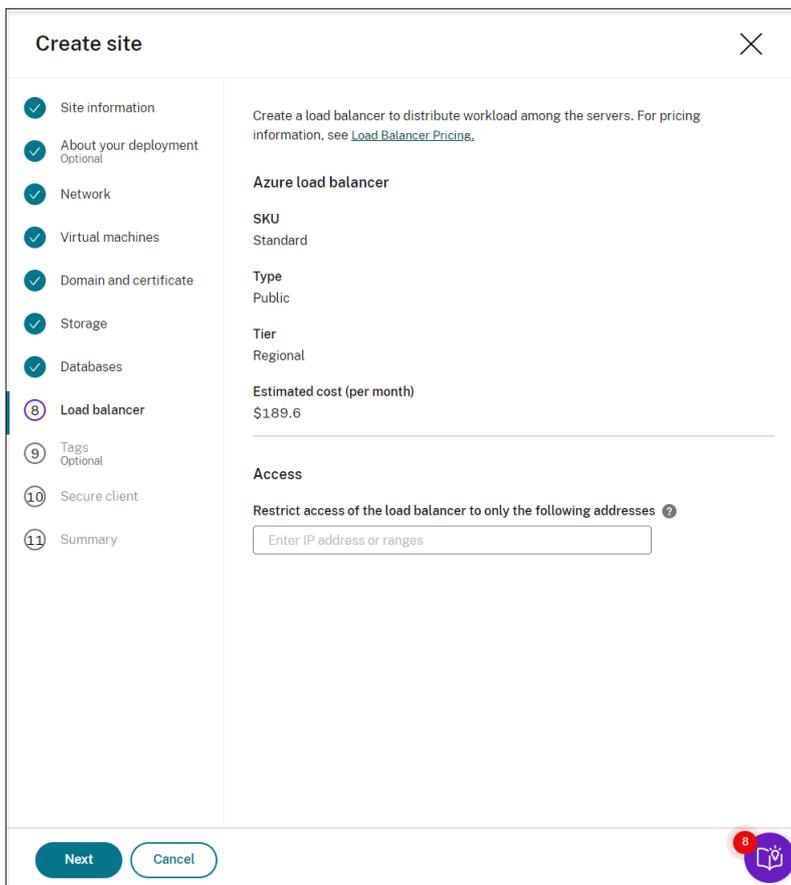
Username
dbadmin1

Password
.....

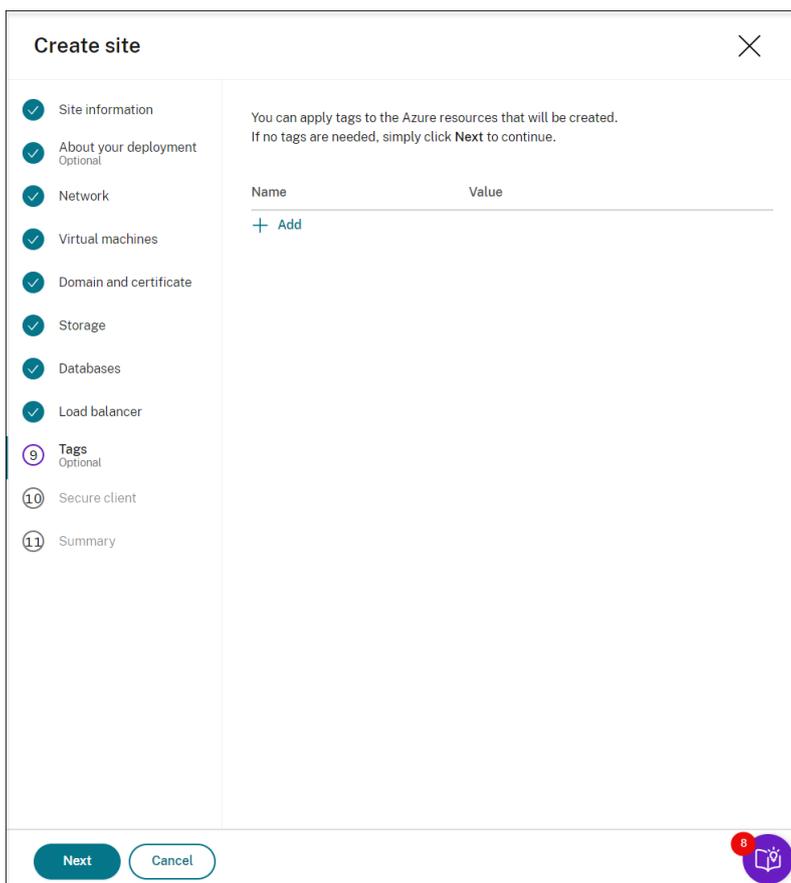
Confirm password
.....

Next Cancel [Help]

- ロードバランサーを作成して、Session Recording サーバー間でワークロードを分散します。[ロードバランサーのアクセスを以下のアドレスのみに制限する] フィールドに VDA の IP アドレスまたは範囲を入力し、コンマ (,) で区切ります。価格情報については、「[Load Balancer の価格](#)」を参照してください。

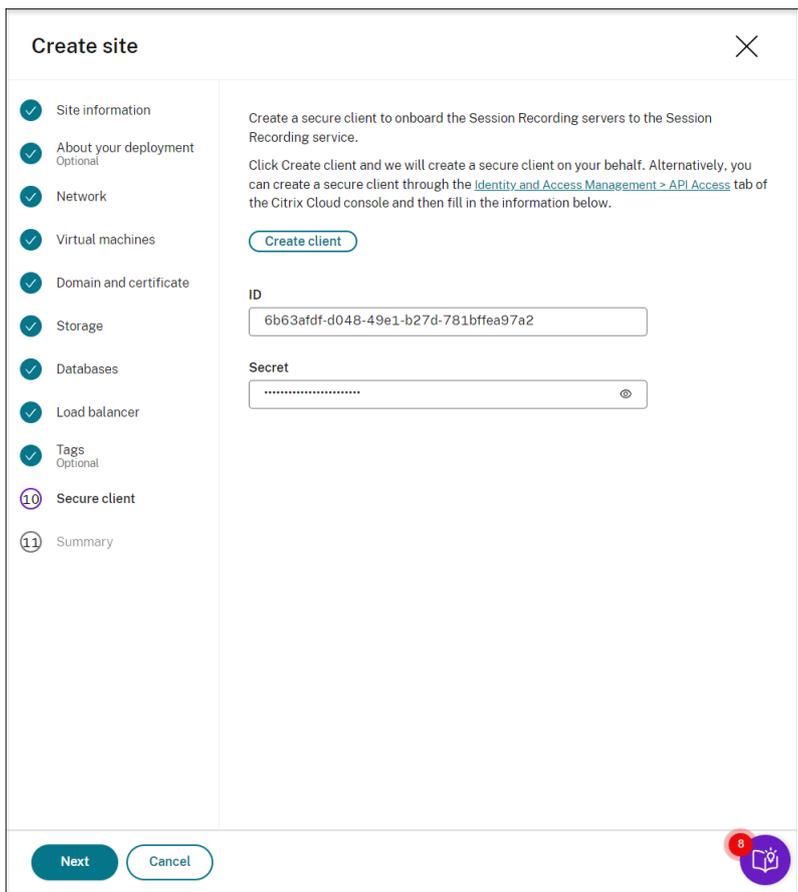


13. (オプション) 作成する Azure リソースにタグを適用します。



14. Session Recording サーバーを Session Recording サービスに登録するためのセキュアクライアントを作成します。

[クライアントの作成] をクリックすると、Citrix がユーザーに代わってセキュアクライアントを作成します。または、Citrix Cloud コンソールの **[ID およびアクセス管理]** > **[API アクセス]** タブを通じてセキュアクライアントを作成し、以下の情報を入力できます。



15. 作成するサイトの概要を表示します。必要に応じて鉛筆アイコンをクリックして設定を編集するか、ボタンをクリックして展開を開始します。

Create site

Here is a summary of the resources we will create for you using your subscriptions. [Export to JSON](#)

Region US East

Resource group

- Virtual machine 3**
 - Image Windows Server 2022 Datacenter: Azure Edition-x64 Gen2
 - Size Standard_D4s_v3-4vcpus, 16 GiB memory
- Storage account**
 - Performance Standard
 - Redundancy LRS
- Storage account (for archive)**
 - Performance Standard
 - Redundancy LRS
- File shares 6**
 - Maximum capacity 5 TiB
- File Share**
 - Maximum capacity 5 TiB
- Databases 2**
 - Service tier General Purpose
 - vCores 2
 - Data max size 32 GiB
- Load balancer**
 - SKU Standard
 - Type Regional
 - Tier

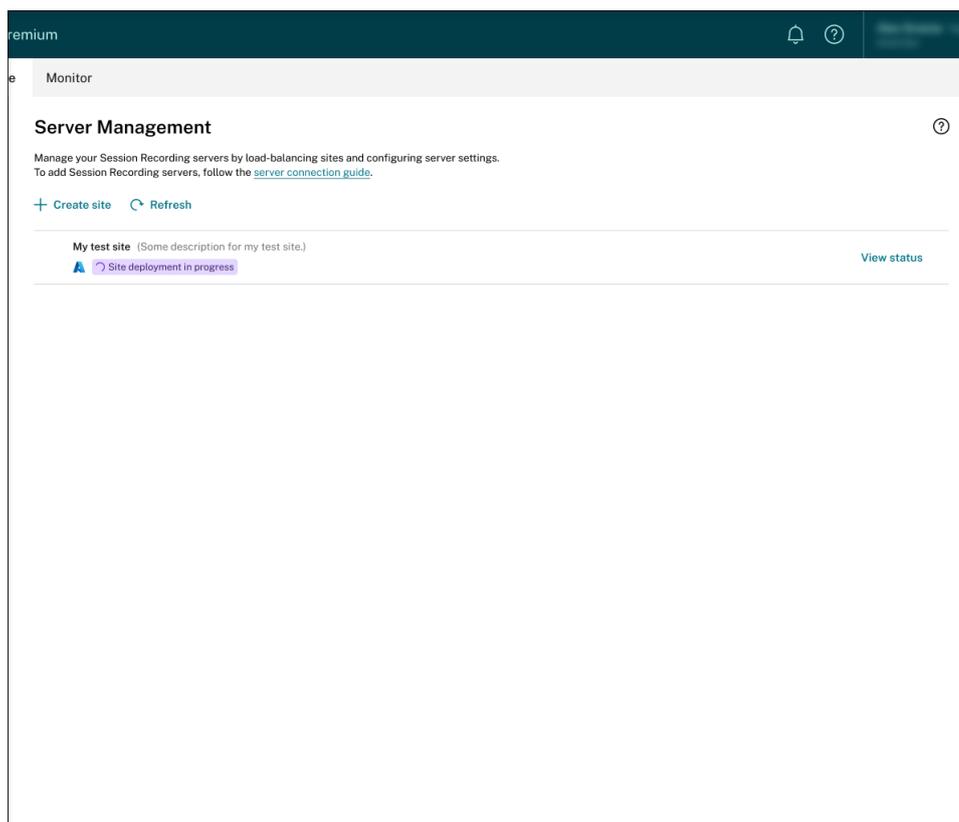
Estimated cost (per month) \$3286.26

Virtual machines	\$812.16	Databases	\$441.30
Storage	\$1843.20	Azure load balancer	\$189.60

Start deployment Cancel

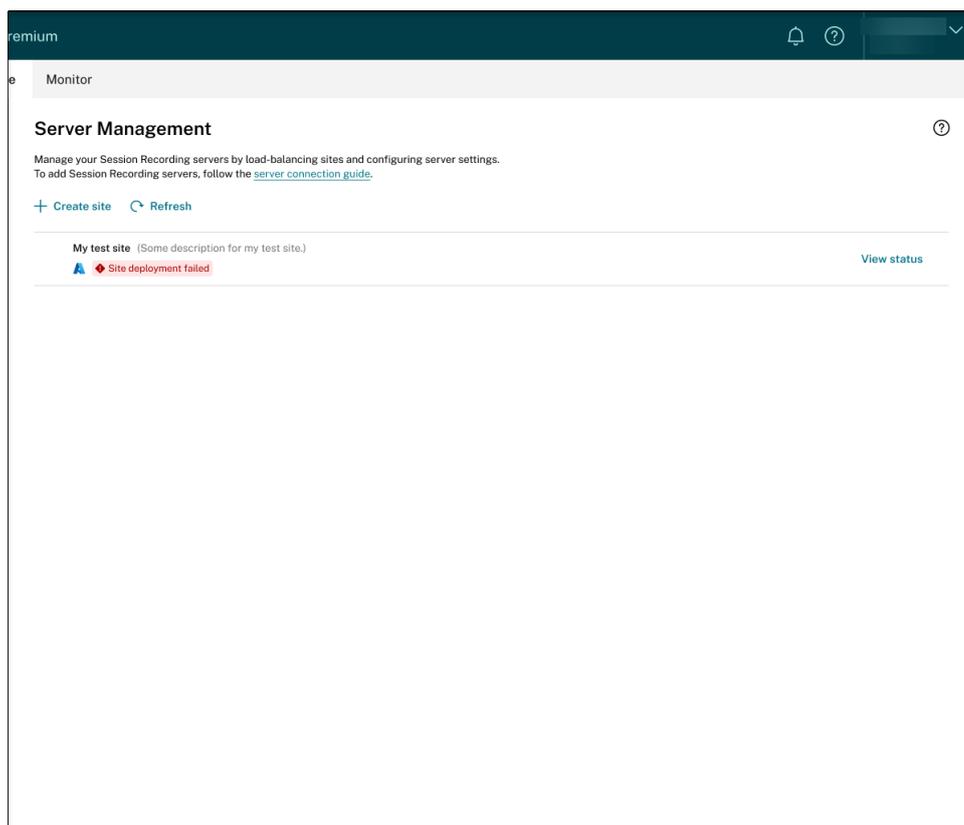
次に、展開プロセスの例を示します：

展開が進行中：



サイト展開の進行中に、[状態の表示] をクリックして進行状況を表示できます。

展開の失敗:



展開プロセス中にエラーが発生した場合は、[状態の表示] をクリックしてエラーの詳細を表示します。エラーの詳細の例:

Create site ✕

 Error



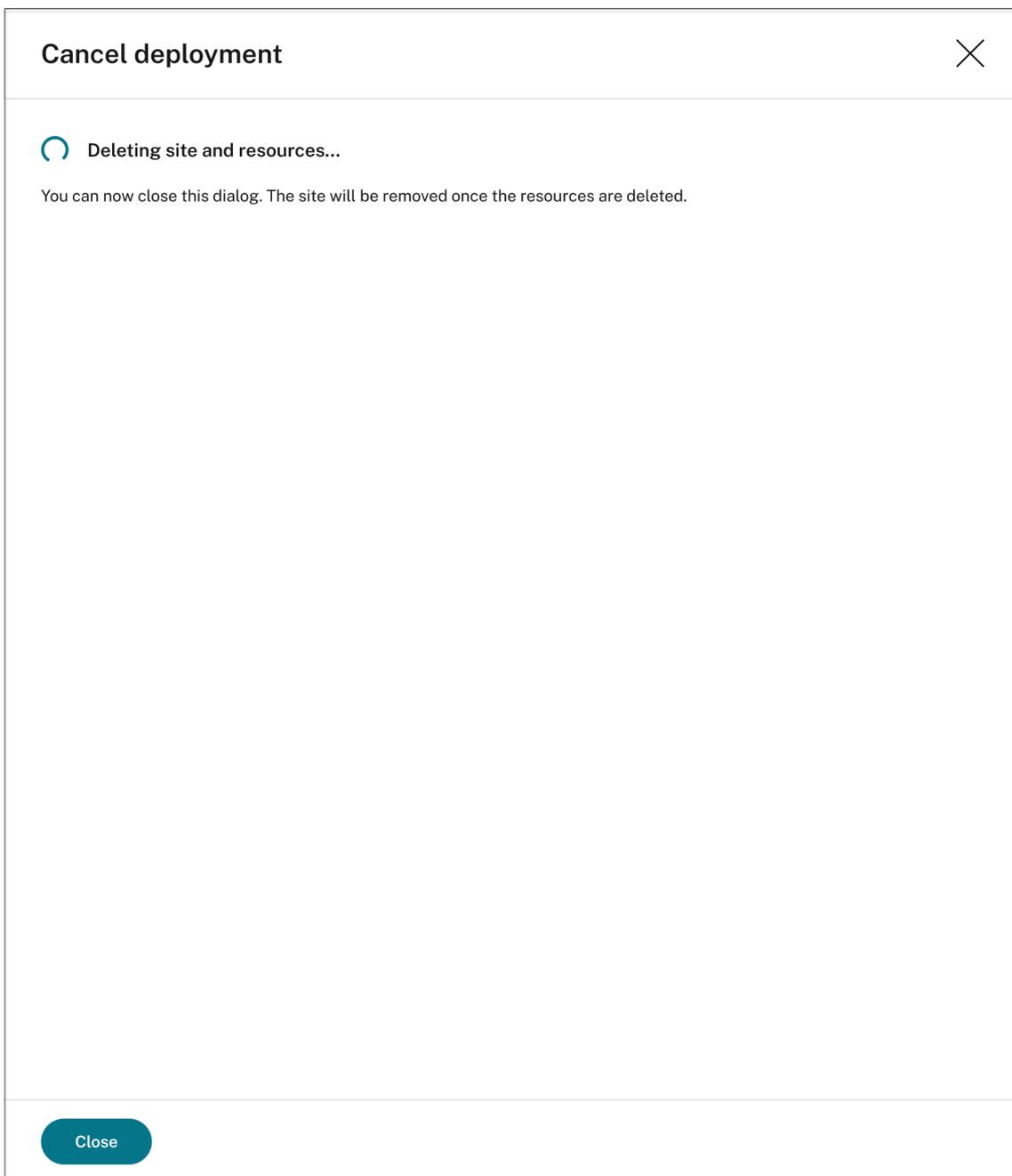
Go back to adjust your input as needed and then try again. When you retry, we will delete the resources that have been created and start afresh.

Don't want to create this site anymore? You can [cancel the deployment](#) and we will delete any resources already created.



[Back to configuration](#) [Close](#)

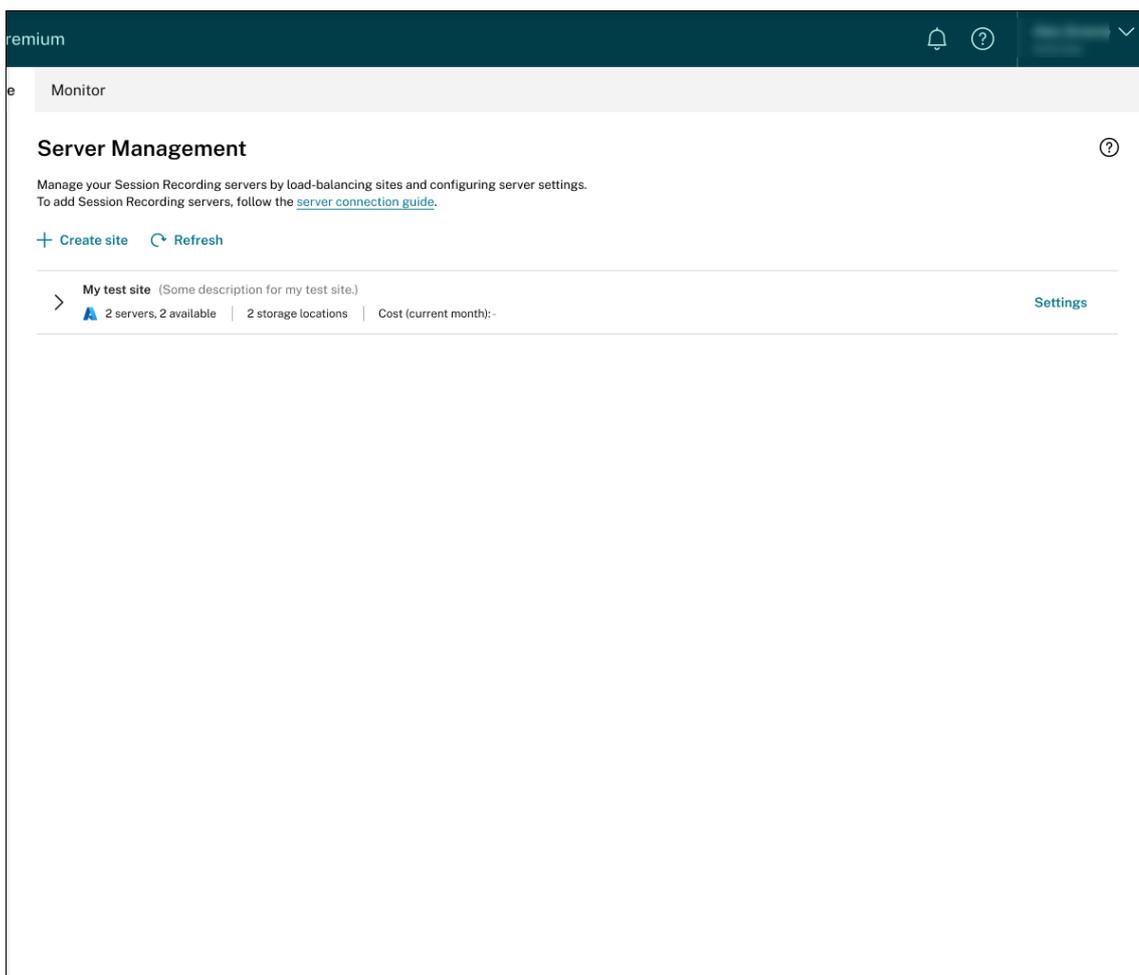
[構成に戻る] または [展開をキャンセルする] をクリックできます。[構成に戻る] をクリックすると、[サイトの作成] ページに戻り、そこで構成を変更して再試行できます。展開のキャンセルが必要な場合は、ウィザードに従ってサイトとそのサイト用に作成された Azure リソースを削除します。例：



展開の成功:

サイトの展開が完了すると、サイトを広げて、その下に作成されたリソースを表示および管理できるようになります。[状態の表示] ボタンが [設定] に変わります。Azure アイコンは、Azure に展開されたサイトを表すために使用できます。

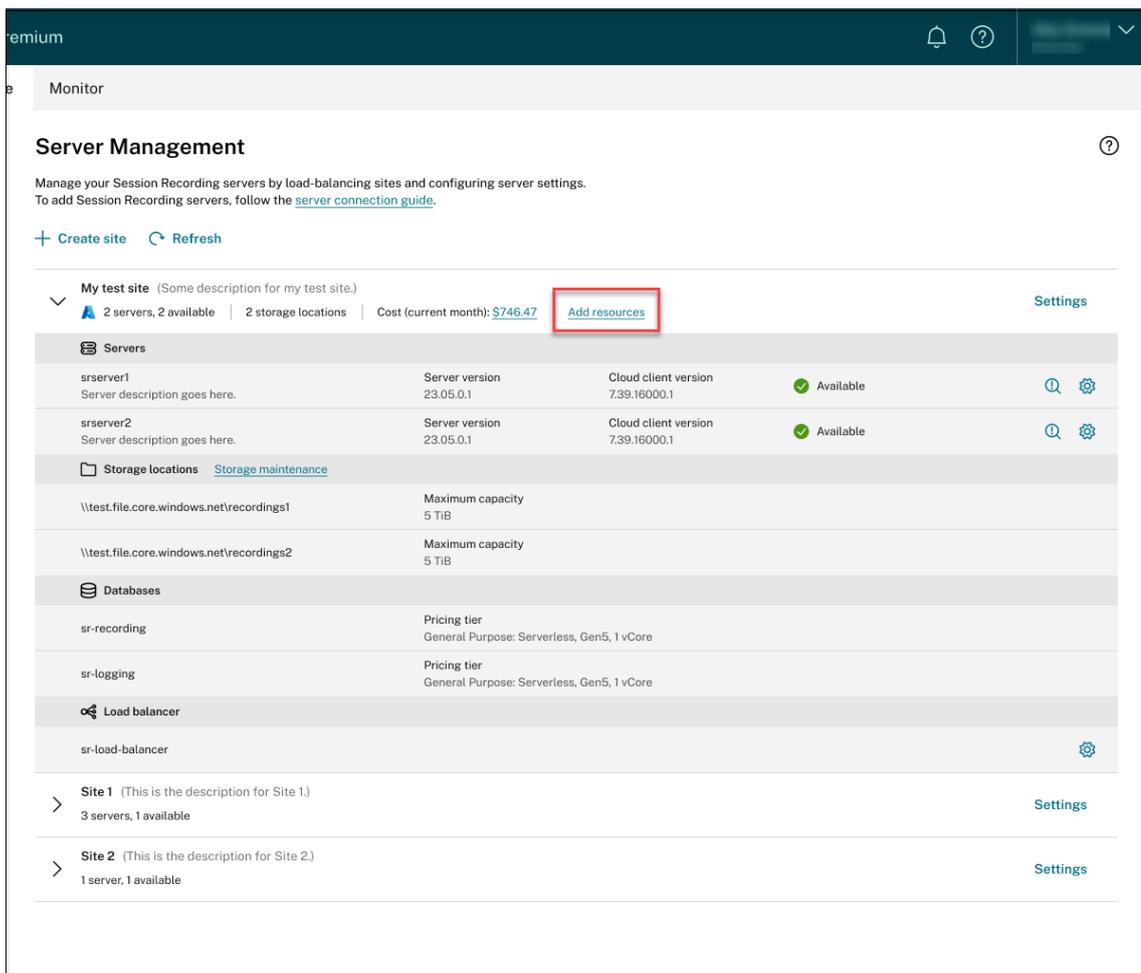
サイト設定について詳しくは、「[サイトとサーバーの設定](#)」を参照してください。



Azure に展開された既存のサイトにリソースを追加する

ホスト接続経由で Azure に展開された既存のサイトの場合、サーバーやストレージなどのリソースをサイトに追加できます。このためには、次の手順を実行します：

1. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択します。
2. [サーバー管理] ページで、ターゲットサイトを見つけて展開します。Azure アイコンは、Azure に展開されたサイトを表すために使用できます。
3. [リソースの追加] をクリックします。



4. [リソースの追加] ページで、必要に応じて [サーバーの追加] および [ストレージの追加] をクリックします。

Add resources

My test site

+ Add server

+ Add storage

Start deployment

Cancel

- サーバーを追加するには、[サーバーの追加] をクリックし、次の手順を実行します：

Add resources

My test site ✕

Server Estimated cost (per month): \$83.51 ⊖ 1 ⊕

Image	Size
Windows Server 2019 Datacenter -x64 Gen2	Standard_D4as_v4 -4vcpus, 16 GiB memory
Domain	Secure client ●
test.net (10.10.10.10) Edit credentials	Create client
Session Recording server version to install	
23.05.0.1 ?	

[+ Add storage](#)

Start deployment
Cancel

- a) 追加するサーバーの数を指定します。
- b) [資格情報を提供する] をクリックして、新しいサーバーを既存のサーバーと同じドメインに参加させます。
- c) [クライアントの作成] をクリックして、新しいサーバーを Session Recording サービスに追加します。
- d) [展開を開始する] をクリックします。

- 録画ファイルを保存するためのストレージを追加するには、[ストレージの追加] をクリックし、それに応じて次の手順を実行します:

- a) サイトが標準ストレージアカウントを使用して作成されている場合は、追加するファイル共有の数

を指定するように求められます。例：

Add resources

My test site

+ Add server

File shares Estimated cost (per month): \$307.20 (max.) ? ⊖ 1 ⊕

Tier Transaction optimized	Maximum capacity 5 TiB
--------------------------------------	----------------------------------

Start deploymentCancel

- b) サイトが Premium Storage アカウントを使用して作成されている場合は、追加するファイル共有の数を指定し、各ファイル共有の容量をカスタマイズできます。例：

Add resources

My test site ✕

+ Add server

File shares Estimated cost (per month): **\$819.20** ? ⊖ 1 ⊕

Provisioned capacity (GiB)

5120 ⬆️ ⬇️ ⬆️

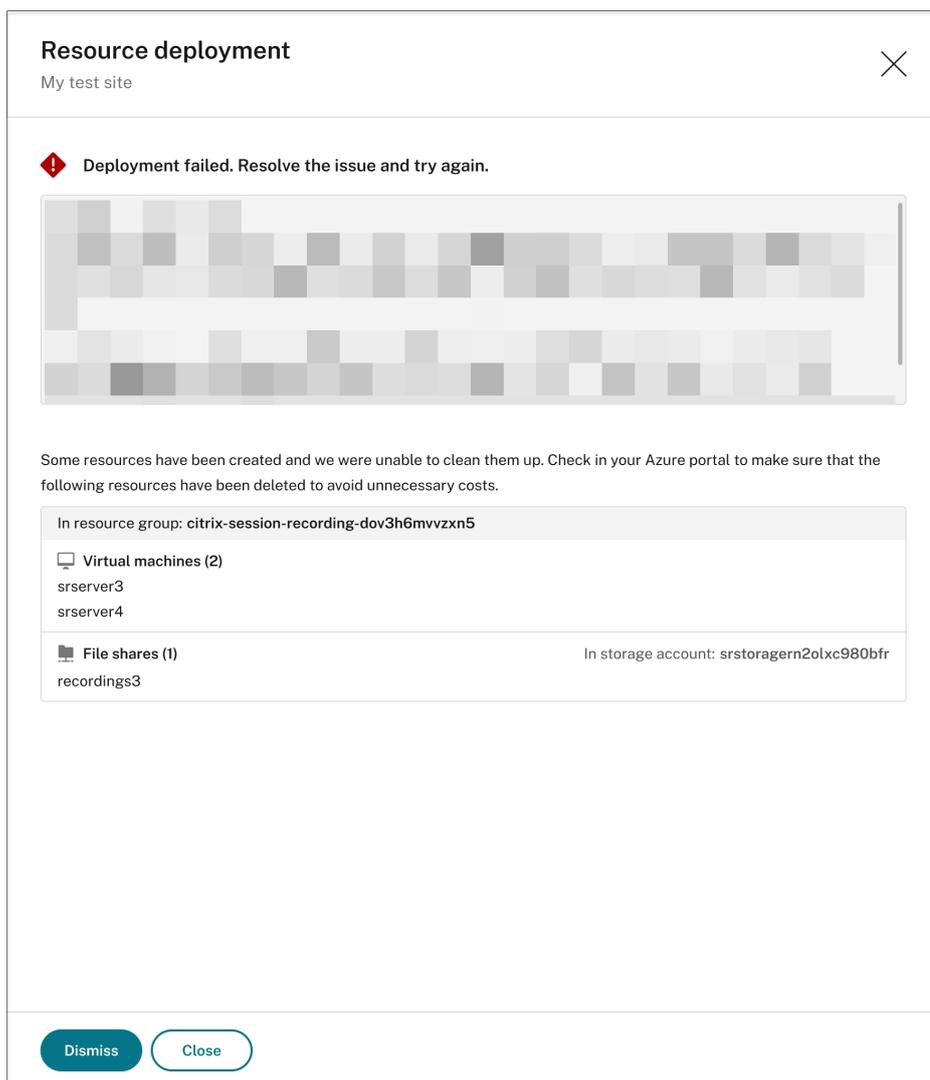
Start deploymentCancel

c) [展開を開始する] をクリックします。

注:

- 次の条件のいずれかが満たされる場合、[展開を開始する] ボタンが使用可能になります:
 - * 少なくとも 1 つのサーバーが指定され、ドメインとセキュアクライアントが構成されている。
 - * 少なくとも 1 つのファイル共有が指定されている。
- リソースの展開が進行中の場合、ロードバランサーの [設定] ボタンは無効になります。
- 追加されたリソースの展開が失敗し、Session Recording サービスがこれらのリソースをサブスクリプションから削除できない場合があります。この場合、アクションを実行す

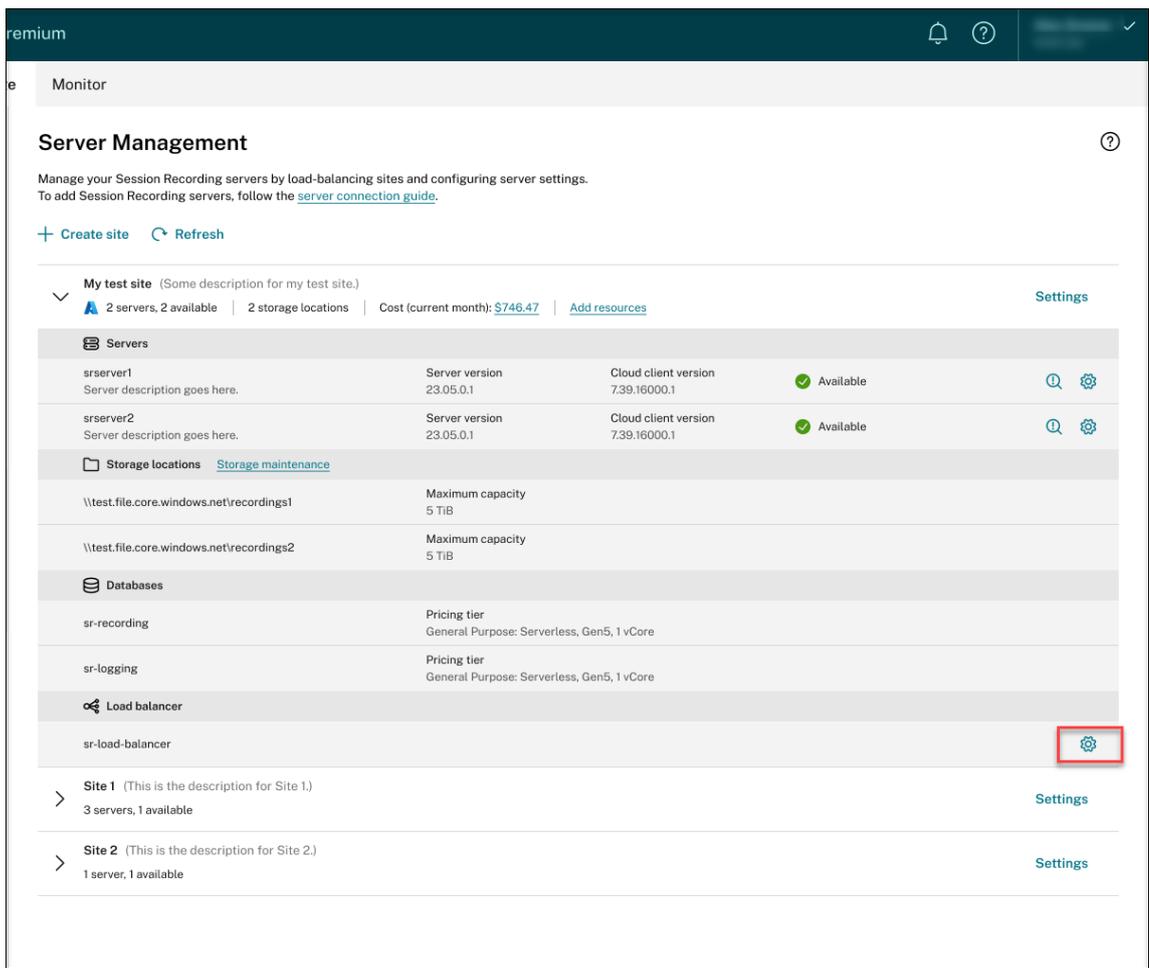
るために、次のようなプロンプトが表示されます：



ロードバランサーへのアクセスが許可される **IP** アドレスを変更する

ホスト接続経由で Azure に展開された既存のサイトの場合、ロードバランサーへのアクセスが許可される IP アドレスを変更できます。このためには、次の手順を実行します：

1. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択します。
2. [サーバー管理] ページで、ターゲットサイトを見つけて展開します。Azure アイコンは、Azure に展開されたサイトを表すために使用できます。
3. [ロードバランサー] セクションの [設定] ボタンをクリックします。



4. [ロードバランサー] 設定ページで、[ロードバランサーのアクセスを以下のアドレスのみに制限する] フィールドに VDA の新しい IP アドレスまたは範囲を入力し、コンマ (,) で区切ります。

Load balancer settings ✕

Access

Restrict access of the load balancer to only the following addresses ?

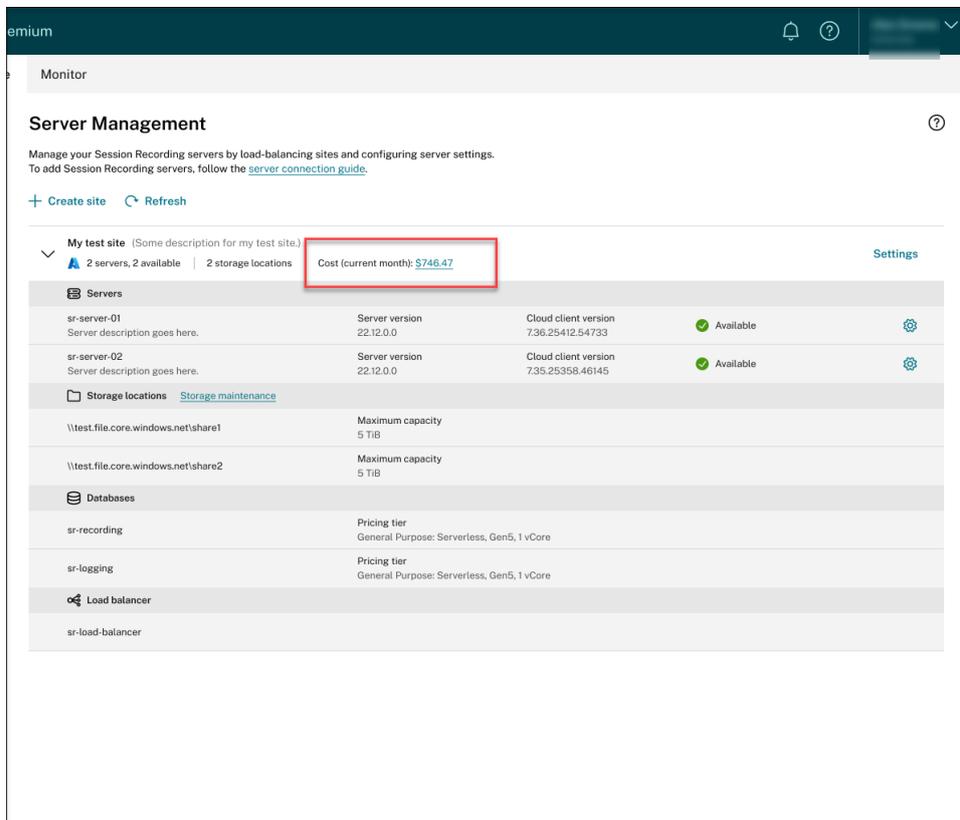
Save **Cancel**

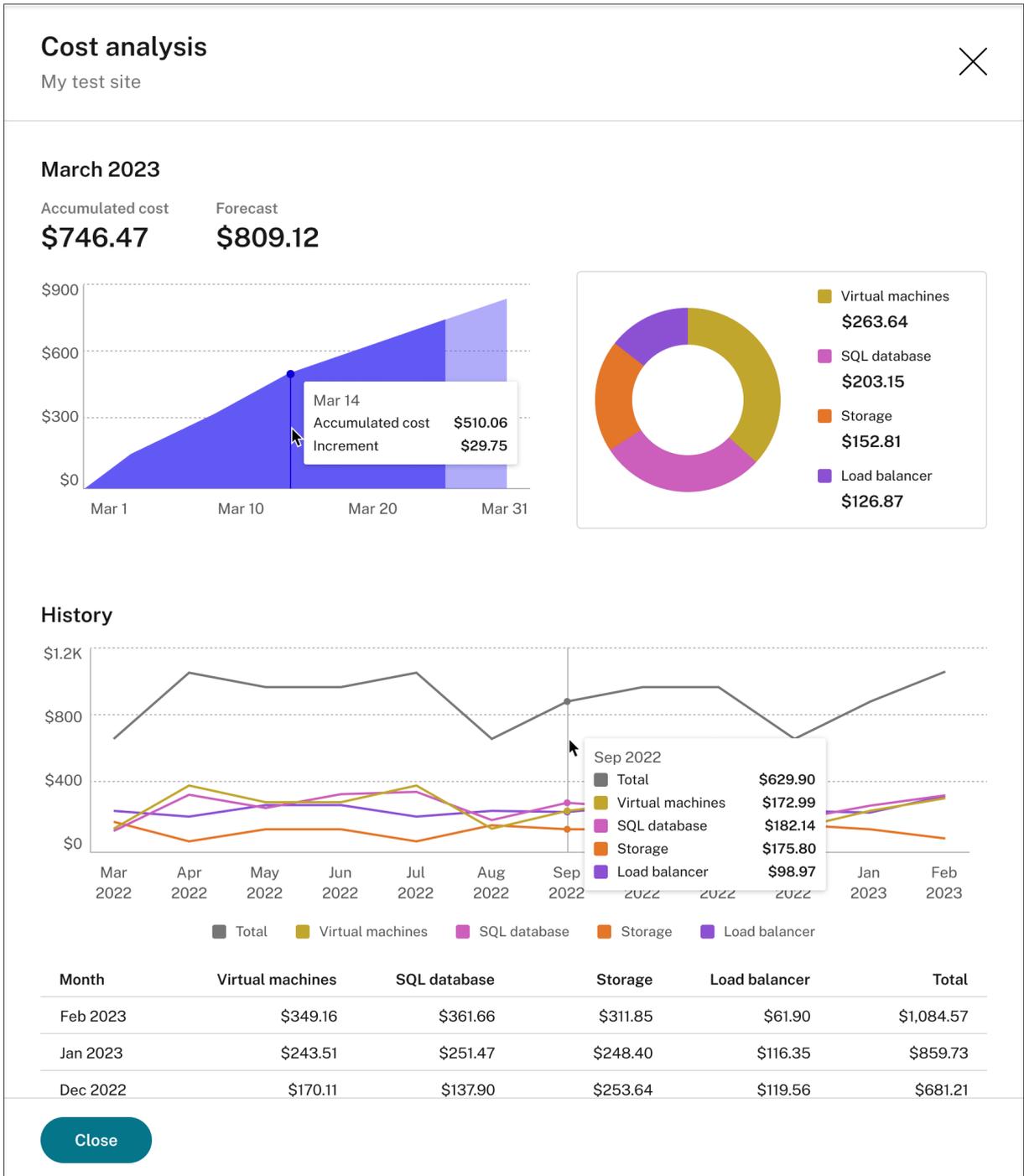
5. **[Save]** をクリックします。

Azure の使用に必要な実際のコストを表示する

ホスト接続経由で Azure に展開されたサイトの場合は、コストの金額をクリックしてコストの詳細を表示します。

例:





実際のコストを表示するためのヒント:

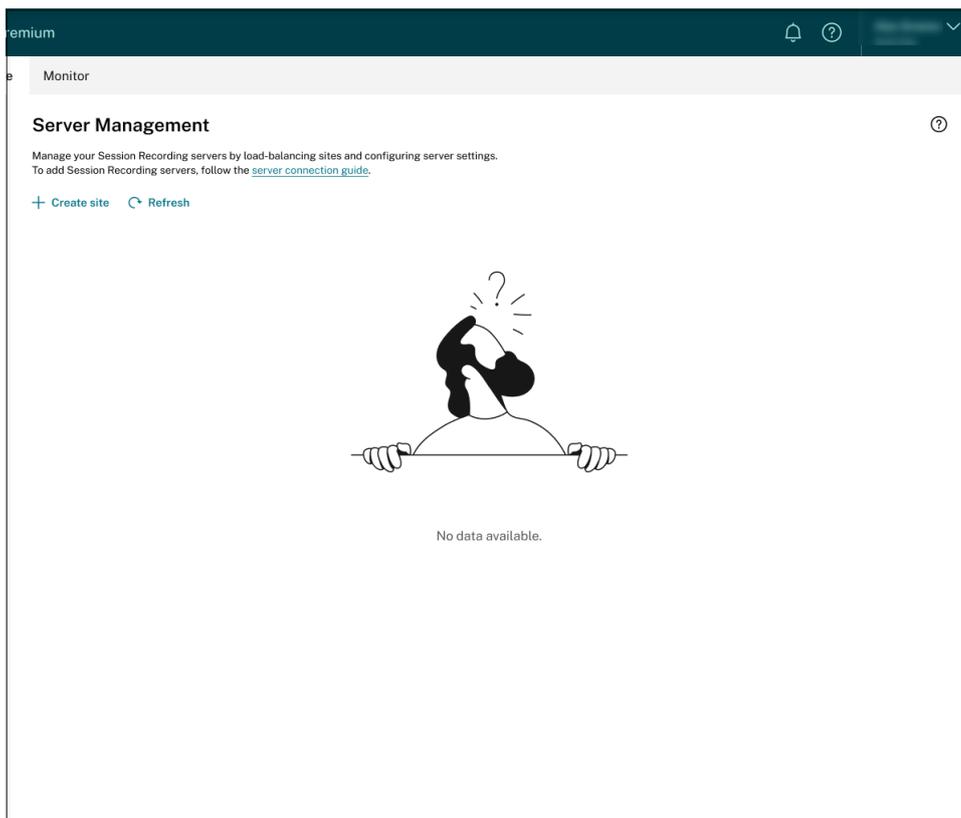
- 今月の面グラフ上にマウスを移動すると、日付とその日のデータの基準線がオーバーレイとして表示されます。
- さまざまなリソースのコスト履歴が折れ線グラフで表示されます。折れ線グラフは、少なくとも 2 か月分のデータがある場合に使用できます。折れ線グラフの上にマウスを置くと、その月の基準線とコストの内訳がオーバーレイとして表示されます。特定のリソースのみの折れ線グラフを表示するには、リソースの上にマウスを置きます。

ホスト接続を追加する

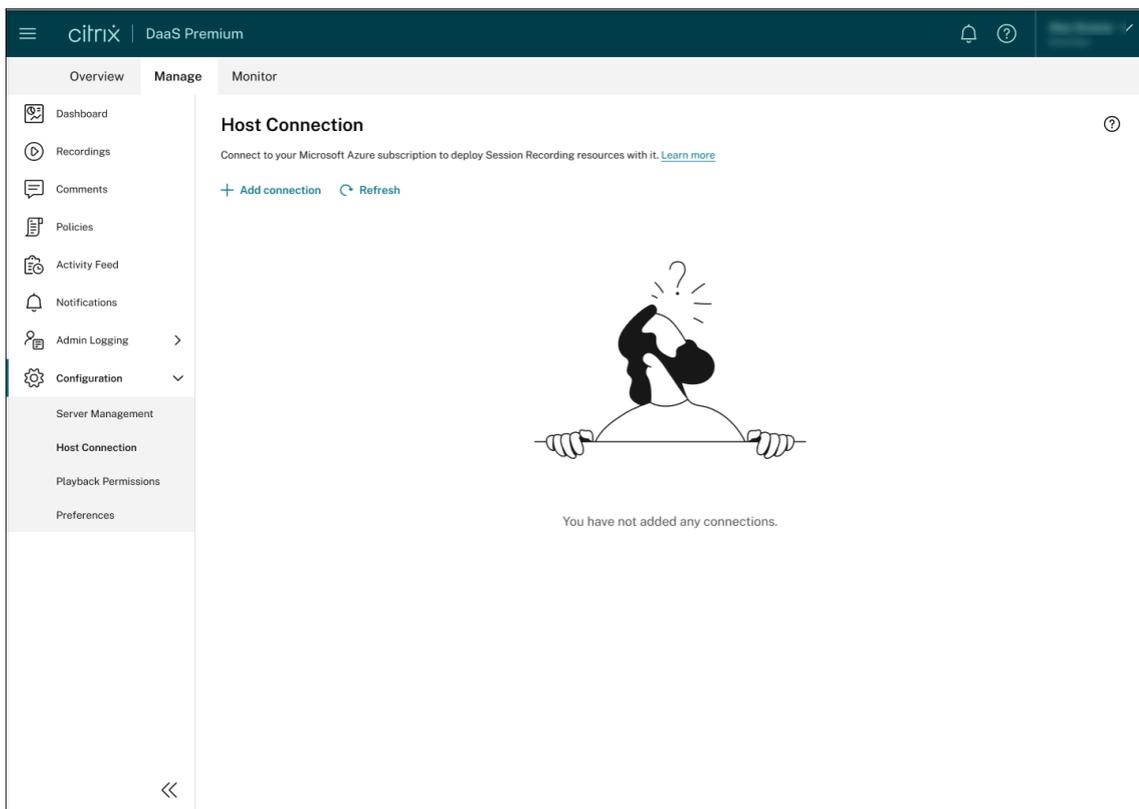
ホスト接続を追加するには、次の手順を実行します：

1. [サイトの作成] ページの [ホスト接続経由でサイトを作成および展開する] が選択された状態で、[接続の追加] をクリックします。または、[ホスト接続] ページで [接続の追加] をクリックします。

[サイトの作成] ページにアクセスするには、Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択し、[サイトの作成] をクリックします。



[ホスト接続] ページにアクセスするには、Session Recording サービスの左側のナビゲーションから [構成] > [ホスト接続] を選択します。



2. [接続の追加] ページで、新しいホスト接続に名前と説明を入力します（オプション）。Azure サブスクリプション ID と、アプリケーションの登録に関する次の必須情報を入力します：

- アプリケーション（クライアント）ID
- サービスプリンシパルオブジェクト ID（アプリケーションに関連付けられたサービスプリンシパルオブジェクトの ID）
- ディレクトリ（テナント）ID
- クライアントシークレット
- シークレットの有効期限

Add connection ✕

Name

Description (optional)

Complete the following fields to add a connection. You can obtain the information from your Azure portal.

Subscription ID

Use the subscription with which your VDAs are deployed.

Application (client) ID

Service principal object ID [?]

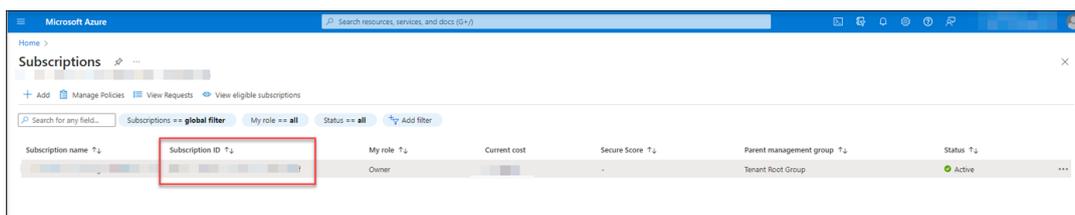
Directory (tenant) ID

Client secret

Secret expiration date

Azure サブスクリプション ID を確認するには、次の手順を実行します：

- a) Azure Portal にサインインします。
- b) **[Azure サービス]** セクションで、**[サブスクリプション]** を選択します。
- c) 一覧でサブスクリプションを見つけて、2 番目の列に表示されているサブスクリプション **ID** をコピーします。



アプリケーションの登録に関して必須情報を取得するには、次の手順を実行します：

- a) (既にアプリケーションを登録している場合は、この手順をスキップしてください。) Azure AD テナントにアプリケーションを登録します。ID およびアクセス管理機能を Azure AD に委任するには、アプリケーションを登録する必要があります。

アプリケーションを登録するには 2 つの方法があります。

方法 1:

- i. 次の Citrix 提供のスクリプトをコピーし、たとえば **AppRegistration.ps1** などの名前を付けます：

```

1 <#
2 .SYNOPSIS
3     Copyright (c) Citrix Systems, Inc. All Rights
4       Reserved.
5 .DESCRIPTION
6     Create Azure app registrations and give proper
7     permissions for Citrix Session Recording service
8     deployment
9 .Parameter azureTenantID
10 .Parameter azureSubscriptionID
11 .Parameter appName
12 .Parameter customRole
13 #>
14 [CmdletBinding()]
15 Param(
16     [Parameter(Position = 0, Mandatory = $true)] [String]
17     $tenantId,
18     [Parameter(Mandatory = $true)] [String] $subscriptionId
19     ,
20     [Parameter(Mandatory = $true)] [String] $appName,
21     [Parameter(Mandatory = $false)] [Switch] $customRole
22 )
23 # Import the Azure module
24 try {
25     Get-InstalledModule -Name "Az.Accounts" -ErrorAction
26     Stop
27 }
28 catch {
29     Install-Module -Name "Az.Accounts" -Scope CurrentUser -
30     Repository PSGallery -SkipPublisherCheck -Force

```

```
27 }
28
29 try {
30
31     Get-InstalledModule -Name "Az.Resources" -ErrorAction
        Stop
32 }
33
34 catch {
35
36     Install-Module -Name "Az.Resources" -Scope CurrentUser
        -Repository PSGallery -SkipPublisherCheck -Force
37 }
38
39
40 # Prompt the user to sign in with their credential
41 Connect-AzAccount -TenantId $tenantId
42 try
43 {
44
45     # Create a new app registration with a display name
46     Write-Host "Create a new app registration for Citrix
        Session Recording service" -ForegroundColor Green
47     $azureAdApplication = New-AzADApplication -DisplayName
        $AppName -AvailableToOtherTenants $false
48
49     # Create a service principal for the app registration
50     $azureAdApplicationServicePrincipal = New-
        AzADServicePrincipal -AppId $azureAdApplication.
        AppId
51     $azureAdApplicationServicePrincipal = Get-
        AzADServicePrincipal -DisplayName $AppName
52
53     #Attempt to give role assignment
54     if($customRole)
55     {
56
57         $rootPath = Get-Location
58         $roleDef = Get-AzRoleDefinition -Name "Citrix
        Session Recording service"
59         if($roleDef -eq $null)
60         {
61
62             $customRolePath = $(Join-Path -Path $rootPath -
                ChildPath "sessionrecording.json") | Resolve
                -Path
63             $customRoleJson = Get-Content $customRolePath |
                ConvertFrom-Json
64             $customRoleJson.AssignableScopes[0] = "/"
                subscriptions/" + $subscriptionId
65             $customRoleJson | ConvertTo-Json -depth 32 |
                Set-Content $customRolePath -Verbose
66             # Create custom role
```

```
67         try
68         {
69             New-AzRoleDefinition -InputFile
70                 $customRolePath.Path
71         }
72
73         catch
74         {
75             Write-Host "Failed to create custom roles
76                 $_" -ForegroundColor Red
77         }
78     }
79 }
80
81 # Assign this custom role to newly created
82 # application
83 Write-Host "Try to assign session recording service
84     custom roles to the above app" -ForegroundColor
85     Green
86 New-AzRoleAssignment -RoleDefinitionName "Citrix
87     Session Recording service" -ApplicationId
88     $azureAdApplication.AppId
89
90 }
91
92 else
93 {
94     Write-Host "Try to assign builtin contributor roles
95     to above app" -ForegroundColor Green
96     New-AzRoleAssignment -RoleDefinitionName "
97         Contributor" -ApplicationId $azureAdApplication.
98         AppId
99 }
100
101 Write-Host "Tenant ID: $tenantId" -ForegroundColor
102     Green
103 Write-Host "Subscription ID: $subscriptionId" -
104     ForegroundColor Green
105 Write-Host "Application ID $($azureAdApplication.AppId)
106     " -ForegroundColor Green
107 Write-Host "Service principal object ID $(
108     $azureAdApplicationServicePrincipal.id)" -
109     ForegroundColor Green
110
111 }
112 }
113
114 catch
115 {
```

```
105
106     Write-Host "Failed to assign role assignment to this
107     app $_" -ForegroundColor Red
108     Write-Host "Please make sure the current azure admin
109     has permission to assign roles" -ForegroundColor Red
110 }
111 <!--NeedCopy-->
```

- ii. 次のカスタム役割ファイルをコピーし、**sessionrecording.json** という名前を付けます。このカスタム役割ファイルは、登録するアプリケーションに最小限の権限を割り当てるのに役立ちます。

```
1 {
2
3     "Name": "Citrix Session Recording service",
4     "Description": "Custom role for session recording
5     service",
6     "AssignableScopes": [
7         "/subscriptions/*"
8     ],
9     "Actions": [
10        "Microsoft.Authorization/roleAssignments/write",
11        "Microsoft.Authorization/roleDefinitions/delete",
12        "Microsoft.Authorization/roleDefinitions/write",
13        "Microsoft.Compute/availabilitySets/write",
14        "Microsoft.Compute/virtualMachines/delete",
15        "Microsoft.Compute/virtualMachines/extensions/read",
16        "Microsoft.Compute/virtualMachines/extensions/write",
17        "Microsoft.Compute/virtualMachines/read",
18        "Microsoft.Compute/virtualMachines/runCommands/read",
19        "Microsoft.Compute/virtualMachines/runCommands/write",
20        "Microsoft.Compute/virtualMachines/write",
21        "Microsoft.CostManagement/forecast/read",
22        "Microsoft.CostManagement/query/read",
23        "Microsoft.KeyVault/locations/deletedVaults/purge/action",
24        "Microsoft.KeyVault/vaults/read",
25        "Microsoft.KeyVault/vaults/write",
26        "Microsoft.ManagedIdentity/userAssignedIdentities/assign/action",
27        "Microsoft.ManagedIdentity/userAssignedIdentities/read",
28        "Microsoft.ManagedIdentity/userAssignedIdentities/write",
29        "Microsoft.Network/loadBalancers/backendAddressPools/join/action",
30        "Microsoft.Network/loadBalancers/write",
31        "Microsoft.Network/networkInterfaces/join/action",
32        "Microsoft.Network/networkInterfaces/read",
```

```
32 "Microsoft.Network/networkInterfaces/write",
33 "Microsoft.Network/networkSecurityGroups/delete",
34 "Microsoft.Network/networkSecurityGroups/join/
   action",
35 "Microsoft.Network/networkSecurityGroups/read",
36 "Microsoft.Network/networkSecurityGroups/
   securityRules/read",
37 "Microsoft.Network/networkSecurityGroups/
   securityRules/write",
38 "Microsoft.Network/networkSecurityGroups/write",
39 "Microsoft.Network/publicIPAddresses/join/action",
40 "Microsoft.Network/publicIPAddresses/read",
41 "Microsoft.Network/publicIPAddresses/write",
42 "Microsoft.Network/virtualNetworks/read",
43 "Microsoft.Network/virtualNetworks/subnets/join/
   action",
44 "Microsoft.Network/virtualNetworks/subnets/read",
45 "Microsoft.Resources/deployments/operationstatuses/
   read",
46 "Microsoft.Resources/deployments/read",
47 "Microsoft.Resources/deployments/write",
48 "Microsoft.Resources/subscriptions/resourceGroups/
   delete",
49 "Microsoft.Resources/subscriptions/resourceGroups/
   read",
50 "Microsoft.Resources/subscriptions/resourceGroups/
   write",
51 "Microsoft.Sql/servers/auditingSettings/write",
52 "Microsoft.Sql/servers/databases/write",
53 "Microsoft.Sql/servers/firewallRules/write",
54 "Microsoft.Sql/servers/read",
55 "Microsoft.Sql/servers/write",
56 "Microsoft.Storage/storageAccounts/fileServices/
   shares/delete",
57 "Microsoft.Storage/storageAccounts/fileServices/
   shares/write",
58 "Microsoft.Storage/storageAccounts/listkeys/action"
   ,
59 "Microsoft.Storage/storageAccounts/read",
60 "Microsoft.Storage/storageAccounts/write"
61 ],
62 "NotActions": [
63
64 ],
65 "DataActions": [
66
67 ],
68 "NotDataActions": [
69
70 ]
71 }
72 }
73 }
```

```
74 <!--NeedCopy-->
```

iii. **AppRegistration.ps1** と **sessionrecording.json** を同じフォルダーに配置します。

iv. 必要に応じて、次のコマンドのいずれかを実行します。

アプリケーションを作成し、前述のカスタム役割ファイル (**sessionrecording.json**) を使用して最小限の権限を割り当てるには、次のコマンドを実行します：

```
1 .\AppRegistration.ps1 -tenantId <tenant ID> -subscriptionId  
  <subscription ID> -appName <application name> -  
  customRole  
2 <!--NeedCopy-->
```

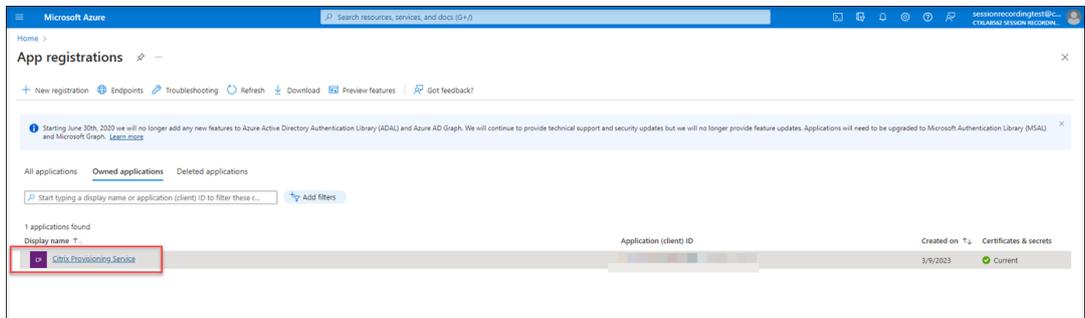
アプリケーションを作成し、それに Azure 組み込みの 共同作成者の役割を割り当てるには、次のコマンドを実行します：

```
1 .\AppRegistration.ps1 -tenantId <tenant ID>-subscriptionId  
  <subscription ID>-appName <application name>  
2 <!--NeedCopy-->
```

方法 2:

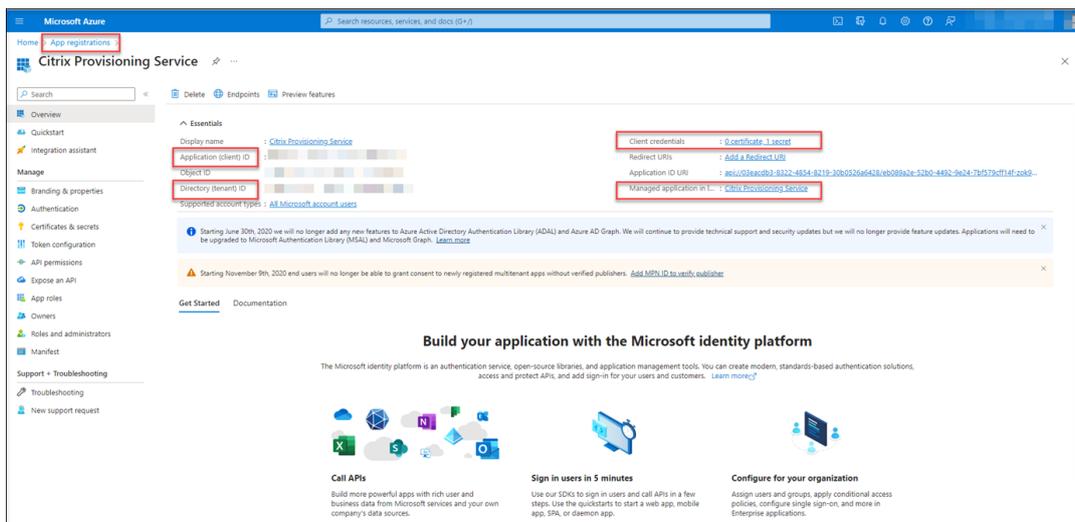
Azure Portal にアクセスし、自分でアプリケーションを登録します。アプリケーションに適切な権限を付与します。必要な最小限の権限については、方法 1 の **sessionrecording.json** ファイルを参照してください。

b) アプリケーションの表示名をクリックします。

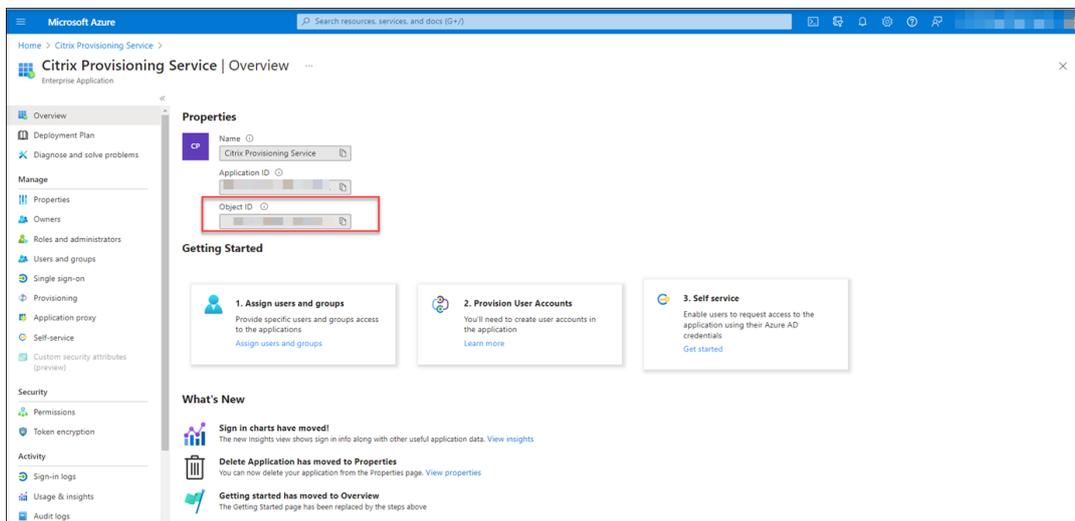


c) 概要ページで、アプリケーション (クライアント) ID とディレクトリ (テナント) ID を見つけます。[**Managed application in local directory**] の横にあるリンクをクリックして、アプリケーションに関連付けられているサービスプリンシパルオブジェクトの ID を見つけます。[**Client credentials**] の横にあるリンクをクリックして、クライアントシークレット ID とその有効期限を確認します。

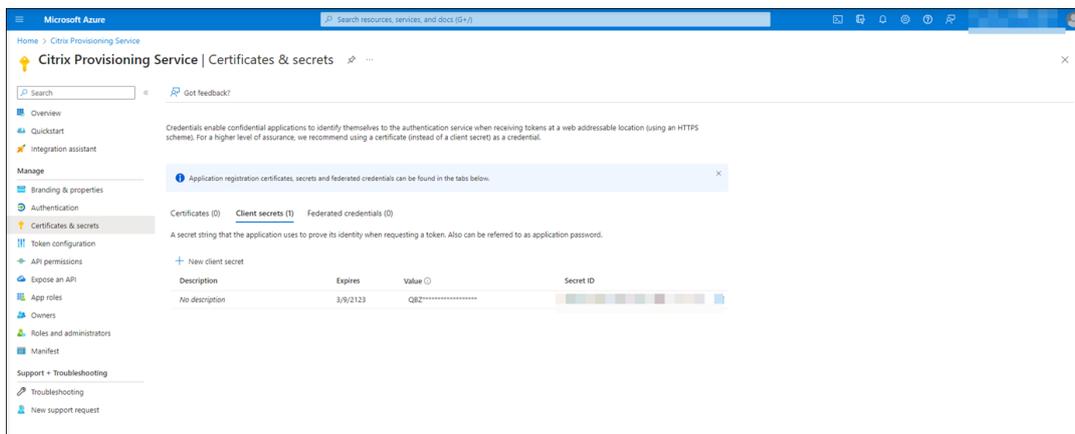
Session Recording サービス



たとえば、アプリケーションに関連付けられたサービスプリンシパルオブジェクトの ID:



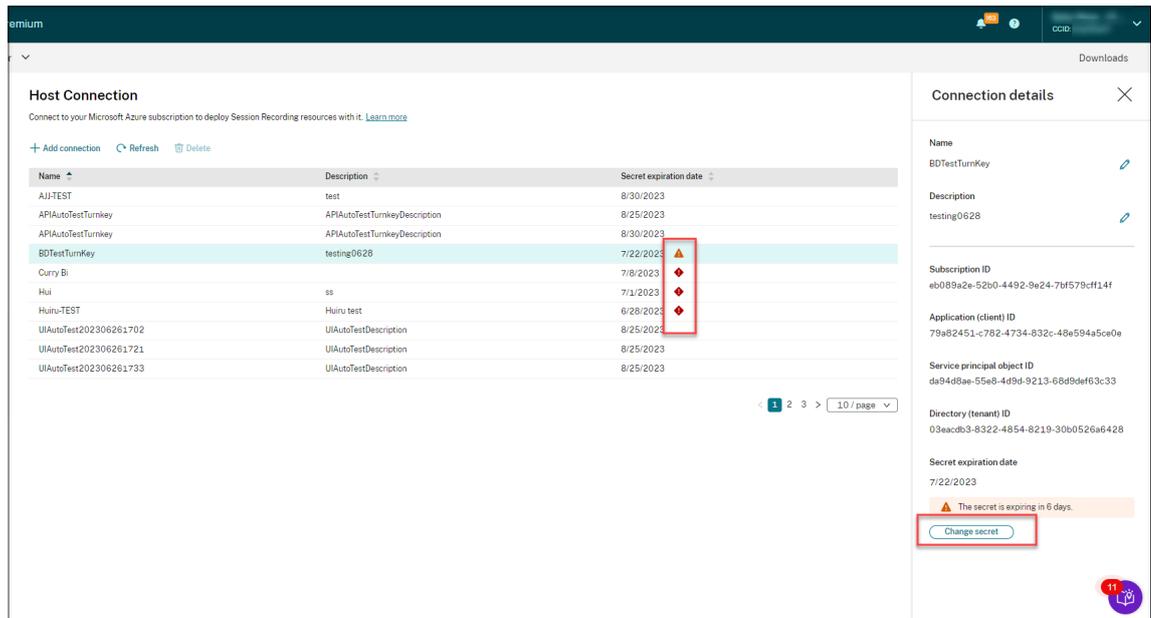
たとえば、クライアントシークレット ID とその有効期限:



3. [保存] をクリックして、指定したホスト接続が使用可能かどうかをテストします。

指定したホスト接続が使用可能な場合は、[ホスト接続] ページに戻され、ホスト接続が正常に追加されたことを確認するメッセージが表示されます。

Session Recording サービスは、期限切れのクライアントシークレットと期限切れが近いクライアントシークレットを、それぞれエラーアイコンと警告アイコンを使用して通知します。対応するホスト接続をクリックし、[接続の詳細] ページで [シークレットの変更] をクリックすると、クライアントシークレットとその有効期限を更新できます。



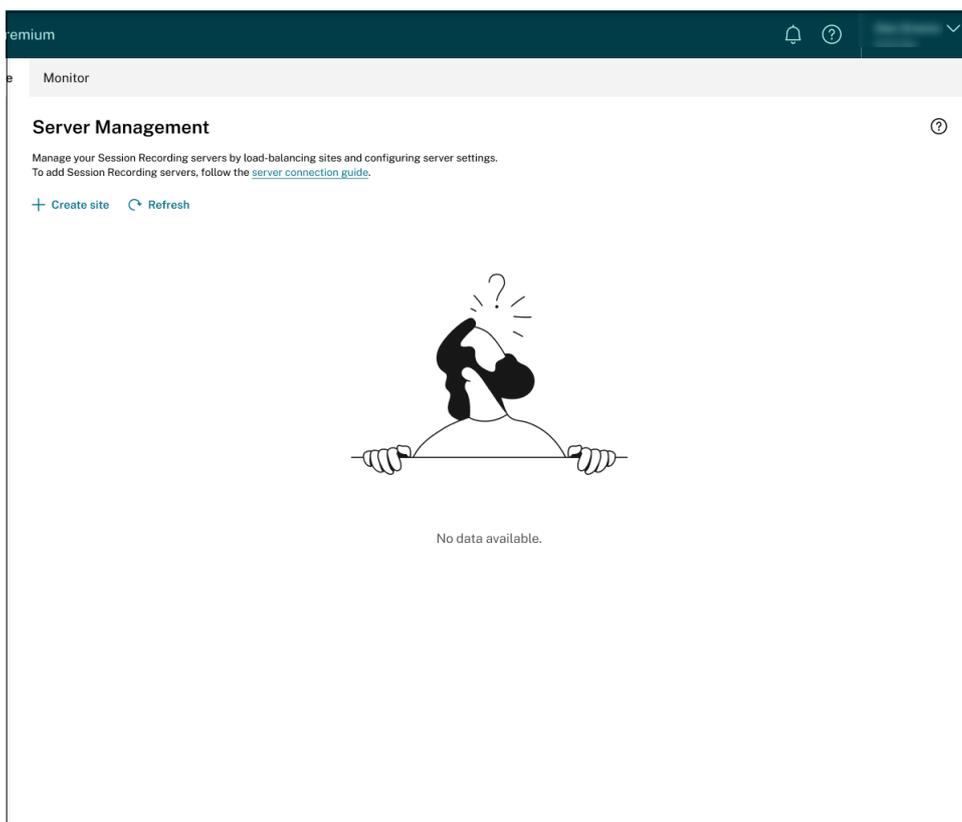
ARM テンプレートを使用してサイトを作成、展開する

Azure Resource Manager テンプレート (ARM テンプレート) を作成して、Azure に Session Recording リソースを展開できます。これを達成するための主な手順は次のとおりです：

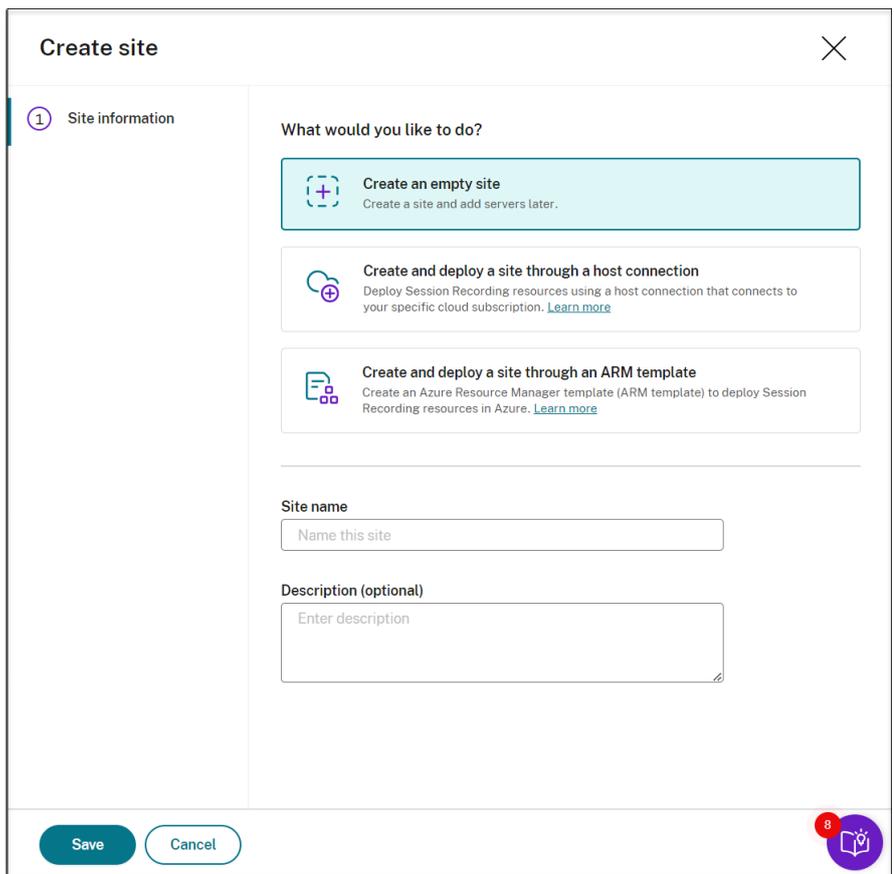
1. Session Recording サービスで ARM テンプレートを作成します。ARM テンプレートは、展開の方法とリソースが含まれる JavaScript Object Notation (JSON) ファイルです。
2. ARM テンプレートをダウンロードして展開します。展開したテンプレートフォルダー内の展開スクリプトを実行して、テンプレートで指定されたリソースの Azure への展開を開始します。
3. Azure での展開の進行状況を確認します。展開が完了したら、Session Recording をセットアップして実行します。Session Recording をセットアップするには、インストールする Session Recording サーバーのバージョンを指定して、**resourceInfo.json** ファイルをアップロードする必要があります。

具体的な手順は次のとおりです：

1. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択します。



2. [サーバー管理] ページで、[サイトの作成] をクリックします。[サイトの作成] ページが開きます。



3. **[Create and deploy a site through an ARM template]** を選択します。主な手順は左側のナビゲーションに一覧表示されています。

Downloads

Create site

- 1 Site information
- 2 About your deployment
Optional
- 3 Network
- 4 Virtual machines
- 5 Domain and certificate
- 6 Storage
- 7 Databases
- 8 Load balancer
- 9 Tags
Optional
- 10 Secure client
- 11 Summary

What would you like to do?

- Create an empty site**
Create a site and add servers later.
- Create and deploy a site through a host connection**
Deploy Session Recording resources using a host connection that connects to your specific cloud subscription. [Learn more](#)
- Create and deploy a site through an ARM template**
Create an Azure Resource Manager template (ARM template) to deploy Session Recording resources in Azure. [Learn more](#)

Site name
Name this site

Description (optional)
Enter description

Region
All your resources will be created in this region.

Next Cancel

4. サイト名と説明を入力し、[次へ] をクリックします。
5. (オプション) VM およびストレージ構成の推奨事項を取得するには、録画のニーズに関する情報を提供してください。

この手順をスキップするには [この手順をスキップします。] をクリックするか、何も選択せずに [次へ] をクリックします。

Create site ✕

1 Site information

2 **About your deployment** Optional

3 Network

4 Virtual machines

5 Domain and certificate

6 Storage

7 Databases

8 Load balancer

9 Tags Optional

10 Secure client

11 Summary

Tell us about your recording needs, so we can provide some recommendations for your VM and storage configurations.

[I'm good, skip this step.](#)

The following information helps determine the recommended number of Session Recording servers.

How many concurrent sessions do you have at most?

4,000-6,000

Recommended number of servers: 3 [reset](#)

The following information helps determine the recommended storage capacity.

How much visual movement do your sessions typically have?

Some, the display changes but not drastically

How many sessions do you need to record per day?

5,000-10,000

For how long do you need to retain each recording file?

15-30 days

Recommended storage capacity: 30 TiB [reset](#)

[Next](#) [Cancel](#) 8

ドロップダウンリストからオプションを選択すると、選択に応じた推奨事項が表示されます。[リセット] ボタンは推奨事項の横にあります。このボタンで、そのセクションの選択と対応する推奨事項をクリアできます。

6. Azure ポータルに移動し、選択したリージョンに新しい仮想ネットワークを作成し、新しい仮想ネットワークと VDA が接続されている仮想ネットワークの間に仮想ネットワークピアリングを設定します。次に、新しい仮想ネットワークにサブネットを追加します。サブネット ID を見つけて入力します。

Create site [Close]

- 1 Site information
- 2 About your deployment
Optional
- 3 **Network**
- 4 Virtual machines
- 5 Domain and certificate
- 6 Storage
- 7 Databases
- 8 Load balancer
- 9 Tags
Optional
- 10 Secure client
- 11 Summary

Before you continue, head over to Azure and create a new virtual network in the region you selected and set up virtual network peering between the new virtual network and the one that your VDAs are connected to. Then, add a subnet in the new virtual network and enter the subnet ID below. This will be the subnet for your Session Recording resources to connect to.

[How to find the subnet ID?](#)

Subnet ID

Enter Subnet ID

Create private endpoints for storage and databases

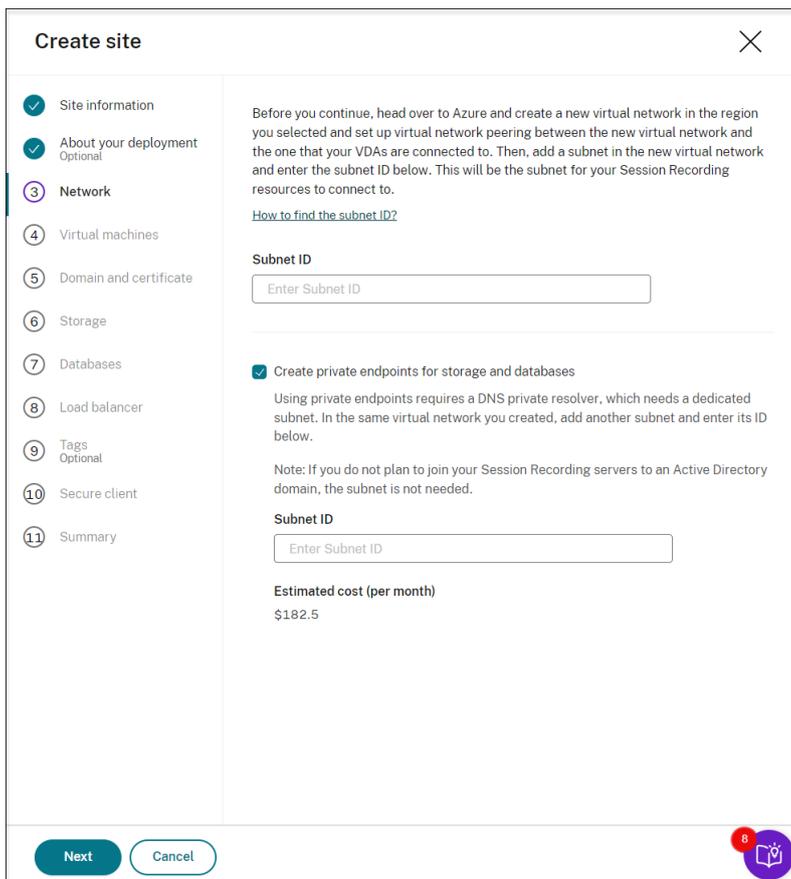
i Use this option if you need to keep the connections between resources within the private network.

Next Cancel

プライベートネットワーク内のリソース間の接続を維持するには、**[Create private endpoints for storage and databases]** チェックボックスをオンにします。

[Create private endpoints for storage and databases] チェックボックスをオンにした後、次の点を考慮して別のサブネット ID を入力するかどうかを決定します：

- Session Recording サーバーを Active Directory ドメインに参加させる予定がない場合は、サブネットは必要ないため、サブネット ID フィールドは空のままにしておきます。
- サブネット ID フィールドを空のままにすると、Session Recording サーバーが Azure Active Directory ドメインに参加します。



7. 後でインストールする Session Recording サーバーの構成を指定します。

Create site
✕

- ✔ Site information
- ✔ About your deployment
Optional
- ✔ Network
- 4
 Virtual machines
- 5 Domain and certificate
- 6 Storage
- 7 Databases
- 8 Load balancer
- 9 Tags
Optional
- 10 Secure client
- 11 Summary

Create virtual machines as your Session Recording servers.

Image

Size

Number of VMs
 Recommended for you: 3

Estimated cost (per month)
 \$812.16

Create an administrator account for the virtual machines.

Administrator account username

You will be prompted to set the password for this administrator when you run the template.

Next
Cancel

注:

- [仮想マシンの数] フィールドには、推奨される数（設定されている場合）が事前に入力されています。必要に応じて数を変更します。
- コスト見積もりは標準価格に基づいており、割引は考慮されていません。実際のコストは見積もりよりも低いことが予想されます。

8. Session Recording サーバーを VDA と同じドメインに参加させ、Session Recording サーバーの証明書を指定します。

- VDA が Active Directory ドメインに接続する場合は、**[Join servers to an Active Directory domain]** チェックボックスをオンにして、関連情報を入力します。
- VDA が Azure Active Directory (AAD) ドメインに接続する場合は、**[Join servers to an Active Directory domain]** チェックボックスをオフにします。現在のサイトの作成が完了したら、Session Recording サーバーを同じ AAD ドメインに手動で参加させてください。純粋な AAD 展開は、Session Recording 2402 以降でのみ使用できることにご注意ください。

Create site ✕

- ✓ Site information
- ✓ About your deployment
Optional
- ✓ Network
- ✓ Virtual machines
- 5 Domain and certificate**
- 6 Storage
- 7 Databases
- 8 Load balancer
- 9 Tags
Optional
- 10 Secure client
- 11 Summary

Join servers to an Active Directory domain

i This should be the domain where your VDAs reside.

Domain name

Domain controller IP address

Username

Specify a domain user with sufficient rights to join machines to the domain.

Password

Specify a certificate for the virtual machines to use. Only .pfx files are supported.

Certificate

Certificate password



Create site

- Site information
- About your deployment
Optional
- Network
- Virtual machines
- 5 Domain and certificate**
- 6 Storage
- 7 Databases
- 8 Load balancer
- 9 Tags
Optional
- 10 Secure client
- 11 Summary

Join servers to an Active Directory domain

Supported only on Session Recording server version 2402 or later. Please select a compatible version in the previous step. [Go back](#)

Specify a certificate for the virtual machines to use. Only .pfx files are supported.

Certificate

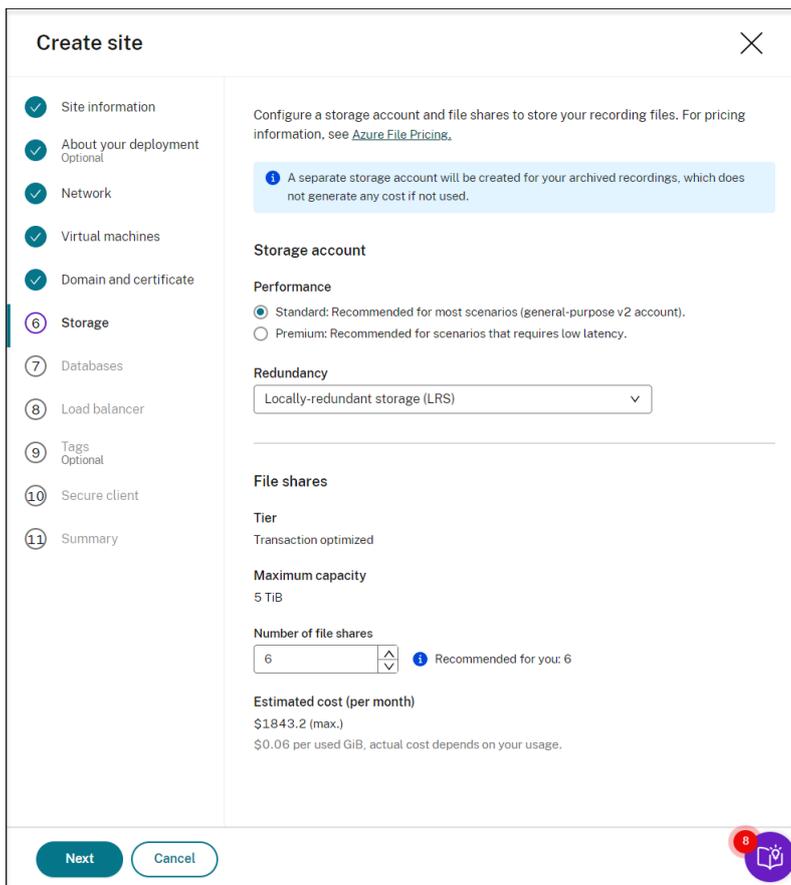
[Browse](#)

Certificate password

Enter password

[Next](#) [Cancel](#)

9. 録画ファイルを保存するために、Azure ストレージアカウントとファイル共有を構成します。価格情報については、「[Azure Files の価格](#)」を参照してください。



10. Azure に 2 つの SQL データベースを作成します。1 つは Session Recording データベース (**session-recording** という名称) として使用され、もう 1 つは管理者ログ データベース (**sessionrecordinglogging** という名称) として使用されます。

Create site
✕

- Site information
- About your deployment
Optional
- Network
- Virtual machines
- Domain and certificate
- Storage
- 7
- Databases
- Load balancer
- Tags
Optional
- Secure client
- Summary

Create 2 SQL databases for recording and logging data, respectively.

Compute + storage

Service tier
General Purpose

Compute tier
Provisioned

Hardware configuration
Standard-series (Gen5)
Up to 128 vCores, up to 625 GiB memory

vCores

Data max size (GiB)

Estimated cost (per month)
\$441.3

Database administrator

Username

You will be prompted to set the password for this administrator when you run the template.

8

11. ロードバランサーを作成して、Session Recording サーバー間でワークロードを分散します。[ロードバランサーのアクセスを以下のアドレスのみに制限する] フィールドに VDA の IP アドレスまたは範囲を入力し、コンマ (,) で区切ります。価格情報については、「[Load Balancer の価格](#)」を参照してください。

Create site [Close]

Site information

About your deployment (Optional)

Network

Virtual machines

Domain and certificate

Storage

Databases

Load balancer

Tags (Optional)

Secure client

Summary

Create a load balancer to distribute workload among the servers. For pricing information, see [Load Balancer Pricing](#).

Azure load balancer

SKU
Standard

Type
 Public
 Internal

You need to assign an IP address to the internal load balancer. Enter an unoccupied IP address in the subnet that you created for your Session Recording resources in the **Network** step.

Enter IP address

Tier
Regional

Estimated cost (per month)
\$189.6

Access
Restrict access of the load balancer to only the following addresses ?

192.168.99.0/24

Next Cancel [Help]

12. (オプション) 作成する Azure リソースにタグを適用します。

Create site [Close]

- ✓ Site information
- ✓ About your deployment
Optional
- ✓ Network
- ✓ Virtual machines
- ✓ Domain and certificate
- ✓ Storage
- ✓ Databases
- ✓ Load balancer
- 9 **Tags**
Optional
- 10 Secure client
- 11 Summary

You can apply tags to the Azure resources that will be created.
If no tags are needed, simply click **Next** to continue.

Name	Value
+ Add	

Next **Cancel** [Help]

13. Session Recording サーバーを Session Recording サービスに登録するためのセキュアクライアントを作成します。

[クライアントの作成] をクリックすると、Citrix がユーザーに代わってセキュアクライアントを作成します。または、Citrix Cloud コンソールの **[ID およびアクセス管理]** > **[API アクセス]** タブを通じてセキュアクライアントを作成し、以下の情報を入力できます。

Create site [Close]

- Site information
- About your deployment
Optional
- Network
- Virtual machines
- Domain and certificate
- Storage
- Databases
- Load balancer
- Tags
Optional
- 10 Secure client**
- 11 Summary

Create a secure client to onboard the Session Recording servers to the Session Recording service.

Click **Create client** and we will create a secure client on your behalf. Alternatively, you can create a secure client through the [Identity and Access Management > API Access](#) tab of the Citrix Cloud console and then fill in the information below.

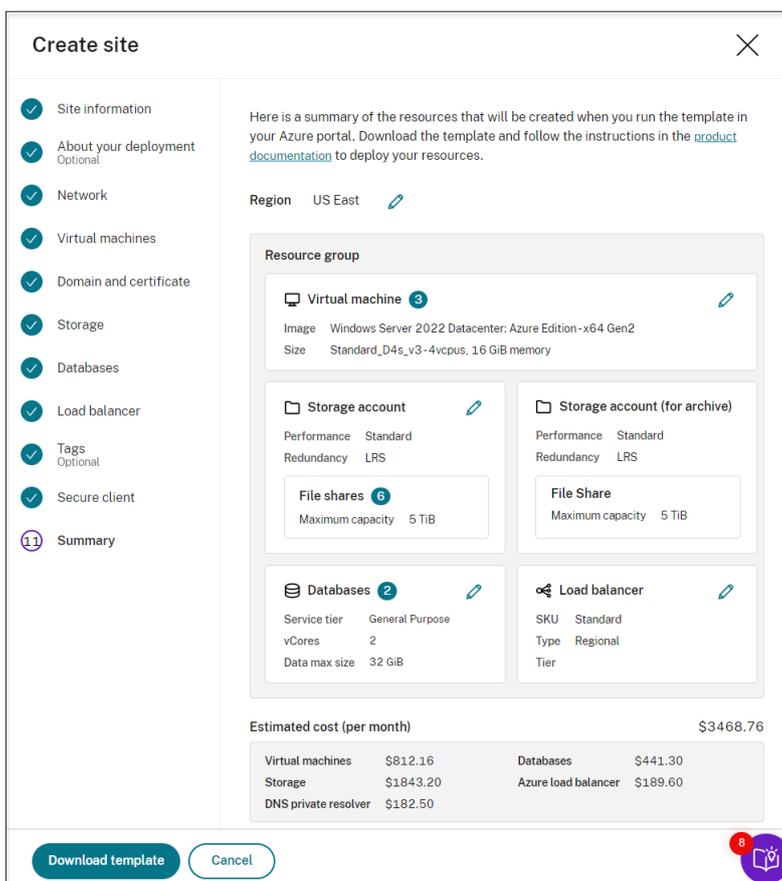
Create client

ID
6b63afdf-d048-49e1-b27d-781bfea97a2

Secret
.....

Next **Cancel** [Help]

- 作成するリソースの概要を表示し、必要に応じて鉛筆アイコンをクリックして設定を編集します。その後、**[Download template]** をクリックします。展開方法と展開するリソースを含む AEM テンプレートが、マシンのダウンロードフォルダーにダウンロードされます。新しく作成されたサイトは、[サーバー管理] ページでも確認できます。



- ダウンロードフォルダーに移動し、ARM テンプレートを展開します。展開したファイルフォルダーを開き、アドレスバーに「PowerShell」と入力して **Enter** キーを押します。そのフォルダーから PowerShell ウィンドウが開くまで待ちます。
- DeploySessionRecording.ps1** という名称の JavaScript Object Notation (JSON) スクリプトを実行します。要求されたパラメーターの値を入力します。実際のパラメーターは、テンプレートの作成時に指定した設定によって異なります。例：

```
PS D:\Downloads\Edge_Downloads\471a0ec3-f680-4d33-a655-047480922194> .\DeploySessionRecording.ps1
cmdlet DeploySessionRecording.ps1 at command pipeline position 1
Supply values for the following parameters:
TenantId: |
```

```
PS D:\Downloads\Edge Downloads\471a0ec3-f680-4d33-a655-047480922194> .\DeploySessionRecording.ps1

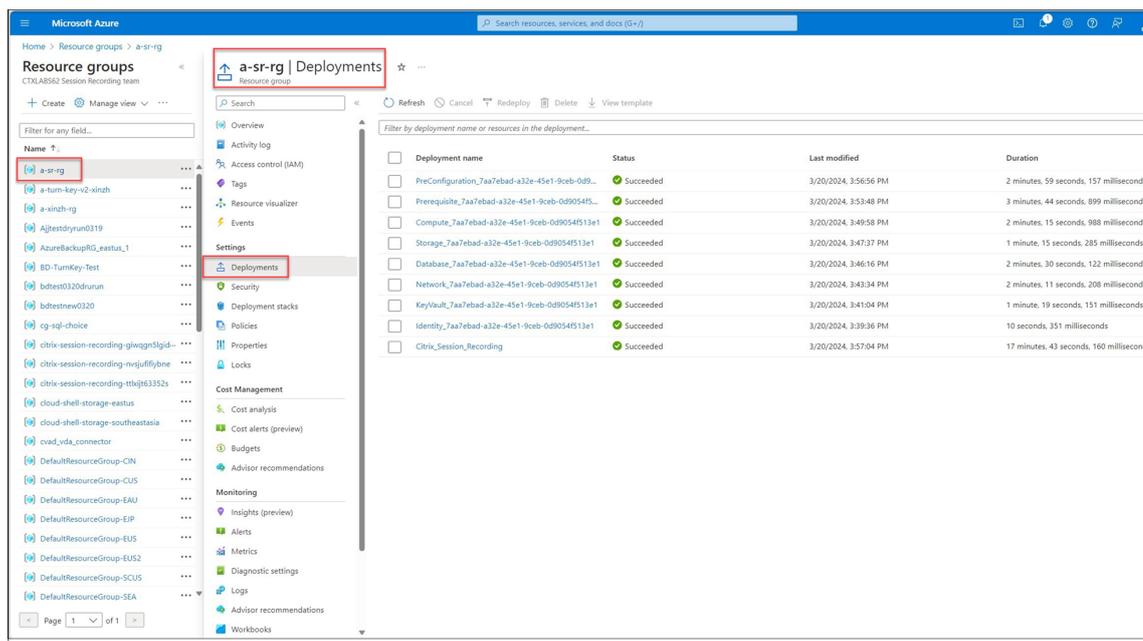
cmdlet DeploySessionRecording.ps1 at command pipeline position 1
Supply values for the following parameters:
TenantId: 03eacdb3-8322-4854-8219-30b0526a6428
AzureClientId: 59e6df48-2aeb-487b-95b8-b95c64b8c897
AzureClientSecret: *****
SubscriptionId: eb089a2e-52b0-4492-9e24-7bf579cff14f
ResourceGroupName: a-xinzhang-rg-1
DomainPassword: *****
VmAdminPassword: *****
SqlAdminPassword: *****
WARNING: The provided service principal secret will be included in the 'AzureRmContext.json' file found in the user
profile ( C:\Users\xinzh\Azure ). Please ensure that this directory has appropriate protections.

Account                               SubscriptionName                       TenantId                               Env
-----                               -
59e6df48-2aeb-487b-95b8-b95c64b8c897 cvad-session-recording-tie.liu@citrix.com 03eacdb3-8322-4854-8219-30b0526a6428 Azu

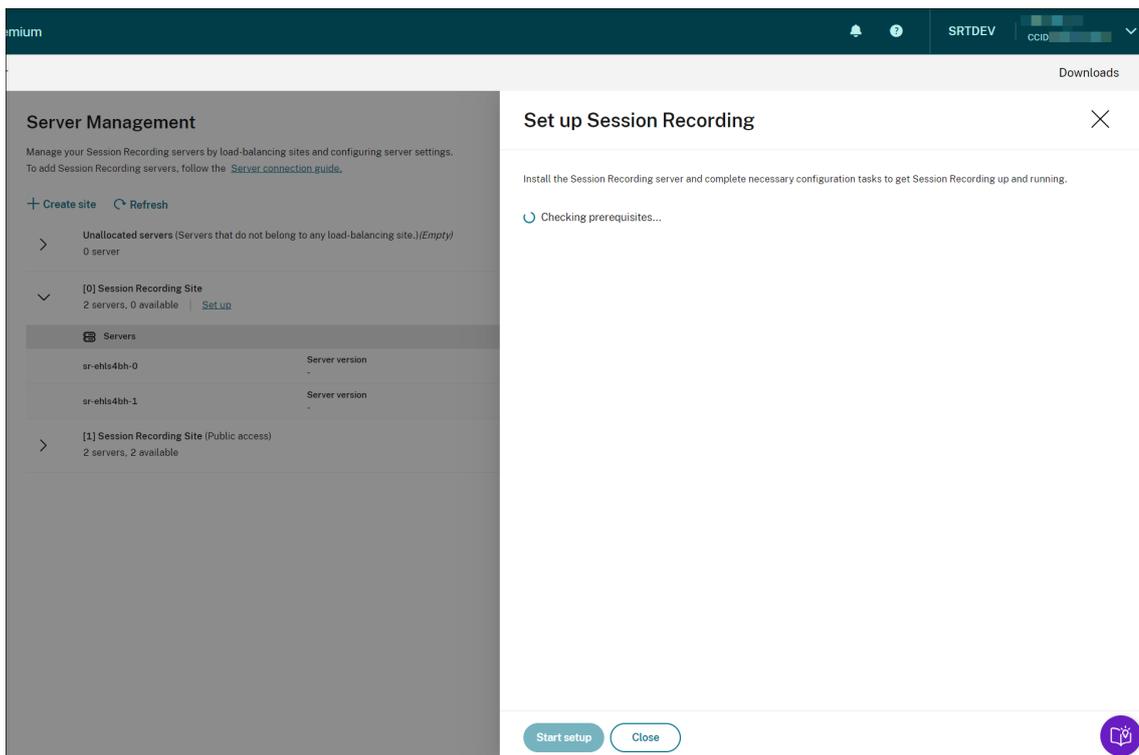
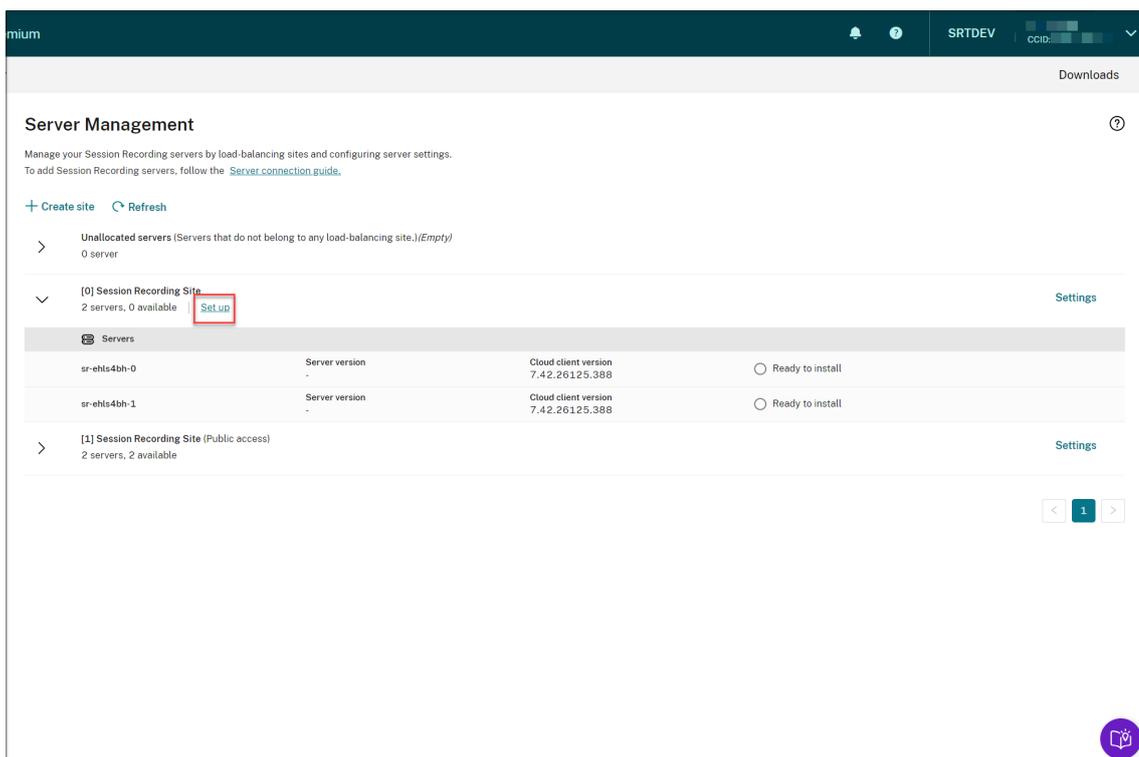
ResourceGroupName : a-xinzhang-rg-1
Location          : eastus
ProvisioningState : Succeeded
Tags              : {admin}
TagsTable        :
                  Name Value
                  ====
                  admin xinzh

ResourceID        : /subscriptions/eb089a2e-52b0-4492-9e24-7bf579cff14f/resourceGroups/a-xinzhang-rg-1
ManagedBy       :
```

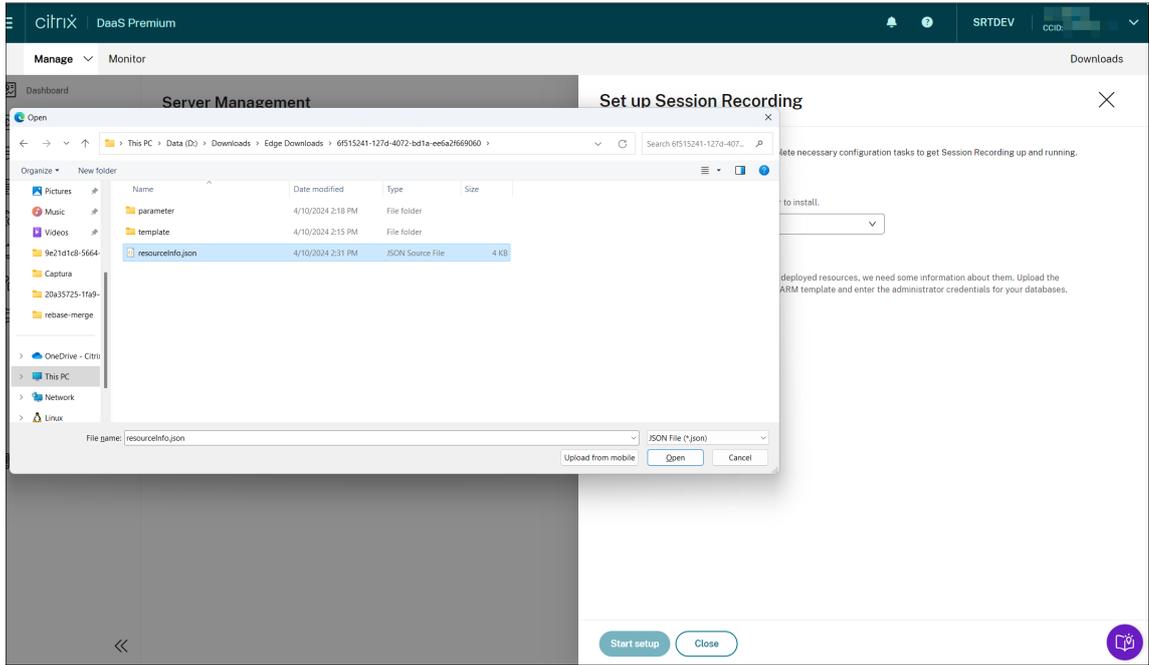
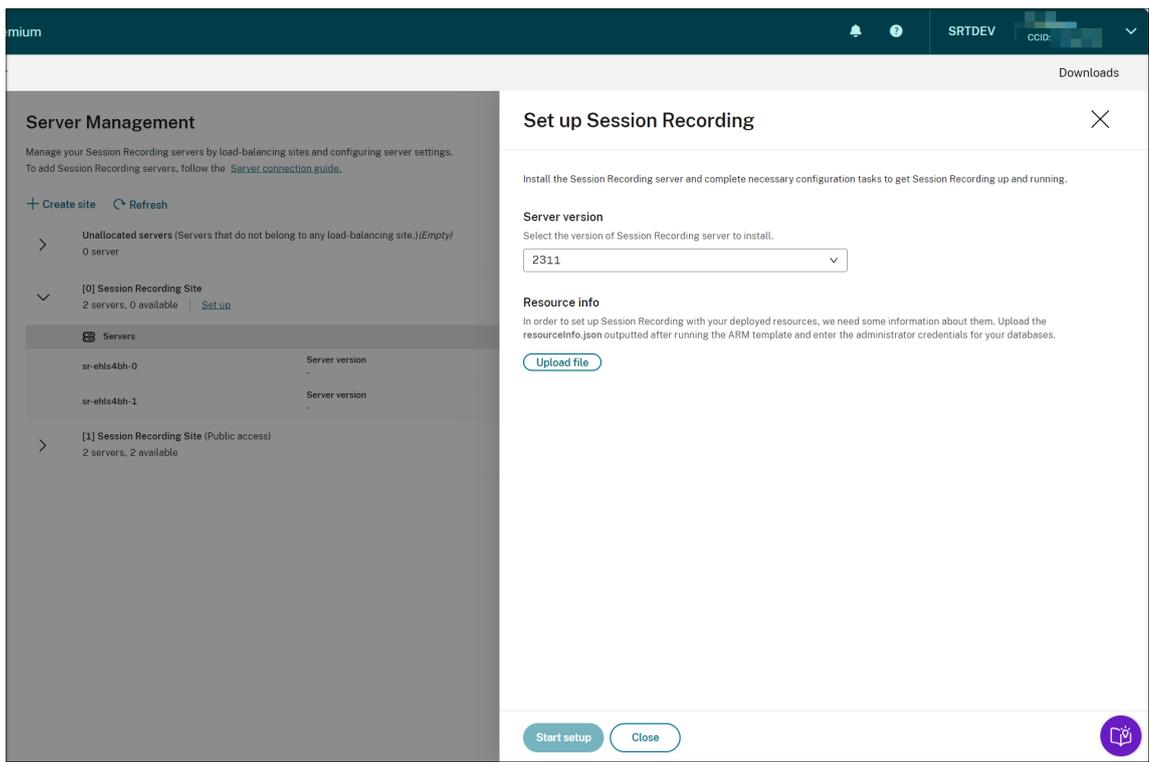
17. Azure ポータルに移動し、展開が含まれているリソースグループを見つけて、展開の進行状況を確認します。展開全体で「**Succeeded**」と表示されるまで待ちます。



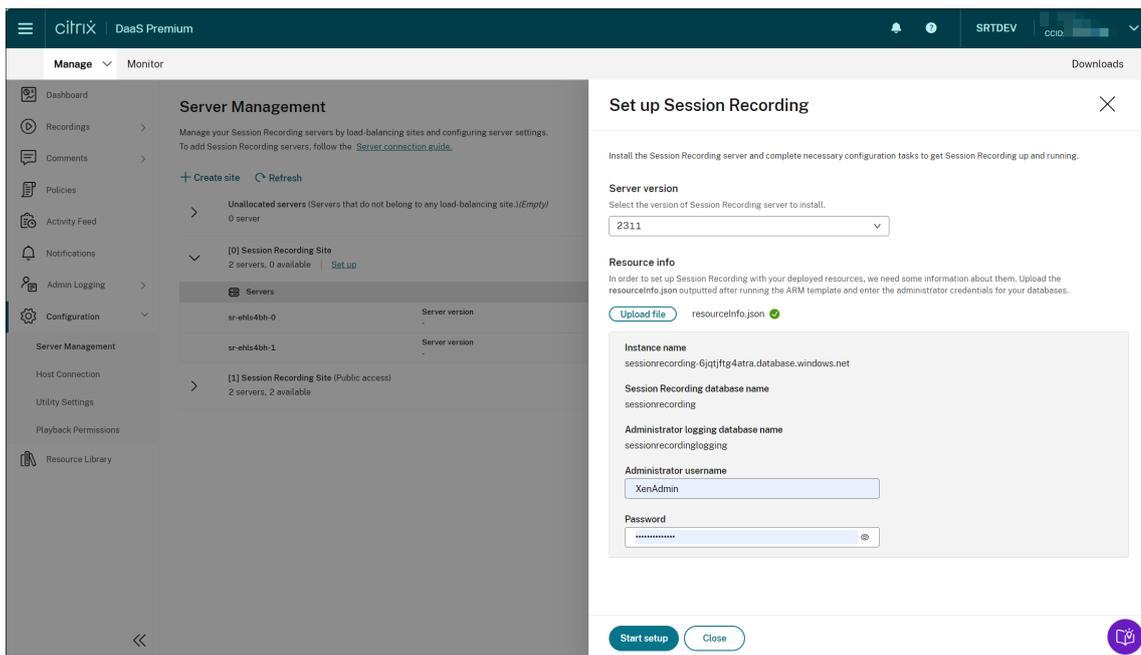
18. Session Recording サービスの [サーバー管理] ページに戻ります。新しく作成されたサイトを表示すると、**Set up** ボタンが利用可能になっています。**Set up** をクリックして Session Recording をセットアップし、実行します。



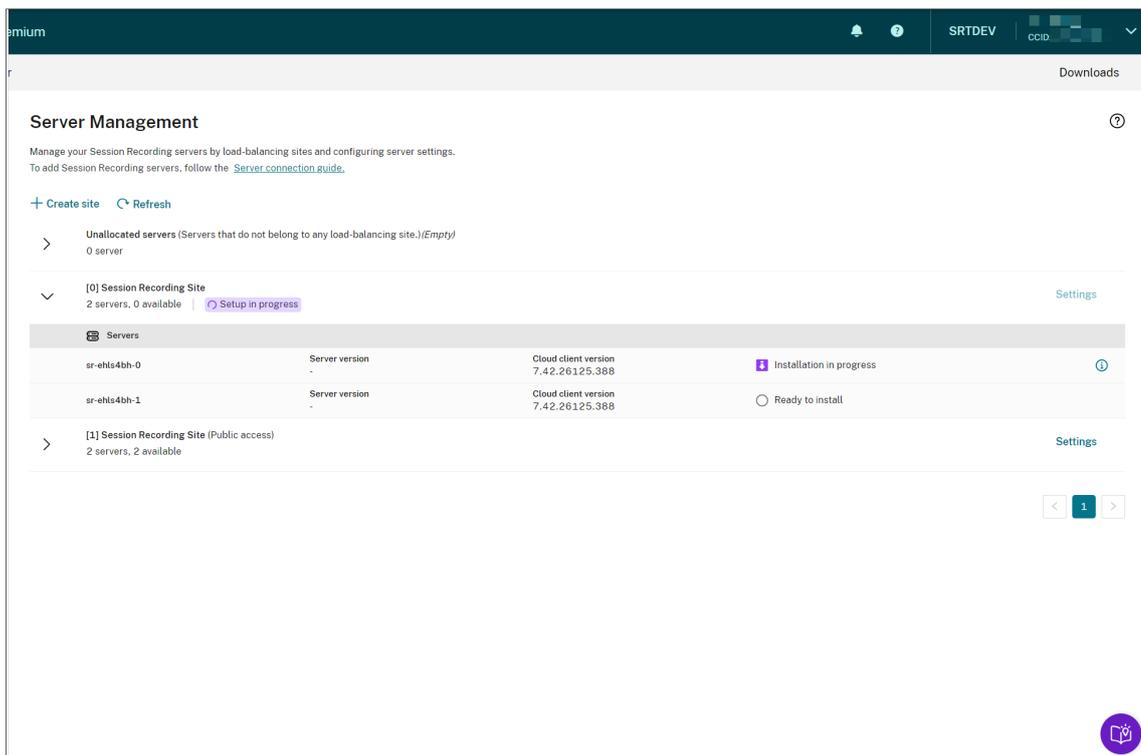
Session Recording をセットアップするには、インストールする Session Recording サーバーのバージョンを指定して、**resourceInfo.json** ファイルをアップロードする必要があります。

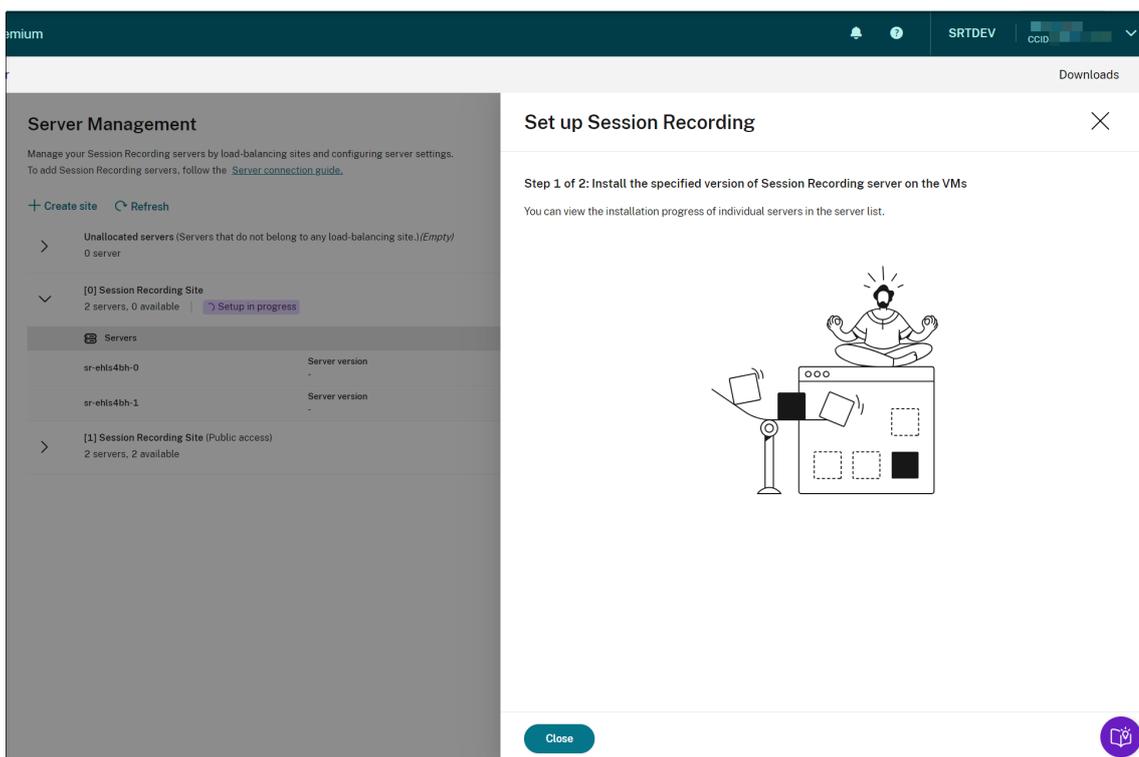


データベースの資格情報を入力します。

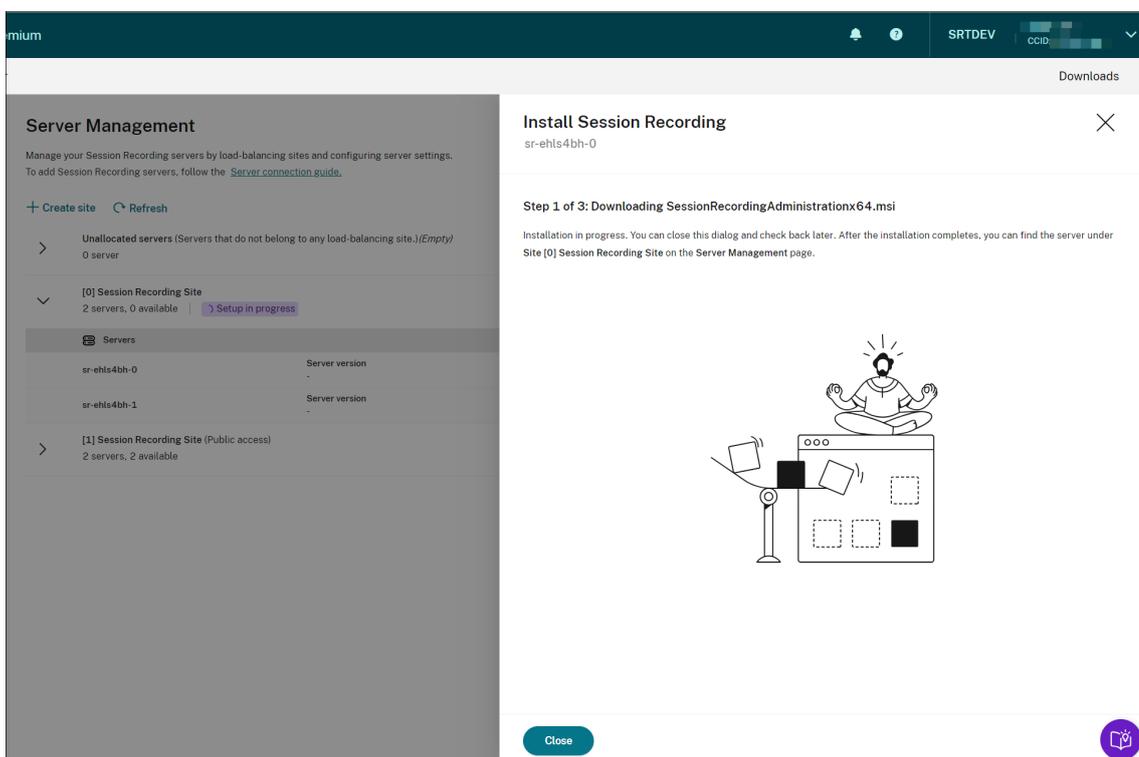


[Start startup] をクリックします。その後、[サーバー管理] ページでセットアップの進行状況を確認できます。

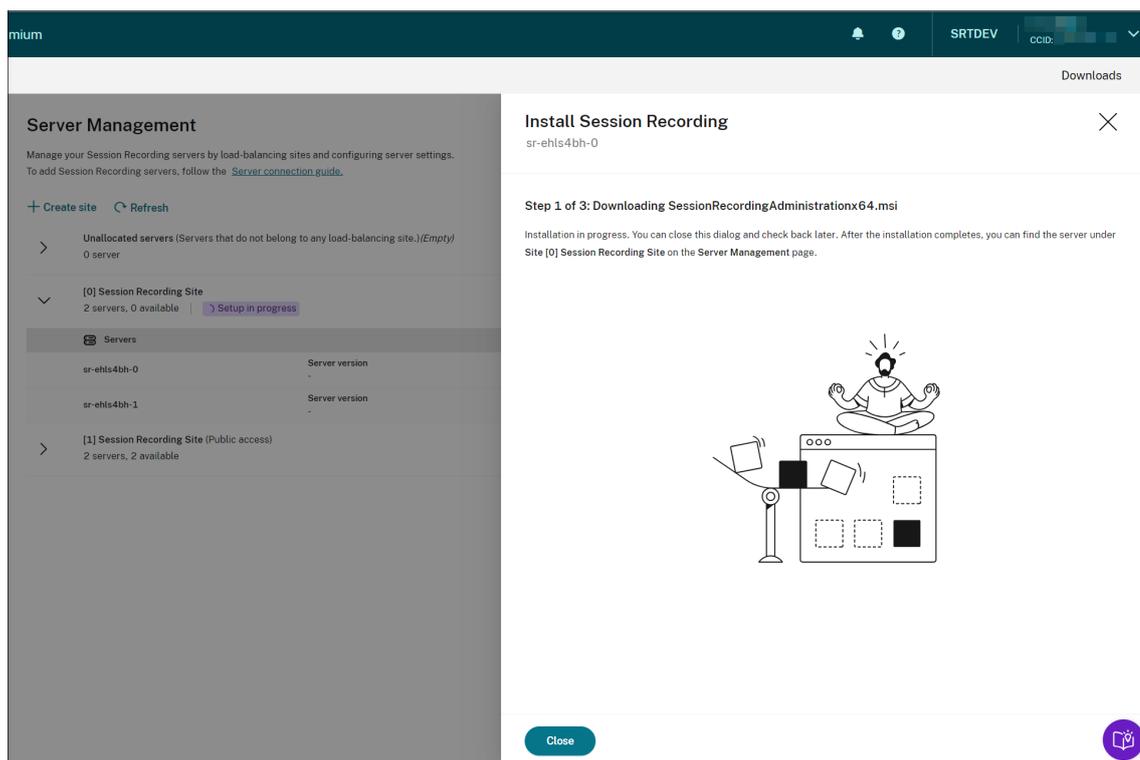




サーバー一覧で個々のサーバーのインストールの進行状況を確認できます。



すべての Session Recording サーバーが一覧に使用可能として表示されたら、サイトの作成は完了し、指定したリソースが Azure に展開されます。



クラウドクライアントをアップグレードするスケジュール設定

May 22, 2024

クラウドに接続する各 Session Recording サーバーに、Session Recording クラウドクライアントをインストールします。Citrix は、Session Recording クラウドクライアントのアップグレードを自動でチェックします。クラウドクライアントをすぐにアップグレードすることも、時間を指定して自動的にアップグレードすることもできます。

クラウドクライアントをすぐに、または自動的にアップグレードする

クラウドクライアントをすぐに、または自動的にアップグレードするには、次のいずれかの方法を選択します：

方法 1: 対象の **Session Recording** サーバーの行にあるクラウドクライアントのバージョンをクリックする

1. Session Recording サービスの左側のナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択し、対象の Session Recording サーバーを見つけます。
2. Session Recording サーバーの状態が「使用可能」であることを確認してください。

3. Session Recording サーバーの行にある [クラウドクライアントのバージョン] をクリックします。

サーバーの状態が「使用可能」でない場合、[クラウドクライアントのバージョン] はクリックできません。

Server ID	Server version	Cloud client version	Status	Actions
SR1912	19.12.6000.24093	7.37.25542.42517	Available	Settings
SR2203	22.3.2000.36	7.37.25542.42517	Offline	Settings
SR5-7			1 server, 1 available	Settings
STANDALONE2209	22.9.0.1	7.37.25542.42517	Available	Settings
W2K16ST-SRGXDEV			1 server, 1 available	Settings
W2K19ST-74G7G16			1 server, 1 available	Settings
W2K19ST-DRV9J12			1 server, 0 available	Settings
W2K19ST-GA37VLG			1 server, 1 available	Settings
W2K19ST-VMODNLK			1 server, 0 available	Settings
WEEKLYSERVER2			4 servers, 1 available	Settings

4. [今すぐアップグレード] または [自動アップグレードの構成] をクリックします。

Cloud client version

Current version 7.37.25459.8745
Latest version 7.37.25542.42517

i Upgrade available.

Upgrade now
Configure automatic upgrade

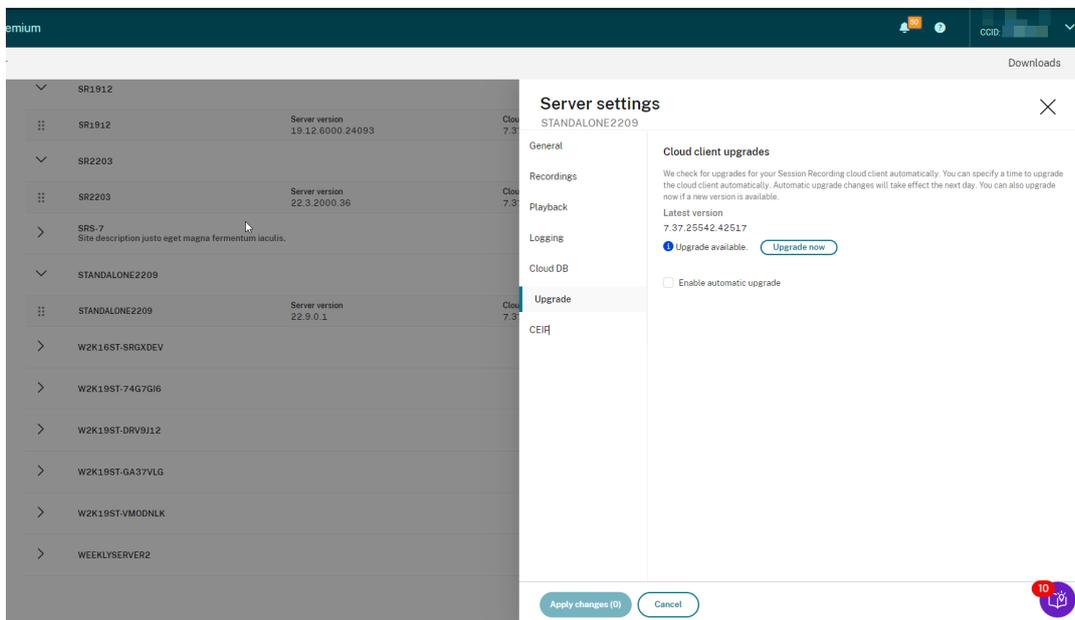
- [今すぐアップグレード] をクリックします。

クラウドクライアントのバージョンがすでに最新の場合、[今すぐアップグレード] は利用できません。[今すぐアップグレード] をクリックしても、アップグレードを確認するプロンプトは表示されませ

ん。

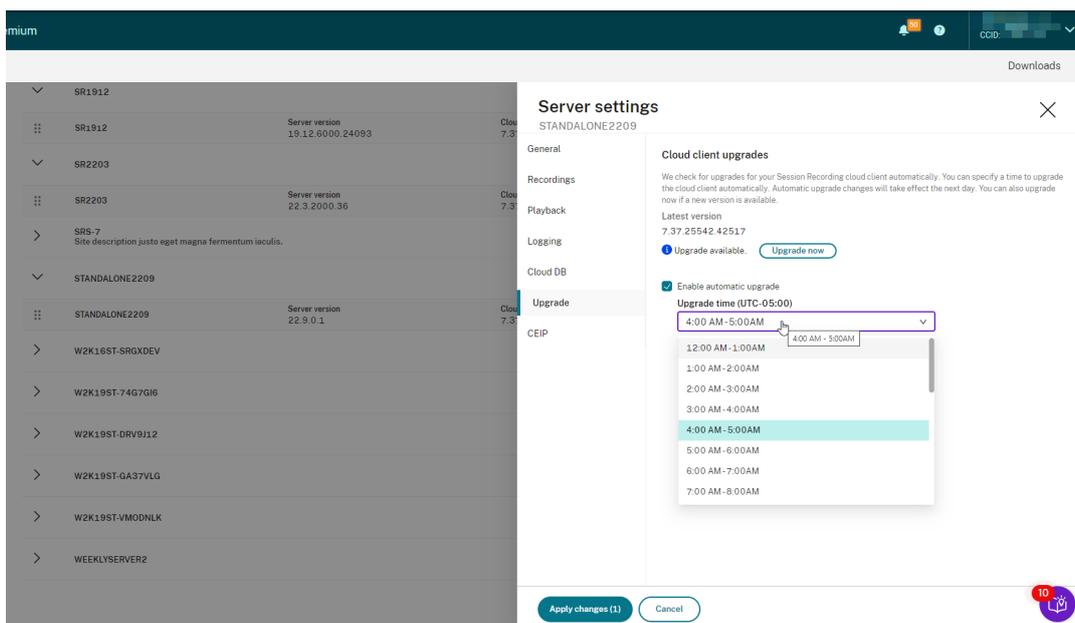
- [自動アップグレードの構成] をクリックします。

[自動アップグレードの構成] をクリックすると、[クラウドクライアントのアップグレード] ページが表示され、クラウドクライアントを自動的にアップグレードする時間を指定できます。



デフォルトでは、自動アップグレードが有効になっており、毎日午前 2 時から午前 3 時の間に実行されます。[自動アップグレードを有効にする] チェックボックスをオフにして、手動アップグレードのみを許可することができます。

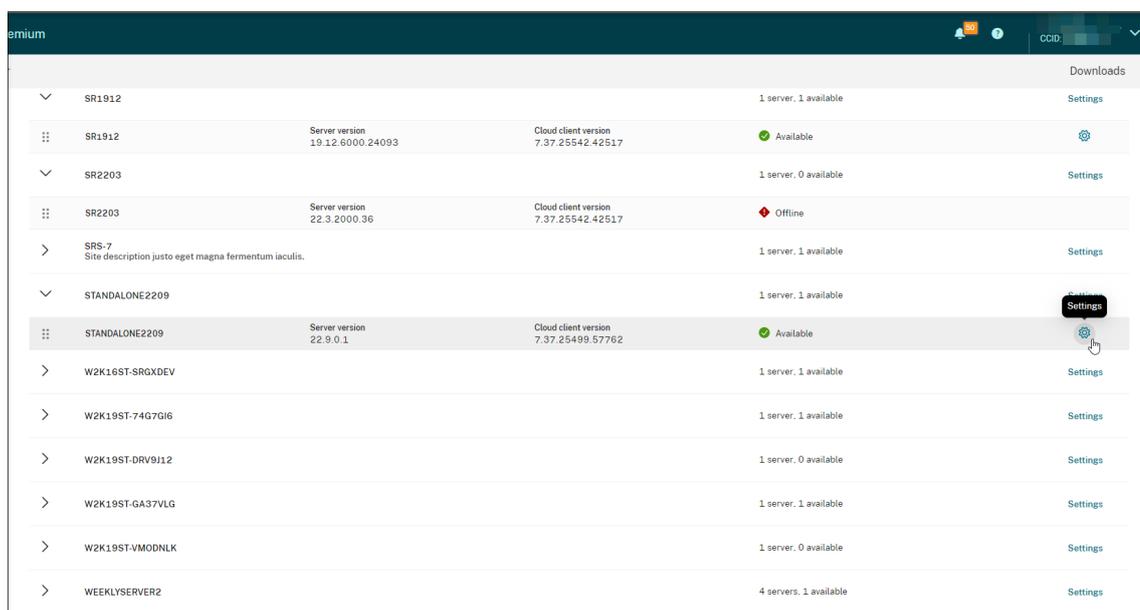
[自動アップグレードを有効にする] チェックボックスをオンにすると、ニーズに応じたカスタムの時間帯を指定できます。ここに表示される時間は、Session Recording サーバー上の時間です。



自動アップグレード設定は翌日に有効になります。

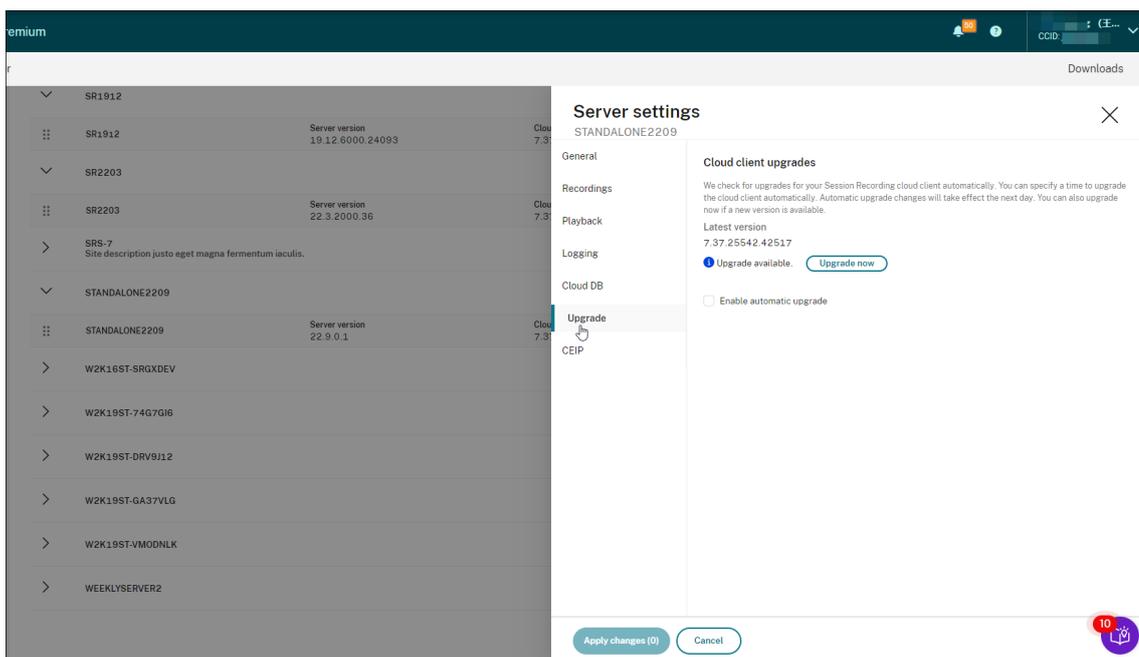
方法 2: 対象の **Session Recording** サーバーの行にある設定アイコンをクリックする

1. Session Recording サービスの左側のナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択し、対象の Session Recording サーバーを見つけます。
2. Session Recording サーバーの状態が「使用可能」であることを確認してください。
3. 対象の Session Recording サーバーの行にある設定アイコンをクリックします。[サーバーの設定] ウィンドウが開きます。



Server ID	Server version	Cloud client version	Status	Actions
SR1912	19.12.6000.24093	7.37.25542.42517	Available	Settings
SR2203	22.3.2000.36	7.37.25542.42517	Offline	Settings
SRS-7	Site description justo eget magna fermentum iaculis.		1 server, 1 available	Settings
STANDALONE2209	22.9.0.1	7.37.25499.57762	Available	Settings
W2K16ST-SRGXDEV			1 server, 1 available	Settings
W2K19ST-74G7GIG			1 server, 1 available	Settings
W2K19ST-DRV9J12			1 server, 0 available	Settings
W2K19ST-GA37VLG			1 server, 1 available	Settings
W2K19ST-VMODNLK			1 server, 0 available	Settings
WEEKLYSERVER2			4 servers, 1 available	Settings

4. 左側のナビゲーションで [アップグレード] をクリックします。

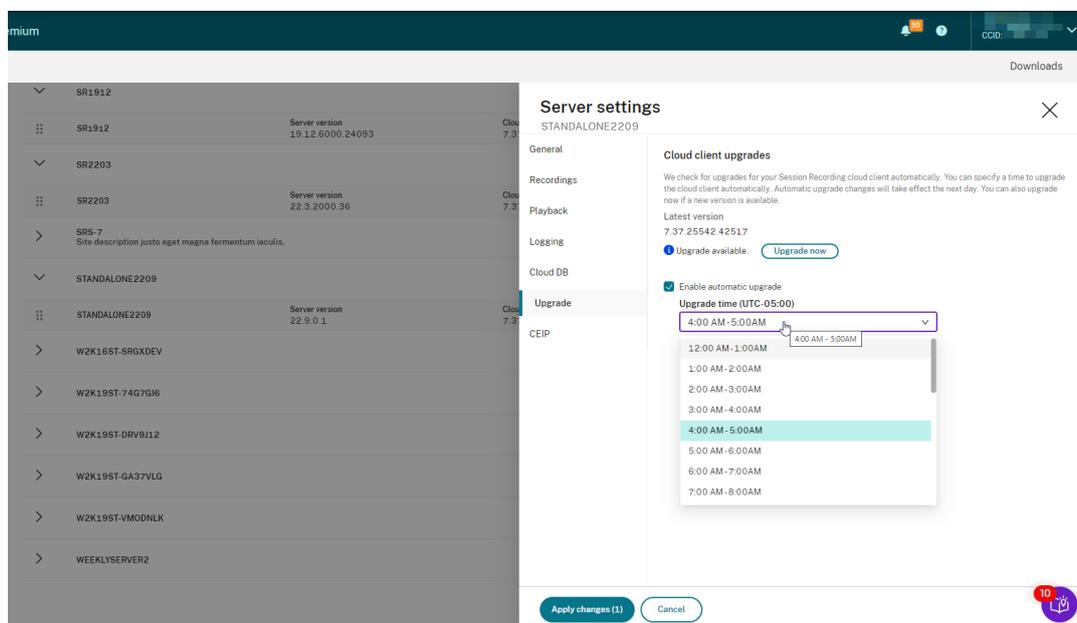


5. [今すぐアップグレード] または [自動アップグレードを有効にする] をクリックします。

- [今すぐアップグレード] をクリックします。

クラウドクライアントのバージョンがすでに最新の場合、[今すぐアップグレード] は利用できません。[今すぐアップグレード] をクリックすると、アップグレードを確認するプロンプトが表示されます。

- [自動アップグレードを有効にする] を設定します。



注:

クラウドクライアントの自動アップグレードに設定する時間が、録画の自動アーカイブと自動削

除に設定する時間よりも早いことを確認してください。そうしないと、自動アーカイブと自動削除が失敗する可能性があります。

構成

February 20, 2024

このセクションでは、以下を実行する手順を説明します：

- [Session Recording サーバーの構成](#)
- [ポリシーの設定](#)
 - [Session Recording ポリシーの構成](#)
 - [イベント検出ポリシーの構成](#)
 - [イベント応答ポリシーの構成](#)
- [再生権限の構成](#)
- [ユーティリティの構成](#)

サイトとサーバーの設定

August 4, 2023

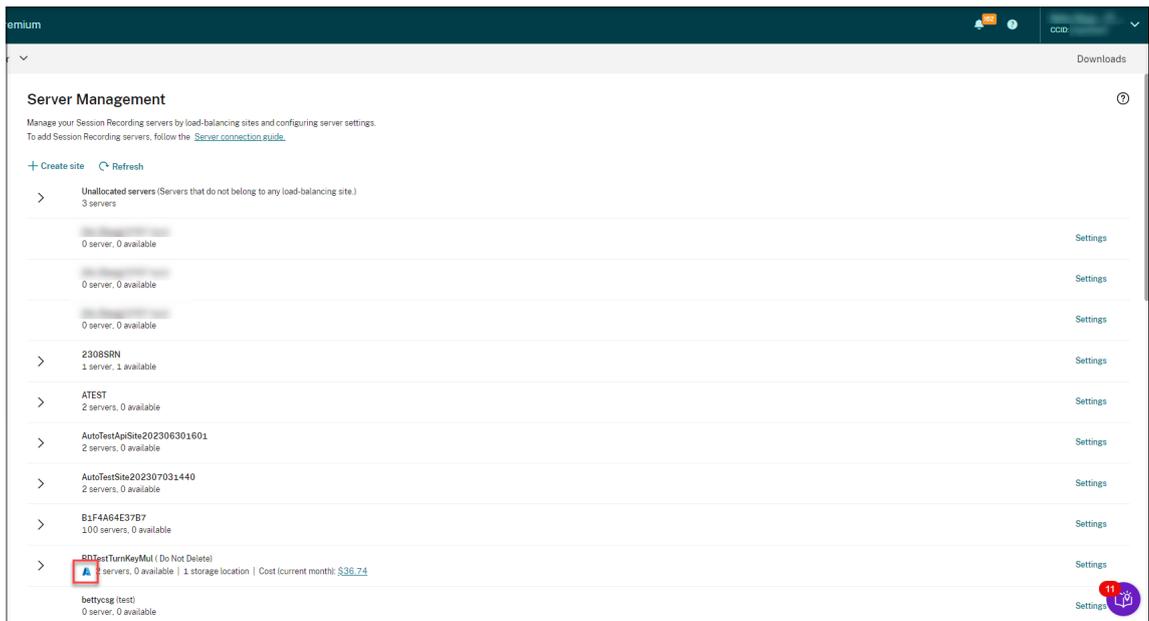
サイト設定

1. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択します。
2. ターゲットサイトの [設定] をクリックします。

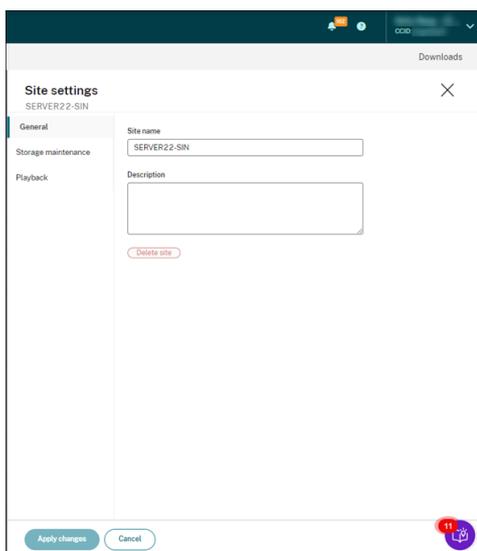
Session Recording サービス



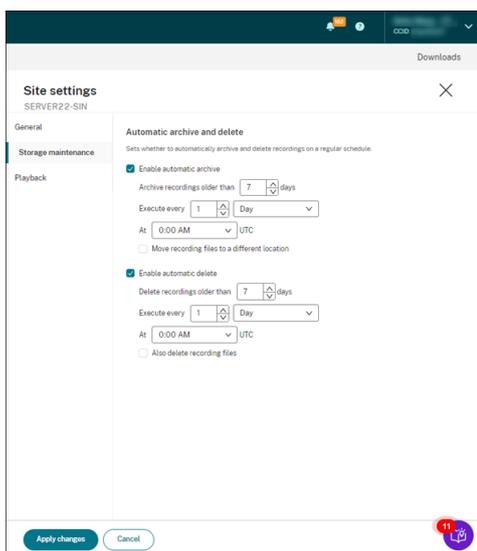
Azure アイコンは、Azure に展開されたサイトを表すために使用できます。



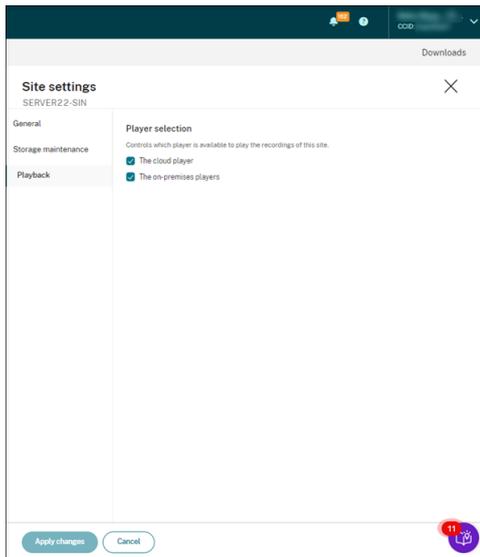
3. 必要に応じてサイトの名前を変更し、新しい説明を追加します。



4. サイトレベルのタスクをスケジュールして、録画を自動でアーカイブおよび削除します。詳しくは、「[スケジュールに基づく録画の管理](#)」を参照してください。

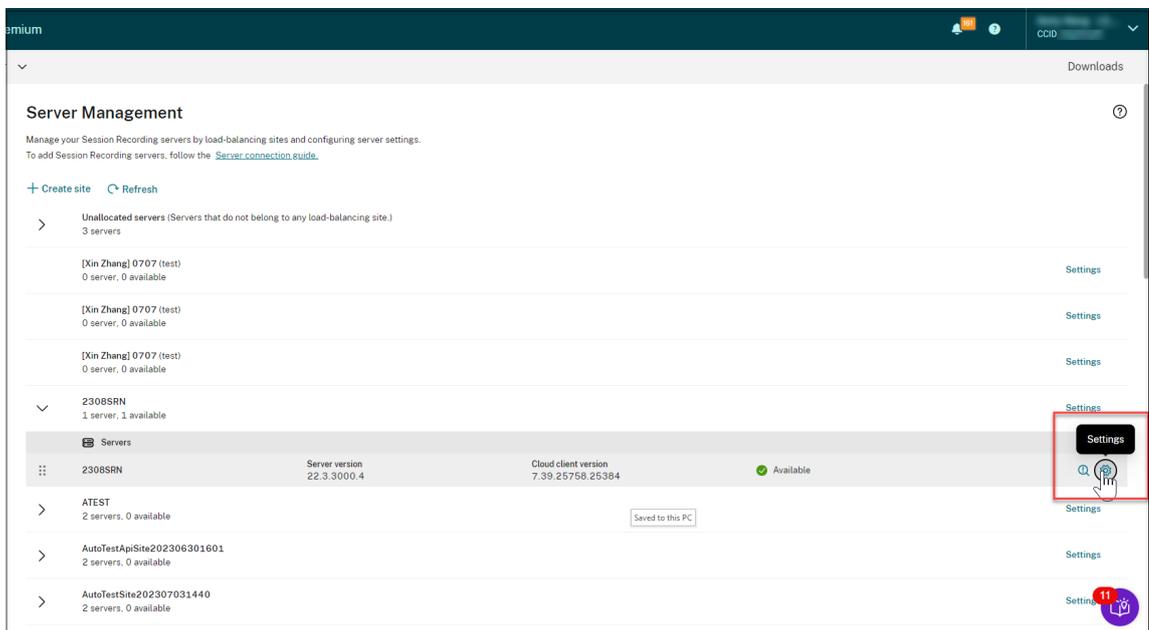


5. サイトの録画を再生するには、クラウドプレーヤー、オンプレミスプレーヤー、またはその両方を指定します。デフォルトでは、クラウドプレーヤーとオンプレミスプレーヤーの両方が選択されています。オンプレミスプレーヤーには、Session Recording Player (Windows) および Session Recording Web Player が含まれます。詳しくは、「[サイトのプレーヤーを指定](#)」を参照してください。



サーバー設定

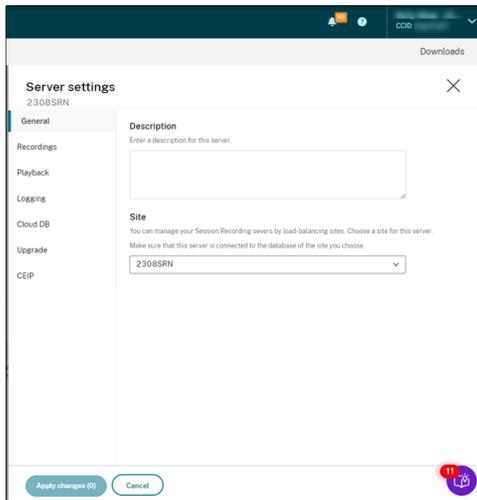
1. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択します。
2. サイトを展開してターゲットの Session Recording サーバーを見つけ、その横の設定アイコンをクリックします。設定アイコンは、使用可能な状態のサーバーにのみ表示されます。



注:

クラウドクライアントサービス(CitrixSsRecCloudClientService)を停止した後、Session Recording サーバーの状態が [オフライン] に変わらないことがあります。

3. [全般] ページで、Session Recording サーバーの説明を入力し、サーバーを別のサイトに移動します。Session Recording サーバーを別のサイトにドラッグアンドドロップすることもできます。



4. [録画] およびその他のページで、次の表に表示されているサーバー設定を構成します：

サーバー設定	説明
ファイルの格納場所	録画したセッションファイルを保存する場所を指定します。複数の場所を指定して、負荷分散してファイルを保存できます。
証明書	録画に署名するためのマシン証明書を選択できます。証明書が指定されていない場合、通信プロトコルとして HTTP が使用されます。この場合、次のことを確認してください：(1) 各 Session Recording サーバーの Microsoft Internet Information Services (IIS) で Secure Sockets Layer (SSL) が無効になっている。(2) Session Recording Agent の接続プロトコルとして HTTP が選択されている。詳しくは、「HTTP を通信プロトコルに使用する」を参照してください。
ファイルのロールオーバー	ロールオーバーの2つのしきい値（ファイルサイズと録画時間）を指定できます。
通知	エンドユーザーに送信されるメッセージをカスタマイズして、セッションが録画されていることをエンドユーザーに通知します。
アーカイブ済みファイルの復元場所	アーカイブされたセッション録画を一時的に保存し、再生できるようにする場所を指定します。
ライブセッションの再生	録画されている進行中のセッションをユーザーが再生できるようにするかどうかを設定します。

サーバー設定	説明
録画ファイルの暗号化	プレーヤーにダウンロードする前に録画ファイルを暗号化するかを設定します。暗号化により、ファイルを最初にダウンロードしたユーザー以外のユーザーがファイルをコピーしたり閲覧したりすることができなくなります。この設定は、Session Recording Player にのみ適用されます。
Citrix Workspace アプリのバージョンチェック	Session Recording Player が録画を再生する前に Citrix Workspace アプリのバージョンチェックをスキップできるかを設定します。この設定は、Session Recording Player にのみ適用されます。
Web Player のホームページのコンテンツを非表示	Web Player のホームページにコンテンツが表示されないようにするかを設定します。録画には、URL を介してのみアクセスできます。この設定は、オンプレミスの Web Player にのみ適用されます。
管理者ログ	管理者ログサービスを有効にするかどうかを設定します。
必須のブロック	管理者ログの記録に失敗した場合に、ポリシーとサーバーの設定変更を禁止するかどうかを設定します。
クラウド SQL のサポート	クラウド SQL を有効または無効にできます。
クラウドクライアントのアップグレード	クラウドクライアントを自動的にアップグレードする時間を指定できます。自動アップグレードによる変更は翌日に有効になります。新しいバージョンが利用可能な場合は、すぐにアップグレードすることもできます。
CEIP	Citrix Customer Experience Improvement Program (CEIP) に参加するかどうかを設定します。

サーバーの削除

Session Recording サービスは、組織全体の Session Recording サーバーを管理および監視するための、統合されたエントリポイントを提供するクラウドプラットフォームです。[オフライン]、[アンインストール済み]、および [インストールに失敗しました] 状態のサーバーをクラウドから削除して、必要な Session Recording サーバーのみを表示できます。

注:

Session Recording サーバーを削除しても、Session Recording サーバーは削除されず、クラウドユーザーインターフェイスから非表示になるだけです。

▼	W2K19ST-VMODNLK 2 servers, 1 available				Settings
	 Servers				
⋮	W2K19ST-S2N3DM7	Server version 22.10.0.8	Cloud client version 7.39.25738.41023	● Available	🔍 ⚙️
⋮	W2K19ST-VMODNLK	Server version 22.9.0.2	Cloud client version 7.39.25771.65403	❖ Offline	🗑️
▼	W2K22ST-TB81E13 1 server, 0 available				Settings
	 Servers				
⋮	W2K22ST-TB81E13	Server version 23.5.0.0	Cloud client version 7.39.25726.60926	❖ Offline	🗑️
▼	WEEKLYSERVER2 4 servers, 1 available				Settings
	 Servers				
⋮	SR-Server	Server version 22.3.1000.5	Cloud client version 7.36.25431.20278	🗑️ Uninstalled	🗑️
⋮	SR-Server2 1213	Server version 22.3.1000.5	Cloud client version 7.36.25410.34348	🔄 Upgrading	
⋮	W2K19ST-GBVQ3PL	Server version 22.10.0.8	Cloud client version 7.36.25431.20278	❖ Offline	🗑️
⋮	WEEKLYSERVER2	Server version 22.12.0.844	Cloud client version 7.36.7020.11	● Available	🔍 ⚙️

- オフライン: この状態の Session Recording サーバーは、Session Recording サービスから切断されています。
- アンインストール済み: この状態の Session Recording サーバーは、クラウドクライアントがインストールされ、その後アンインストールされたサーバーです。
- インストールに失敗しました: この状態の Session Recording サーバーは、クラウド内からのインストールに失敗したサーバーです。詳しくは、「[クラウド内からの Session Recording サーバーのインストール](#)」を参照してください。

ポリシーの構成

November 10, 2022

Session Recording サービスを介して、特定のサイトのセッション録画、イベント検出、およびイベント応答ポリシーを表示および構成できます。作成またはアクティブ化した各ポリシーは、サイトのすべての Session Recording サーバーに適用されます。

詳しくは、次のトピックを参照してください:

- [Session Recording ポリシーの構成](#)
- [イベント検出ポリシーの構成](#)
- [イベント応答ポリシーの構成](#)

ポリシーの構成に関するビデオ:



Session Recording ポリシーの構成

May 22, 2024

システム定義の録画ポリシーをアクティブにすることも、独自のカスタム録画ポリシーを作成してアクティブにすることもできます。システム定義の録画ポリシーにより、セッション全体に単一の規則を適用します。カスタム録画ポリシーにより、録画するセッションを指定します。

アクティブな録画ポリシーによって録画するセッションが決定されます。一度にアクティブにできる録画ポリシーは1つだけです。

注:

録画ポリシーを作成またはアクティブ化すると、ポリシーは選択したサイトのすべての Session Recording サーバーに適用されます。サイトごとに個別の録画ポリシーを作成してアクティブ化できます。

システム定義の録画ポリシー

Session Recording には、次のシステム定義の録画ポリシーがあります:

emium

203 ?

CCID: [redacted]

Downloads

Policies AWSRS

Recording policy Event detection policy Event response policy

Add policy Search

Do not record
This policy means no sessions will be recorded. System-defined

Record entire sessions excluding audio (for everyone, with notification)
This policy records entire sessions (screens and events), excluding audio. Users receive recording notifications in advance. System-defined

Record entire sessions excluding audio (for everyone, without notification)
This policy records entire sessions excluding audio (screens and events). Users do not receive recording notifications. System-defined

Record entire sessions excluding audio with lossy screen recording enabled (for everyone, with notification)
This policy records entire sessions (screens and events) and using lossy screen recording mode to encode screens. Users receive recording notifications in advance. System-defined

注:

Session Recording バージョン 2308 以降では、非可逆画面録画と最適化されていない HDX オーディオのオーディオ録画の両方が利用可能です。

- 録画しない。デフォルトのポリシーです。ほかのポリシーを指定しなければ、セッションは録画されません。
- オーディオを除くセッション全体を録画します（全ユーザー、通知あり）。このポリシーは、セッション全体（画面とイベントを含むが、音声は除く）を録画します。ユーザーは事前に録画通知を受け取ります。
- オーディオを除くセッション全体を録画します（全ユーザー、通知なし）。このポリシーは、セッション全体（画面とイベントを含むが、音声は除く）を録画します。ユーザーは録画通知を受け取りません。
- 非可逆画面録画を有効にしてオーディオを除くセッション全体を録画します（全ユーザー、通知あり）。このポリシーは、セッション全体（画面とイベントを含むが、音声は除く）を録画します。録画ファイルのサイズを削減するために、非可逆画面録画が有効になっています。ユーザーは事前に録画通知を受け取ります。
- 非可逆画面録画を有効にしてオーディオを除くセッション全体を録画します（全ユーザー、通知なし）。このポリシーは、セッション全体（画面とイベントを含むが、音声は除く）を録画します。録画ファイルのサイズを削減するために、非可逆画面録画が有効になっています。ユーザーは録画通知を受け取りません。
- オーディオを含めてセッション全体を録画します（全ユーザー、通知あり）。このポリシーは、セッション全体を録画します（画面、イベント、音声を含む）。ユーザーは事前に録画通知を受け取ります。最適化されていない HDX オーディオのオーディオ録音を有効にできます。最適化されていない HDX オーディオとは、VDA 上で処理され、Citrix Workspace アプリがインストールされているクライアントとの間で送信されるオーディオを指します。最適化されていない HDX オーディオとは対照的に、最適化された HDX オーディオでは、ブラウザコンテンツリダイレクト（BCR）および Microsoft Teams の最適化のシナリオで、処理がクライアントにオフロードされます。
- オーディオを含めてセッション全体を録画します（全ユーザー、通知なし）。このポリシーは、セッション全体を録画します（画面、イベント、音声を含む）。ユーザーは録画通知を受け取りません。

- イベントのみを録画する（全ユーザー、通知あり）。このポリシーは、イベント検出ポリシーで指定されたイベントのみを録画します。画面や音声は録画されません。ユーザーは事前に録画通知を受け取ります。
- イベントのみを録画する（全ユーザー、通知なし）。このポリシーは、イベント検出ポリシーで指定されたイベントのみを録画します。画面や音声は録画されません。ユーザーは録画通知を受け取りません。

システム定義の録画ポリシーは変更または削除できません。

カスタム録画ポリシーの作成

注意事項

特定のユーザーまたはグループ、公開アプリケーションまたはデスクトップ、デリバリーグループまたは VDA マシン、および Citrix Workspace アプリクライアントの IP アドレスを指定すれば、そのセッションを録画できます。公開されているアプリケーションまたはデスクトップや、デリバリーグループまたは VDA マシンの一覧を取得するには、サイト管理者の読み取り権限が必要です。サイトの Delivery Controller で管理者の読み取り権限を構成します。

カスタム録画ポリシーを適用するスコープとして使用するスマートアクセスタグを指定することもできます。この機能は、Session Recording 2402 以降で利用できます。次のようなユーザーアクセスのコンテキストに基づいてポリシーを適用できます：

- ユーザーの所在地
- IP アドレス範囲
- デリバリーグループ
- デバイスの種類
- インストールされたアプリケーション

作成する規則ごとに、録画操作および規則のスコープを指定します。録画操作は規則のスコープを満たすセッションに適用されます。

規則ごとに録画操作を 1 つ選択します：

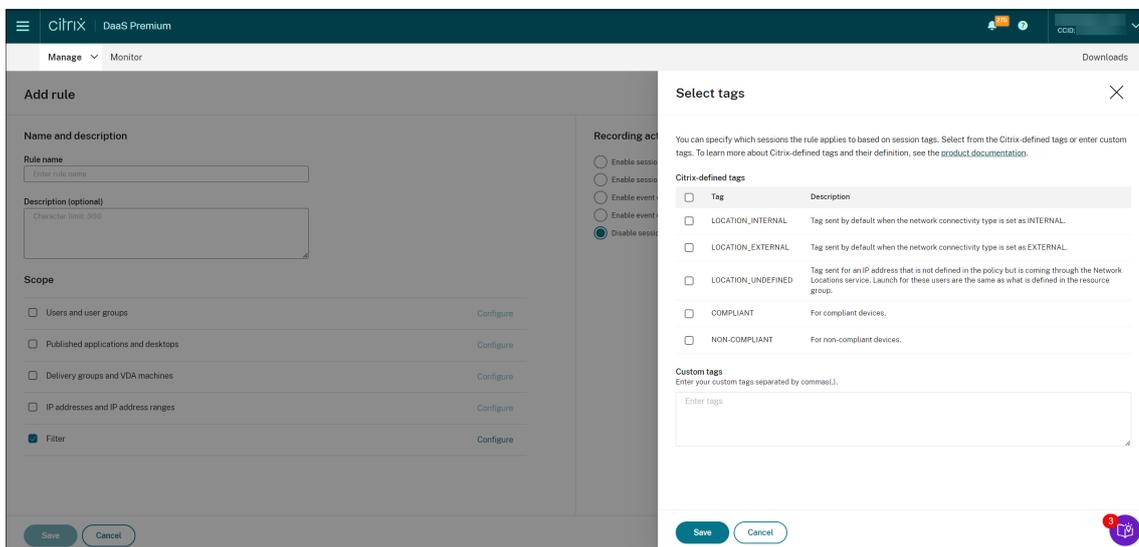
- 通知してセッションを録画する。このオプションは、セッション全体（画面とイベント）を録画します。ユーザーは事前に録画通知を受け取ります。さらに、オーディオ録音または非可逆画面録画を有効にするように選択できます。
- 通知しないでセッションを録画する。このオプションは、セッション全体（画面とイベント）を録画します。ユーザーは録画通知を受け取りません。さらに、オーディオ録音または非可逆画面録画を有効にするように選択できます。
- 通知してイベントのみのセッションを録画する。特定のイベントのみを録画すると、記憶域を解放するのに役立ちます。このオプションは、セッションを通してイベント検出ポリシーで指定されたイベントのみを録画します。画面は録画されません。ユーザーは事前に録画通知を受け取ります。
- 通知しないでイベントのみのセッションを録画する。特定のイベントのみを録画すると、記憶域を解放するのに役立ちます。このオプションは、セッションを通してイベント検出ポリシーで指定されたイベントのみを録画します。画面は録画されません。ユーザーは録画通知を受け取りません。
- セッションを録画しない。このオプションは、セッションが録画されないことを意味します。

規則ごとに次の項目のいずれかを少なくとも 1 つ選択して、規則のスコープを作成します。規則が適用される際には、「AND」と「OR」の両方の論理演算子が、最終的なアクションを計算するために使われます。一般的に、「OR」演算子は規則項目内に使われ、「AND」演算子は個別の規則項目間に使われます。結果が true であれば、Session Recording ポリシーエンジンがその規則のアクションをとります。そうでなければ、次の規則に進み、処理を繰り返します。

- 公開アプリケーションとデスクトップ。規則の操作を適用する公開アプリケーションおよびデスクトップの一覧を作成します。デフォルトでは、Citrix DaaS（旧称 Citrix Virtual Apps and Desktops サービス）サイトが選択されています。Citrix Virtual Apps and Desktops は、サポートされていません。
- デリバリーグループと **VDA** マシン。規則の操作を適用するデリバリーグループまたは VDA マシンの一覧を作成します。
- **IP** アドレスと **IP** アドレス範囲。規則の操作を適用する IP アドレスおよび IP アドレスの範囲の一覧を作成し

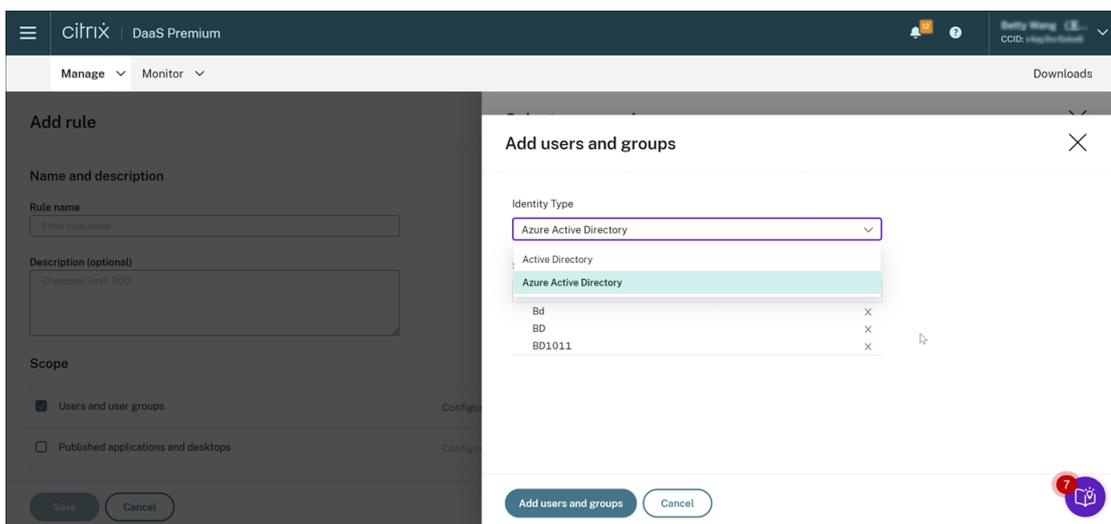
ます。この IP アドレスは、Citrix Workspace アプリの IP アドレスです。

- **フィルター**。規則の操作を適用するスマートアクセスタグの一覧を作成します。Citrix NetScaler のスマートアクセスポリシー、[Citrix Device Posture サービス](#)、および[ユーザーのネットワークの場所に基づいたアダプティブアクセス](#)を使用して、コンテキストに基づくアクセス（スマートアクセス）を構成できます。



コンテキストに基づくアクセス（スマートアクセス）は、**Session Recording 2402** 以降で利用できます。

- **ユーザーとユーザーグループ**。規則の操作を適用するユーザーおよびユーザーグループの一覧を作成します。Azure Active Directory (Azure AD) と Active Directory の両方の ID の種類がサポートされています。ユーザーグループのシナリオの例については、「[ユーザーグループの使用](#)」と「[ユーザーのホワイトリスト化](#)」を参照してください。



注:

Azure AD のサポートは Technical Preview 機能です。Session Recording バージョン 2402 以降で利用できます。

Technical Preview 機能は、一部が英語のままの場合があります。また、実稼働環境以外での使用をお勧めします。Citrix テクニカルサポートは、Technical Preview 機能で見つかった問題をサポートしません。

クラウドからさまざまなポリシーと再生権限を構成するための **Azure AD ID** サポートを完全に有効にするには、次の手順を完了してから **VDA** を再起動します：

- Citrix Virtual Apps and Desktops インストーラーを使用して、Azure AD 参加マシンに Session Recording Agent をインストールします。インストール中に **[Azure AD のサポートを有効にする]** を選択します。

それ以外の方法でインストールした Session Recording Agent の場合は、**HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE** に次のレジストリ値を設定して Azure AD のサポートを有効にします：

- * **CommunicationProtocolToggle** を **1** に設定します (**0** は、.Net Remoting、**1** は **Websocket** を意味します)。
 - * **AuthType** を **1** に設定します (**0** は Active Directory、**1** は Citrix Cloud 認証を意味します)。
 - * **SmAudIdpEnabled** を **1** に設定します (**0** は「無効」、**1** は「有効」を意味します)
- MSI パッケージを使用して、Azure AD 参加マシンに Session Recording サーバーをインストールすることもできます。MSI インストール中に **[Azure AD のサポートを有効にする]** を選択します。
 - **Citrix Cloud** を **Azure AD** に接続します。
 - [完全な構成インターフェイス] のホームページに移動し、**Technical Preview** 機能セクションの **SessionRecordingSupportAAD** トグルと **Send User Identity Info In Prepare Session** トグルを有効にします。[完全な構成] インターフェイスのホームページにアクセスするには、次の手順を実行します：

1. **Citrix Cloud** にサインインします。
2. 左上のメニューで、[マイサービス] > **[DaaS]** を選択します。デフォルトでは、[完全な構成] インターフェイスのホームページが表示されます。

録画ポリシーに複数の規則を作成する場合は、複数の規則条件に一致するセッションがある可能性があります。そのような場合は、優先順位が最も高い規則がセッションに適用されます。

規則により実行される録画操作によってその優先順位が決まります。

- 「セッションを録画しない」アクションを含む規則の優先順位が最も高くなります。
- 「通知してセッションを録画する」規則の優先順位が次に高くなります。
- 「通知しないでセッションを録画する」規則の優先順位が 2 番目に低くなります。
- 「通知してイベントのみのセッションを録画する」規則の優先度は中程度です。
- 「通知しないでイベントのみのセッションを録画する」規則の優先度は最も低くなります。

録画ポリシーの規則のいずれにも当てはまらないセッションがある可能性があります。そのようなセッションについては、フォールバック規則の操作が適用されます。フォールバック規則の操作は常に「セッションを録画しない」です。フォールバック規則は変更または削除できません。

手順

1. Citrix Cloud にサインインします。
2. 左上のメニューで、[マイサービス] > [DaaS] を選択します。
3. [管理] から [Session Recording] を選択します。
4. Session Recording サービスページの左側のナビゲーションから [ポリシー] を選択します。
5. 対象のサイトを選択します。デフォルトでは、[録画ポリシー] タブが表示されます。
6. [Add policy] をクリックします。
7. 新しいポリシーの名前と説明を入力し、[規則の追加] をクリックします。
8. 規則の名前と説明を入力します。録画操作を指定し、次の項目の少なくとも 1 つを選択して規則のスコープを作成します。

規則ごとに、録画操作を指定します：

- 通知してセッションを録画する
- 通知しないでセッションを録画する
- 通知してイベントのみのセッションを録画する
- 通知しないでイベントのみのセッションを録画する
- セッションを録画しない

規則ごとに次の項目のいずれかを少なくとも 1 つ選択して、規則のスコープを作成します。

- 公開アプリケーションとデスクトップ
- ユーザーとユーザーグループ
- デリバリーグループと VDA マシン
- IP アドレスと IP アドレス範囲
- フィルター

9. 新しいポリシーが作成されたら、[録画ポリシー] タブでそのポリシーを見つけ、トグルをオンにしてポリシーを有効にします。

ユーザーグループの使用

ユーザーグループを使用して、Session Recording のポリシーを作成できます。個々のユーザーではなくユーザーグループを使用すると、規則とポリシーを簡単に作成したり管理したりできます。たとえば、財務部門のユーザーが **Finance** という名前の Active Directory グループに含まれている場合は、規則ウィザードで **Finance** グループを選択することで、このグループのすべてのメンバーに適用される規則を作成できます。

ユーザーのホワイトリスト化

組織内の一部のユーザーのセッションを確実に録画対象から除外する、Session Recording ポリシーを作成できます。これは

ユーザーのホワイトリスト化と呼ばれます。個人情報を取り扱う社員や特定の階層の従業員など、セッションを録画すべきではないユーザーをホワイトリストに登録すると便利です。

すべての上級管理職が **Executive** という名前の Active Directory グループのメンバーである場合、**Executive** グループの Session Recording を無効にする規則を作成して、それらのユーザーのセッションが決して録画されないように設定できます。この規則を含むポリシーがアクティブな間は、Executive グループのメンバーのセッションは録画されません。組織内のほかのメンバーのセッションは、アクティブなポリシーのほかの規則に基づいて録画されます。

ロールオーバーの動作

ポリシーをアクティブにする場合、それまでアクティブだったポリシーはセッションの録画が終了するまで、またはセッションの録画ファイルが上限に達するまで効力を保ちます。ロールオーバーは、ファイルサイズが上限に達すると実行されます。録画ファイルのサイズの上限について詳しくは、「[録画ファイルのサイズの指定](#)」を参照してください。

次の表で、セッションの録画中に新しい録画ポリシーを適用してロールオーバーが起きたときに生じる現象について説明します：

以前の録画ポリシー：	新しい録画ポリシー：	ロールオーバーの後の録画ポリシー：
録画しない	ほかのポリシー	変更なし。ユーザーが新しいセッションにログオンするときのみに新しいポリシーが有効になります。
通知しないで録画する	録画しない	録画が停止します。
通知しないで録画する	通知して録画する	録画を続行し通知メッセージを表示します。
通知して録画する	録画しない	録画が停止します。
通知して録画する	通知しないで録画する	録音は続きます。ユーザーが次にログオンするときはメッセージが表示されません。

ポリシーの構成に関するビデオ



イベント検出ポリシーの構成

May 22, 2024

Session Recording サービスでイベント検出ポリシーを構成し、録画されたセッションのターゲットイベントをログに記録できます。システム定義のイベント検出ポリシーは「検出しない」です。デフォルトでは非アクティブです。アクティブの場合、イベントのログは記録されません。

注:

イベント検出ポリシーは、特定のサイトのすべての Session Recording サーバーに適用されます。サイトごとに個別のイベント検出ポリシーを作成してアクティブ化できます。



検出できるイベント

Session Recording では、対象のイベントを検出し、録画内でそのイベントにタグ付けして、後で検索および再生で使うことができます。大量の録画から関心のあるイベントを検索したり、再生時にそのイベントを見つけたりすることができます。

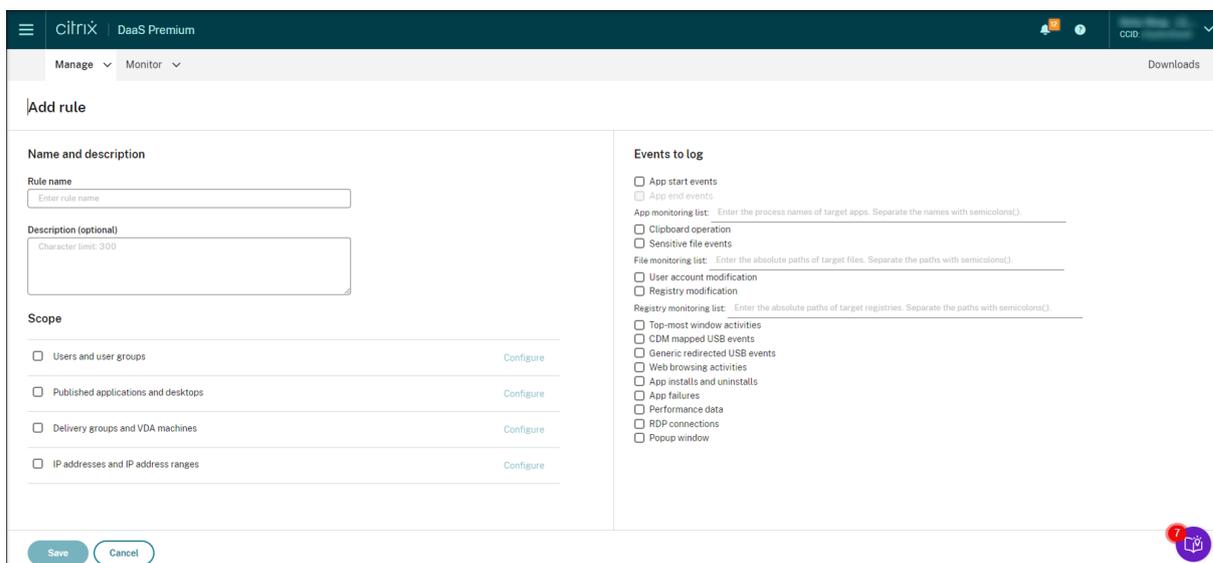
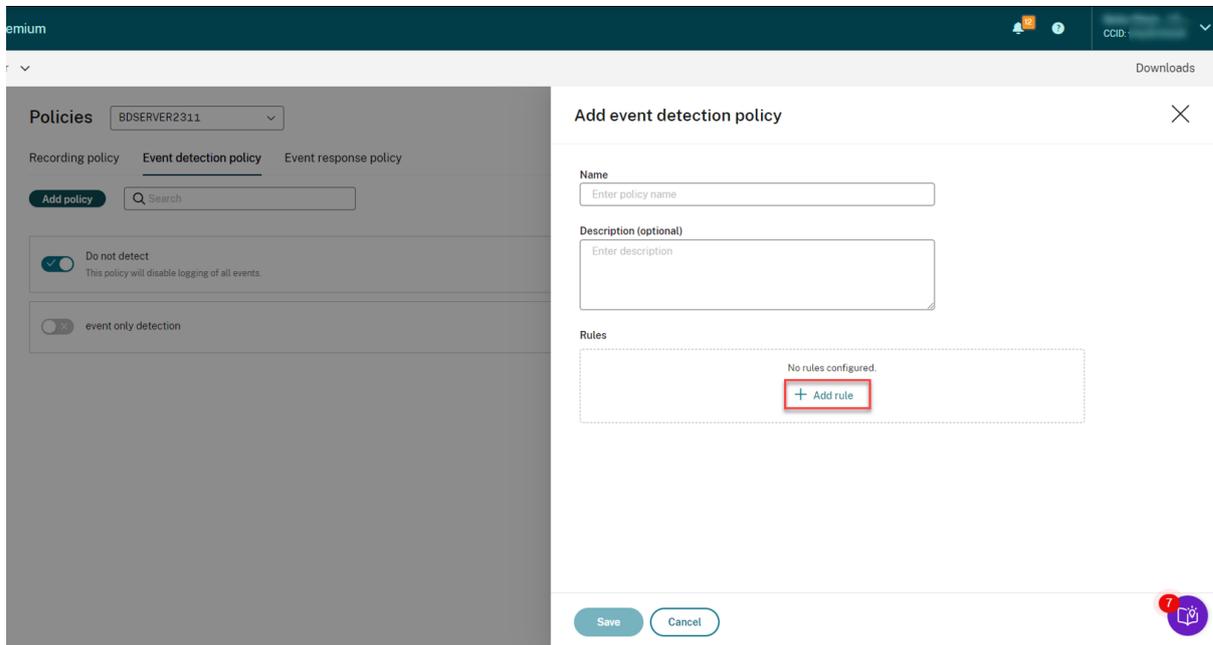
システム定義のイベント

Session Recording では、録画されたセッションで発生した次のシステム定義のイベントを検出してログに記録できます：

- USB 大容量記憶装置デバイスの挿入
- アプリケーションの起動と終了
- アプリエラー
- アプリのインストールとアンインストール
- ファイルの名前変更、作成、削除、移動のセッション内操作
- セッションホスト (VDA) とクライアントデバイス (マップされたクライアントドライブと汎用リダイレクトを使用した大容量記憶装置デバイスを含む) との間のファイル転送
- Web 閲覧アクティビティ
- 最前面のウィンドウのイベント
- クリップボードのアクティビティ
- Windows レジストリの変更
- ユーザーアカウントの変更
- RDP 接続
- パフォーマンスデータ (録画されたセッションに関連するデータポイント)

- ポップアップウィンドウイベント

カスタムイベント検出ポリシーを作成するときに、監視するターゲットイベントを選択するための規則を追加できます。



カスタム録画ポリシーを作成する場合と同様に、1つ以上の規則条件を選択できます。詳しくは、「[カスタム録画ポリシーの作成](#)」セクションで手順を参照してください。

ポリシーの構成に関するビデオ



イベント応答ポリシーの構成

May 22, 2024

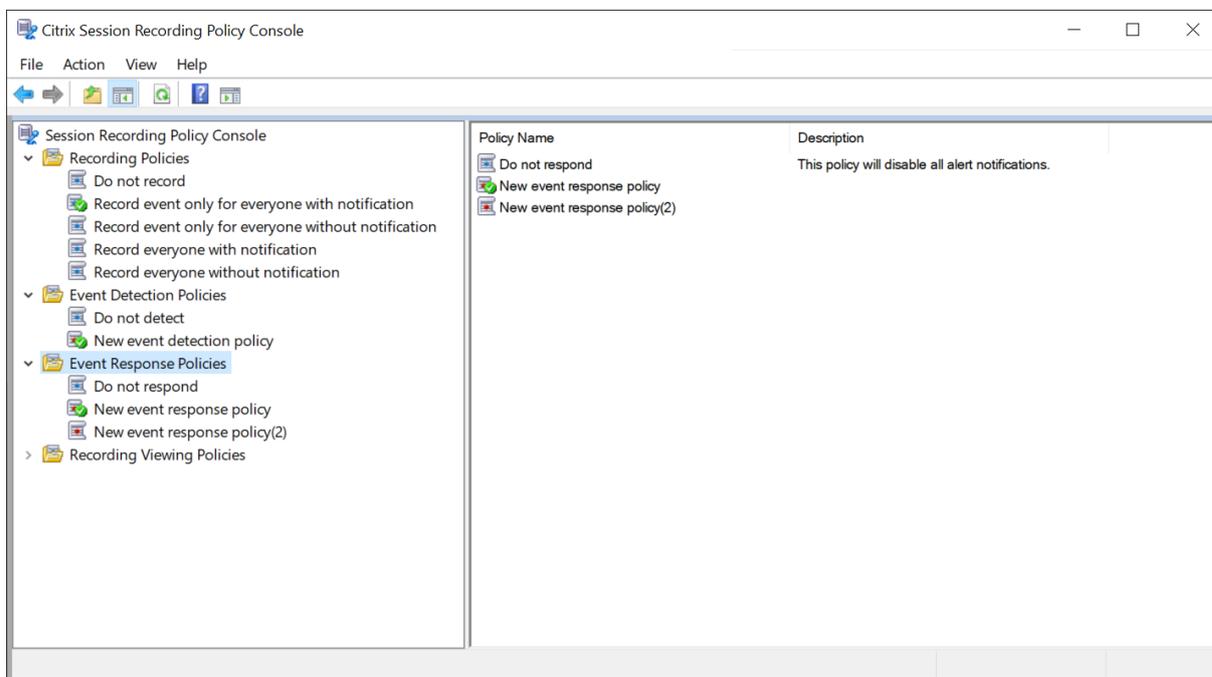
イベント応答ポリシーではイベントによってトリガーされるアクションを構成できるため、次のことが可能になります：

- セッション開始イベントが検出されたときにアラート通知をメールで送信します。
- 録画されたセッションでイベントが検出された場合は、次のアクションを任意に組み合わせて実行します：
 - メールアラートの送信
 - 画面録画をすぐに開始します（非可逆画面録画が有効かどうかに関係なく）
 - セッションのロック
 - セッションのログオフ
 - セッションの切断

システム定義のイベント応答ポリシーは、「応答しない」のみです。必要に応じて、カスタムイベント応答ポリシーを作成できます。一度にアクティブにできるイベント応答ポリシーは1つだけです。デフォルトでは、アクティブなイベント応答ポリシーはありません。

注:

イベント応答ポリシーを作成またはアクティブ化すると、ポリシーは選択したサイトのすべての Session Recording サーバーに適用されます。サイトごとに個別のイベント応答ポリシーを作成してアクティブ化できません。



システム定義のイベント応答ポリシー

Session Recording は、1 つのシステム定義のイベント応答ポリシーを提供します。

- 応答しない。デフォルトでは、録画でログ記録されたイベントに応じて操作が実行されることはありません。

カスタムイベント応答ポリシーの作成

1. **[Add policy]** をクリックします。
2. [イベント応答ポリシーの追加] ページで、新しいポリシーの名前と説明を指定します。

Add event response policy [X]

Name
Enter policy name

Description (optional)
Enter description

Rules
No rules configured.
+ Add rule

Save Cancel [8]

3. [規則の追加] をクリックします。

4. 規則名と説明を入力します。

Add rule

Name and description

Rule name
Enter rule name

Description (optional)
Character limit: 255

Scope

- Users and user groups [Configure](#)
- Published applications and desktops [Configure](#)
- Delivery groups and VDA machines [Configure](#)
- IP addresses and IP address ranges [Configure](#)
- Filter [Configure](#)

Events and responses

Event triggers
Configure event triggers to trigger actions when certain events are detected.
[Configure](#)

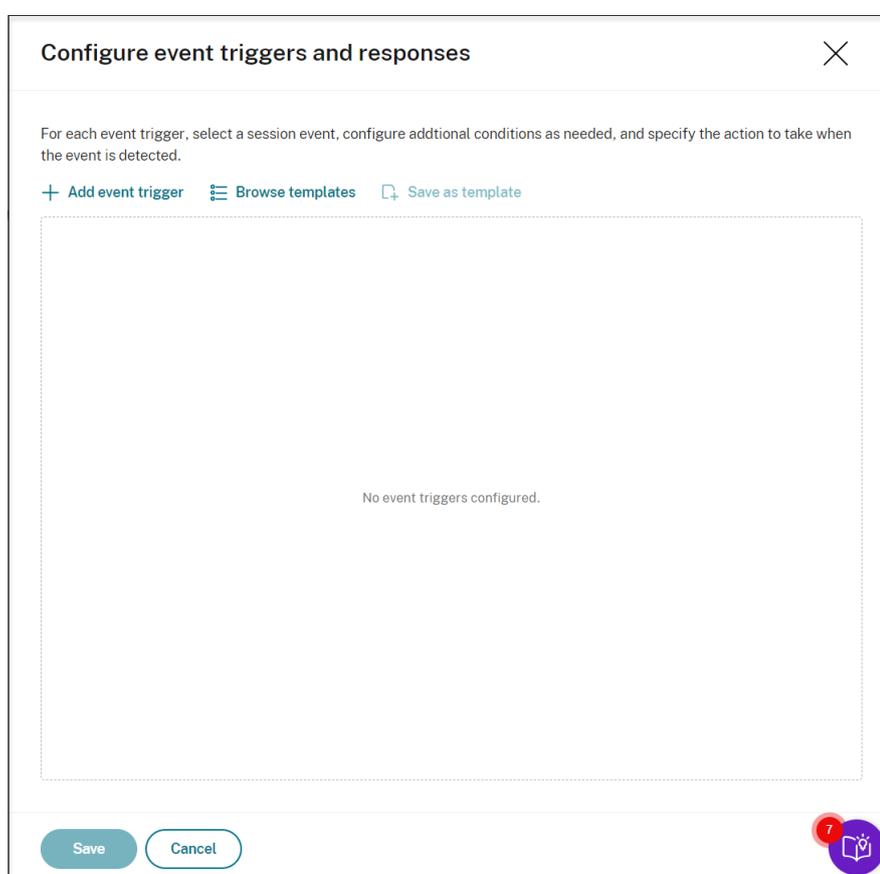
Save Cancel [1]

5. [イベントトリガー] セクションで [構成] をクリックし、イベントによってトリガーされるアクションを構成すると、次のことが可能になります:

- セッション開始イベントが検出されたときにアラート通知をメールで送信します。

- 録画されたセッションでイベントが検出された場合は、次のアクションを任意に組み合わせて実行します
 - メールアラートの送信
 - 画面録画をすぐに開始します（非可逆画面録画が有効かどうかに関係なく）
 - セッションのロック
 - セッションのログオフ
 - セッションの切断

イベントトリガーを最初から作成するには、[イベントトリガーの追加] をクリックします。または、[テンプレートの参照] をクリックして既存のイベントトリガーテンプレートを選択し、そのまま使用したりカスタマイズしたりします。



[イベントトリガーの追加] をクリックするたびに、下のペインに新しいイベントトリガーが作成されます。複製ボタンをクリックして、既存のイベントトリガーの複製を作成することもできます。

Configure event triggers and responses ✕

For each event trigger, select a session event, configure additional conditions as needed, and specify the action to take when the event is detected.

+ Add event trigger
 ≡ Browse templates
 ↗ Save as template

If event type is Select 📄 🗑️

Then Send email alert and None ▼

Description:

If event type is Select 📄 🗑️

Then Send email alert and Start screen recording ▼

None

Start screen recording

Log off session

Disconnect session

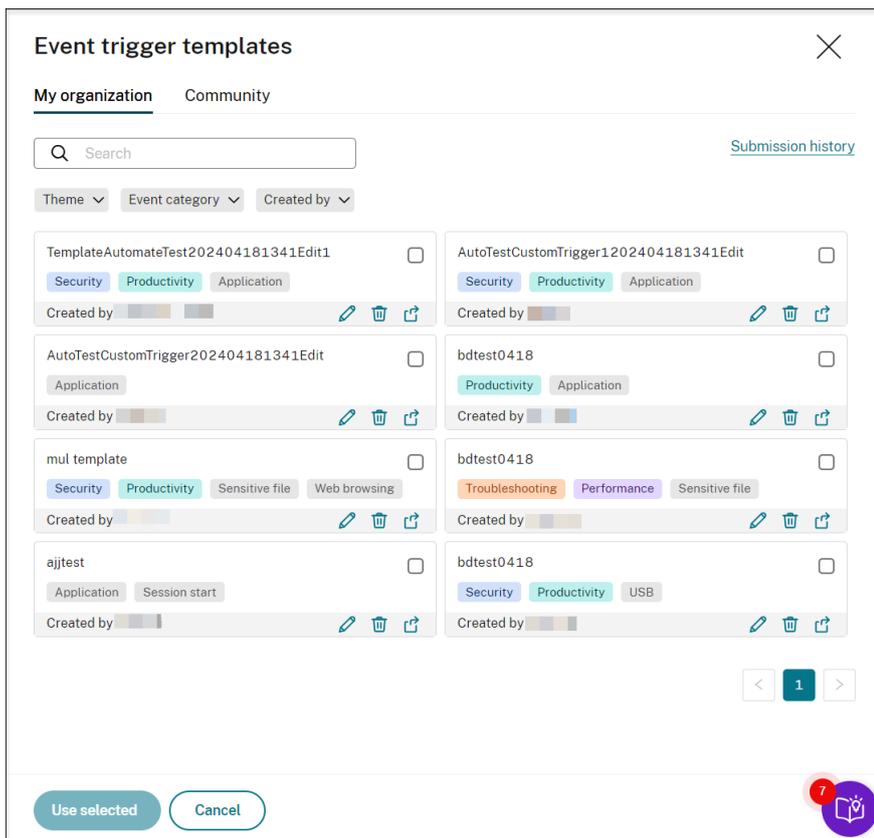
Lock session

Description:

Save
Cancel
7

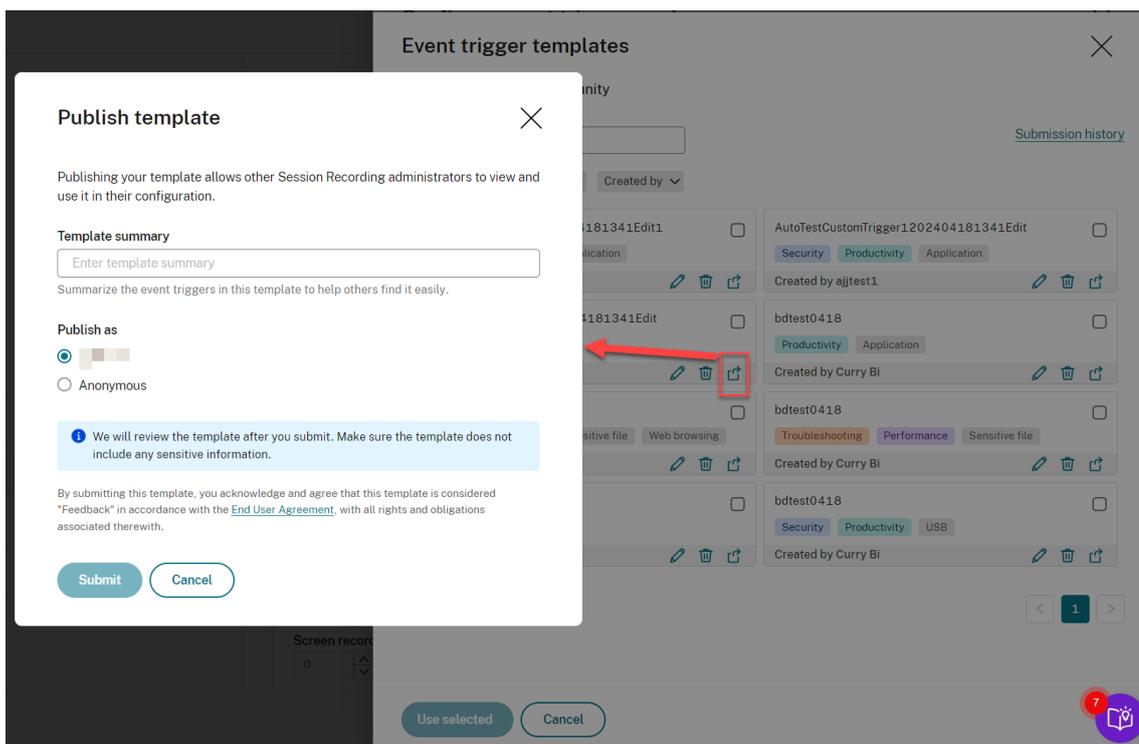
少なくとも 1 つのイベントトリガーの作成が完了したら、[テンプレートとして保存する] をクリックして、イベントトリガーをテンプレートとして保存します。その後、[イベントトリガーテンプレート] ページの **[My organization]** タブで新しいテンプレートを見つけることができます。

[イベントトリガーテンプレート] ページにアクセスするには、Session Recording サービスページの左側のナビゲーションペインから [テンプレートの参照] をクリックするか、**[Resource Library]** をクリックします。



[イベントトリガーテンプレート] ページには、自分の組織と Cloud Software Group 自体を含む他のコミュニティメンバーの両方による、すべてのイベントトリガーテンプレートが含まれます。

[イベントトリガーテンプレート] ページの **[My organization]** タブでは、テンプレートをコミュニティに公開することで、他の顧客が無料でアクセスできます。



注:

テンプレートを送信する前に、『[End User Agreement](#)』を参照してください。

[イベントトリガーテンプレート] ページの [**My organization**] または [**Community**] タブでは、キーワード、テーマ、イベントカテゴリ、投稿者別に対象のイベントトリガーテンプレートを検索できます。興味のあるテンプレートをブックマークしたり、お気に入りにもしたりすることもできます。

一度に複数のイベントトリガーテンプレートを選択できます。選択したテンプレートは [イベントトリガーの追加] ページに表示され、必要に応じてカスタマイズできます。

[保存] をクリックして設定を保存します。指定したイベントトリガーが表示されている [イベントと応答] ページに戻ります。[構成] をクリックして、イベントトリガーをさらに調整します。いずれかのイベントトリガーに対して [アラート通知をメールで送信する] または [画面の録画を開始する] アクションを選択した場合は、GUI に従ってメール設定と録画オプションを構成します。

Events and responses

Event triggers (6) [Configure](#)

Configure event triggers to trigger actions when certain events are detected.

Event type	Email alert	Action
Client drive mapping	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Lock session
File deletion	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Start screen recording
App start	<input type="checkbox"/> No	None
App end	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	Start screen recording
App start	<input type="checkbox"/> No	Start screen recording
Client drive mapping	<input type="checkbox"/> No	Start screen recording

! For your event triggers to work as expected, ensure that the relevant event types are logged by your active event detection policy.

Email settings

Applicable if you enabled **send email alert** in your event triggers.
To configure the email sender and content, go to **site settings** in **Configuration > Server Management**.

Recipients

Enter email addresses separated by semicolons (;)

Recording options

Applicable to the **start screen recording** action.

Screen recording time span after an event is detected (min) **?**

0

Screen recording time span before an event is detected (sec) **?**

0

Enable lossy screen recording

Session operation options

Applicable to the **log off session**, **disconnect session**, and **lock session** actions.

Delay before session operations begin (sec) **?**

0



注:

アクティブなイベント検出ポリシーがログに記録するイベントの種類を選択する必要があります。

[説明] 列にイベントトリガーを定義したり、この列を空のままにしたりすることができます。定義したイベントトリガーの説明は、[メールの送信] を選択しその種類のイベントがログに記録された場合に、アラートメールで提供されます。[画面の録画を開始する] が選択されている場合は、この記事で後述するように、関連するパラメーターを設定します。その後、イベントのみの録画中に特定のイベントが発生すると、動的画面録画が自動的に開始されます。

サポートされているイベントの種類の一覧については、次の表を参照してください。

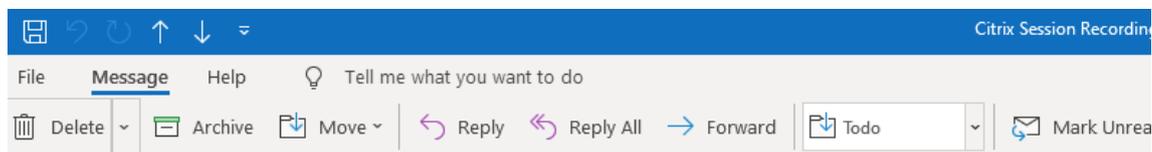
イベントの種類	ディメンション	オプション
アプリ開始	アプリ名	次を含む、次に等しい、次に一致する
	フル コマンド ライン	次を含む、次に等しい、次に一致する
アプリ終了	アプリ名	次を含む、次に等しい、次に一致する
	ウィンドウのタイトル	次を含む、次に等しい、次に一致する
最上位	アプリ名	次を含む、次に等しい、次に一致する
	ウィンドウのタイトル	次を含む、次に等しい、次に一致する
Web 閲覧	URL	次を含む、次に等しい、次に一致する
	タブタイトル	次を含む、次に等しい、次に一致する
	ブラウザ名	次を含む、次に等しい、次に一致する
ファイルの作成	パス	次を含む、次に等しい、次に一致する
	ファイル サイズ (MB)	次を上回る、次の条件の間、次を下回る
ファイル名の変更	パス	次を含む、次に等しい、次に一致する
	名前	次を含む、次に等しい、次に一致する
ファイルの移動	ソースパス	次を含む、次に等しい、次に一致する
	ターゲット パス	次を含む、次に等しい、次に一致する

イベントの種類	ディメンション	オプション
ファイルの削除	ファイル サイズ (MB)	次を上回る、次の条件の間、次を下回る
	パス	次を含む、次に等しい、次に一致する
CDM USB	ファイル サイズ (MB)	次を上回る、次の条件の間、次を下回る
	ドライブ文字	次に等しい
汎用 USB	デバイス名	次を含む、次に等しい、次に一致する
	アイドル時間 (時間)	次を上回る
ファイル転送	ファイルソース	次に等しい (「ホスト」または「クライアント」)
	ファイル サイズ (MB)	次を上回る
	ファイル名	次を含む、次に等しい、次に一致する
レジストリ - 作成	キー名	次を含む、次に等しい、次に一致する
	キー名	次を含む、次に等しい、次に一致する
レジストリ - 値の設定	キー名	次を含む、次に等しい、次に一致する
	値の名前	次を含む、次に等しい、次に一致する
レジストリ - 値の削除	キー名	次を含む、次に等しい、次に一致する

イベントの種類	ディメンション	オプション
レジストリ - 名前の変更	値の名前	次を含む、次に等しい、次に一致する
	キー名	次を含む、次に等しい、次に一致する
ユーザーアカウント変更	ユーザー名	次を含む、次に等しい、次に一致する
予期しないアプリ終了	アプリ名	次を含む、次に等しい、次に一致する
アプリ非応答	アプリ名	次を含む、次に等しい、次に一致する
新しいアプリのインストール	アプリ名	次を含む、次に等しい、次に一致する
アプリのアンインストール	アプリ名	次を含む、次に等しい、次に一致する
RDP 接続	IP アドレス	次を含む、次に等しい、次に一致する
ポップアップウィンドウ	プロセス名	次を含む、次に一致する
	ウィンドウコンテンツ	次を含む、次に等しい、次に一致する
パフォーマンスデータ	CPU 使用率 (%)	次を上回る
	メモリ使用率 (%)	次を上回る
	ネット送信速度 (MB)	次を上回る
	ネット受信速度 (MB)	次を上回る
	RTT (ミリ秒)	次を上回る

イベントの種類	ディメンション	オプション
クリップボード操作	データの種類	次に等しい (テキスト、ファイル、ビットマップ)
	プロセス名	次を含む、次に等しい、次に一致する
	コンテンツ	次を含む、次に等しい、次に一致する

6. (オプション) メール設定は、イベントトリガーで [アラート通知をメールで送信する] を選択した後に利用可能になります。以下のスクリーンショットは、メールアラートの例です:



Citrix Session Recording Alert: A TopMost was detected. VDAMachine: AWTSVDA-0002;

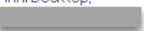
 SR-ALERT <srt-no-reply@outlook.com>
To: 

[CAUTION - EXTERNAL EMAIL] DO NOT REPLY

Hi, @citrix.com

This email comes from Citrix Session Recording to notify you that a **TopMost** was detected:

Session Details

User Name	administrator
Domain Name	X0X7E
Start Time	11/9/2020 3:15:06 AM
Delivery Group	RdsDesktopAndAppGroup
Application	###Desktop,
VDA Machine	
Playback URL	<a data-bbox="938 1482 1104 1514" href="https:// /webplayer/#/player/">https://  /webplayer/#/player/
Event Text	TopApp: regedit
Event Time	11/9/2020 3:17:51 AM

You can find the session recording video and more information [here](#).

This is an automated email from Citrix Session Recording. Do not reply.

ヒント:

再生 URL をクリックすると、オンプレミス Web Player で録画されたセッションの再生ページが開きます。ここをクリックすると、オンプレミス Web Player の [すべての録画] ページが開きます。

検出されたイベントに応じてメールアラートを送信するには、次の設定を完了します:

- a) [イベントと応答] ページの [**Recipients**] セクションで、対象受信者のメールアドレスを入力します。
- b) [サイト設定] の [アラートメール] ページで、メールの送信者と内容を指定します。

The screenshot shows the 'Site settings' window for SRN2203. The 'Email alerts' tab is selected. The configuration includes:

- SMTP server:** bd
- Port:** 25
- Enable SSL:**
- Display name:** d
- Email address:** [redacted]@citrix.com
- Password:** [redacted]

Below these fields are two columns of checkboxes for email content:

Email subject	Email body
<input checked="" type="checkbox"/> User name	<input type="checkbox"/> User name
<input checked="" type="checkbox"/> Domain name	<input checked="" type="checkbox"/> Domain name
<input type="checkbox"/> Start Time	<input checked="" type="checkbox"/> Start Time
<input type="checkbox"/> Delivery group	<input type="checkbox"/> Delivery group
<input type="checkbox"/> Application	<input type="checkbox"/> Application
<input type="checkbox"/> VDA machine	<input type="checkbox"/> VDA machine
	<input type="checkbox"/> Recording URL

At the bottom, there are 'Apply changes' and 'Cancel' buttons, and a notification icon with the number 8.

- c) オンプレミス Web Player にアクセスするためのレジストリを編集します。

アラートメールの再生 URL を正常に機能させるには、`HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\SmartAuditor\Server` のレジストリキーを見つけて、次の手順を実行します：

- **LinkHost** の値データを、オンプレミス Web Player へのアクセスに使用するドメインの URL に設定します。たとえば、`https://example.com/webplayer/#/player/` のオンプレミス Web Player にアクセスするには、**LinkHost** の値データを `https://example.com` に設定します。
- **EmailThreshold** という値を追加し、その値データを 1 から 100 の範囲の数値に設定します。値データは、メール送信アカウントが 1 秒以内に送信するアラートメールの最大数を決定します。この設定は、送信されるメールの数を抑え、CPU 使用率を削減するのに役立ちます。値データを指定しないままにするか、範囲外の数値に設定すると、値データは 25 にフォールバックします。

注：

- メールサーバーは、メール送信アカウントをスパムボットとして扱い、メールの送信を阻止する可能性があります。アカウントでメールを送信できるようになる前に、そのアカウント

が人間のユーザーによって使用されていることを確認するために、Outlook などのメールクライアントから要求がある場合があります。

- 一定期間内にメールを送信することに対する制限があります。たとえば、1 日の制限に達すると、翌日の開始までメールを送信できません。この場合、制限の数が期間内に録画されているセッションの数を超過していることを確認してください。

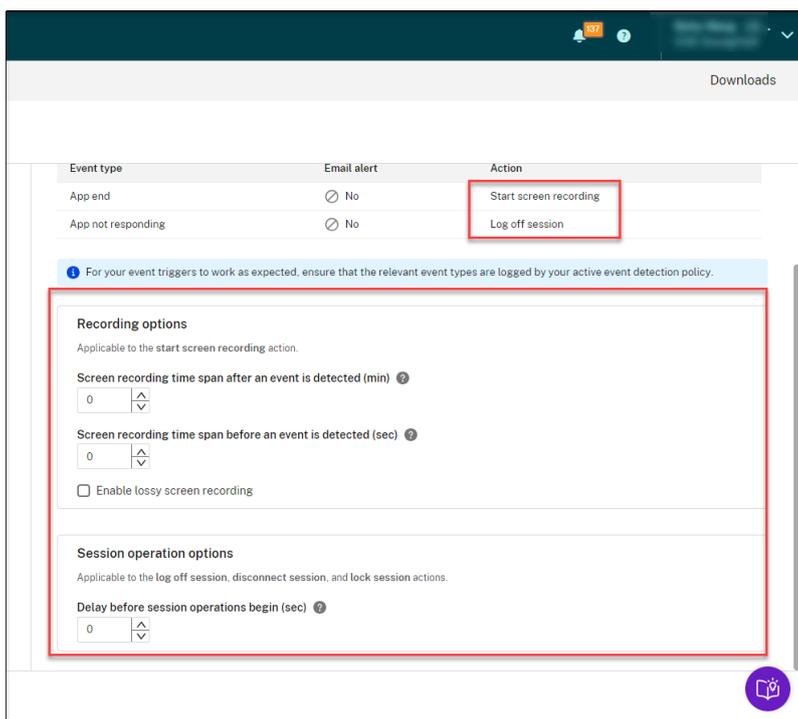
7. (オプション) イベントのみの録画中に特定のイベントが発生したときにすぐに画面録画を開始するには、[録画オプション] セクションで動的画面録画の次のオプションを設定します：

- イベント ID 検出後の画面録画時間 (分)：イベントが検出された後に画面を録画する時間 (分) を構成できます。値を指定しないままにすると、録画されたセッションが終了するまで画面の録画が続行されます。
- イベントが検出される前の画面録画の期間 (秒)：イベントが検出される前に保持する画面録画の期間 (秒) を構成できます。値の範囲は 1~120 です。値を 1 から 10 のいずれかに設定すると、値 10 が有効になります。値を指定しないままにすると、機能は有効になりません。Session Recording が保持する画面録画の実際の長さは、構成より少し長くなる場合があります。
- 非可逆画面録画を有効にする：セッションイベントが検出されたときに非可逆画面録画を有効にするかどうかを指定できます。非可逆画面録画を使用すると、圧縮オプションの調整によって録画ファイルのサイズが削減され、再生中の録画セッション内をよりすばやく移動できるようになります。この機能は、Session Recording 2308 以降で利用できます。詳しくは、「[非可逆画面録画の有効化または無効化](#)」を参照してください。

8. (オプション) セッション操作が開始されるまでの遅延 (秒) を指定します。録画されたセッションでログ記録されたイベントに応じて次のいずれかの操作を指定した場合、ユーザーに操作を事前に通知できます：

- セッションのロック
- セッションのログオフ
- セッションの切断

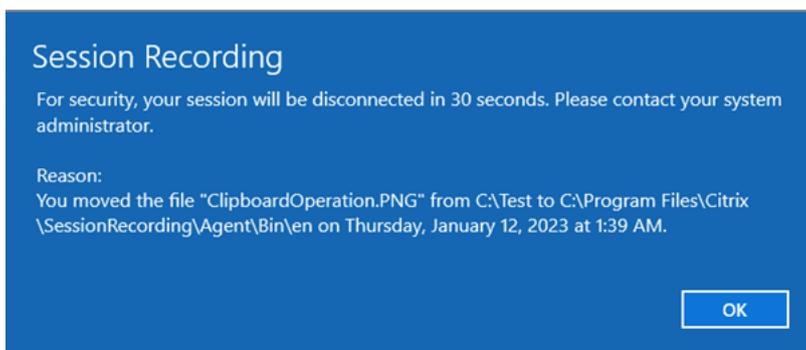
例：



注:

値を 0 に設定した場合、これは、仮想セッションにおいてユーザーをロック、ログオフ、または切断しても、ユーザーに通知されないことを意味します。ユーザーに通知するには、適切な値を設定してください。

例として、以下のスクリーンショットを参照してください:

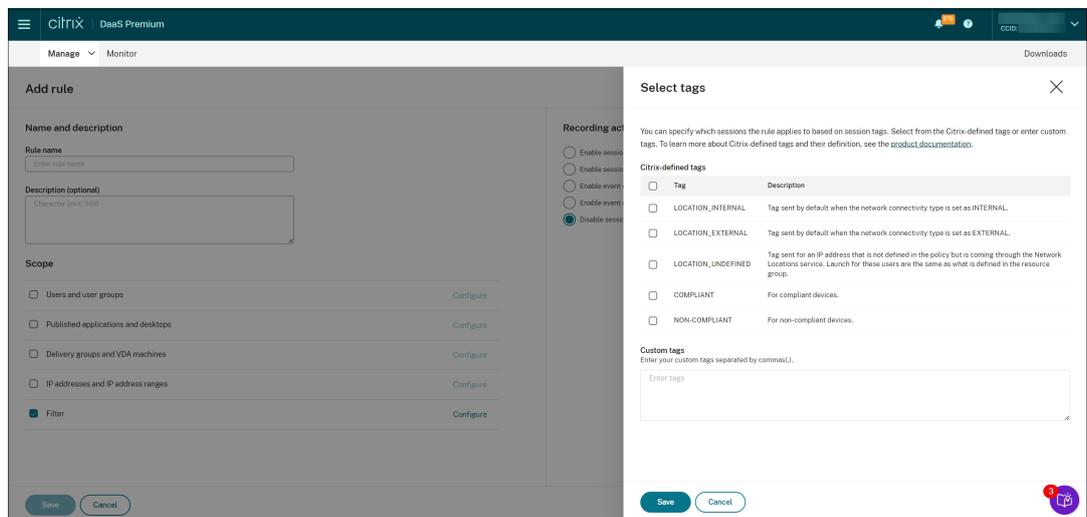


9. 規則のスコープを選択して編集します。

カスタム録画ポリシーを作成する場合と同様に、次の項目の少なくとも 1 つを選択して規則のスコープを作成できます:

- ユーザーとユーザーグループ。規則の応答を適用するユーザーとグループの一覧を作成します。Azure Active Directory (Azure AD) と Active Directory の両方の ID の種類がサポートされています。詳しくは、「[カスタム録画ポリシーの作成](#)」セクションで手順を参照してください。

- 公開アプリケーションとデスクトップ。規則の応答を適用する公開アプリケーションとデスクトップの一覧を作成します。
- デリバリーグループと **VDA** マシン。規則の応答を適用するデリバリーグループと VDA マシンの一覧を作成します。
- **IP** アドレスと **IP** アドレス範囲規則の応答を適用する IP アドレスおよび IP アドレスの範囲の一覧を作成します。この IP アドレスは、Citrix Workspace アプリの IP アドレスです。
- フィルター。規則を適用するスマートアクセスタグの一覧を作成します。Citrix NetScaler のスマートアクセスポリシー、[Citrix Device Posture サービス](#)、および[ユーザーのネットワークの場所に基づいたアダプティブアクセス](#)を使用して、コンテキストに基づくアクセス（スマートアクセス）を構成できます。



コンテキストに基づくアクセス（スマートアクセス）は、**Session Recording 2402** 以降で利用できます。次のようなユーザーアクセスのコンテキストに基づいてポリシーを適用できます：

- ユーザーの所在地
- IP アドレス範囲
- デリバリーグループ
- デバイスの種類
- インストールされたアプリケーション

注：

セッションまたはイベントが単一のイベント応答ポリシーで複数の規則を満たしている場合、最も古い規則が有効になります。

10. ウィザードの指示に従って構成を完了します。
11. 新しいイベント応答ポリシーをアクティブにします。

ポリシーの構成に関するビデオ



再生権限

May 22, 2024

Session Recording 管理者とその再生権限

Session Recording 管理者は、Session Recording サービスにアクセスする権限が割り当てられた Citrix Cloud 管理者です。Session Recording 管理者とその再生権限の概要については、次の表を参照してください：

Session Recording 管理者の種類	再生権限	注釈
Citrix Cloud 管理者に割り当てられたフルアクセス権限	すべての録画を再生できます	Session Recording サービスの [再生権限] ページに完全な管理者として表示されます
[Cloud Administrator, All] の役割を割り当てられた Citrix Cloud 管理者	すべての録画を再生できます	Session Recording サービスの [再生権限] ページに完全な管理者として表示されます

Session Recording 管理者の種類	再生権限	注釈
[Session Recording-FullAdmin, All] の役割が割り当てられた Citrix Cloud 管理者	すべての録画を再生できます	Session Recording サービスの [再生権限] ページに完全な管理者として表示されます
[Session Recording-PrivilegedPlayerAdmin, All] の役割が割り当てられた Citrix Cloud 管理者	すべての録画を再生できます	Session Recording サービスの [再生権限] ページで、特権のあるユーザーとして表示されます
[Session Recording-ReadOnlyAdmin, All] の役割のみが割り当てられた Citrix Cloud 管理者	デフォルトでは、制限付き録画を除くすべての録画を再生できます。または、指定したユーザーおよびグループ、公開アプリケーションおよびデスクトップ、デリバリーグループおよび VDA からの録画のみを再生できます。	デフォルトでは、Session Recording サービスの [再生権限] ページに完全な管理者として表示されます。スコープを指定すると、Session Recording サービスの [再生権限] ページに読み取り専用の管理者として表示されます。

- 制限付き録画については、「[録画へのアクセス制限の設定](#)」を参照してください。
- [**Session Recording-ReadOnlyAdmin, All**] の役割のみが割り当てられた Citrix Cloud 管理者は、この記事の後半で Session Recording 読み取り専用管理者と呼ばれます。詳しくは、「[Session Recording 管理者の種類](#)」を参照してください。Session Recording の読み取り専用管理者が対象サイトから特定の録画のみを再生できるように、再生権限を制限できます。

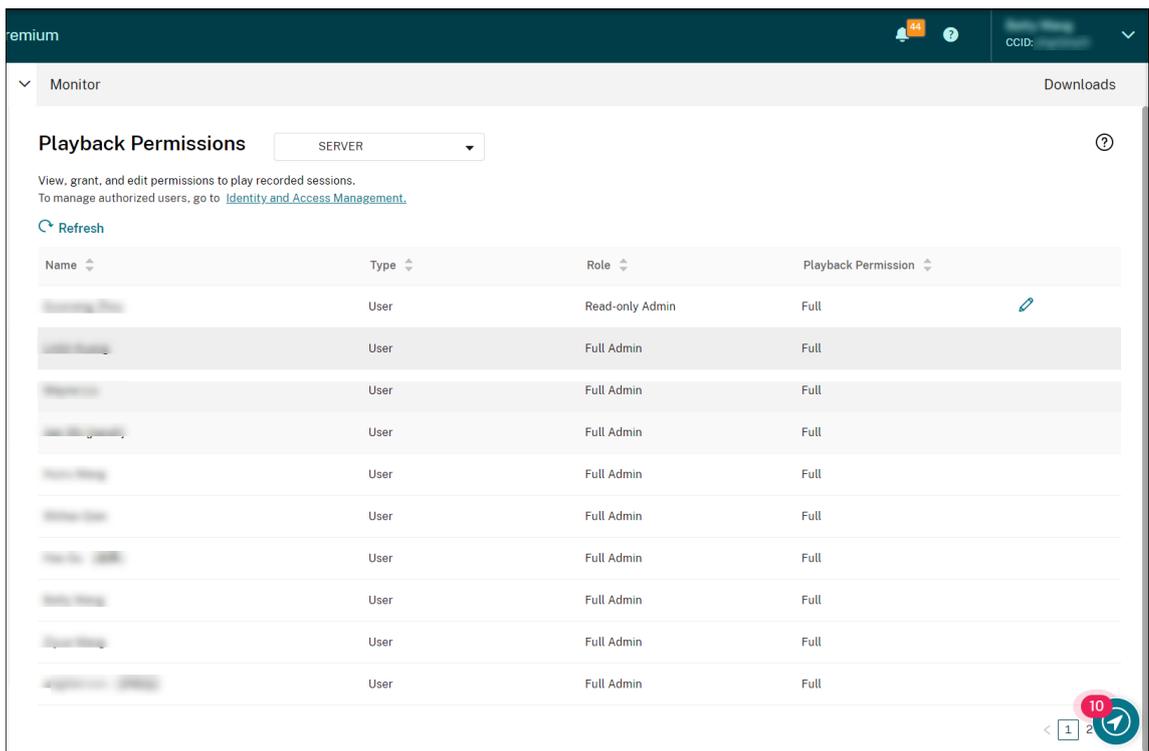
Session Recording の読み取り専用管理者の再生権限を制限する

Session Recording の読み取り専用管理者の再生権限を制限するには、次の手順を実行します：

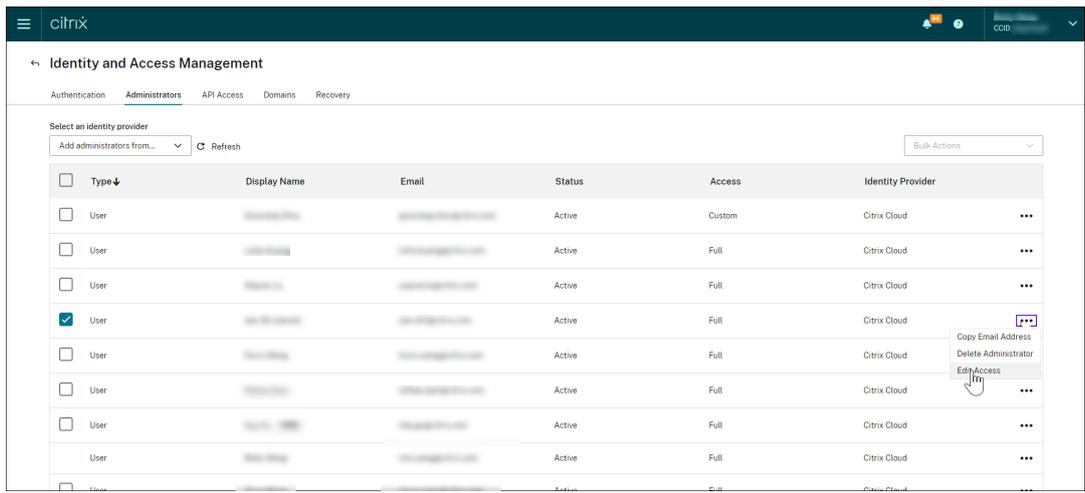
1. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[構成] > [再生権限] を選択します。

注：

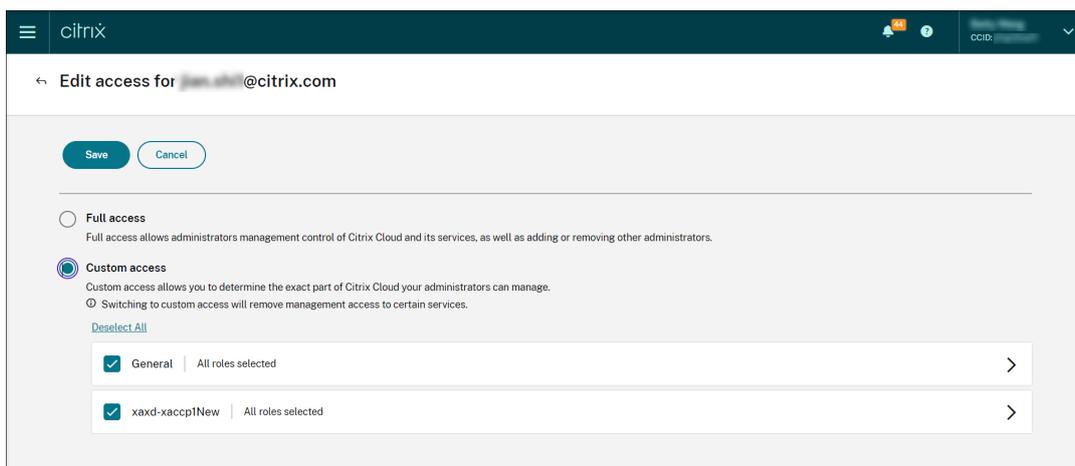
- Session Recording サービスの左側のナビゲーションにある [再生権限] メニューは、Azure AD グループを通じて追加された管理者には表示されません。また、これは Session Recording 読み取り専用管理者にも表示されません。
- [再生権限] ページに、すべての Session Recording 管理者が表示されます。



2. 対象のサイトを選択します。
3. [再生権限] ページで対象の管理者を設定します。管理者を Session Recording の読み取り専用管理者にするには、次の手順を実行します：
 - a) Citrix Cloud コンソールの [ID およびアクセス管理] > [管理者] タブに移動します。
 - b) 対象の管理者を見つけ、省略記号ボタンをクリックし、アクセスの [編集] を選択します。

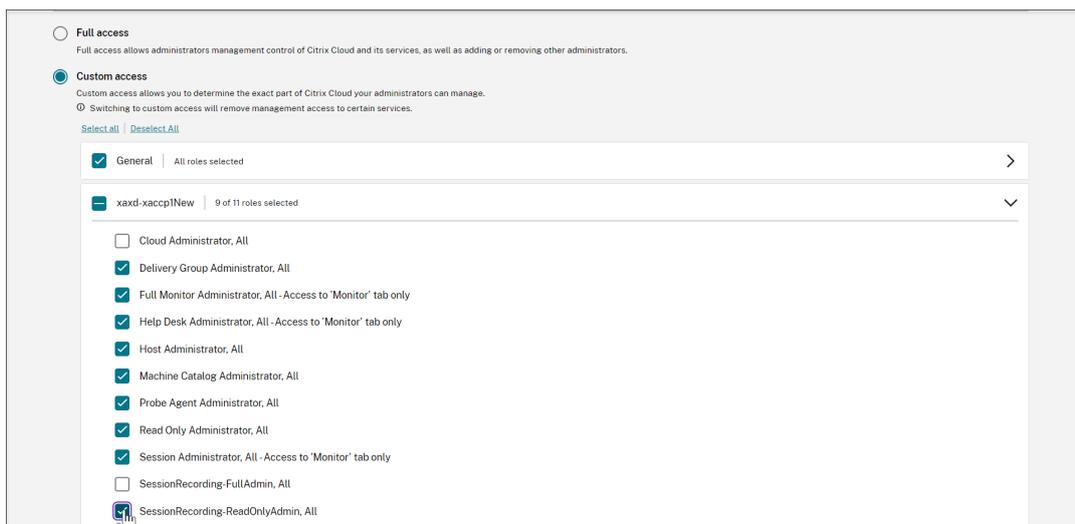


- c) [カスタムアクセス] を選択します。



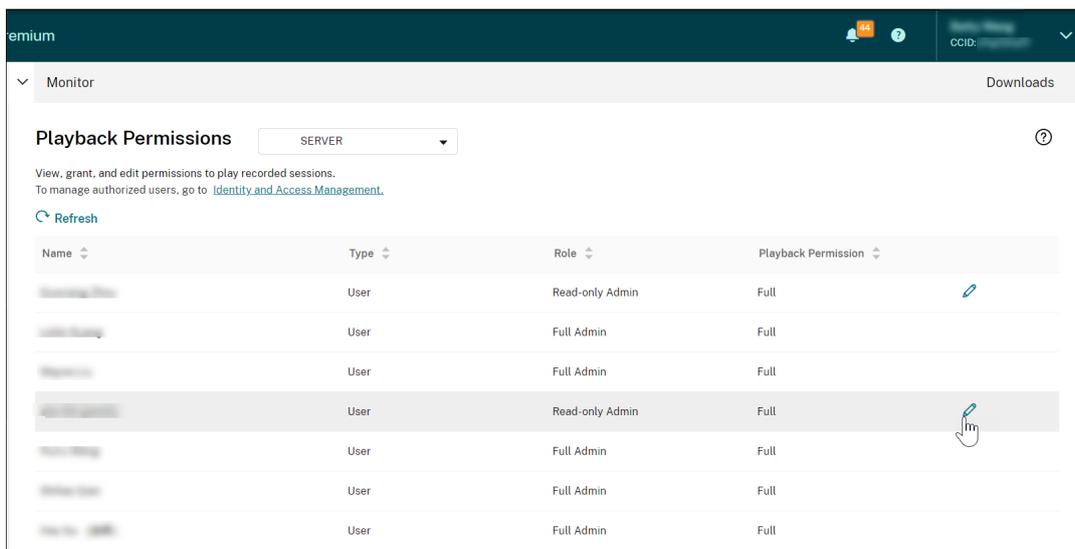
d) 山かっこをクリックして、すべての役割を展開します。

e) **[Cloud Administrator, All]**、**[Session Recording-FullAdmin, All]**、および **[Session Recording-PrivilegedPlayerAdmin, All]** の横にあるチェックマークをオフにします。**[Session Recording-ReadOnlyAdmin, All]** の横にあるチェックマークをオンにします。



f) **[Save]** をクリックします。

g) Session Recording サービスの **[再生権限]** ページに戻って更新します。編集した Citrix Cloud 管理者は、Session Recording の読み取り専用管理者として表示されます。

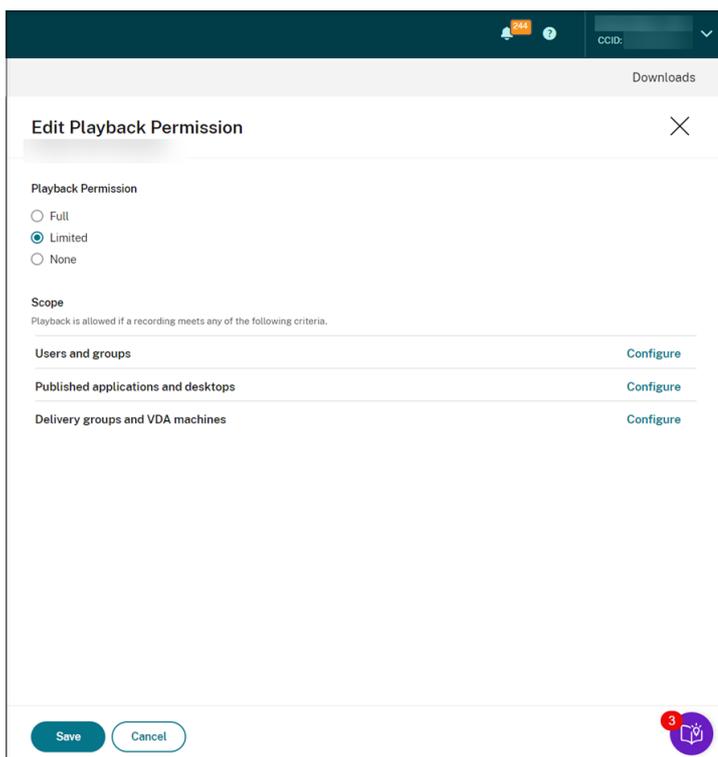


4. Session Recording の読み取り専用管理者の行にある編集アイコンをクリックします。

ヒント:

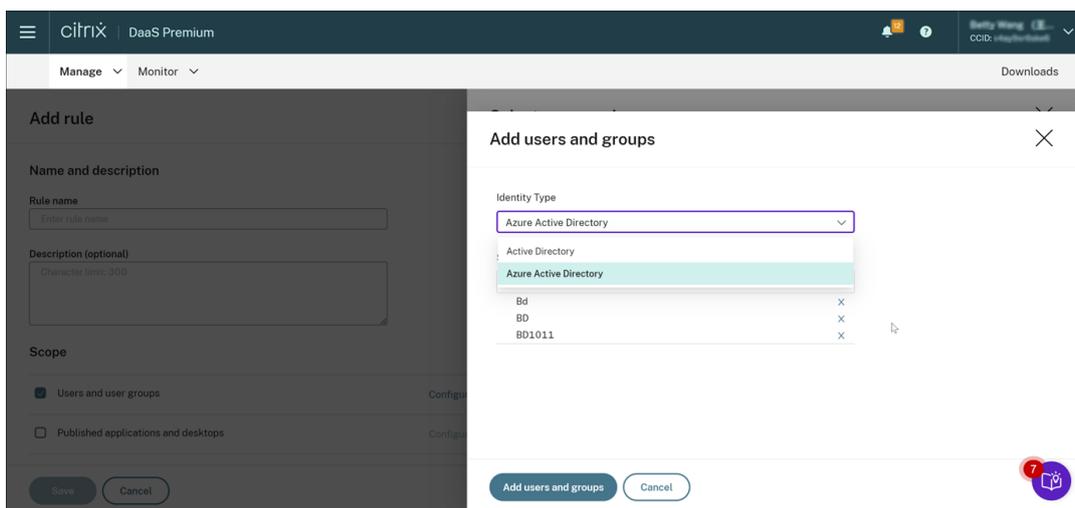
Session Recording の読み取り専用管理者は、すべての録画を再生するための完全な権限を持つ場合、特定の録画のみを再生するための制限付きの権限を持つ場合、または録画を再生するための権限を持たない場合があります。特に指定がない限り、Session Recording の読み取り専用管理者には、すべての録画を再生するための完全な権限があります。

5. Session Recording の読み取り専用管理者が再生できる録画を制限するには、[再生権限の編集] ページで [制限付き] を選択します。[再生権限の編集] ページに [スコープ] セクションが表示されます。



6. [構成] をクリックし、管理者が再生できる録画のスコープを指定します。録画が以下のいずれかの条件を満たす場合、再生が許可されます。

- ユーザーとユーザーグループ。Session Recording の読み取り専用管理者が、特定のユーザーおよびユーザーグループによって開かれたセッションのみを再生できるように設定します。Azure Active Directory (Azure AD) と Active Directory の両方の ID の種類がサポートされています。



注:

- 1 - 再生権限を構成するための Azure AD ID のサポートは、Session Recording サーバー 2402 以降で利用できます。こ

これは Technical Preview 機能です。Technical Preview 機能は、一部が英語のままの場合があります。また、実稼働環境以外での使用をお勧めします。Citrix テクニカルサポートは、Technical Preview 機能で見つかった問題をサポートしません。

2

3

- 対応する ID の種類は、サイトが Citrix Cloud の ID およびアクセス管理 (IAM) を介して AD または Azure AD に接続されている場合にのみ表示されます。Citrix Cloud の IAM の ** [認証] ** タブで確認できます。

- 公開アプリケーションとデスクトップ。Session Recording の読み取り専用管理者が、特定のアプリケーションおよびデスクトップセッションのみを再生できるように設定します。
- デリバリーグループと VDA マシン。Session Recording の読み取り専用管理者が、特定のデリバリーグループおよび VDA のセッションのみを再生できるように設定します。

設定が [再生権限] ページに表示されないことがあります。この問題は、Session Recording 2204 または Session Recording 2203 LTSR の初期リリースにアップグレードした後に発生します。この問題を回避するには、Session Recording データベースに対応する SQL Server Management Studio (SSMS) で次のスクリプトを実行します:

```

1 ALTER procedure [dbo].[EnumPlayerUserDeliveryGroupPoliciesOnCloud]
2 as
3 begin
4 set nocount on
5
6 select 3 as RoleType,
7 a.ID as RoleAccountID,
8 h.principleName as PrincipleName,
9 a.IsEnabled as IsEnabled,
10 e.name as PolicyType,
11 d.DeliveryGroupID as AccountMemberAccountID,
12 g.Name as AccountMemberName
13
14 from PlayerUserCloudAccountRoleConfigure a,
15 PlayerUserPolicyConfigSetMember b,
16 PlayerUserPolicyDeliveryGroupSetMember d,
17 PlayerUserPolicyType e,
18 DeliveryGroup g,
19 PlayerUserCloudAccount h
20 where e.id=5
21 and b.PlayerUserPolicyTypeID = e.ID
22 and a.PlayerUserPolicyConfigSetID = b.PlayerUserPolicyConfigSetID
23 and b.PolicySetID = d.PlayerUserPolicyDeliveryGroupSetID
24 and g.ID=d.DeliveryGroupID
25 and h.ID=a.CloudAccountID
26
27 end
28 <!--NeedCopy-->

```

[SRT-8028]

管理者権限

April 3, 2024

管理者権限の割り当て

管理者に権限を割り当てるには、Citrix Cloud の [ID およびアクセス管理] ページにある [管理者] タブに移動します。

管理者への権限の割り当てに関するビデオ:



Session Recording クラウド管理者の種類

特に Session Recording サービスの場合、3 種類のクラウド管理者が存在します。これは、異なる役割を割り当てることで実現されます:

完全な管理者

Full access、Cloud Administrator, All の役割、または **Session Recording-FullAdmin, All** の役割が割り当てられた Citrix Cloud 管理者を指します。

特権のあるユーザー管理者

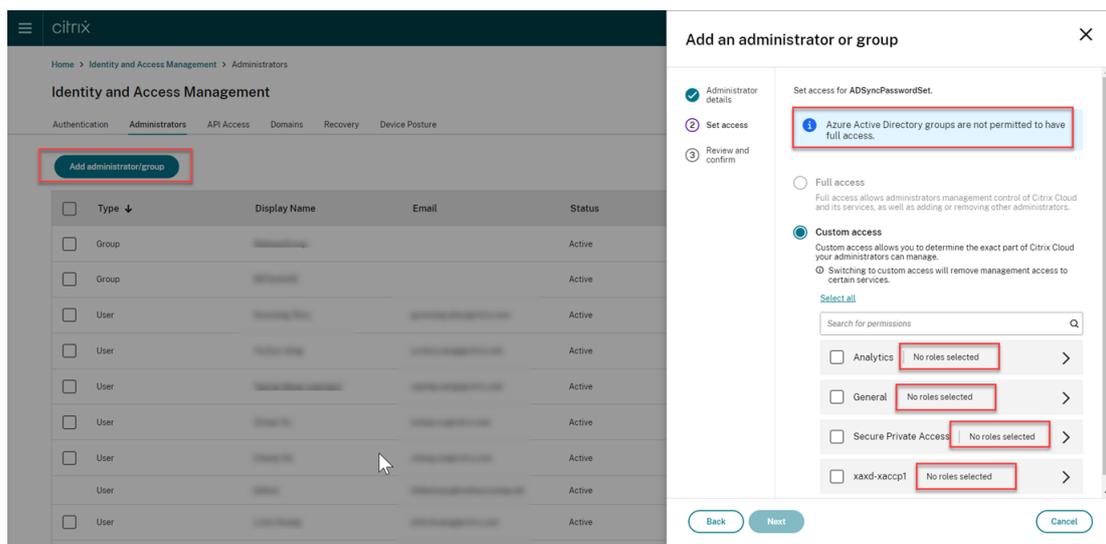
Session Recording-PrivilegedPlayerAdmin, All の役割のみ、または **Session Recording-PrivilegedPlayerAdmin, All** の役割と **Session Recording-ReadOnlyAdmin, All** の役割が割り当てられた Citrix Cloud 管理者を指します。

読み取り専用管理者

Session Recording-ReadOnlyAdmin, All の役割のみが割り当てられた Citrix Cloud 管理者を指します。

注:

Azure AD グループを通じて追加した管理者には、最初は権限がありません。管理者に権限を割り当てるには、組織内の管理者の役割に合わせたカスタムアクセスを指定します。



Azure AD から管理者を追加する

Session Recording サービスへの管理アクセスは、Azure Active Directory (AD) ユーザーおよびグループに対して有効です。

この機能を使用するための一般的なワークフローは次のとおりです:

1. Citrix Cloud アカウントを Azure AD に接続します。詳しくは、「[Citrix Cloud を Azure AD に接続する](#)」を参照してください。

2. Azure AD から Citrix Cloud に管理者を追加します。

Citrix Cloud では、管理者を個別に追加、または Azure AD グループとして追加できます。

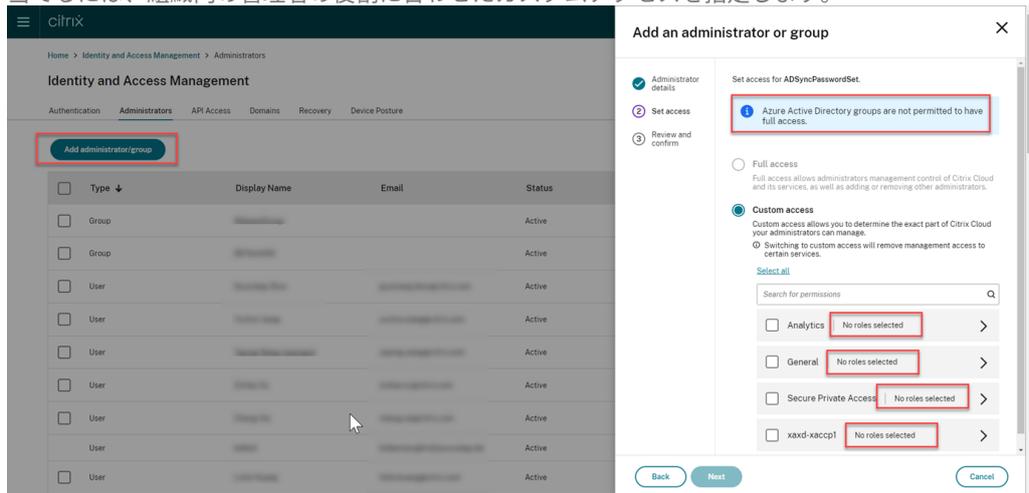
- Azure AD から個々の管理者を追加する方法については、「[新しい管理者を追加する](#)」を参照してください。管理者を追加すると、Citrix から相手に招待メールが送信されます。管理者は、サインインする前に招待を承諾する必要があります。
- Azure AD 管理者グループを Citrix Cloud に追加するには、「[管理者グループを Citrix Cloud に追加する](#)」を参照してください。Azure AD グループを通じて追加した管理者には招待は送信されず、追加後すぐに Citrix Cloud にサインインできます。

3. 追加する管理者の権限を指定します。

特に Session Recording の場合、3 種類の管理者が存在します。これは、異なる役割を割り当てることで実現されます。詳しくは、「[Session Recording 管理者の種類](#)」を参照してください。

注:

- Azure AD グループを通じて追加した管理者には、最初は権限がありません。管理者に権限を割り当てるには、組織内の管理者の役割に合わせたカスタムアクセスを指定します。



- Session Recording サービスの左側のナビゲーションにある [再生権限] メニューは、Azure AD グループを通じて追加された管理者には表示されません。
- Azure AD グループを通じて追加された管理者は、クラウドクライアントインストールの [コマンドの生成] ボタンを使用できません。

Session Recording 管理者の権限

Session Recording 管理者の権限については、次の表を参照してください:

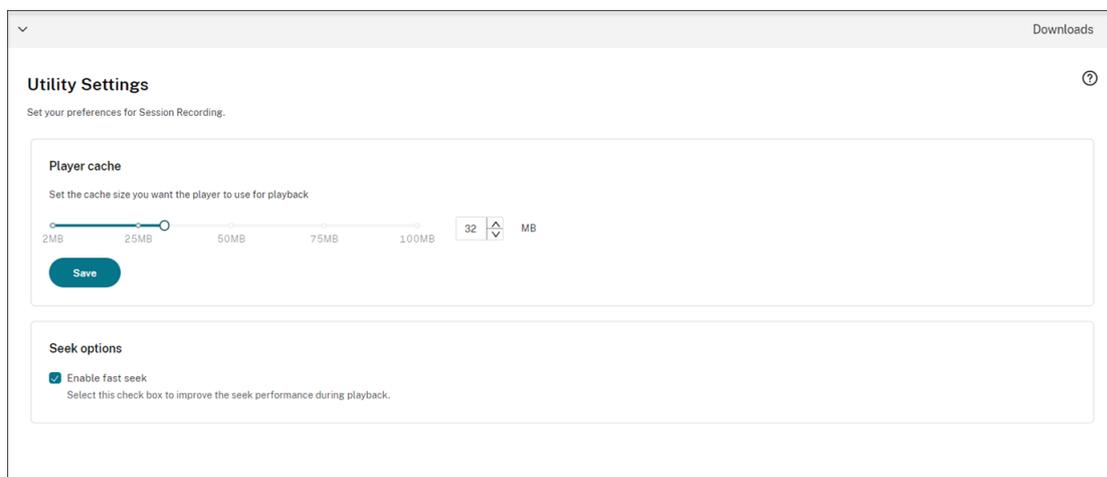
	特権のあるユーザー		
	完全な管理者	管理者	読み取り専用管理者
ダッシュボードページへのアクセス	有効	無効	無効
サーバー設定の構成	有効	無効	無効
ポリシーの構成	有効	無効	無効
録画へのアクセス制限の設定	有効	有効	有効
録画のアクセス制限の削除	有効	有効	無効
録画の手動によるアーカイブと削除	有効	有効	無効
録画の自動アーカイブおよび削除	有効	無効	無効
再生権限を構成する	有効	無効	無効

Session Recording の読み取り専用管理者の権限の構成については、「[再生権限](#)」を参照してください。

基本設定を構成する

September 21, 2023

Session Recording の基本設定を構成するには、左側のナビゲーションで [構成] > [ユーティリティ設定] を選択します。



Session Recording では、次の基本設定を構成できます：

- **Player** キャッシュ。スライダーをドラッグして、Player が再生に使用するキャッシュサイズを設定します。
- 高速シーク。1 フレームの生成頻度を構成することで、ICA 画面録画による高速シークを有効にすることができます。この機能により、再生シークのエクスペリエンスが大幅に向上し、Session Recording 2308 以降で使用できます。

録画の表示

July 15, 2022

ライブセッションの再生機能を有効にしてセッションを録画する場合は、進行中のセッションを 1~2 秒遅れで表示できます。

時間やファイルサイズの上限を超えるセッションは、複数のセッションファイルに分けて表示されます。

注:

録画された VDA のセッションへのアクセス権をユーザーに付与してください。

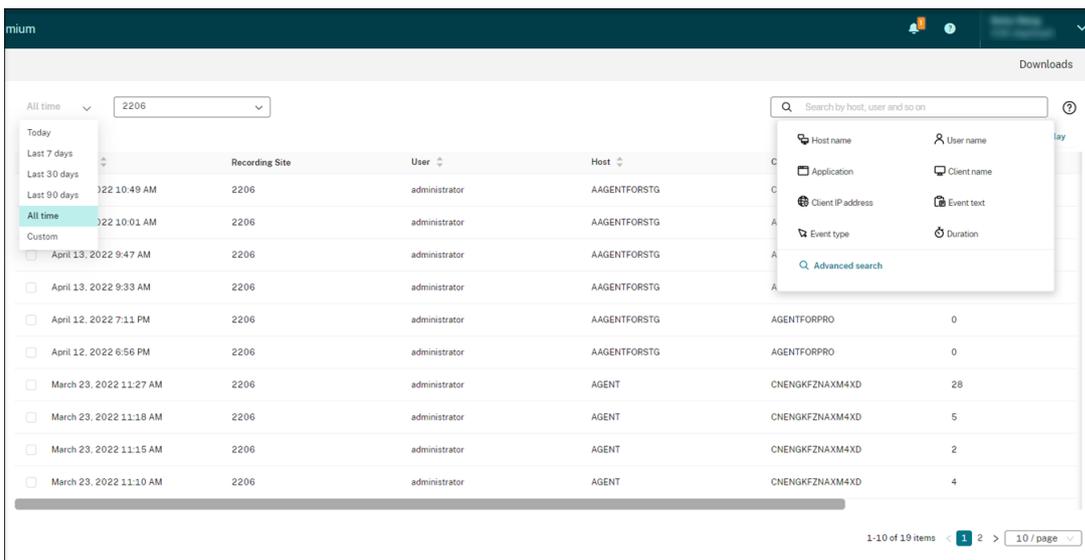
録画の検索

September 26, 2022

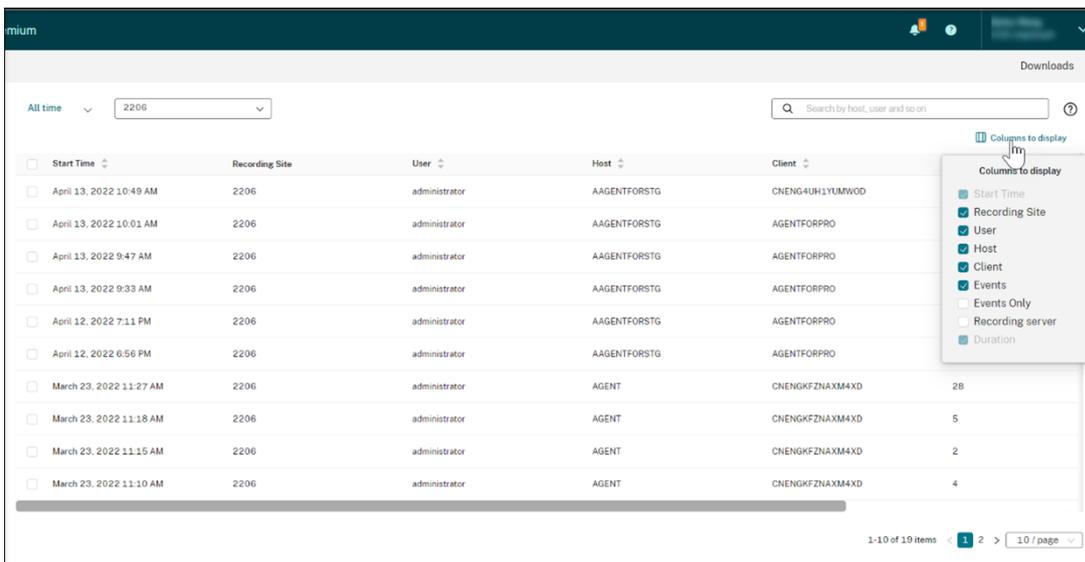
録画の検索

[録画] の各サブページで、次のように指定して録画を検索できます:

- 特定の期間。オプションには、[今日]、[過去 7 日間]、[過去 30 日間]、[過去 90 日間]、[常時]、[カスタム] があります。
- 1 つまたは複数のサイト。
- フィルターには、ホスト名、クライアント名、ユーザー名、アプリケーション、クライアント IP アドレス、イベントテキスト、イベントの種類、時刻などがあります。
- 高度な検索条件。

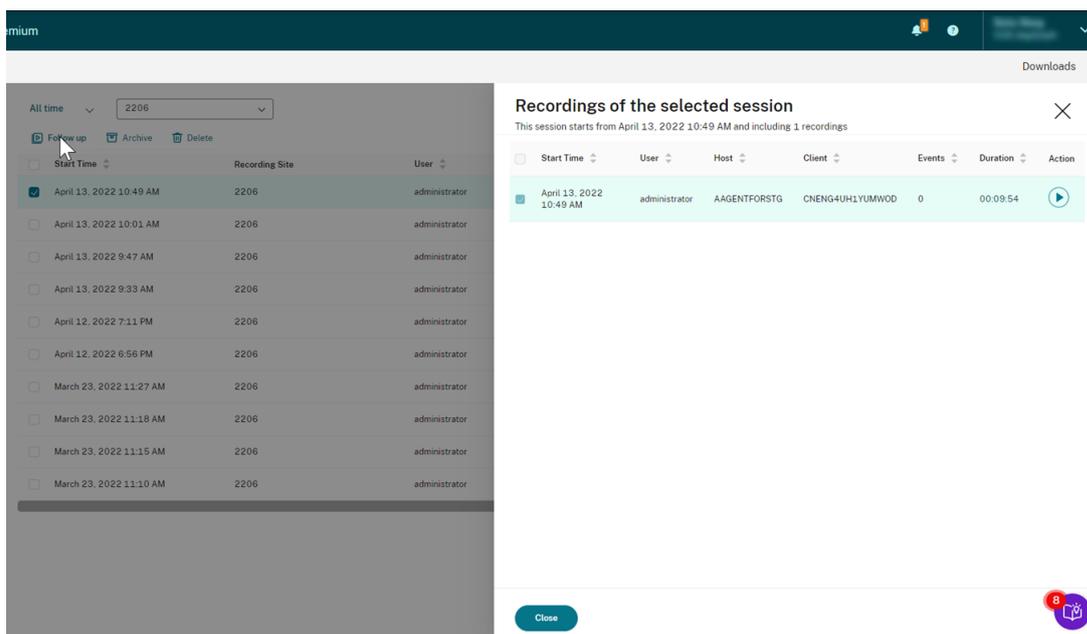


表示する列を指定することもできます。



セッションのすべての録画の表示

録画を選択し、[フォローアップ] アイコンを選択して録画済みセッションのすべての録画を表示できます。



録画へのアクセス制限の設定

February 20, 2024

概要

Session Recording サービス内から選択した録画へのアクセスを制限できます。再生権限に加えて、この機能により詳細なアクセス制御ができます。

次のアクセス権限のいずれかが割り当てられた Citrix Cloud 管理者は、録画にアクセス制限を設定できます：

- フルアクセス
- **[Cloud Administrator, All]** の役割
- **[Session Recording-FullAdmin, All]** の役割
- **[Session Recording-PrivilegedPlayerAdmin, All]** の役割
- **[Session Recording-ReadOnlyAdmin, All]** の役割

制限付き録画には、Session Recording の読み取り専用管理者（**[Session Recording-ReadOnlyAdmin, All]** の役割のみが割り当てられた Citrix Cloud 管理者）はアクセスできません。Session Recording の読み取り専用管理者には、[制限] ページにアクセスしたり、ページのアクセス制限を解除したりする権限がありません。

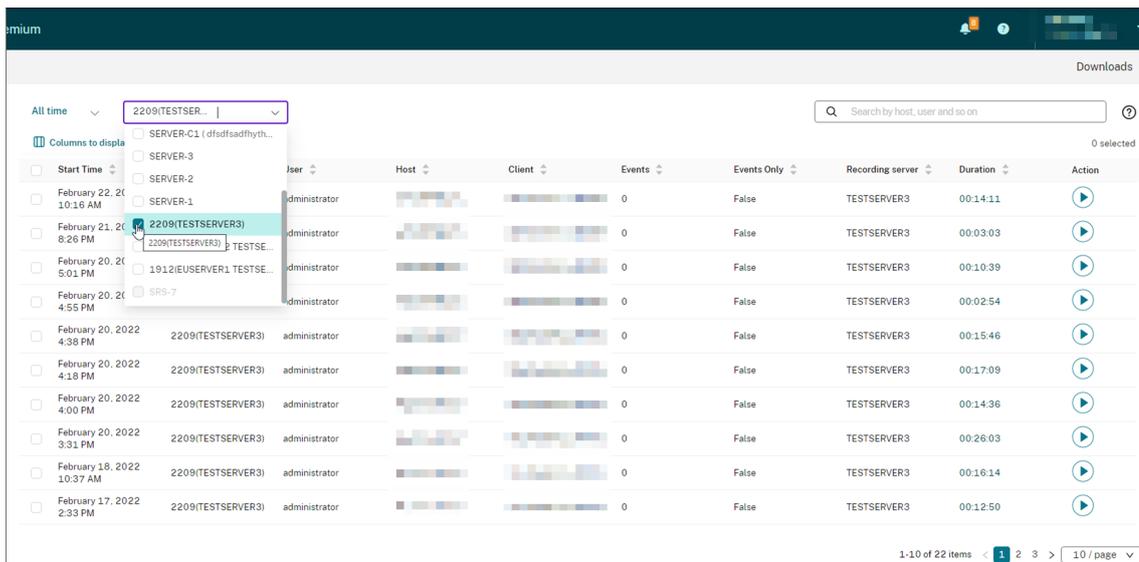
注：

- この機能には、Session Recording サーバー 2209 以降が必要です。

- ライブ録画へのアクセス制限はサポートされていません。

録画へのアクセス制限の設定および削除

1. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[録画] > [すべての録画] を選択します。
2. Session Recording サーバー 2209 以降で構成されるサイトを選択します。

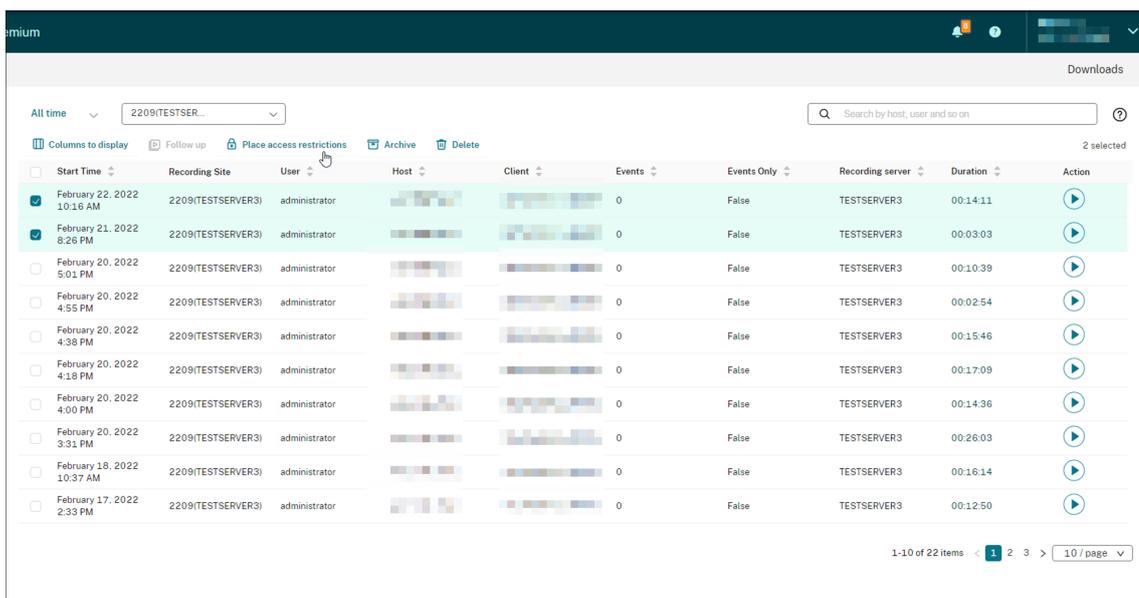


3. [すべての録画] ページで、1 つまたは複数の録画を選択します。

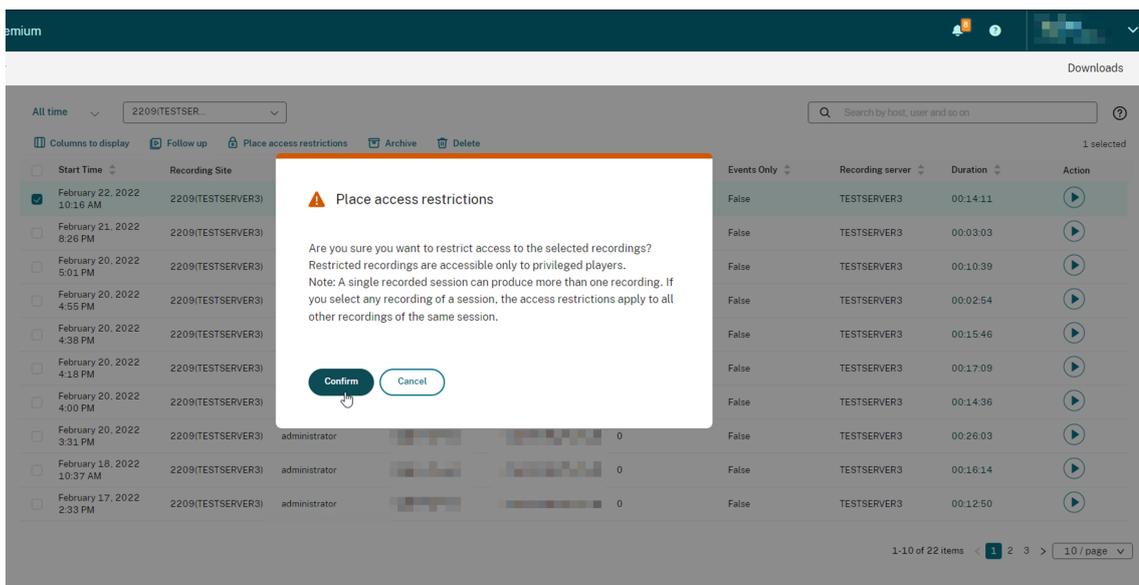
注:

一度に選択する録画は、40 個を超えないようにすることをお勧めします。そうしないと、アクセス制限に失敗する場合があります。

4. [アクセス制限を設定する] をクリックします。



5. プロンプトを読み、[確認] をクリックします。



6. アクセス制限を設定した選択した録画が、[すべての録画] ページから [制限] ページに移動したことを確認します。

7. [制限] ページで、必要に応じてアクセス制限を解除します。アクセス制限が解除されると、録画は [すべての録画] ページに戻ります。

Start Time	Recording Site	User	Host	Client	Events	Events Only	Recording server	Duration	Restricted by	Action
March 22, 2022 10:37 AM	2209(TESTSERVER3)	administrator	[Redacted]	[Redacted]	24	False	TESTSERVER3	00:38:32	[Redacted]	[Play]
March 18, 2022 5:10 PM	2209(TESTSERVER3)	administrator	[Redacted]	[Redacted]	19	False	TESTSERVER3	12:03:55	[Redacted]	[Play]
March 18, 2022 3:47 PM	2209(TESTSERVER3)	administrator	[Redacted]	[Redacted]	6	False	TESTSERVER3	00:02:39	[Redacted]	[Play]
February 22, 2022 2:46 PM	2209(TESTSERVER3)	administrator	[Redacted]	[Redacted]	34	False	TESTSERVER3	00:06:31	[Redacted]	[Play]
February 22, 2022 2:31 PM	2209(TESTSERVER3)	administrator	[Redacted]	[Redacted]	51	False	TESTSERVER3	00:09:20	[Redacted]	[Play]

録画を開いて再生

February 20, 2024

録画を開いて再生

ライブと録画を再生できます。[すべての録画] および [アーカイブ済み] ページの各録画には [経過時間] 項目の右側に再生ボタンがあります。

ヒント:

より適切な再生エクスペリエンスのために、GPU を搭載したマシンを使用してください。

再生ボタンをクリックします。再生ページが表示されます。メモリキャッシュの後に再生が開始されます。

The screenshot shows a playback interface for a session recorded on February 23, 2021. The main video player displays a desktop background with a large user icon and the text "Please wait for the Citrix Profile Management". The event log on the right lists the following events:

- 00:00:00 Alert Notification:Session Start
- 00:00:59 App Start:5692: powershell: 8352: "C:\Win...
- 00:01:00 App Start:8416: conhost: 5692: [?]:C:\Win...
- 00:01:36 Session Pause:sk;
- 00:02:27 Session Resume:;;
- 00:03:02 Session Pause:help;
- 00:03:19 Session Resume:hj;

ヒント:

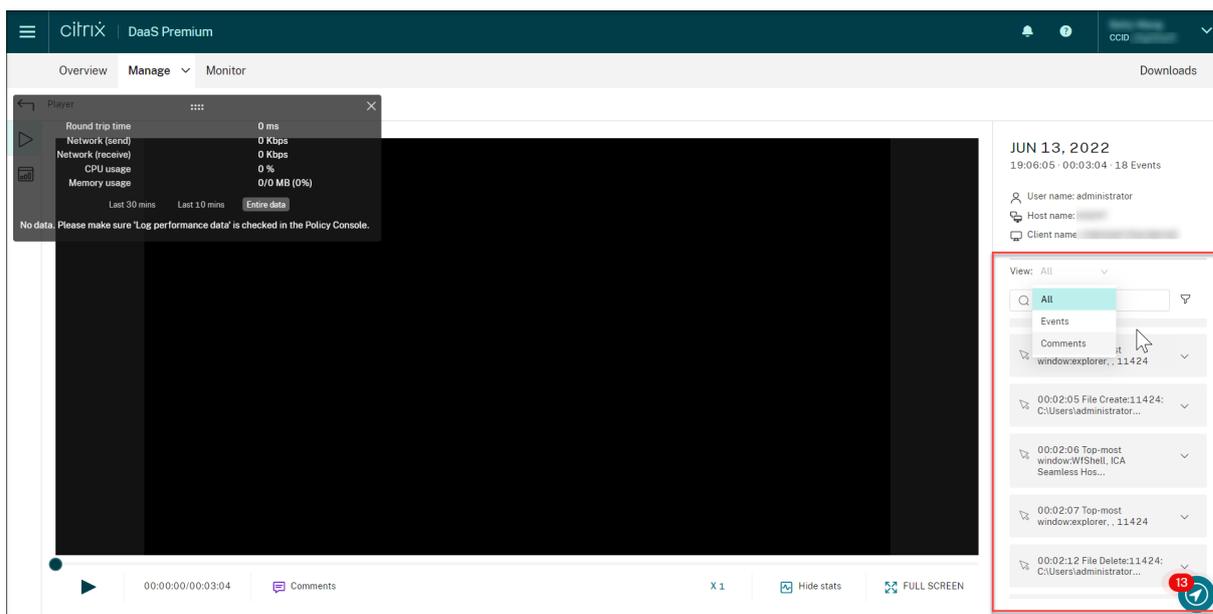
- セッションの進行時間をクリックすると、セッションが録画された絶対日時に切り替えることができます。
- イベントのみの録画の場合、左上隅の再生アイコンは使用できません。

Player ウィンドウの制御

Player ウィンドウの説明については、次の表を参照してください:

Player ウィンドウの制御	説明
再生ボタン	選択した録画ファイルを再生します。
ミュート/ミュート解除ボタン	再生中にオーディオを削除するかどうかを決定します。
進行状況バー	再生中に進行状況バーをドラッグできます。録画されたセッションのアイドル期間は再生中にハイライトされません。
録画再生の現在位置	録画再生の現在位置と合計録画時間を示します。時間の形式は HH:MM:SS です。
コメント	録画の再生中にクリックしてコメントを追加することができます。
共有	録画を制限付きリンクまたは制限なしリンクとして共有できます。
統計を表示	録画されたセッションに関連するデータポイントを持つオーバーレイを表示します。
統計を非表示	セッションデータオーバーレイを非表示にします。
再生速度	現在の再生速度を示します。アイコンをクリックして、X0.5、X1、X2、X4 などのオプションを切り替えます。
全画面	全画面で再生を表示します。
全画面終了ボタン	Web ページ内で再生を表示します。

再生ページの右ペインでは、イベントフィルターとコメントフィルター、クイック検索ボックス、一部の録画データを使用できます:



- Player マシンの日付と時刻。この例では、**JUN 13, 2022** および **19:11:02**。
- 再生中の録画の時間。この例では、**00:03:04**。
- 録画内のイベント数。この例では、**18 EVENTS**。
- セッションが録画されたユーザー名。
- 録画されたセッションがホストされている VDA のホスト名。
- セッションが実行されているクライアントデバイスの名前。
- 検索結果を並べ替えるオプション: [すべて]、[イベント] または [コメント] を選択して検索結果を並べ替えます。
- イベントフィルター。複数のフィルターを選択して、現在の録画内のイベントを検索できます。

アイコンをクリックして、イベントの表示を展開します。例:



- イベント一覧。一覧のイベントをクリックすると、録画内のイベントの位置に移動します。
- クイック検索ボックス。[イベントを検索] クイック検索ボックスによって、現在の録画でイベント一覧をすばやく絞り込むことができます。

録画をリンクとして共有する

February 20, 2024

概要

録画をクラウドプレーヤーから制限付きリンクまたは制限なしリンクとして共有できます。他のユーザーはリンクを使用して共有した録画に直接アクセスできるため、多数の録画の中から検索する必要がなくなります。録画を制限付きリンクとして共有すると、既に再生権限を持っているユーザーのみがそのリンクを使用して録画を表示できます。録画を無制限のリンクとして共有すると、AD ドメイン内の誰もがそのリンクを使用して録画を表示できます。

無制限の録画共有では、さらに次のことが可能です：

- 無制限の録画リンクが生成されたときに、特定の受信者にメール通知を発行するかどうかを指定します。詳しくは、「[通知](#)」を参照してください。
- [アクティビティフィード] の [イベント](#) タブで、無制限の録画共有に関連するイベントを表示します。

無制限のリンクの管理を容易にするために、Session Recording サービスでは次の操作が可能です：

- リンクごとに有効期限を設定します。
- (オプション) リンクを生成するときに理由を入力します。
- どの録画が無制限のリンクとして共有されているかの概要を取得します。
- 特定の録画のすべての無制限のリンクを表示します。
- どのユーザーが無制限のリンクにアクセスしたかを把握します。
- 有効期限が切れていない無制限のリンクを取り消します。
- 期限切れになったか取り消された無効なリンクを削除します。

録画をリンクとして共有し、無制限のリンクを管理するには、Session Recording サービスへのフルアクセスが必要です。これには、次のいずれかの権限を割り当てられた Citrix Cloud 管理者である必要があります：

- フルアクセス
- **[Cloud Administrator, All]** の役割
- **[Session Recording-FullAdmin, All]** の役割

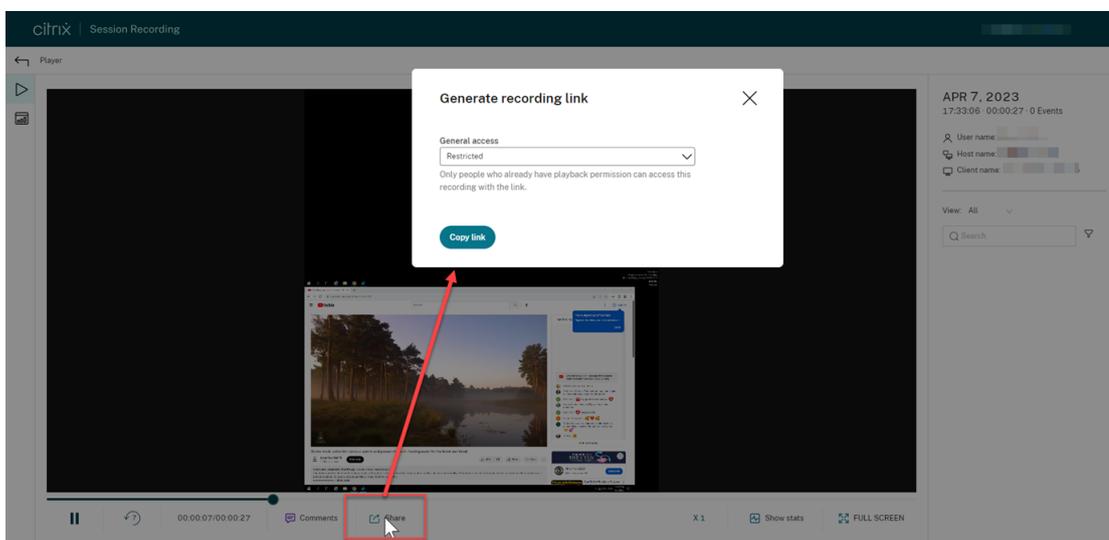
注：

- 無制限のリンクを使用して録画を表示するには、ユーザーは理由を入力する必要があります。

録画を制限付きリンクとして共有する

録画を制限付きリンクとして共有するには、次の手順を実行します：

1. クラウドプレーヤーで、共有する録画を開いて再生します。
2. 録画の再生ページで [共有] をクリックします。[録画リンクの生成] ダイアログが表示されます。



3. [一般アクセス] ドロップダウンから [制限付き] を選択します。
4. [リンクのコピー] をクリックします。

[リンクのコピー] をクリックした後、次のメッセージのいずれかが表示され、操作が成功か失敗かが示されます:

- 共有された録画の **URL** がクリップボードにコピーされました
- 録画 **URL** の共有に失敗しました

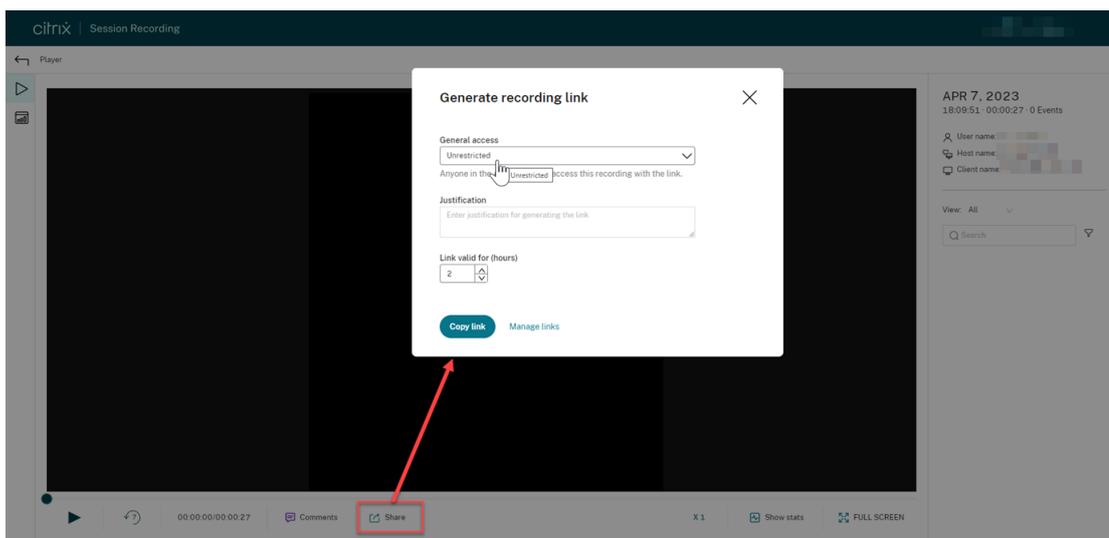
5. 生成された URL リンクを、再生権限を既に持っているユーザーと共有します。

アドレスバーにリンクを貼り付けると、リンクがコピーされた場所にジャンプできます。

録画を無制限のリンクとして共有する

録画を無制限のリンクとして共有するには、次の手順を実行します:

1. クラウドプレーヤーで、共有する録画を開いて再生します。
2. 録画の再生ページで [共有] をクリックします。[録画リンクの生成] ダイアログが表示されます。
3. [一般アクセス] ドロップダウンから [制限なし] を選択します。



4. (オプション) 録画を共有する理由を入力します。

5. 生成されたリンクの有効期限を設定します。

6. [リンクのコピー] をクリックします。

[リンクのコピー] をクリックした後、次のメッセージのいずれかが表示され、操作が成功か失敗かが示されます：

- 共有された録画の **URL** がクリップボードにコピーされました
- 録画 **URL** の共有に失敗しました

7. 生成された URL リンクを AD ドメイン内の他のユーザーと共有します。

アドレスバーにリンクを貼り付けると、URL リンクがコピーされた場所にジャンプできます。

注：

- 無制限のリンクを使用して録画を表示するには、ユーザーは理由を入力する必要があります。
- 無制限のリンクを生成するアクションは、[アクティビティフィード] の [イベント] タブに記録されます。
- 無制限の録画の共有では、無制限の録画リンクが生成されたときに、特定の受信者にメール通知を発行するかどうかを指定します。詳しくは、「[通知](#)」を参照してください。

無制限のリンクを管理する

どの録画が無制限のリンクとして共有されているかを表示する

どの録画が無制限のリンクとして共有されているかの概要を確認するには、[すべての録画] ページの [**Links**] 列をクリックします。[**Links**] 列が表示されない場合は、[表示する列] をクリックしてから [**Links**] を選択します。

Start Time	User	Host	Client	Events	Events Only	Recording Server	Duration	Action
April 6, 2023 10:38AM				0	False		00:00:27	
April 6, 2023 10:28AM				0	False		00:09:41	
April 6, 2023 10:17AM				0	False		00:11:45	
March 15, 2023 4:31PM				0	False		00:02:13	
March 15, 2023 4:07PM				0	False		00:03:28	
February 28, 2023 4:47PM				8	False		00:02:01	
February 28, 2023 9:59AM				0	False		00:04:50	
February 28, 2023 9:32AM				0	False		00:02:33	
February 28, 2023 9:31AM				0	False		00:00:53	
February 28, 2023 9:19AM				0	False		00:40:20	
February 28, 2023 6:33AM				0	False		02:46:00	
February 13, 2023 2:22PM				0	False		00:04:26	
February 13, 2023 2:11PM				0	True		00:10:52	

録画に対応するリンクのアイコンをクリックすると、現在の録画に対して生成された無制限のリンクに関する詳細が表示されます。例:

Downloads

Manage unrestricted links

View and manage unrestricted links generated for this recording. Expand each row to view details.

[Refresh](#) [Clear invalid links](#)

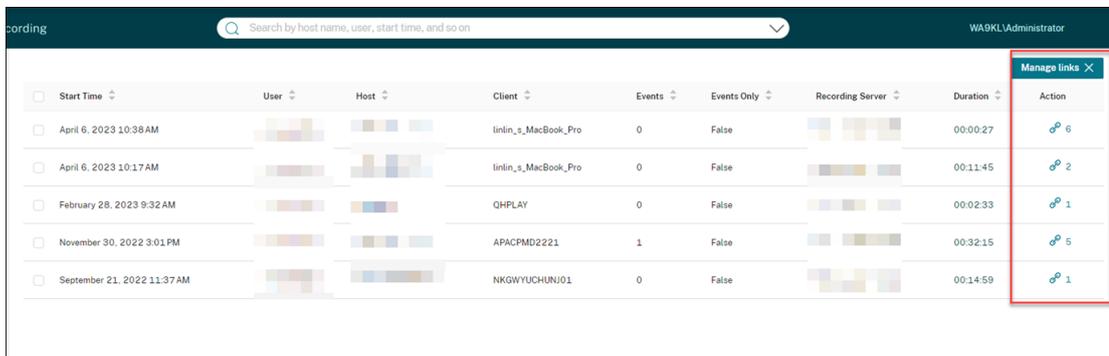
Generated at (UTC+08:00)	Generated by	Justification	Status
Jan 24, 2024 5:39:31 PM	@citrix.com	test	Expired
Jan 25, 2024 2:45:45 PM	@citrix.com	a	Revoked
Jan 24, 2024 5:30:54 PM	@citrix.com		Expired

Done

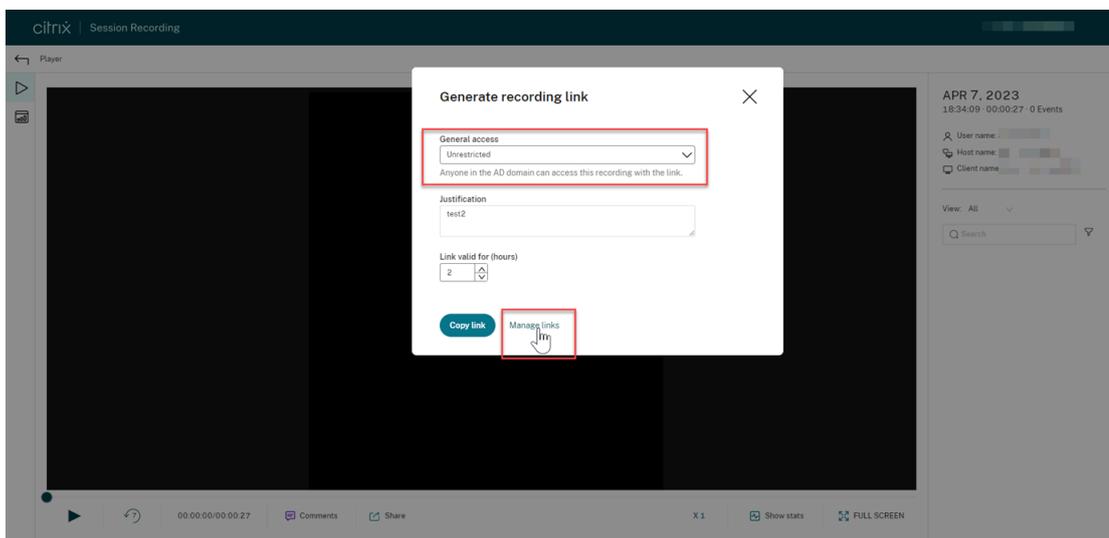
特定の録画の無制限のリンクを表示および管理する

1. [無制限のリンクを管理する] ページを開きます。

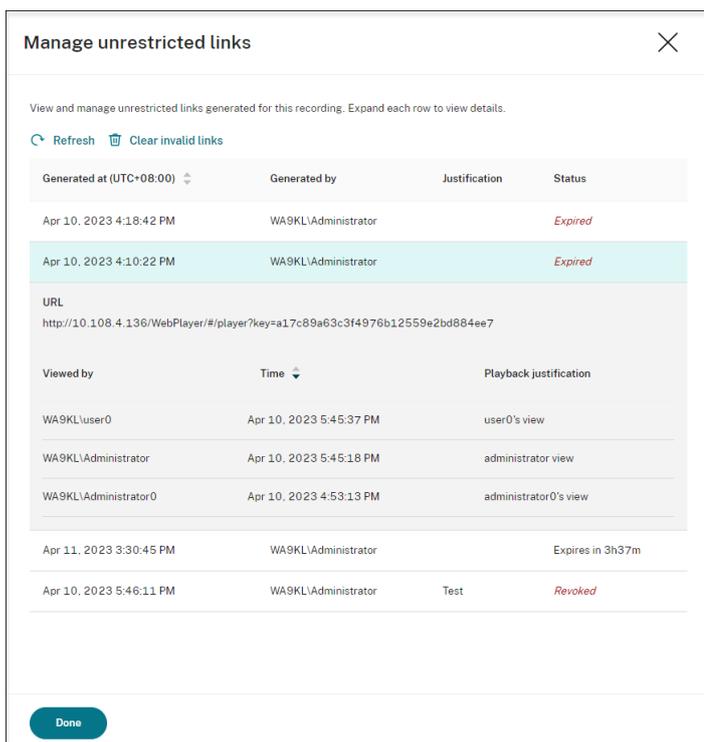
方法 1: [すべての録画] ページで、特定の録画の横にある [Links] 列のリンクのアイコンをクリックします。



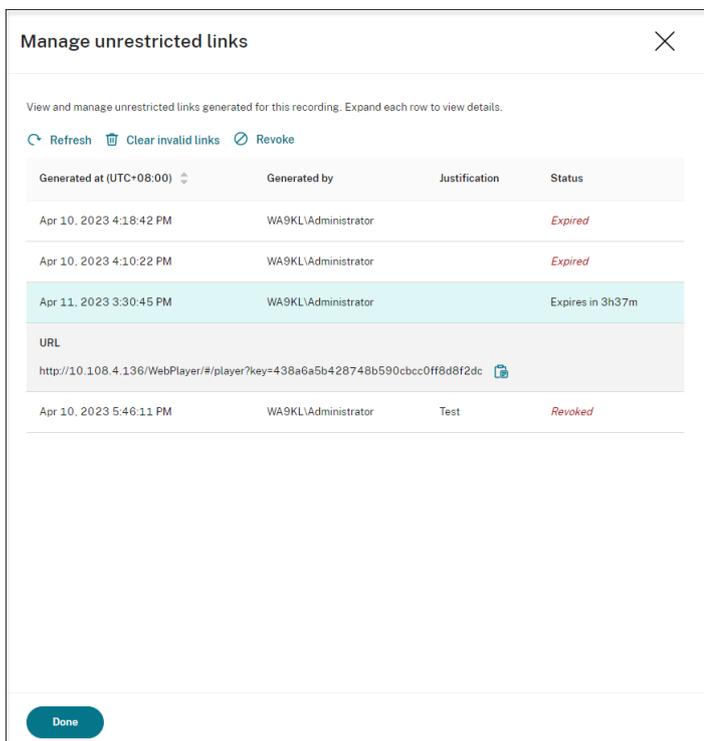
方法 2: [録画リンクの生成] ダイアログで [リンクの管理] をクリックします。



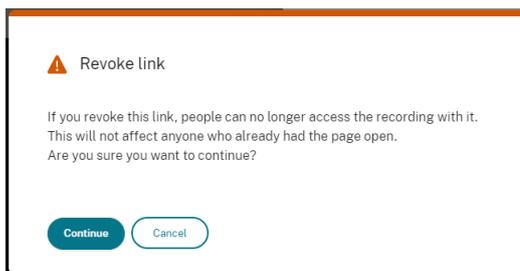
2. [無制限のリンクを管理する] ページで各行を展開すると、特定の録画に対して生成された無制限のリンクに関する詳細が表示されます。



3. (オプション) リンクを取り消すには、リンクを選択し、表示される [取り消し] をクリックします。



[取り消し] をクリックすると、アクションを確認するプロンプトが表示されます。



4. (オプション) 期限切れになったリンクまたは取り消されたリンクを削除するには、[無効なリンクをクリア] をクリックします。

サイトのプレーヤーを指定

August 4, 2023

概要

サイトの録画を再生するために、クラウドプレーヤー、オンプレミスプレーヤー、またはその両方を指定できるようになりました。デフォルトでは、クラウドプレーヤーとオンプレミスプレーヤーの両方が選択されています。

注:

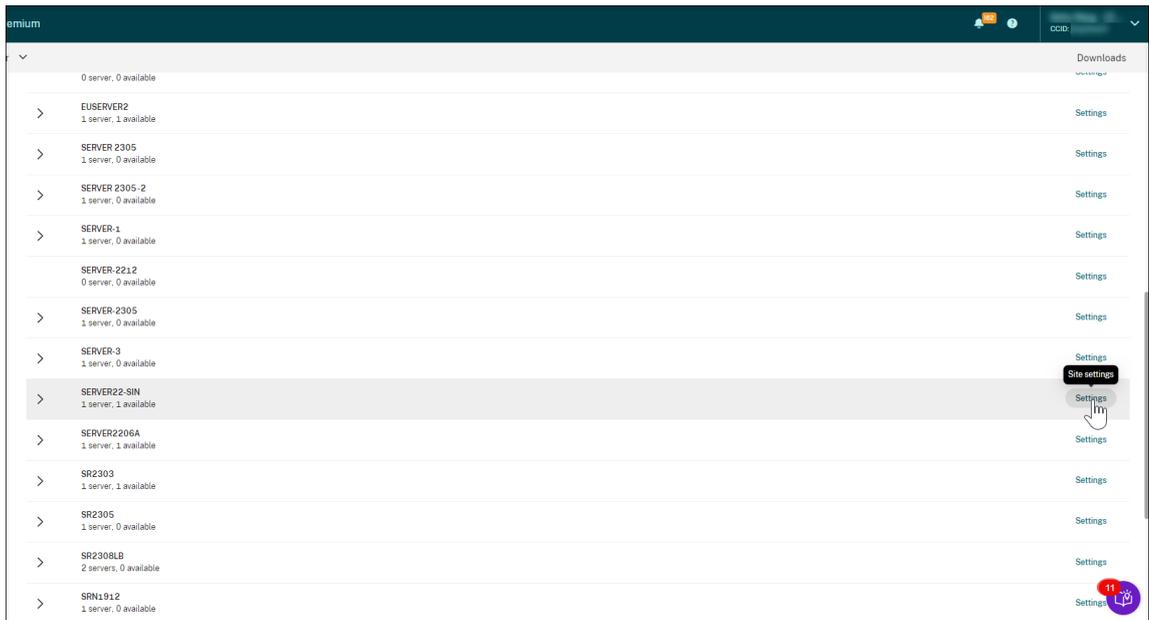
この機能は、Session Recording サーバー 2308 以降のみで使用できます。

オンプレミスプレーヤーには、Session Recording Player (Windows) および Session Recording Web Player が含まれます。

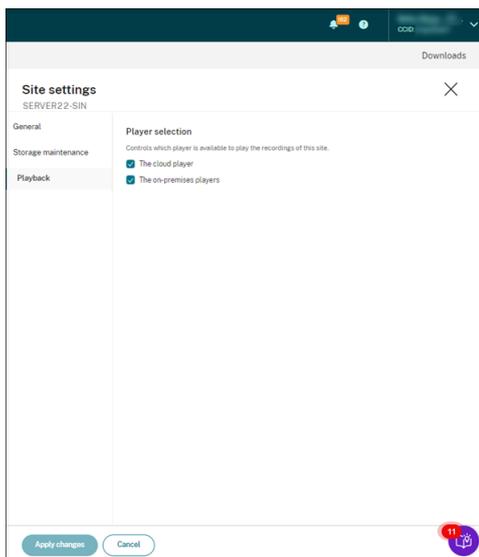
構成

サイトの録画の再生に使用できるプレーヤーを指定するには、次の手順を実行します:

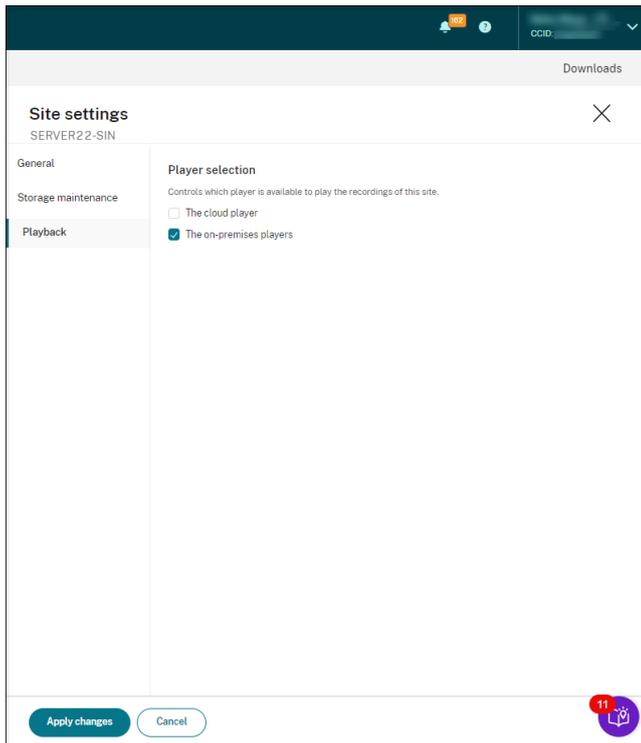
1. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択します。
2. ターゲットサイトの [設定] をクリックします。[サイト設定] ページが開きます。



3. [サイト設定] ページで、[再生] メニューを選択します。プレーヤーの選択ページが開きます。デフォルトでは、両方のオプションが選択されています。

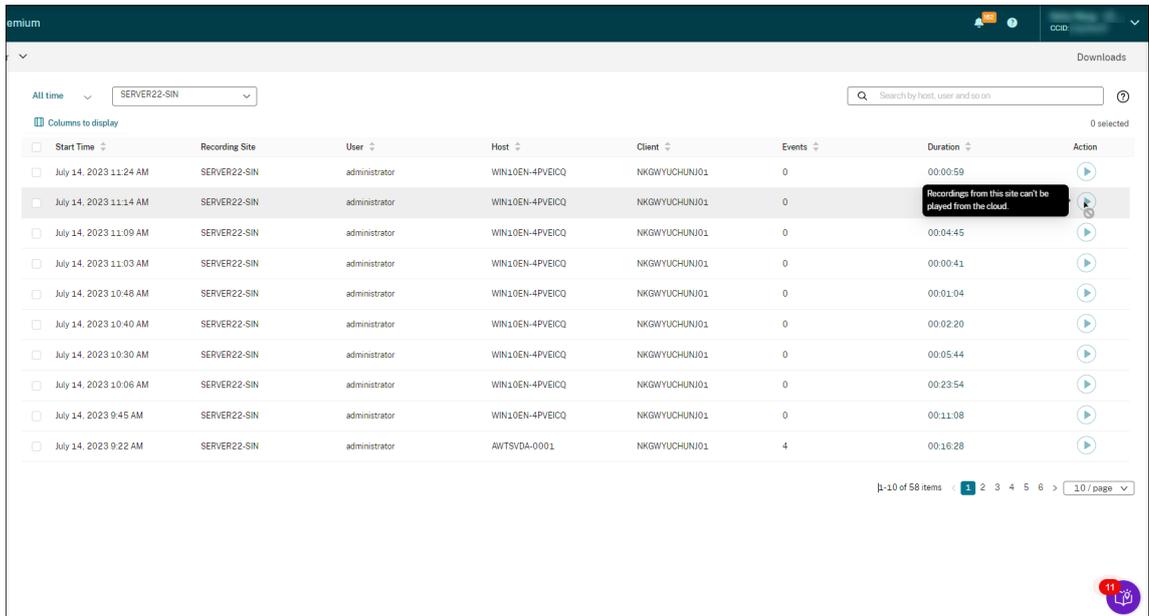


4. 必要に応じてオプションを少なくとも 1 つ選択し、[変更の適用] をクリックします。たとえば、オンプレミスプレーヤーのみを選択します：



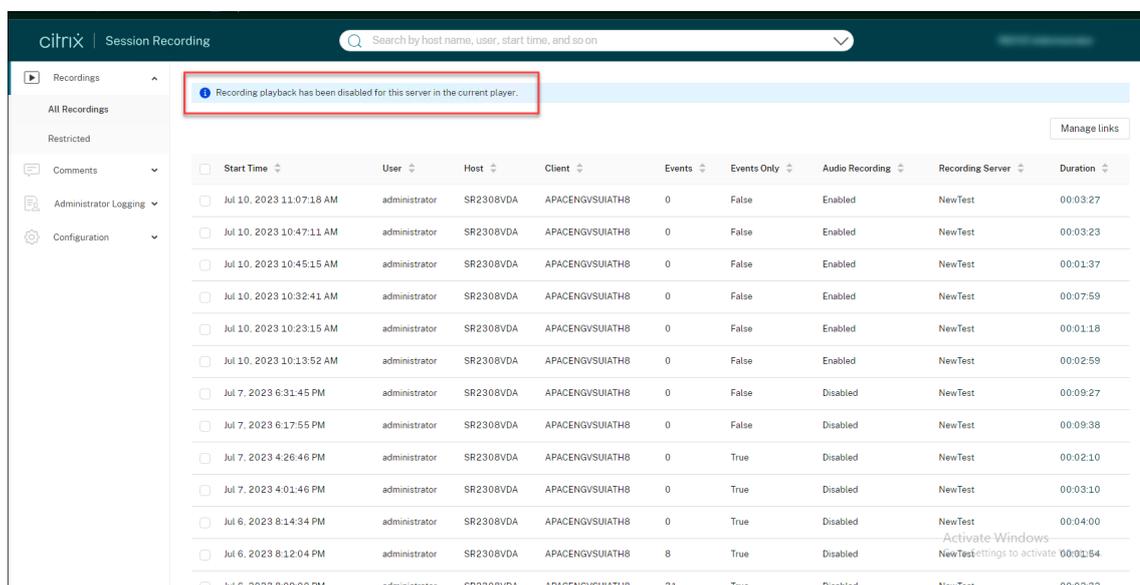
プレーヤーが無効になっている（選択されていない）場合

- サイトの録画再生に対してクラウドプレーヤーが無効になっている場合、サイトからの録画の再生ボタンはホバーによるヒントでは使用できません。



- オンプレミスプレーヤーがサイトの録画再生に対して無効になっている場合は、サイトの録画を選択するときにプロンプトが表示されます。プロンプトのメッセージには、「現在のプレーヤーでは、このサーバーの録画の

再生が無効になっています。」と表示されます。オンプレミスの Session Recording Web Player のプロンプトメッセージの例:



一方、サイトの録画が以前にリンクとして共有されていた場合、閲覧者が録画にアクセスするためにリンクを開いたときに、「再生を利用できません」というメッセージが表示されます。

アイドル期間のハイライト

July 15, 2022

Session Recording はアイドルイベントを録画し、Player でアイドル期間をハイライトできます。

アイドルイベント機能をカスタマイズするには、`HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\SmartAuditor\SessionEvents`にある以下のレジストリキーを設定します。

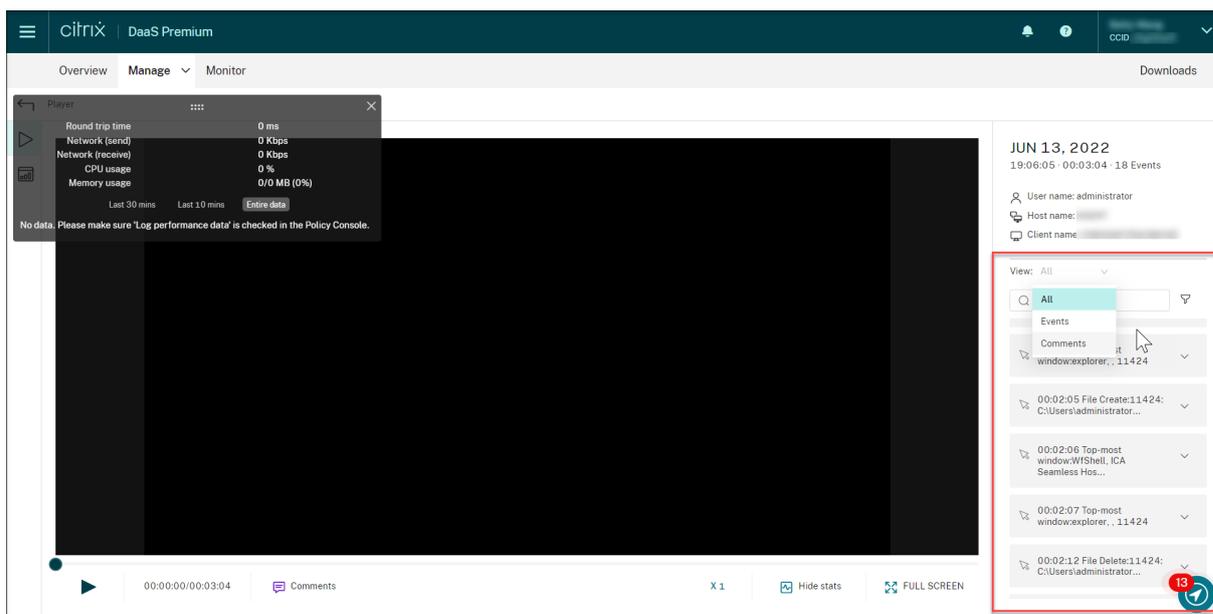
レジストリキー	デフォルト値	説明
DisableIdleEvent	0	アイドルイベント機能を無効にするには、値を 1 に設定します。アイドルイベント機能を有効にするには、値を 0 に設定します。

レジストリキー	デフォルト値	説明
IdleEventThrottle	30 秒	レジストリキーで設定された期間のしきい値より長くユーザーアクティビティ（グラフィックの変更やキーボード/マウス入力を含む）がない場合、アイドルイベントが録画されます。録画されたセッションが Session Recording Web Player で再生されると、アイドル期間がハイライトされます。
IdleEventActiveThrottle	2 秒	指定された期間の指定された数のグラフィックの変更のみがユーザーアクティビティと見なされます。デフォルトでは、2 秒以内に少なくとも 3 つのパケットがユーザーアクティビティと見なされます。
IdleEventActivePktNumThrottle	3 つのパケット	指定された期間の指定された数のグラフィックの変更のみがユーザーアクティビティと見なされます。デフォルトでは、2 秒以内に少なくとも 3 つのパケットがユーザーアクティビティと見なされます。
IdleEventActivePktSizeThrottle	300 バイト	キー値よりも小さいグラフィックパケットは無視され、関連する期間はアイドル状態と見なされます。

イベントとコメントの使用

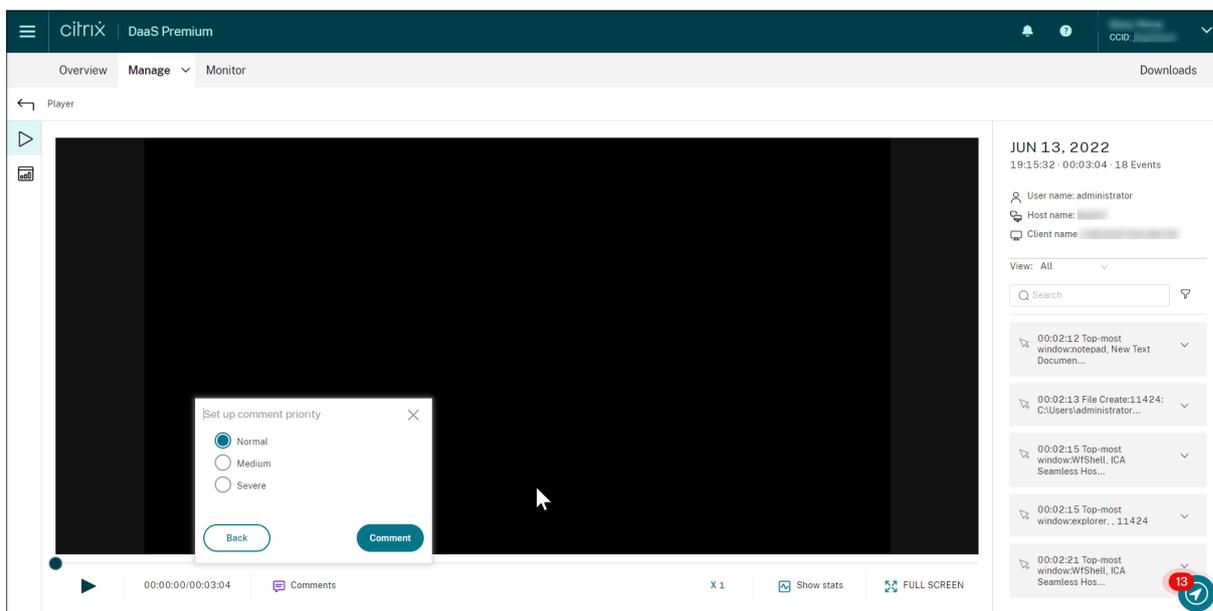
November 14, 2022

再生ページの右ペインでは、[イベント] フィルターと [コメント] フィルターを使用できます。Web Player でイベントとコメントを使用して、録画されたセッション内を簡単に移動できます。



録画へのコメント

録画されたセッションが再生されると、[コメント] プレイヤーウィンドウをクリックしてコメントを追加し、コメントの重要度を設定できます。重要度には [通常]、[中]、[高] があります。[高] コメントと [中] コメントは、それぞれ赤とオレンジのドットで示されます。セッションの再生中、録画に関するすべてのコメントを表示できます。自分が追加したコメントを削除するには、Web ページを更新しコメントを展開して、[削除] をクリックします。



コメントをクリックすると、コメントが追加された場所にジャンプできます。[マイコメント] ページですべてのコメントを表示できます。

The screenshot shows the Citrix Session Recording web interface. At the top, there is a dark blue header with the Citrix logo and 'Session Recording' text. A search bar is present with the placeholder text 'Search by host name, user, start time, and so on'. On the left, a navigation sidebar contains 'Recordings', 'Comments', 'My Comments' (highlighted with a red box), 'Administrator Logging', and 'Configuration'. The main content area is titled 'Comments' and features a search bar for comments. Below this, three comment cards are displayed, each for user 'qh' on February 23, 2021. The first card says 'Please take a look', the second 'Shell', and the third 'Session quit'. Each card has a 'Jump to Recording' button and a 'Delete' button.

**

コメント機能を正常に動作させるには、Session Recording サーバー上の Server Manager の **[Add Roles and Features]** ウィザードで **[WebDAV Publishing]** チェックボックスをオフにします。

Add Roles and Features Wizard

Select server roles

Before You Begin

Installation Type

Server Selection

Server Roles

Features

Confirmation

Results

Select one or more roles to install on the selected server.

Roles

- Hyper-V
- MultiPoint Services
- Network Policy and Access Services
- Print and Document Services
- Remote Access
- Remote Desktop Services
- Volume Activation Services
- Web Server (IIS) (27 of 43 installed)
 - Web Server (21 of 34 installed)
 - Common HTTP Features (5 of 6 installed)
 - Default Document (Installed)
 - Directory Browsing (Installed)
 - HTTP Errors (Installed)
 - Static Content (Installed)
 - HTTP Redirection (Installed)
 - WebDAV Publishing
 - Health and Diagnostics (4 of 6 installed)
 - Performance (Installed)
 - Security (3 of 9 installed)

< Previous

Next >

グラフィカルなイベント統計の表示

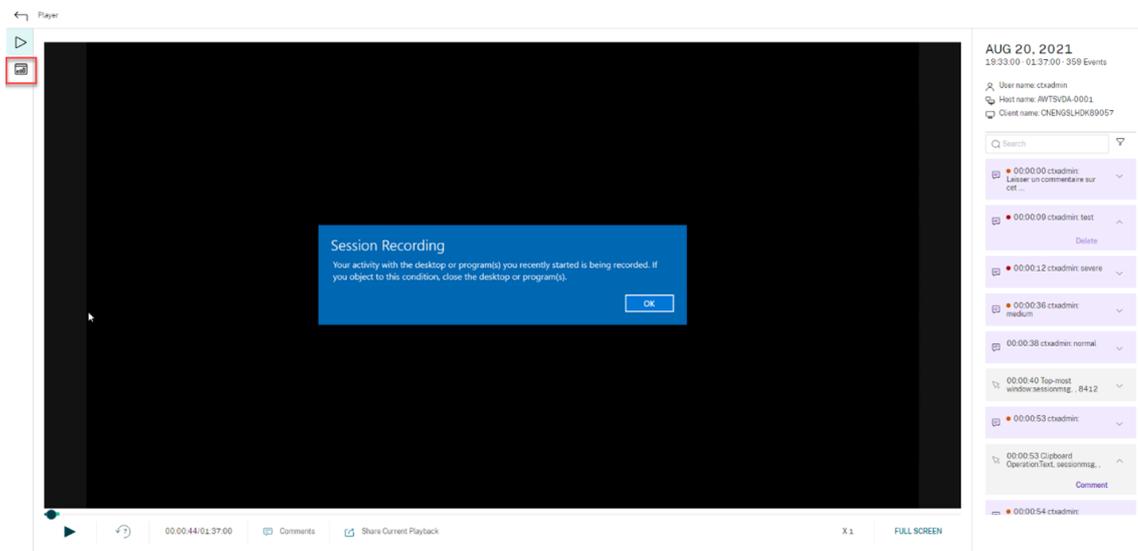
November 14, 2022

イベントデータの視覚化は、録画ごとに利用できます。グラフィカルなイベント統計により、録画に挿入されたイベントをすばやく把握できます。

グラフィカルなイベント統計を表示するには、次の手順を実行します：

1. 録画を開いて再生します。

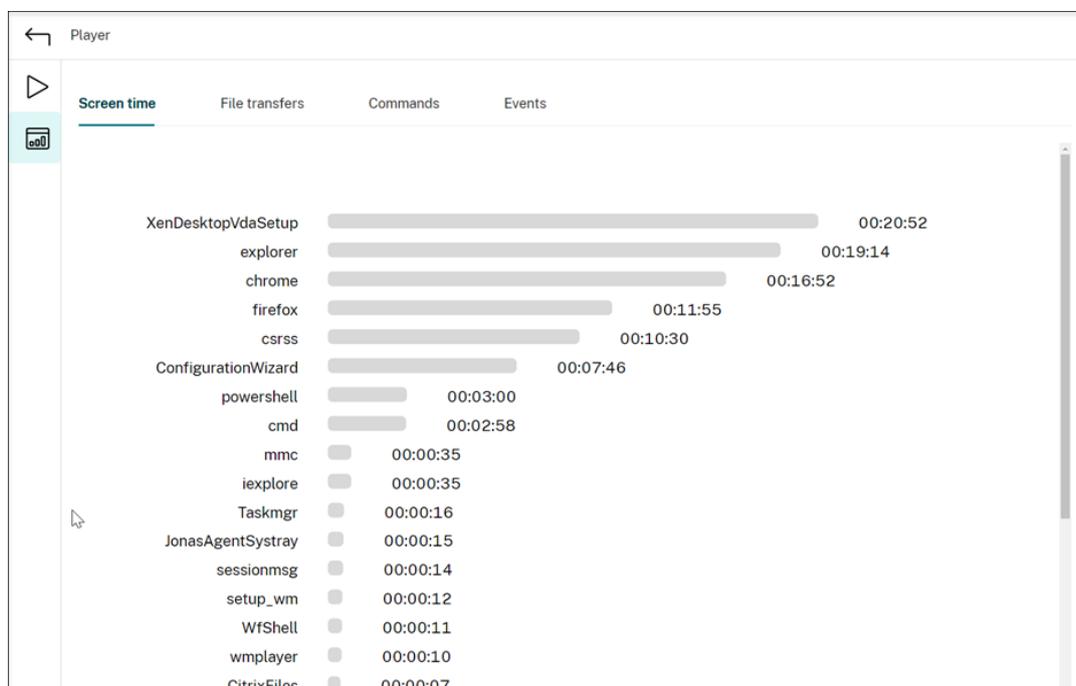
- 再生ページの左上隅にある統計アイコンをクリックします。



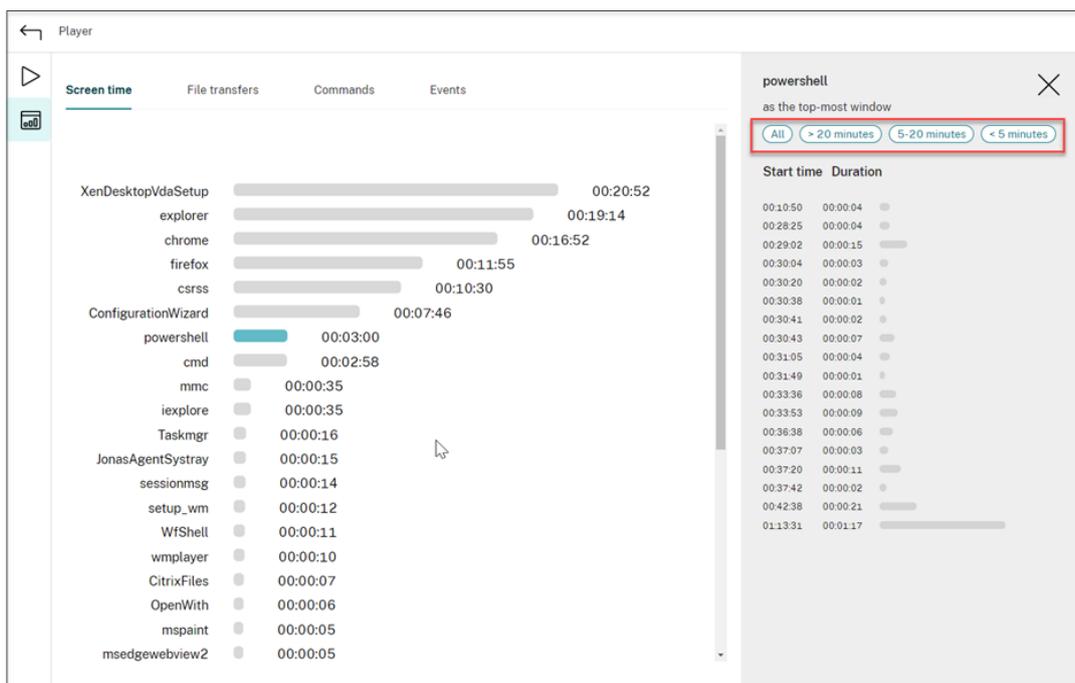
- [画面表示時間]、[ファイル転送]、[コマンド]、[イベント] タブを切り替えて、さまざまな観点から統計を表示します。

- スクリーンタイム

[画面表示時間] タブでは、アプリケーションウィンドウがフォーカスされている累積時間を知ることができます (アクティブウィンドウ)。



各アプリケーションの横に水平のタイムバーがあります。バーをクリックすると、アプリケーションがフォーカスされるたびに開始時間とフォーカスの期間を表示できます。デフォルトの [すべて] オプション以外の期間の範囲を指定することにより、検索範囲を絞り込むことができます。例:

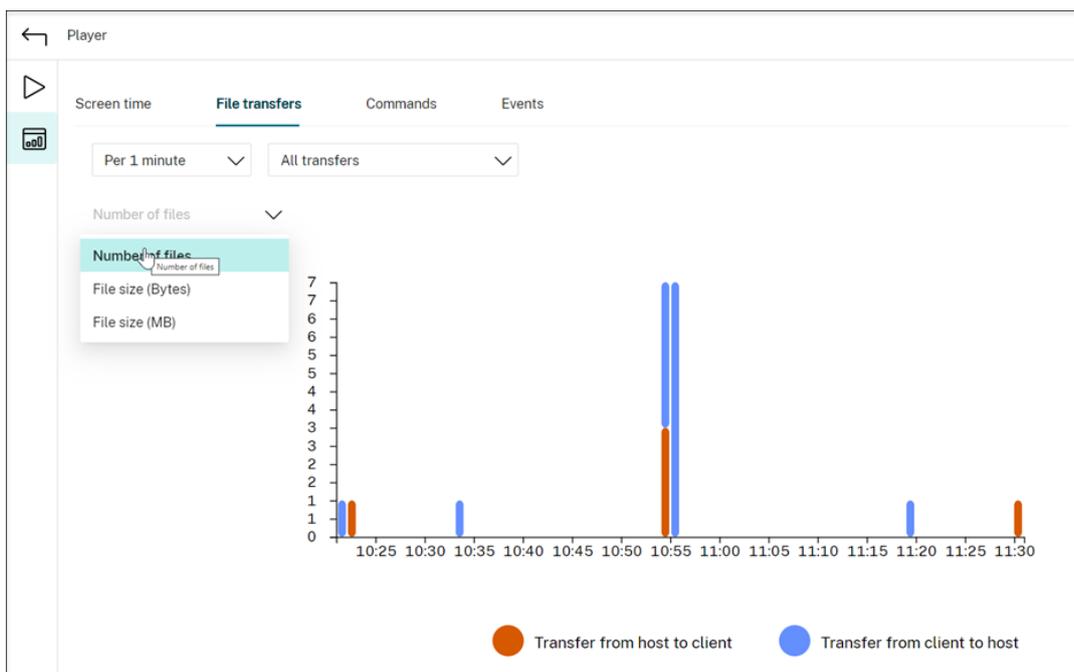


- ファイル転送

[ファイル転送] タブには、セッションの録画をホストしている VDA とセッションが実行されているクライアントデバイスとの間の双方向ファイル転送に関するグラフィカルな統計が表示されます。次の設定を使用して、視覚化をカスタマイズできます：

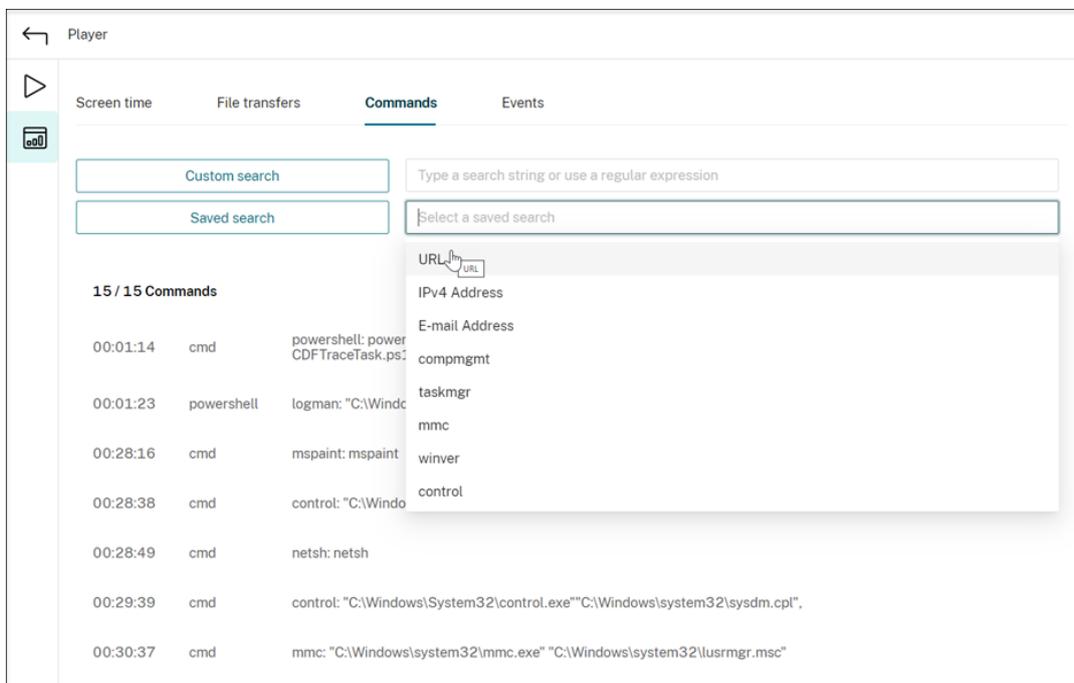
- 時間の単位: [1分ごと]、[10分ごと]、[1時間ごと]
- ファイル転送先: [すべての転送]、[ホストからクライアントへの転送]、[クライアントからホストへの転送]
- 転送されたファイルの数またはサイズ (バイトまたは MB)

X 軸は、24 時間形式での絶対時間を表します。



- コマンド

[コマンド] タブには、録画されたセッション中に実行される CMD コマンドと PowerShell コマンドが表示されます。[カスタム検索] にカスタム検索を入力するか、[保存した検索] から保存した検索を選択することで、データの表示をカスタマイズできます。「OR」論理演算子は、最終アクションを計算するために使用されます。



- イベント

[イベント] タブには、録画されたセッションのすべての種類のイベントの割合と数が表示されます。

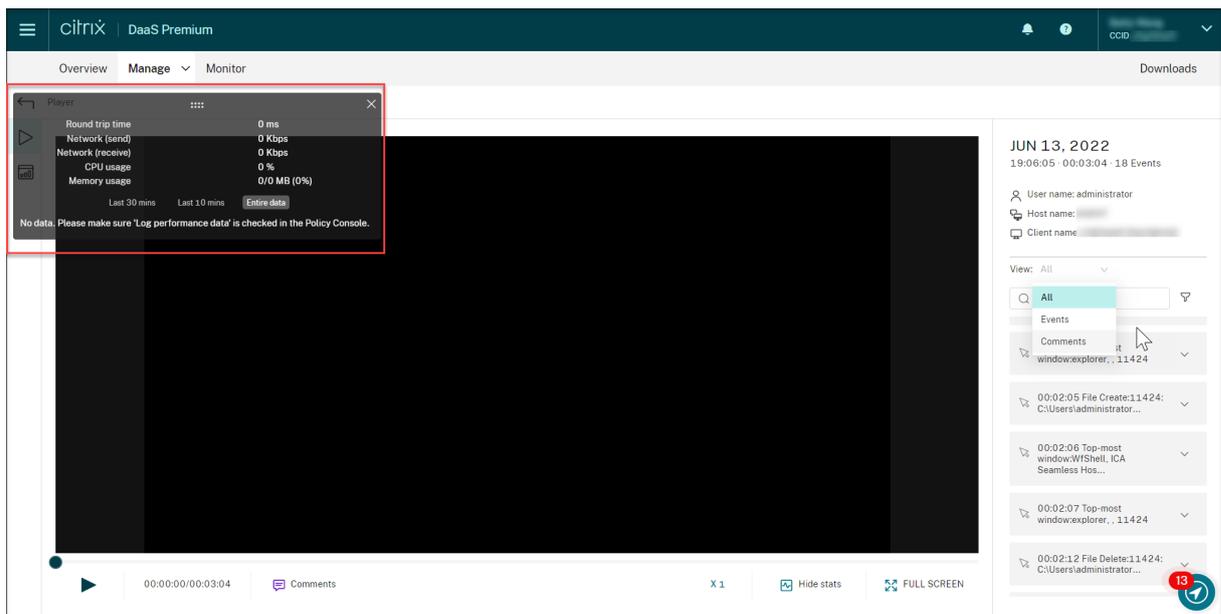


パフォーマンスデータポイントの表示

May 22, 2024

再生中に、[統計を表示] コントロールをクリックすることで、録画されたセッションに関連する次のデータポイントをオーバーレイで表示できます：

- 往復時間
- ネットワーク（送信）
- ネットワーク（受信）
- CPU 使用率
- メモリ使用率



注:

- Session Recording は、15 秒ごとに往復時間を収集し、残りのデータポイントを 1 秒ごとに収集します。
- 理論的には、Session Recording は 5 秒ごとに往復時間のデータを更新します。ただし、往復時間データは、収集サイクルのため、実際には 15 秒ごとに更新されます。
- Session Recording は、残りのデータポイントを 5 秒ごとに更新し、それらの平均値をオーバーレイに表示します。

オーバーレイは半透明です。移動したり、非表示にしたりすることができます。

- オーバーレイを移動するには、マウスを 8 つのドットの上に置いてから、ドラッグアンドドロップを実行します。
- オーバーレイを非表示にするには、[統計を非表示] をクリックします。

イベント検出ポリシーを作成するときに、[パフォーマンスデータをログに記録する] を選択すると、オーバーレイを有効にできます。詳しくは、「[イベント検出ポリシーの構成](#)」を参照してください。

録画の管理

November 25, 2022

このセクションでは、以下を実行する手順を説明します:

- [選択した録画の管理](#)

- 録画の手動アーカイブ
- 録画の手動削除
- スケジュールに基づく録画の管理
 - スケジュールに基づく録画のアーカイブと削除

選択した録画の管理

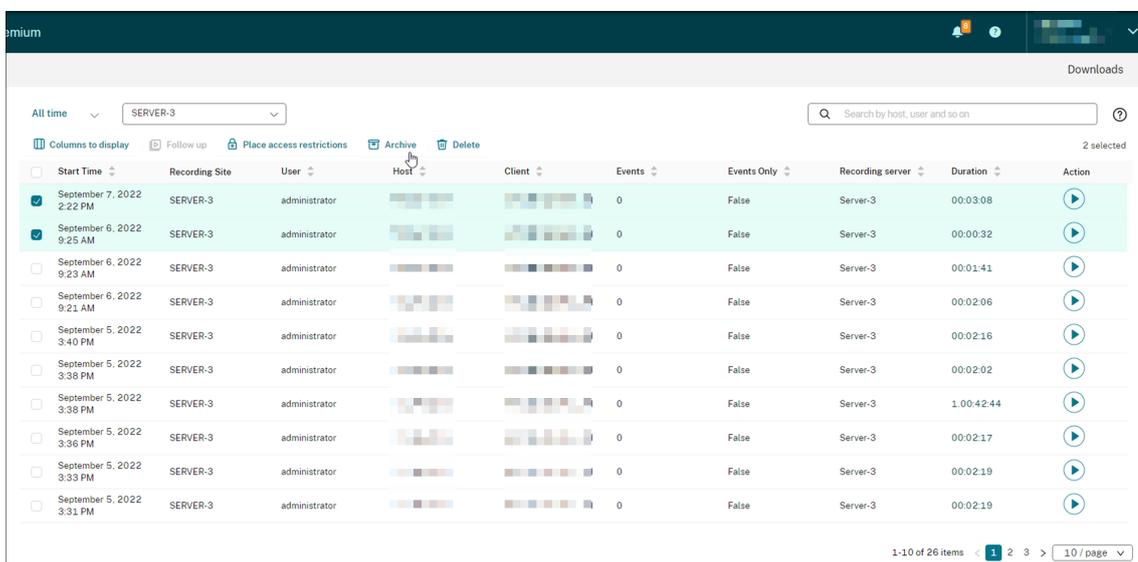
November 14, 2022

アーカイブおよび削除する録画を手動で選択できます。

録画の手動アーカイブ

録画を手動でアーカイブするには:

1. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[録画] > [すべての録画] を選択します。
2. 1 つまたは複数の録画を選択します。
3. [アーカイブ] をクリックします。



<input type="checkbox"/>	Start Time	Recording Site	User	Host	Client	Events	Events Only	Recording server	Duration	Action
<input checked="" type="checkbox"/>	September 7, 2022 2:22 PM	SERVER-3	administrator	[blurred]	[blurred]	0	False	Server-3	00:03:08	[play icon]
<input checked="" type="checkbox"/>	September 6, 2022 9:25 AM	SERVER-3	administrator	[blurred]	[blurred]	0	False	Server-3	00:00:32	[play icon]
<input type="checkbox"/>	September 6, 2022 9:23 AM	SERVER-3	administrator	[blurred]	[blurred]	0	False	Server-3	00:01:41	[play icon]
<input type="checkbox"/>	September 6, 2022 9:21 AM	SERVER-3	administrator	[blurred]	[blurred]	0	False	Server-3	00:02:06	[play icon]
<input type="checkbox"/>	September 5, 2022 3:40 PM	SERVER-3	administrator	[blurred]	[blurred]	0	False	Server-3	00:02:16	[play icon]
<input type="checkbox"/>	September 5, 2022 3:38 PM	SERVER-3	administrator	[blurred]	[blurred]	0	False	Server-3	00:02:02	[play icon]
<input type="checkbox"/>	September 5, 2022 3:38 PM	SERVER-3	administrator	[blurred]	[blurred]	0	False	Server-3	1:00:42:44	[play icon]
<input type="checkbox"/>	September 5, 2022 3:36 PM	SERVER-3	administrator	[blurred]	[blurred]	0	False	Server-3	00:02:17	[play icon]
<input type="checkbox"/>	September 5, 2022 3:33 PM	SERVER-3	administrator	[blurred]	[blurred]	0	False	Server-3	00:02:19	[play icon]
<input type="checkbox"/>	September 5, 2022 3:31 PM	SERVER-3	administrator	[blurred]	[blurred]	0	False	Server-3	00:02:19	[play icon]

注:

次の役割の Citrix Cloud 管理者のみが録画をアーカイブできます:

- フルアクセス
- [Cloud Administrator, All] の役割

- [Session Recording-FullAdmin, All] の役割
- [Session Recording-PrivilegedPlayerAdmin, All] の役割

録画のアーカイブが正常に完了しない場合、アーカイブ操作後の最初の 24 時間は録画を再生または削除できません。

1 つのセッションで複数の録画を作成できます。全体が記録されたセッションの録画のみをアーカイブできます。

セッションの録画を選択すると、同じセッションの他のすべての録画もアーカイブされます。

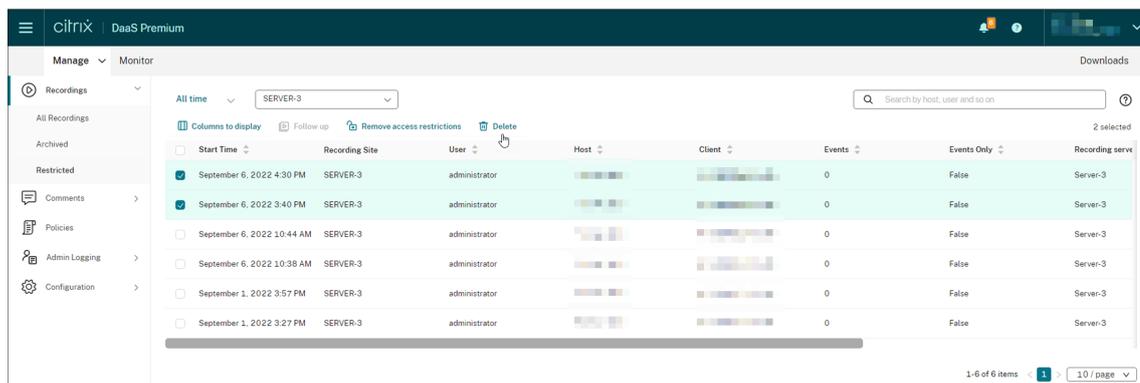
一度に 1 つ以上の録画を選択してアーカイブできます。録画をアーカイブする場合、元の保存場所とは別の場所に録画ファイルを移動することを選択できます。

- 録画ファイルと同じ Session Recording サーバー上の別の場所に移動する場合は、アーカイブされた録画を読み書きする権限を System および Network Service アカウントに付与します。
- 録画ファイルを UNC パスに移動する場合は、サイト内のすべてのコンピューターアカウントに、アーカイブされた録画の読み取りと書き込みの権限を付与します。

録画の手動削除

録画を手動で削除するには：

1. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[録画] を選択します。
2. [すべての録画]、[アーカイブ済み]、[制限] ページのいずれかで、1 つまたは複数の録画を検索します。
3. [削除] をクリックします。



注：

次の役割の Citrix Cloud 管理者のみが録画を削除できます：

- フルアクセス
- [Cloud Administrator, All] の役割

- [Session Recording-FullAdmin, All] の役割
- [Session Recording-PrivilegedPlayerAdmin, All] の役割

1つのセッションで複数の録画を作成できます。全体が記録されたセッションの録画のみを削除できます。

セッションの録画を選択すると、同じセッションの他のすべての録画も削除されます。

一度に1つ以上の録画を選択して削除できます。録画を削除する場合、録画ファイルをデータベースレコードとともに削除することを選択できます。

スケジュールに基づく録画の管理

May 16, 2023

サイトレベルのタスクをスケジュールして、録画を定期的に自動でアーカイブおよび削除できます。

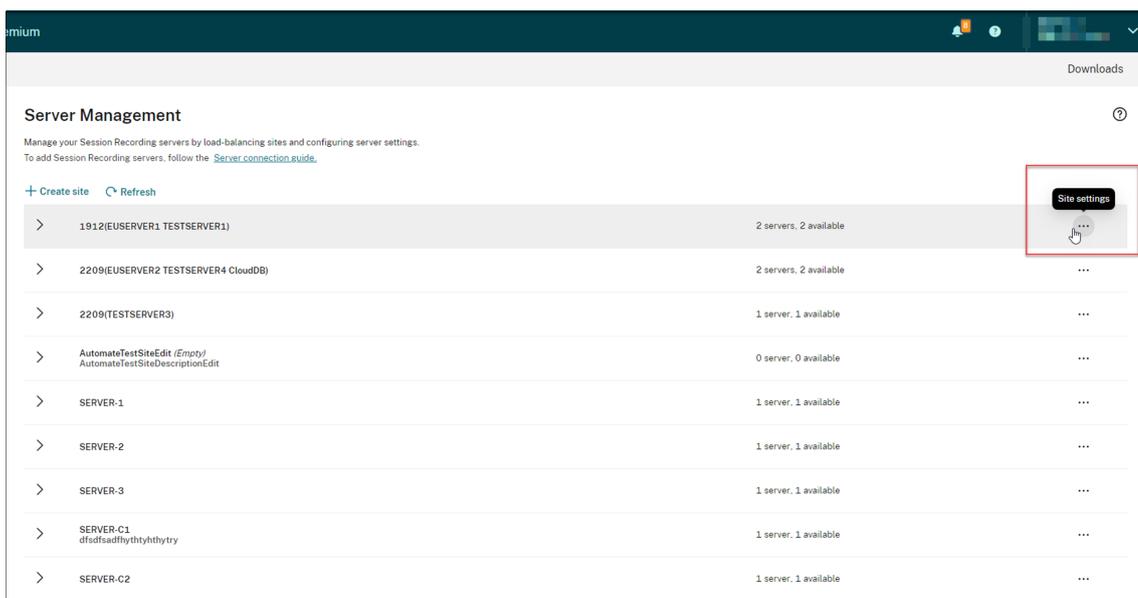
注:

次の役割の Citrix Cloud 管理者のみがタスクをスケジュールできます:

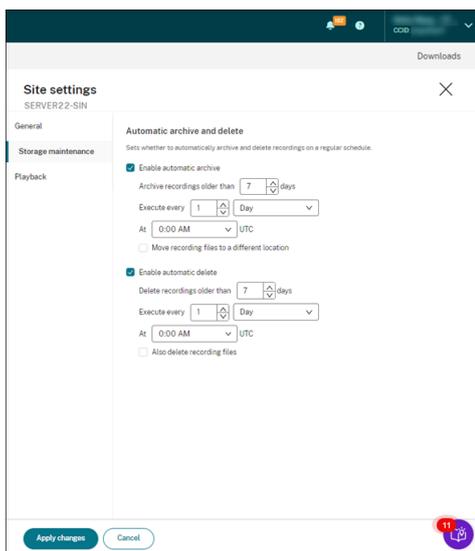
- フルアクセス
- [Cloud Administrator, All] の役割
- [Session Recording-FullAdmin, All] の役割

スケジュールに基づく録画のアーカイブと削除

1. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択します。
2. 対象サイトの横にある省略記号 (...) をクリックします。



3. [サイト設定] ページで、[ストレージメンテナンス] を選択します。



4. 必要に応じてタスクをスケジュールし、[変更の適用] をクリックします。

注:

自動アーカイブと自動削除に設定する時間は、[クラウドクライアントの自動アップグレード](#)に設定する時間よりも遅くする必要があります。そうしないと、自動アーカイブと自動削除が失敗する可能性があります。

管理者ログ

May 16, 2023

Session Recording サーバー 2204 以降を使用すると、Session Recording サービスを介して管理者のログデータを照会できます。

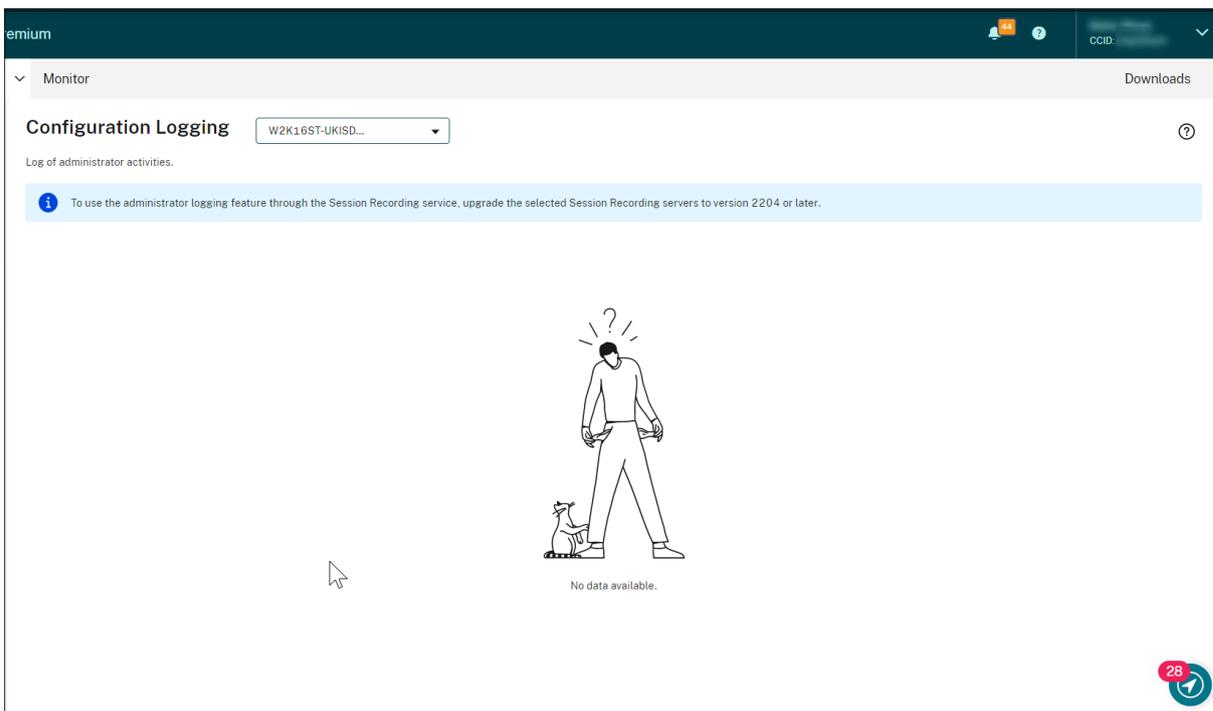
注:

SQL Server を Session Recording サーバーと同じマシンにインストールすると、管理者ログデータが利用できない場合があります。「使用できるデータがありません」というメッセージが表示されます。管理者ログデータを表示できるようにするには、Session Recording データベースに **NT AUTHORITY\SYSTEM** ユーザーを追加して、それに **db_owner** 権限に割り当てます。

ID	Name	Logging time	Category	Action	Action taken by	Authorized
409	SERVER2209	12/6/2022 2:29:00 PM	Policy change	Save policy document	SRCLOUDUSER\curry.big@citrix.com	True
408	SERVER2209	12/6/2022 2:29:00 PM	Policy change	Save policy document	SRCLOUDUSER\curry.big@citrix.com	True
407	SERVER2209	12/6/2022 2:28:00 PM	Policy change	Set active policy document	SRCLOUDUSER\curry.big@citrix.com	True
406	SERVER2209	12/6/2022 2:27:00 PM	Policy change	Save policy document	SRCLOUDUSER\curry.big@citrix.com	True
405	SERVER2209	12/6/2022 2:27:00 PM	Policy change	Save policy document	SRCLOUDUSER\curry.big@citrix.com	True
404	SERVER2209	12/6/2022 2:26:00 PM	Policy change	Save policy document	SRCLOUDUSER\curry.big@citrix.com	True
403	SERVER2209	12/6/2022 2:26:00 PM	Policy change	Save policy document	SRCLOUDUSER\curry.big@citrix.com	True
402	SERVER2209	12/6/2022 2:26:00 PM	Policy change	Save policy document	SRCLOUDUSER\curry.big@citrix.com	True
401	SERVER2209	12/6/2022 2:26:00 PM	Policy change	New policy document	SRCLOUDUSER\curry.big@citrix.com	True
400	SERVER2209	12/1/2022 5:41:00 PM	Policy change	Save policy document	SRCLOUDUSER\hains.wang@citrix.com	True

フルアクセス権を持つ管理者は、管理者ログを表示できます。フルアクセス権限を付与するには、Citrix Cloud の **[ID およびアクセス管理]** に移動します。

バージョン 2204 より前の Session Recording サーバーが含まれるサイトを選択すると、次のバナーが表示され、データは利用できません。

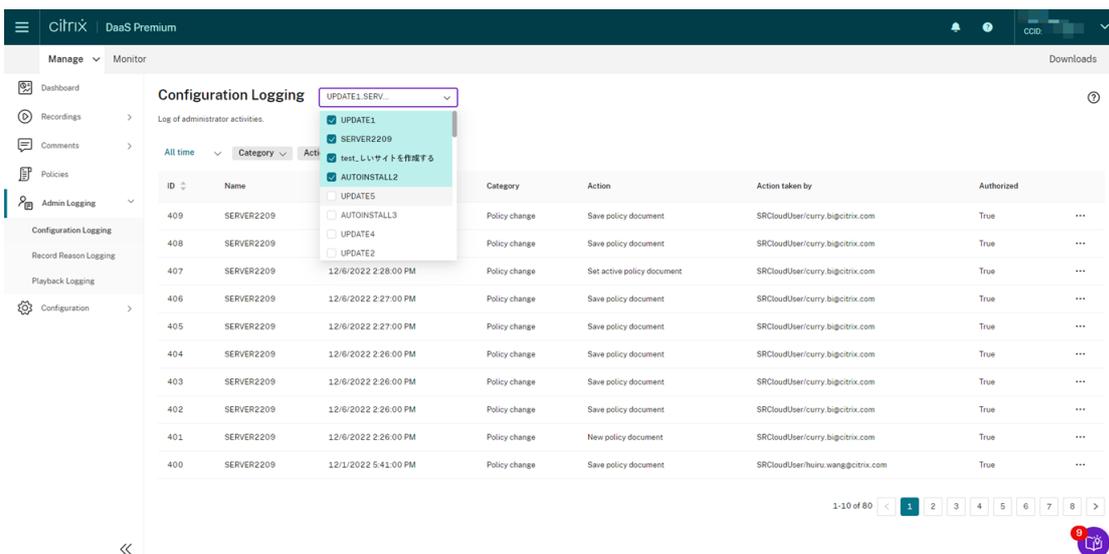


ログデータの概要

管理者のログデータの構成内容は次のとおりです：

- 構成ログ
- 録画の理由のログ
- 再生に関するログ

複数の Session Recording サイトを選択してログを表示できます。



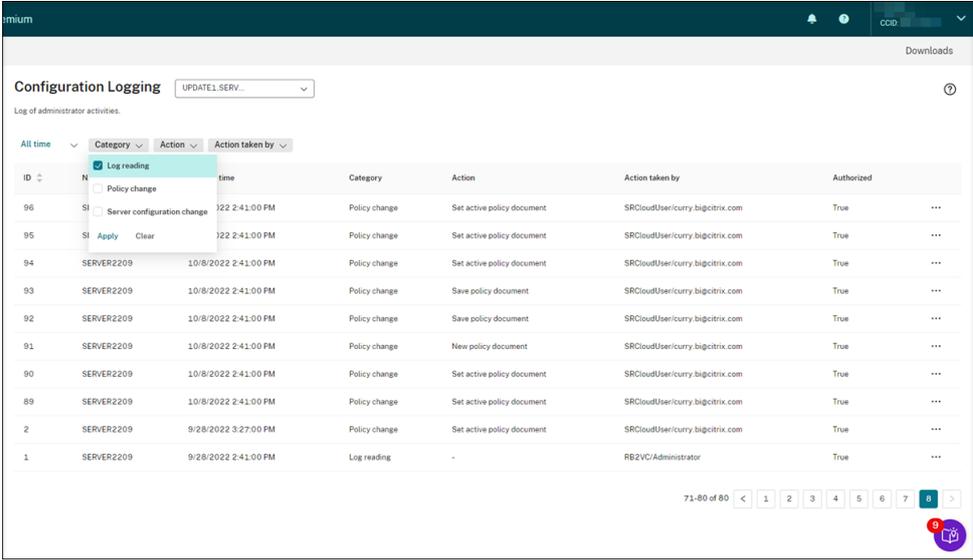
3つのドット (…) をクリックすると、各ログの詳細が表示されます。

構成ログ

この部分は、次の管理者アクティビティをログに記録します：

- ポリシーの変更 - Session Recording ポリシーコンソールまたは Citrix Director でのポリシーへの変更
- サーバー設定の変更 - Session Recording サーバーのプロパティにおける変更
- ログの読み取り - 権限のない管理者ログサービスへのアクセス試行

[Logging time]、[Category]、[Action]、および [Action taken by] フィルターで、検索を絞り込むことができます。「AND」演算子は、検索アクションを計算するためにフィルター間で使用されます。



The screenshot shows the 'Configuration Logging' interface. It features a table with columns for ID, Category, Action, Action taken by, and Authorized. The table contains several rows of log entries, including 'Log reading', 'Policy change', and 'Server configuration change'. A dropdown menu is open over the 'Log reading' entry, showing options like 'Log reading', 'Policy change', and 'Server configuration change'. The interface also includes filters for 'All time', 'Category', 'Action', and 'Action taken by'.

ID	Category	Action	Action taken by	Authorized
96	SI	Log reading	RB2VC\Administrator	True
95	SI	Server configuration change	SRCloudUser\curry.bigcitrix.com	True
94	SERVER2209	Policy change	SRCloudUser\curry.bigcitrix.com	True
93	SERVER2209	Policy change	SRCloudUser\curry.bigcitrix.com	True
92	SERVER2209	Policy change	SRCloudUser\curry.bigcitrix.com	True
91	SERVER2209	Policy change	SRCloudUser\curry.bigcitrix.com	True
90	SERVER2209	Policy change	SRCloudUser\curry.bigcitrix.com	True
89	SERVER2209	Policy change	SRCloudUser\curry.bigcitrix.com	True
2	SERVER2209	Policy change	SRCloudUser\curry.bigcitrix.com	True
1	SERVER2209	Log reading	RB2VC\Administrator	True

管理者のアクティビティをログに記録するには、次の手順を実行して、Session Recording サーバーで管理者ログを有効にします。

1. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択します。
2. Session Recording サーバーを見つけます。
3. 各 Session Recording サーバーに対応する歯車アイコンをクリックします。
4. [サーバー設定] ページで、左側のナビゲーションから [ログ] を選択し、[管理者ログを有効にする] を選択します。

[必須のブロック機能を有効にする] を選択すると、ログが失敗したときに次のアクティビティがブロックされます。システムイベントもイベント ID 6001 でログに記録されます：

- Session Recording ポリシーコンソールまたは Citrix Director での録画ポリシーへの変更
- **Session Recording** サーバーのプロパティにおける変更

セッションの録画は必須のブロック設定による影響を受けません。

ヒント:

管理者ログは、Session Recording サービスと Session Recording サーバーのプロパティの両方で有効にできます。**Session Recording** サーバーのプロパティを使用して管理者ログを有効にする方法については、「[管理者ログの無効化または有効化](#)」を参照してください。

セキュリティを強化するために、[管理者ログサービスアカウントを構成](#)することもできます。

録画の理由のログ

この部分は、どのポリシーが録画をトリガーしたかをログに記録します。

ID	Logging Time	Task Category	Component Affected	Task Details	Task Executed By	Authorized
32	2/9/2011 1:26 AM	Event Logging Reason	Session Recording Agent	- Applications = GDDC/Desktop###Desktop...		true
31	2/9/2011 1:26 AM	Email Alert Reason	Session Recording Agent	- Applications = GDDC/Desktop###Desktop...		true
30	2/9/2011 1:26 AM	Record Reason	Session Recording Agent	- Applications = GDDC/Desktop###Desktop...		true
29	2/9/2011 1:24 AM	Event Logging Reason	Session Recording Agent	- Applications = GDDC/Desktop###Desktop...		true
28	2/9/2011 1:24 AM	Email Alert Reason	Session Recording Agent	- Applications = GDDC/Desktop###Desktop...		true
27	2/9/2011 1:24 AM	Record Reason	Session Recording Agent	- Applications = GDDC/Desktop###Desktop...		true
26	2/9/2011 1:21 AM	Event Logging Reason	Session Recording Agent	- Applications = GDDC/Desktop###Desktop...		true
25	2/9/2011 1:21 AM	Email Alert Reason	Session Recording Agent	- Applications = GDDC/Desktop###Desktop...		true
24	2/9/2011 1:21 AM	Record Reason	Session Recording Agent	- Applications = GDDC/Desktop###Desktop...		true
23	2/9/2011 1:18 AM	Event Logging Reason	Session Recording Agent	- Applications = GDDC/Desktop###Desktop...		true

この機能を有効にするには、Session Recording サーバーで管理者ログと録画の理由のログの両方を有効にします。[管理者ログを有効にする] が選択されていない場合、録画の理由のログを有効にしても適用されません。

録画の理由のログを有効にする方法については、「[録画の理由のログの無効化または有効化](#)」を参照してください。

再生に関するログ

この部分は、再生関連の操作をログに記録します。3つのドット (...) をクリックすると、各ログの詳細が表示されます。

ID	Logging Time	File ID	Action	Action Executed By	Authorized	Action Details
256	11/4/2022 2:42 PM	7ec9705b-2202-47e4-b8dc-ed43823509b0	Enter playback justification	XF4B5/Administrator	True	+
255	11/4/2022 2:26 PM	4502244b-ba4c-417e-9a73-c92055f621bb	Enter playback justification	XF4B5/Administrator	True	+
254	11/4/2022 2:24 PM	8715bd68-1e78-4fed-89e6-1c50b7d535c9	Enter playback justification	XF4B5/Administrator	True	+
253	11/4/2022 2:23 PM	4502244b-ba4c-417e-9a73-c92055f621bb	Enter playback justification	XF4B5/Administrator	True	+
252	11/4/2022 2:23 PM	4502244b-ba4c-417e-9a73-c92055f621bb	Session file download	XF4B5/Administrator	True	+
251	11/4/2022 2:23 PM	4502244b-ba4c-417e-9a73-c92055f621bb	Session file download	XF4B5/Administrator	True	+
250	11/4/2022 2:22 PM	8715bd68-1e78-4fed-89e6-1c50b7d535c9	Enter playback justification	XF4B5/Administrator	True	+
249	11/4/2022 2:13 PM	8715bd68-1e78-4fed-89e6-1c50b7d535c9	Enter playback justification	XF4B5/Administrator	True	+
248	11/4/2022 2:13 PM	8715bd68-1e78-4fed-89e6-1c50b7d535c9	Enter playback justification	XF4B5/Administrator	True	+
247	11/4/2022 2:13 PM	8715bd68-1e78-4fed-89e6-1c50b7d535c9	Session file download	XF4B5/Administrator	True	+

再生理由をログに記録するには、Session Recording サーバーで管理者ログと再生理由ログの両方を有効にします。管理者ログが無効になっている場合、再生理由ログを有効にしても適用されません。

注：

再生理由ログは、Session Recording サーバー 2212 以降でのみ使用できます。バージョン 2212 より前の Session Recording サーバーが含まれるサイトを選択した場合、サイト内のどのサーバーでも再生理由ログのイネーブラーは使用できません。

管理ダッシュボード

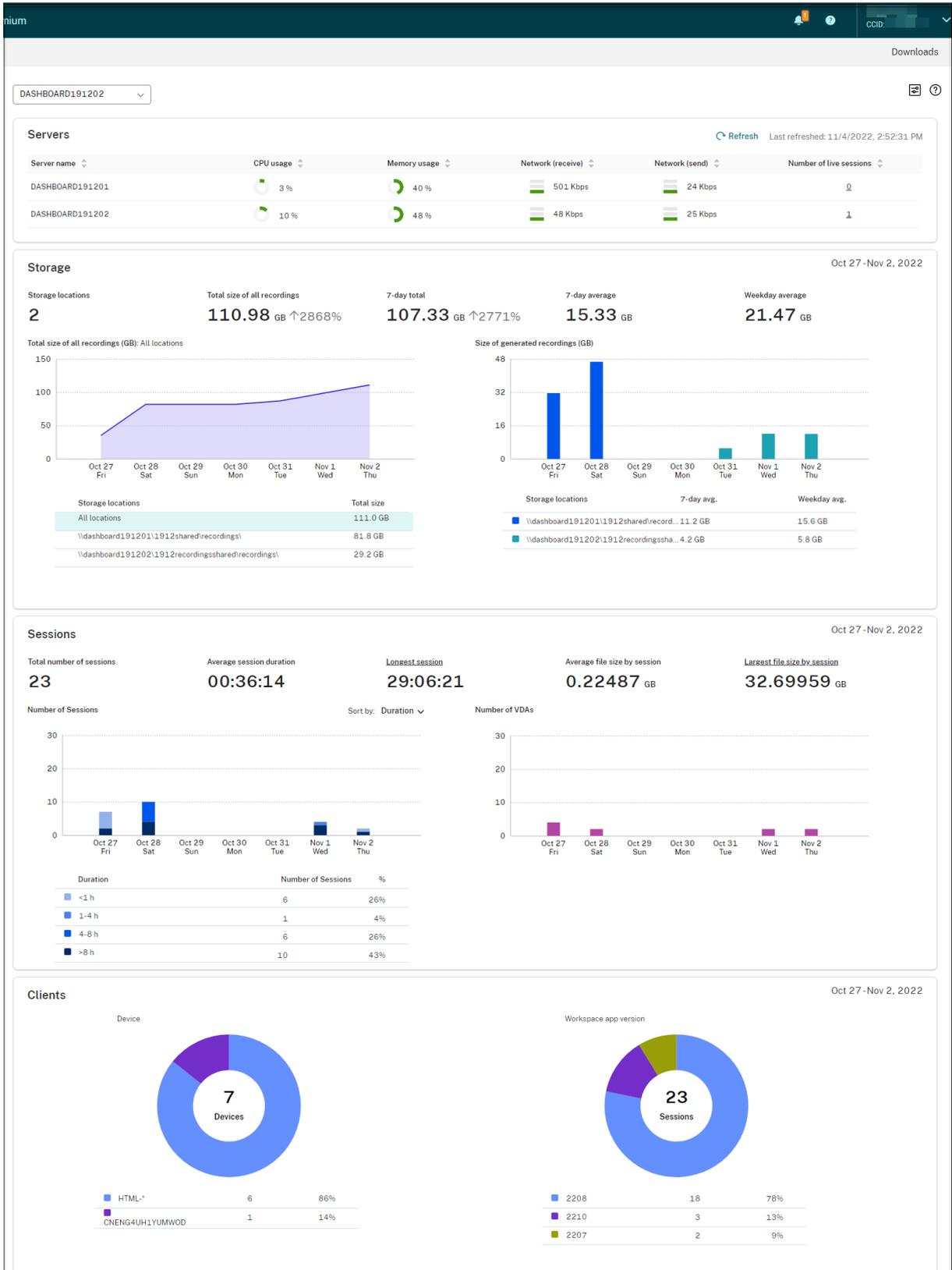
May 27, 2024

概要

Session Recording 管理ダッシュボードは、システムに関する分析情報を得るのに役立ちます。以下を含む、システムのさまざまな側面を監視できます：

- サーバーの状態
- 録画の成功率
- ストレージ消費量
- セッションの統計情報
- クライアントデバイス情報

ダッシュボードの例として、以下のスクリーンショットを参照してください：

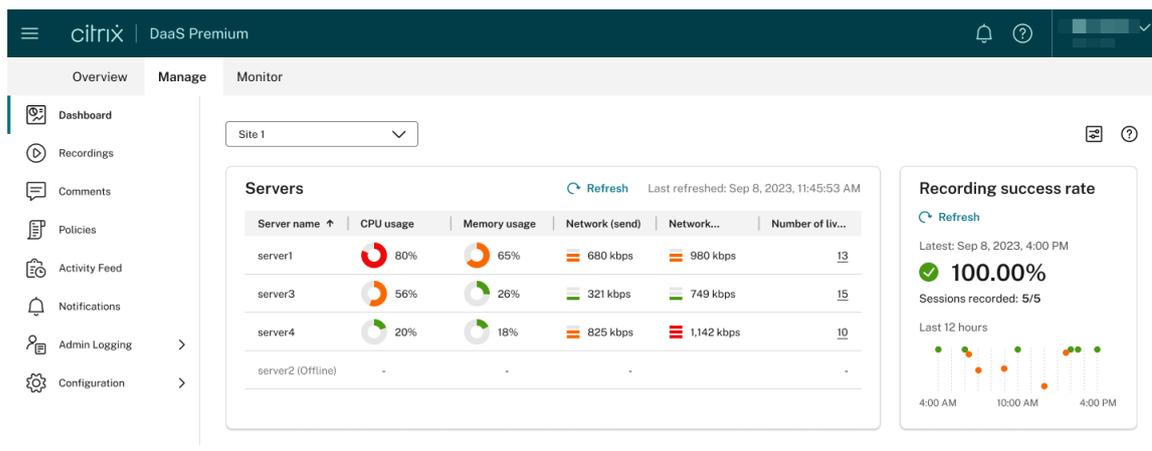


注:

次の条件が満たされている場合、録画の成功率ウィジェットは [サーバー] セクションの横に表示されます:

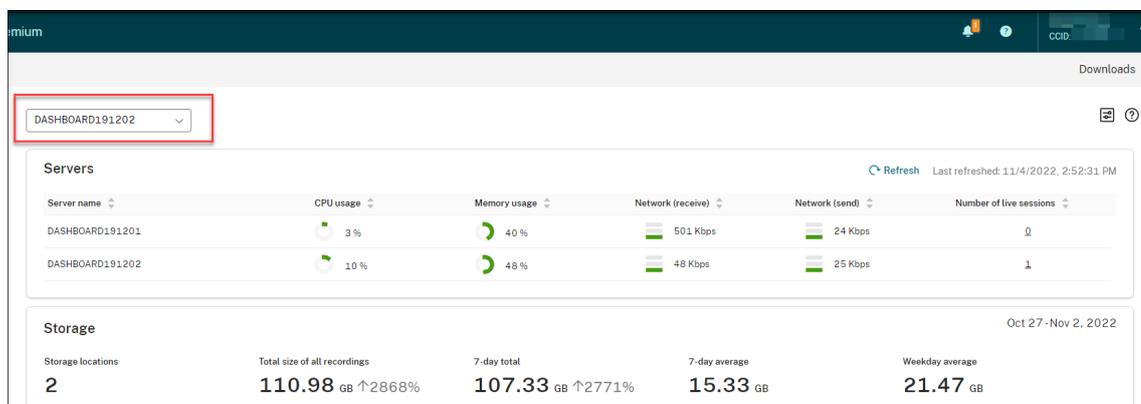
- クラウドクライアントバージョン 7.42.15010.4 以降を使用している。
- 利用可能なサーバーがあるサイトは 1 つだけであり、そのサイトのダッシュボード設定ページでフィーチャートグルをオンにしている。

例:



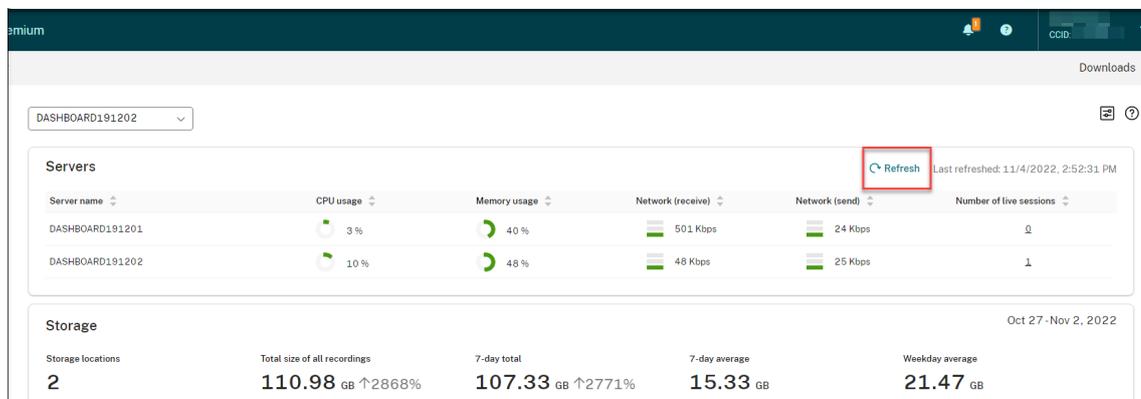
ダッシュボードの使用に関するヒント

- ダッシュボードは、Session Recording サービスコンソールの新しいホームページです。次のいずれかの役割を割り当てられた Citrix Cloud 管理者のみが使用できます:
 - フルアクセス
 - **[Cloud Administrator, All]** の役割
 - **[Session Recording-FullAdmin, All]** の役割
- ダッシュボードには、左上隅のドロップダウンメニューから選択したサイトに関連するデータが表示されます。

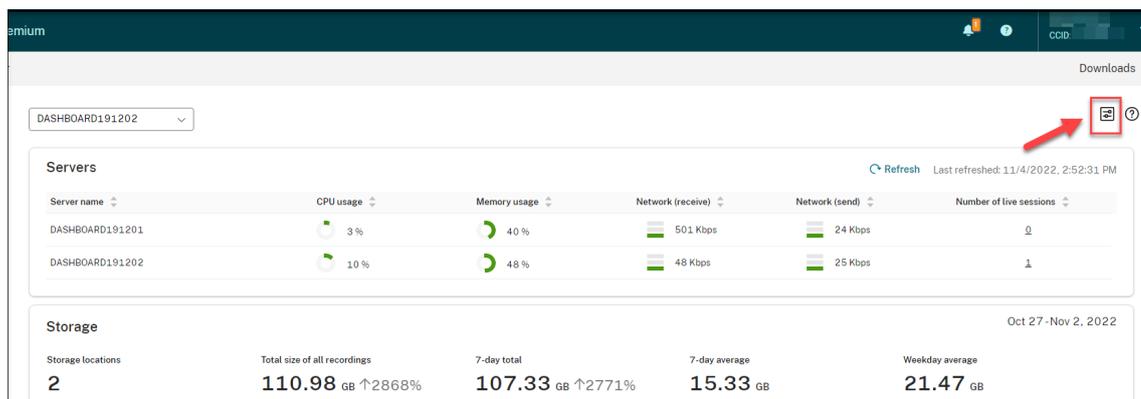


- [サーバー] セクションでは、120 秒ごとにデータが自動的に更新されます。ダッシュボードページを開くか、

サイトを選択するか、または [更新] をクリックすると、すぐにデータが更新されます。前回の更新が完了するまで、次のデータ更新は開始されません。そのため、データ更新中に [更新] をクリックすると、後で再試行するように求めるポップアップウィンドウが表示されます。



- [ストレージ]、[セッション]、および [クライアント] セクションでは、データは毎日特定の時間に自動的に更新されます。サイトを選択するか、ダッシュボードページで [更新] をクリックすると、すぐにデータが更新されます。
- ドロップダウンリストからサイトを選択し、アイコンをクリックしてダッシュボード設定を表示および構成します。



Dashboard settings

Servers

CPU usage

Warning threshold (%)	Critical threshold (%)
<input type="text" value="65"/>	<input type="text" value="90"/>

Memory usage

Warning threshold (%)	Critical threshold (%)
<input type="text" value="75"/>	<input type="text" value="90"/>

Network (send)

Warning threshold (kbps)	Critical threshold (kbps)
<input type="text" value="10000"/>	<input type="text" value="50000"/>

Network (receive)

Warning threshold (kbps)	Critical threshold (kbps)
<input type="text" value="10000"/>	<input type="text" value="50000"/>

Recording success rate

Collect and show recording success rate

Storage

Storage location	Warning threshold
\\servername\sharename\directory	Not configured
\\servername\sharename\directory1	Not configured
\\servername\sharename\directory2	Not configured
\\servername\sharename\directory3	Not configured
\\servername\sharename\directory4	Not configured

Enable storage consumption forecast

Apply Cancel

ダッシュボード設定では次の操作が可能です：

- 以下の警告とクリティカルのしきい値を設定する：
 - * CPU 使用率
 - * メモリ使用率
 - * ネットワーク（送信）
 - * ネットワーク（受信）
- 録画成功率を取得して表示する機能を有効にする。
- ストレージの場所で録画の格納に使用可能な領域サイズを割り当て、および領域の使用量の警告しきい

値を設定する。警告しきい値または重大しきい値に達すると、項目にオレンジ色または赤のアイコンが表示されます。

Storage

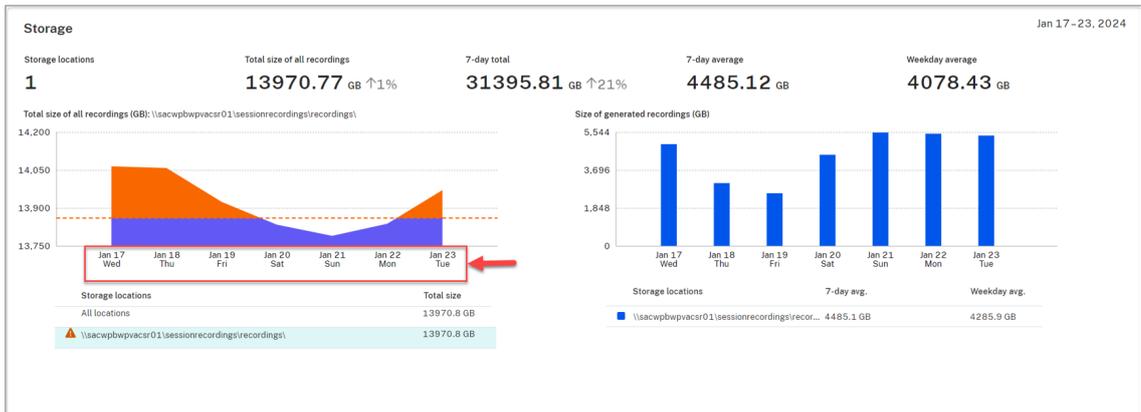
Storage location
Warning threshold

\\sacwpbvpcsr01\sessionrecordings\recordings\
99 % of 13999 GB

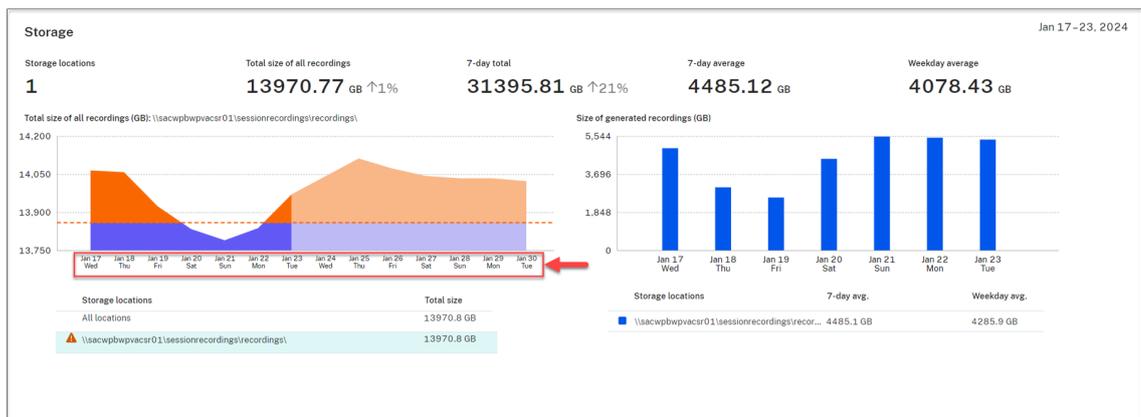
Enable storage consumption forecast

- ストレージ消費量の予測を有効にします。ストレージ消費量の予測により、リソースの使用量を予測し、事前に予防策を講じることができます。この機能を有効にすると、約 1 か月分の十分な消費量履歴データに基づいて、今後 7 日間のストレージ消費量予測を生成できます。[ストレージ] セクションの [すべての録画の合計サイズ] グラフで予測を確認できます。

ストレージ消費量の予測が有効になっていない場合、[すべての録画の合計サイズ] のグラフには、過去 7 日間の実際の消費量データのみが表示されます。例：



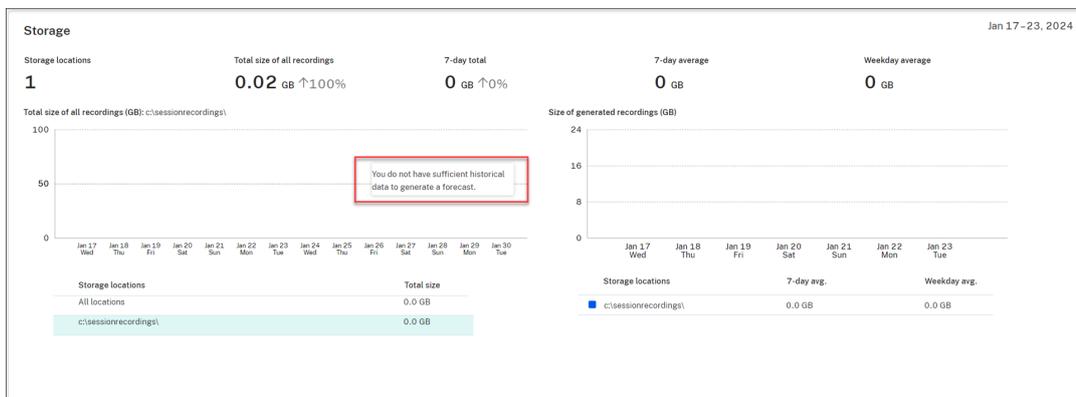
ストレージ消費量の予測が有効になっている場合、[すべての録画の合計サイズ] グラフには、過去 7 日間の実際の消費量データだけでなく、今後 7 日間の消費量の予測も表示されます。例：



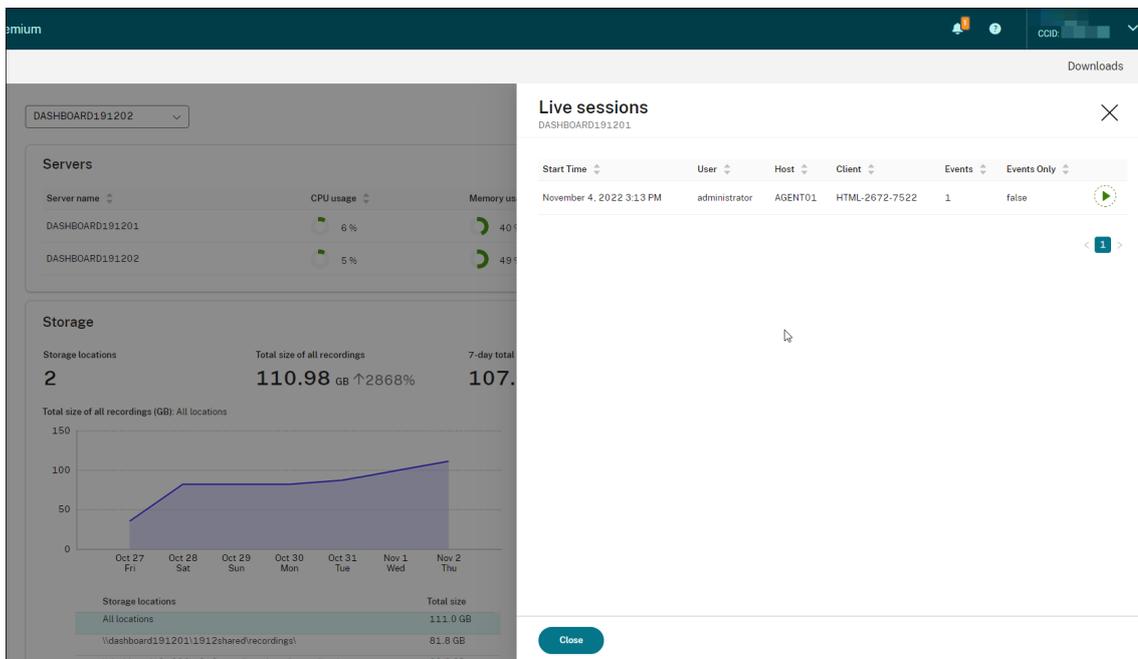
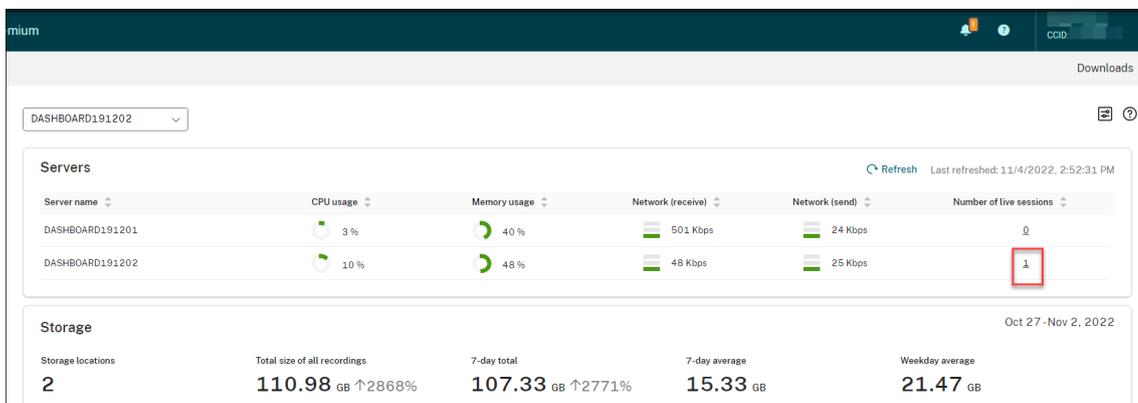
注：

消費量の予測には、約 1 か月分の十分な履歴データが必要です。たとえば、次のようなメッセージが表

示されます:



- [サーバー] セクションでは、ライブセッションの数をクリックすると、ライブセッションを開いて再生できます。例:



- [録画の成功率] セクションでは、現在のサイトの録画の成功率を示すウィジェットが表示されます。録画の成

成功率は次のように計算されます：

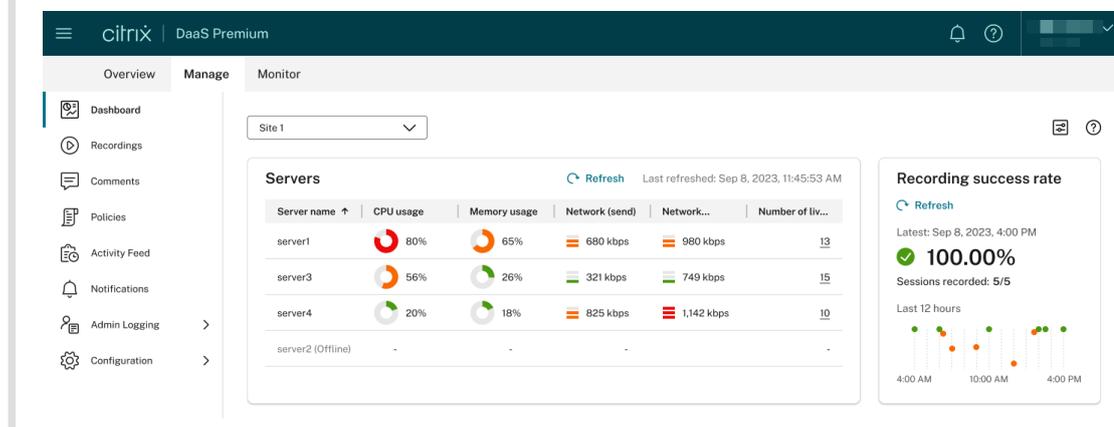
録画の成功率 = 正常に録画されたセッション数 / 現在アクティブな録画ポリシーに一致するセッションの合計数

注：

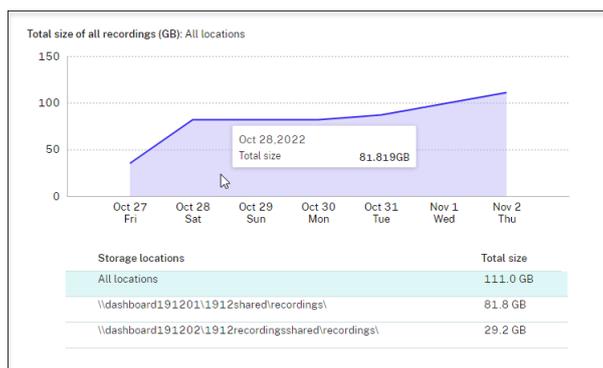
次の条件が満たされている場合、録画の成功率ウィジェットは [サーバー] セクションの横に表示されます：

- クラウドクライアントバージョン 7.42.15010.4 以降を使用している。
- 利用可能なサーバーがあるサイトは 1 つだけであり、そのサイトのダッシュボード設定ページでインターチャートグルをオンにしている。

例：

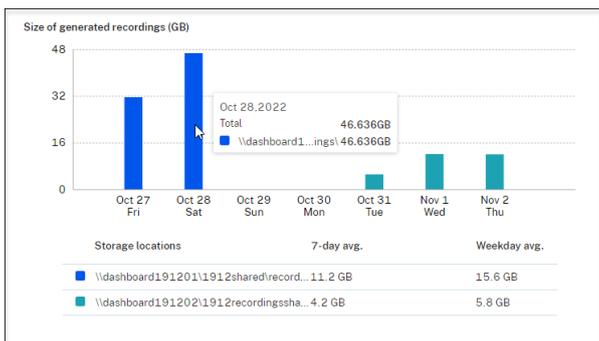


- [すべての録画の合計サイズ (GB)] セクションでは、ストレージの場所を切り替えて関連データを表示できます。グラフの上にカーソルを合わせると、特定の日のすべての録画の合計サイズを表示することもできます。

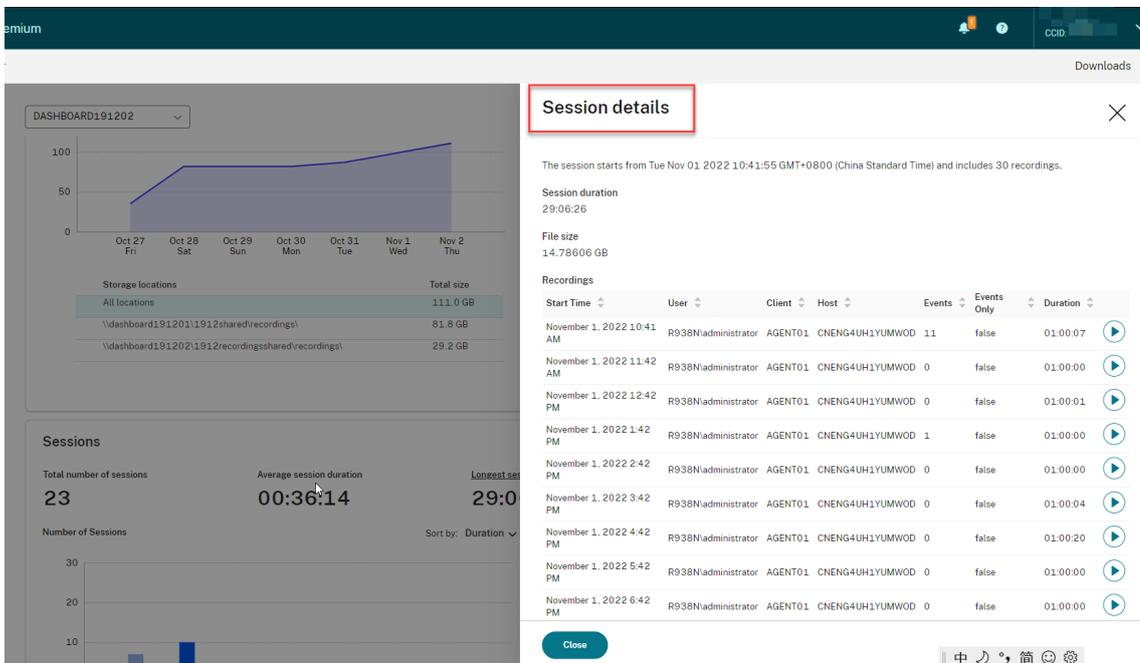
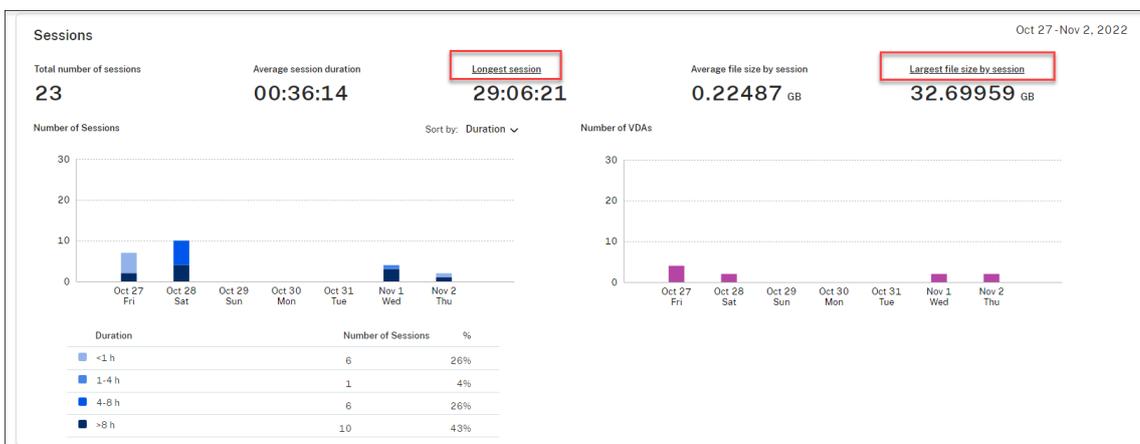


- [生成された録画のサイズ (GB)] セクションでは、特定の日の棒グラフの上にカーソルを合わせると、その日に新しく生成された録画のサイズを表示できます。

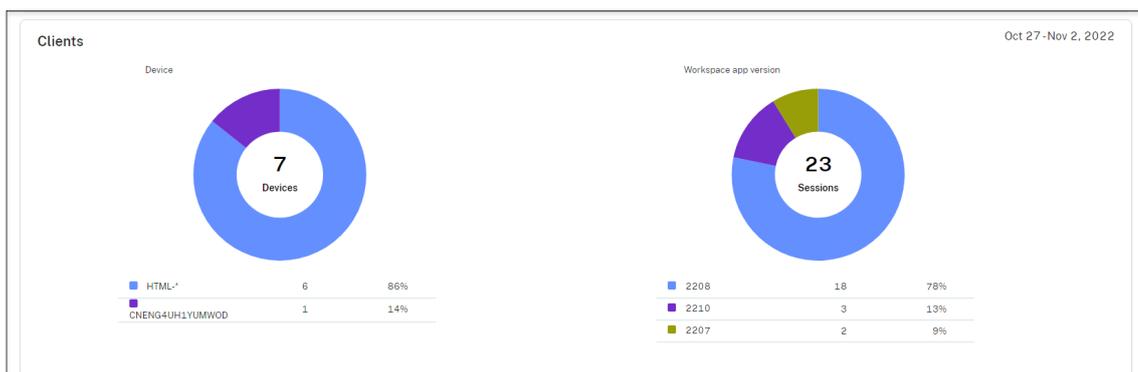
Session Recording サービス



- [セッション] セクションでは、[最長のセッション] と [セッションごとの最大ファイルサイズ] をクリックすると、セッションの詳細を表示できます。



- [クライアント] セクションには、異なるマシン名のプレフィックスを持つクライアントデバイスの割合と、異なるバージョンの Citrix Workspace アプリで実行されているセッションの割合が表示されます。



アクティビティフィード

May 22, 2024

概要

[Session Recording 管理ダッシュボード](#)の追加機能として、Session Recording サービスにはアクティビティフィードが導入され、データの表示とデータの視覚化が向上しています。

アクティビティフィードは、過去に発生したイベントやタスクに関する情報を提供します。

アクティビティフィードで表示できるイベント

- CPU 使用率がしきい値を超えています
- メモリ使用率がしきい値を超えています
- ネットワーク使用量（送信）がしきい値を超えています
- ネットワーク使用量（受信）がしきい値を超えています
- 録画の成功率アラート
- ストレージ使用量がしきい値を超えています
- サーバーの状態の変更
- 無制限の再生リンクの共有

注:

録画の成功率アラートのしきい値とトグルは、[Session Recording 管理ダッシュボード](#)から設定できます。詳しくは、「[ダッシュボードの使用に関するヒント](#)」セクションでダッシュボード設定を参照してください。

アクティビティフィードで表示できるタスク

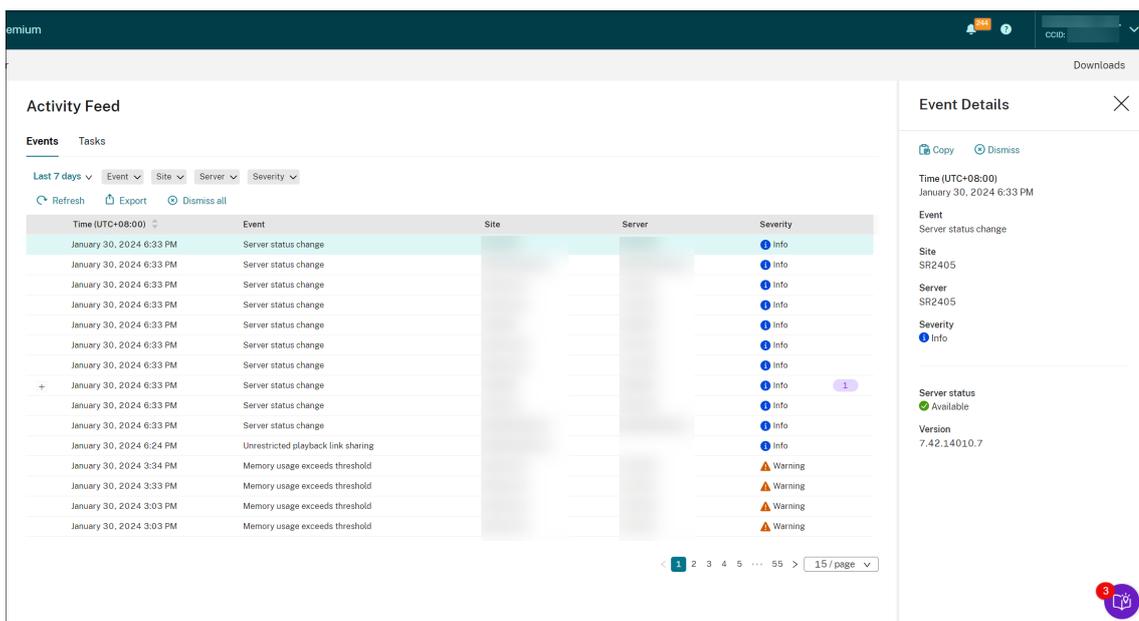
- 自動アーカイブ
- 自動削除
- 手動アーカイブ
- 手動削除
- 統計

注:

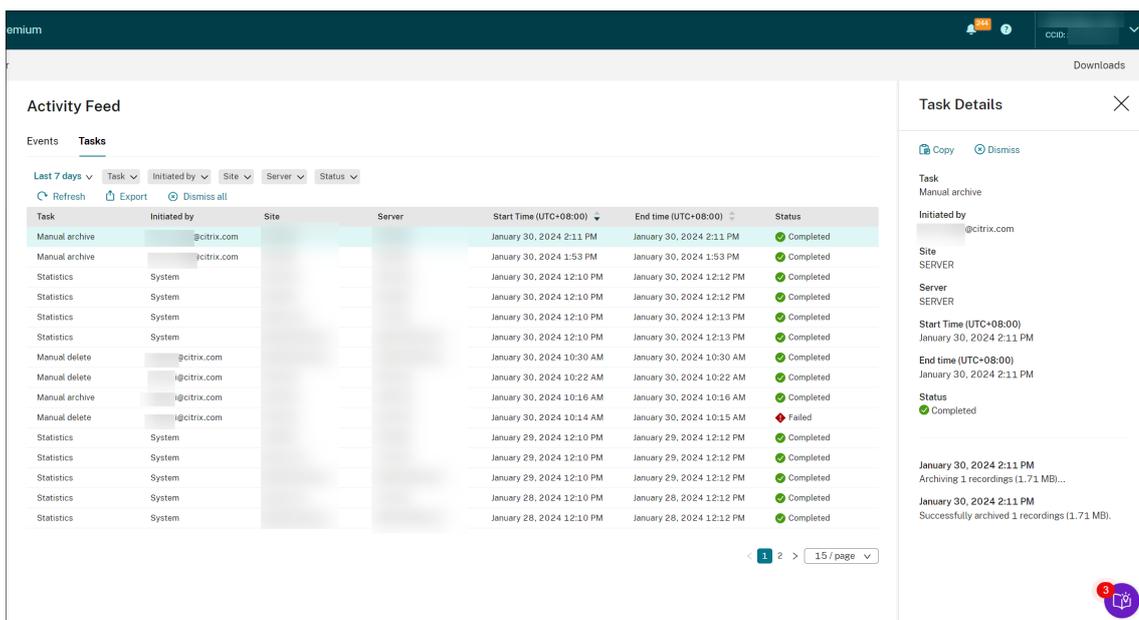
- アーカイブおよび削除する録画を手動で選択できます。サイトレベルのタスクをスケジュールして、録画を自動でアーカイブおよび削除することもできます。詳しくは、「[選択した録画の管理](#)」および「[スケジュールに基づく録画の管理](#)」を参照してください。
- 統計とは、ストレージ消費、セッション、およびクライアントデバイスに関するデータを収集するために、システムによって開始される毎日のタスクを指します。3種類のデータは、Session Recording 管理ダッシュボードの対応するセクションに表示されます。

アクティビティフィードを表示する

1. Citrix Cloud にサインインします。
2. 左上のメニューで、[マイサービス] > [**DaaS**] を選択します。
3. [管理] から [**Session Recording**] を選択します。
4. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[アクティビティフィード] を選択します。
5. [イベント] タブと [タスク] タブを切り替えて、過去に発生したイベントとタスクに関する情報を表示します。
[アクティビティフィード]-[イベント] タブ



[アクティビティフィード]-[タスク] タブ



アクティビティフィードを表示するときは、次のヒントに注意してください：

タスク

特定のイベントまたはタスクをフィルター処理して表示するには

操作

[イベント] または [タスク] タブで対応するフィルターを選択します。たとえば、[過去 7 日間] のフィルターを選択して、過去 7 日間に発生したイベントまたはタスクのみを表示します。

タスク	操作
イベントまたはタスクの一覧をすぐに更新するには	[イベント] または [タスク] タブで [更新] をクリックします。
イベント全体またはタスク全体に関する詳細をコピーするには	[イベント] または [タスク] タブで [エクスポート] をクリックします。
イベント全体またはタスク全体を閉じるには	[イベント] または [タスク] タブで [Dismiss all] をクリックします。[Dismiss all] をクリックすると、操作を確認するよう求められます。
個別のイベントまたはタスクの詳細を表示するには	一覧内のイベントまたはタスクをクリックします。同じ種類、サイト、サーバー、重大度のイベントが1つのレコードにまとめられ、展開するとすべてのイベントを表示できます。
個別のイベントまたはタスクの詳細をコピーするには	[イベントの詳細] または [タスクの詳細] ページで [コピー] をクリックします。
個別のイベントまたはタスクを閉じるには	[イベントの詳細] または [タスクの詳細] ページで [閉じる] をクリックします。[閉じる] をクリックしても、確認を求めるプロンプトは表示されません。

通知

May 22, 2024

メール通知

概要

特定のイベントやタスクに関する通知をメールで受け取るには、メール通知にサブスクライブします。

サブスクライブすると、次の場合に通知を受け取ることができます：

- リソース使用状況アラート：リソース使用状況のしきい値を超えた場合

リソースの使用状況には以下が含まれます：

- CPU 使用率
- メモリ使用率

- ネットワーク使用量（送信）
- ネットワーク使用量（受信）
- ストレージ使用量

リソース使用状況のしきい値は、Session Recording 管理ダッシュボードから設定できます。詳しくは、「[ダッシュボードの使用に関するヒント](#)」セクションでダッシュボード設定を参照してください。

- サーバーの状態の変更: Session Recording サーバーの状態が変化した場合

サーバーの状態は、次のように変化する可能性があります:

- オフライン
 - 検出
 - 使用可能
 - 削除済み
 - アンインストール済み
 - アップグレードしています
 - インストールの開始
 - インストールが進行中です
- 録画の成功率アラート: 録画の成功率が 100% より低い場合。録画の成功率に関するメール通知を確実に受信できるようにするには、サイトのダッシュボード設定ページで機能を有効にします。詳しくは、「[管理ダッシュボード](#)」を参照してください。
 - ストレージメンテナンスの結果: 録画を自動でアーカイブおよび削除するタスクの結果に関するダイジェスト
ストレージメンテナンスタスクのスケジュール設定については、「[スケジュールに基づく録画の管理](#)」を参照してください。
 - 無制限の再生リンクの共有: 無制限の再生リンクが共有されている場合
詳しくは、「[録画をリンクとして共有する](#)」を参照してください。

メール通知にサブスクライブ

1. Citrix Cloud にサインインします。
2. 左上のメニューで、[マイサービス] > [**DaaS**] を選択します。
3. [管理] から [**Session Recording**] を選択します。
4. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[通知] を選択します。

ヒント:

Session Recording サービスから毎月 500 件のメール通知を受け取ることができます。毎月のクォー

タが使い果たされると、Session Recording サービスは、新しい月の第1日目（UTC）までメール通知の送信を停止します。

5. サブスクライブしているすべてのカテゴリに適用できるデフォルトの受信者を設定します。

Notifications

Email

Quota usage
You're entitled to 500 email notifications from the Session Recording service per month. View your email quota usage below.

426/500

85% used

Resource usage alerts	22
Server status changes	388
Storage maintenance results	10
Recording success rate alerts	3
Unrestricted playback link sharing	3

Subscription
Send email notifications based on your subscriptions below.

Default recipients (0) [Manage recipients](#)

Subscribe to

- Resource usage alerts
Send a notification when resource usage exceeds the threshold.
- Server status changes
Send a notification when the status of a server changes.
- Recording success rate alerts
Send a notification when recording success rate is below 100%
- Storage maintenance results
Send a summary of the results of automated tasks for archiving and deleting recordings.
- Unrestricted playback link sharing
Send a notification when an unrestricted playback link is shared.

Notifications

Email

Quota usage
You're entitled to 500 email notifications from the Session Recording service per month. View your email quota usage below.

85% used

Resource usage alerts	22
Server status changes	388
Storage maintenance results	10
Recording success rate alerts	3
Unrestricted playback link sharing	3

Subscription
Send email notifications based on your subscriptions below.

Default recipients (0) [Manage recipients](#)

Subscribe to

- Resource usage alerts
Send a notification when resource usage exceeds the threshold.
- Server status changes
Send a notification when the status of a server changes.
- Recording success rate alerts

Manage default recipients

✕

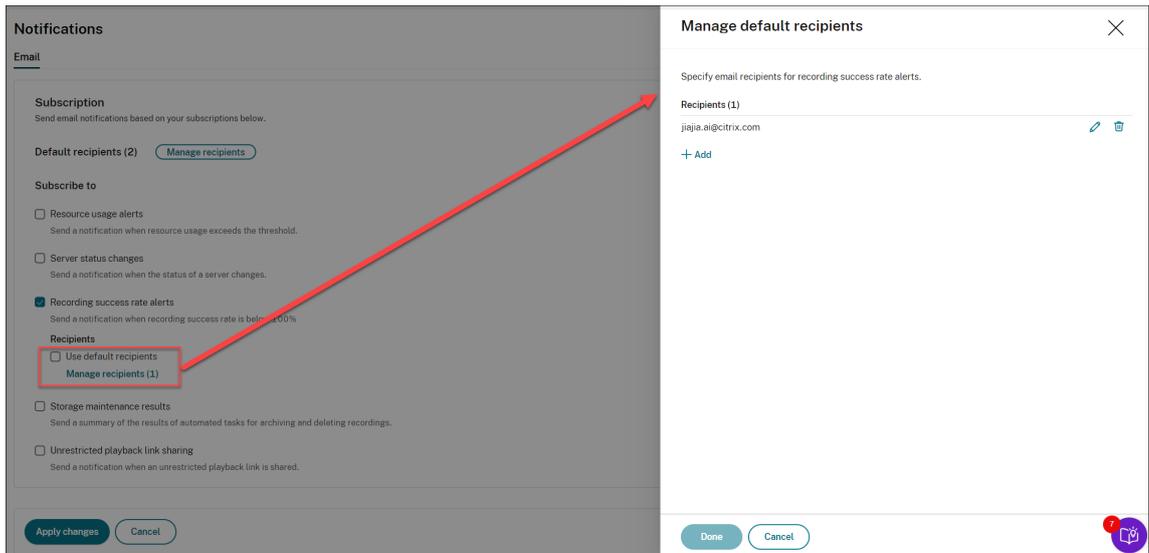
Emails are sent to the default recipients if no recipient is specified for a subscribed category.

Recipients (0)

+ Add

Done Cancel

サブスクライブしたカテゴリに受信者が指定されていない場合、メールはデフォルトの受信者に送信されます。サブスクライブしたカテゴリの受信者を指定するには、[デフォルトの受信者を使用する] チェックボックスをオフにし、[受信者を管理する] をクリックして受信者を追加します。



6. 次のカテゴリの横にあるチェック ボックスをオンにして、いずれかにサブスクライブします:

- リソース使用状況アラート
- サーバーの状態の変更
- 録画の成功率アラート
- ストレージメンテナンスの結果
- 無制限の再生リンクの共有

ヒント:

- [リソース使用状況アラート] を選択した場合は、アラートの種類と重大度を指定します。クォータの使用を最適化するために、クォータの 50% を超えると、月末まで警告アラートが保留されます。

Notifications

Email

Quota usage
You're entitled to 500 email notifications from the Session Recording service per month. View your email quota usage below. March 2023

338/500

68% used

Resource usage alerts	188
Server status changes	136
Storage maintenance results	14

Subscription

Resource usage alerts
Send a notification when resource usage exceeds the threshold.

Alert type
All selected

CPU usage
 Memory usage
 Network (send) usage
 Network (receive) usage
 Storage usage
 Use default recipients

Server status changes
Send a notification when the status of a server changes.

Send email when a server's status changes to
All selected

Recipients
 Use default recipients

Storage maintenance results
Send a summary of the results of automated tasks for archiving and deleting recordings.

Recipients
 Use default recipients

Notifications

Email

Subscription
Send email notifications based on your subscriptions below.

Default recipients (7) [Manage recipients](#)

Subscribe to

Resource usage alerts
Send a notification when resource usage exceeds the threshold.

Alert type
All selected

Severity
 Critical
 Warning

Recipients
 Use default recipients
Manage recipients (1)

Server status changes
Send a notification when the status of a server changes.

[Apply changes](#) [Cancel](#)

- 利用可能なサーバーの状態については、次のスクリーンショットを参照してください：

Notifications

Email

Quota usage
You're entitled to 500 email notifications from the Session Recording service per month. View your email quota usage below. March 2023

68% used
338/500

Resource usage alerts	188
Server status changes	136
Storage maintenance results	14

Subscription
Send email notifications based on your subscriptions below.

Default recipients (6) [Manage recipients](#)

Subscribe to

Resource usage alerts
Send a notification when resource usage exceeds the threshold.

Alert type: All selected

Severity: Offline, Discovered, Available, Deleted, Uninstalled, Upgrading, Ready to install, Installation in progress

Storage maintenance results
Send a summary of the results of automated tasks for archiving and deleting recordings.

Recipients: Use default recipients

- メールは、サブスクライブしたカテゴリごとに個別に送信されます。たとえば、リソースの使用状況に関するメール通知は次のようになります：

Session Recording resource usage alert External Inbox x

sessionrecording-xac-no-reply@apps.cloud.com
to me

8:00AM (6 hours ago)

CITRIX

Session Recording - Memory usage alert (Critical)

Customer name: [REDACTED]
Organization ID: [REDACTED]

Memory usage has exceeded Critical threshold.

Site: [REDACTED]
Critical threshold: 75%
Time (UTC-05:00): 2023-03-28T19:41:51.514996

Server: [REDACTED]

Memory usage: 76%

To change your email notification settings, go to Configuration > Notification Settings in the Session Recording service.

This is an automated email from the Session Recording service. Do not reply.

顧客データ管理

April 28, 2022

データ収集

Session Recording サービスは、Citrix Cloud に次の 3 種類の顧客データを収集します：

- Session Recording サービスコンソールおよび Session Recording インフラストラクチャサービスから収集されたログ
- 管理者によって定義された Session Recording サービスの構成とポリシー
- Session Recording サーバーに関連する統計

データの制御と保存

ログファイル。すべてのログファイルは Splunk に送信されます。

Session Recording サービスの構成とポリシー。構成するすべての設定とポリシーは、オンプレミス展開の SQL Server データベースに保存および格納されます。

Session Recording サーバーに関連する統計。Session Recording サーバーに関連付けられているすべての統計は、バックエンドの Azure データベースに保存および格納されます。顧客はそれらのデータにアクセスできません。

データ保持

Session Recording サービスに関連する顧客データは、Citrix によって保持されます。保持期間は、データの種類によって異なります：

- ログファイルは、デフォルトで 90 日間保持され、その後削除されます。これらのログファイルを保持する期間のカスタマイズはできません。
- Session Recording サーバーに関連付けられた統計は、デフォルトで 90 日間保持され、その後削除されます。

トラブルシューティング

April 3, 2024

トラブルシューティング情報には、Session Recording サービスの使用時に発生する可能性がある問題の解決策が含まれています。たとえば、次のようなものがあります：

- [クラウドからのサーバーのトラブルシューティング](#)
- [サーバーがクラウドに表示されない](#)

クラウドからのサーバーのトラブルシューティング

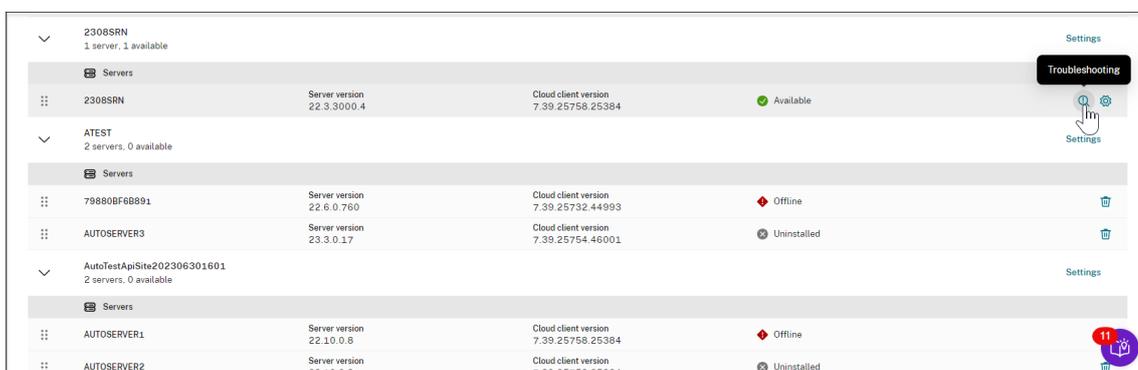
August 4, 2023

Session Recording サーバーがクラウドで使用可能と表示されていても正常に動作しない場合は、クラウドからいくつかのトラブルシューティングアクションを実行できます：

1. Session Recording サービスの左側ナビゲーションで、[構成] > [サーバー管理] を選択します。
2. サイトを展開してターゲットの Session Recording サーバーを見つけ、その横のトラブルシューティングアイコンをクリックします。[トラブルシューティング] ページが開きます。

ヒント：

トラブルシューティングアイコンは、使用可能な状態のサーバーにのみ表示されます。

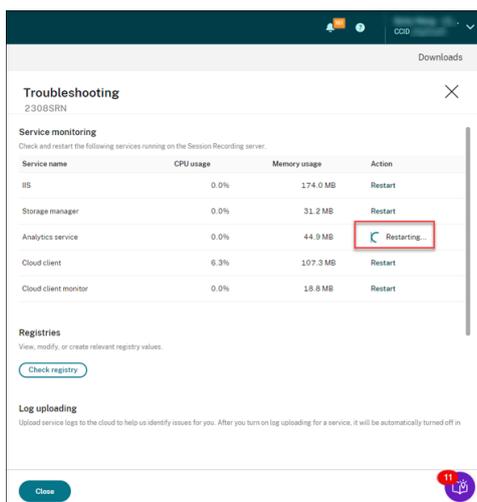


3. 必要に応じて、ターゲットサーバーで次のトラブルシューティング操作を実行します：

- a) [サービス監視] セクションで、Session Recording サーバー上で実行されている次のサービスを確認して再起動します：

- IIS、
- Citrix Session Recording Analytics サービス (CitrixSsRecAnalyticsService)、
- Session Recording ストレージマネージャーサービス (CitrixSsRecStorageManager)、および
- Citrix Session Recording クラウドクライアント監視サービス (CitrixSsRecCloudClientMonitorService)。

例：

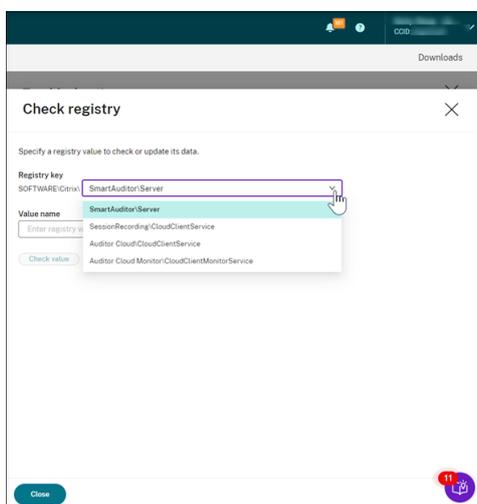


サービスが正常に再起動されると、最初に [再起動されました] の状態が表示され、次に [再起動] ボタンが表示されます。

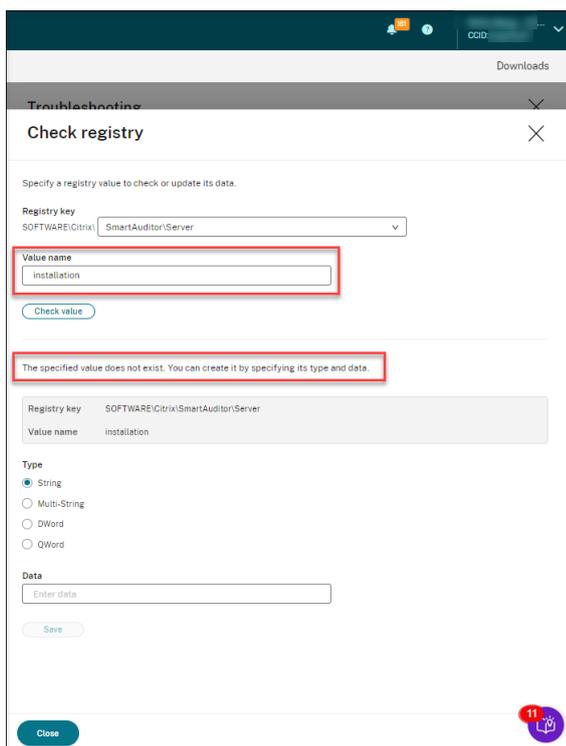
サービスの再起動に失敗した場合、最初に [失敗] の状態が表示され、次に [再起動] ボタンが表示されます。

- b) [レジストリ] セクションで、[レジストリを確認する] をクリックして、関連するレジストリ値を表示、変更、および作成します。

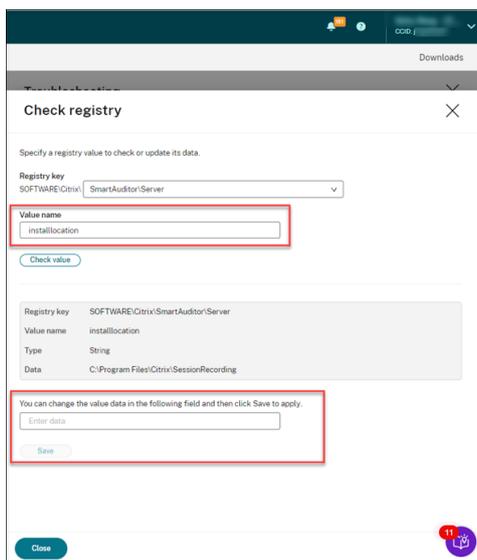
ドロップダウンリストからレジストリキーを選択します。



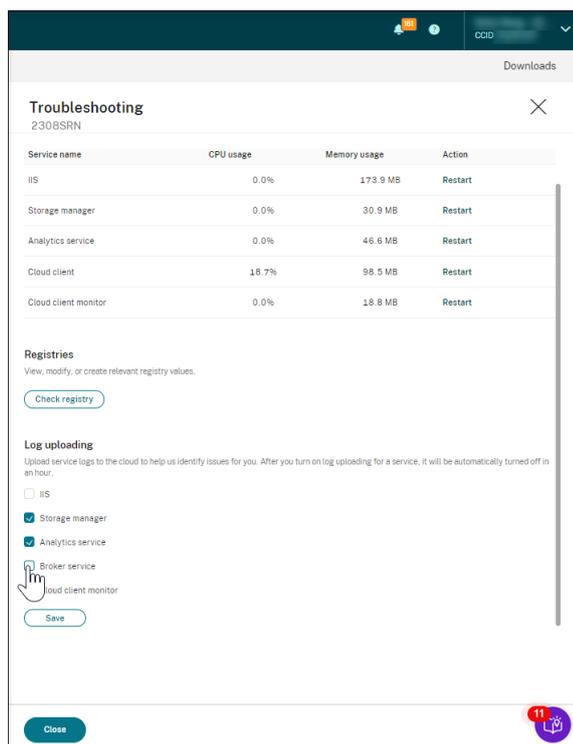
レジストリ値を入力して、その値が存在するかどうかを確認します。入力したレジストリ値が存在しない場合は、必要に応じて手順に従って作成できます。



入力したレジストリ値が存在する場合は、その情報を表示し、必要に応じて値データを変更できます。



- c) [ログのアップロード] セクションで必要なサービスを選択して、そのサービスに関するログをクラウドにアップロードします。ログは、Citrix が問題を特定するのに役立ちます。選択を行った後、[保存] をクリックします。



サーバーがクラウドに表示されない

April 3, 2024

接続した Session Recording サーバーがクラウドに表示されない場合があります。

考えられる原因: Session Recording サーバーがポート 443 またはポート 80、443、8088、および 9090~9094 経由 (クラウドクライアントのバージョンによる) で Session Recording サービスに到達するための送信トラフィックが拒否されています。

クラウドクライアントのバージョン 7.40.13020.11 以降では、通信用に開く必要があるポートは 1 つのみ (TCP ポート 443) です。バージョン 7.40.13020.11 より前のクラウドクライアントでは、さらに多くのポートを開く必要があります。詳しくは、「[ポート](#)」を参照してください。

クラウドクライアントのバージョン **7.40.13020.11** 以降を使用している場合は、次の手順を実行して問題に対処してください:

1. Session Recording サーバーで次のスクリプトを実行して、ポート 443 が開いているかどうかを確認します:

```
1 # Copyright (c) Citrix Systems, Inc. All Rights Reserved.  
2  
3 <#
```

```
4 .SYNOPSIS
5 このスクリプトは、ポート443が開いているかどうかを確認するた
  めに使用されます。
6 注：このスクリプトは、クラウドクライアントをインストールしたマ
  シンから実行します。
7 #>
8
9 $SR_CLOUD_DOMAIN = "srs.apps.cloud.com"
10 function Check-PortStatus {
11
12
13
14     $cstResult = tnc $SR_CLOUD_DOMAIN -port 443
15     if($cstResult.TcpTestSucceeded -ne $True) {
16
17         Write-Host "Error : $SR_CLOUD_DOMAIN : $_ is unreachable"
18         -ForegroundColor Red
19     }
20     else {
21
22         Write-Host "$SR_CLOUD_DOMAIN : 443 is open" -
23         ForegroundColor Green
24     }
25 }
26
27
28 Check-PortStatus
29 <!--NeedCopy-->
```

The output of the port checking script can be **srs.apps.cloud.com <port number> is unreachable** or **srs.apps.cloud.com <port number> is open**.

2. Session Recording サーバーがポート 443 経由で Session Recording サービスに到達するための送信トラフィックを許可します。
3. クラウドクライアントを Session Recording サーバーに再インストールします。

Session Recording クラウドクライアントのインストールが完了すると、ターゲットサーバーは Session Recording サービスに接続されます。[サーバー管理] ページの [更新] をクリックして、接続されているサーバーの一覧を更新します。サーバーが検出されるまでに数分かかる場合があります。

バージョン **7.40.13020.11** より前のクラウドクライアントを使用している場合は、次の手順を実行して問題に対処してください:

1. Session Recording サーバーで次のスクリプトを実行して、ポート 8088、443、9090、9091、9092、9093、および 9094 が開いているかどうかを確認します:

```
1 # Copyright (c) Citrix Systems, Inc. All rights reserved.
2
3 <#
```

```

4  .SYNOPSIS
5  This script is used to check whether or not ports
   8088,443,9090,9091,9092,9093,and 9094 are open.
6  Note: Execute this script from the machine where you installed
   the cloud client.
7  #>
8
9  $SR_CLOUD_DOMAIN = "sessionrecording.apps.cloud.com"
10 function Check-PortStatus {
11
12     (8088,443,9090,9091,9092,9093,9094) | ForEach-Object {
13
14         $tncResult = tnc $SR_CLOUD_DOMAIN -port $_
15         if($tncResult.TcpTestSucceeded -ne $True) {
16
17             Write-Host "Error : $SR_CLOUD_DOMAIN : $_ is
18                 unreachable" -ForegroundColor Red
19         }
20     else {
21
22         Write-Host "$SR_CLOUD_DOMAIN : $_ is open" -
23             ForegroundColor Green
24     }
25 }
26
27 }
28
29
30 Check-PortStatus
31 <!--NeedCopy-->

```

ポートチェックのスキプトの出力は、「**sessionrecording.apps.cloud.com** <ポート番号> に到達できません」または「**sessionrecording.apps.cloud.com** <ポート番号> は開いています」のようになります。

2. Session Recording サーバーがポート 80、443、8088、および 9090~9094 経由で Session Recording サービスに到達するための送信トラフィックを許可します。
3. クラウドクライアントを Session Recording サーバーに再インストールします。

Session Recording クラウドクライアントのインストールが完了すると、ターゲットサーバーは Session Recording サービスに接続されます。[サーバー管理] ページの [更新] をクリックして、接続されているサーバーの一覧を更新します。サーバーが検出されるまでに数分かかる場合があります。



© 2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved. Cloud Software Group, the Cloud Software Group logo, and other marks appearing herein are property of Cloud Software Group, Inc. and/or one or more of its subsidiaries, and may be registered with the U.S. Patent and Trademark Office and in other countries. All other marks are the property of their respective owner(s).